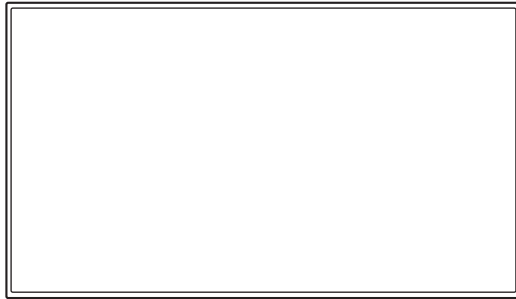


取扱説明書 詳細編

UHD 液晶ディスプレイ **業務用**

品番	TH-65SQ2HJ (65V 型)	TH-86EQ2J (86V 型)
	TH-55SQ2HJ (55V 型)	TH-75EQ2J (75V 型)
	TH-50SQ2HJ (50V 型)	TH-65EQ2J (65V 型)
	TH-43SQ2HJ (43V 型)	TH-55EQ2J (55V 型)
		TH-50EQ2J (50V 型)
		TH-43EQ2J (43V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(5～9ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-65SQ2HJ (65V 型)、TH-55SQ2HJ (55V 型)、
TH-50SQ2HJ (50V 型)、TH-43SQ2HJ (43V 型)、
TH-86EQ2J (86V 型)、TH-75EQ2J (75V 型)、TH-65EQ2J (65V 型)、
TH-55EQ2J (55V 型)、TH-50EQ2J (50V 型)、
TH-43EQ2J (43V 型) 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

4K
PROFESSIONAL
*実解像度：3840 x 2160 画素

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-55EQ2J (55V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	5
使用上のお願い	10
付属品の確認	13
付属品	13
リモコンの電池の入れかた	14
USB メモリーカバーの取り付け	14
センサーモジュールの取り付け	15
ファンクションボードの取り付け	16
移動するときの注意	18
ケンジントンセキュリティスロット	18
アイボルト	19
別売オプション	20
接続	21
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定	21
映像機器の接続	23
接続の前に	25
HDMI IN 1・HDMI IN 2・HDMI IN 3 端子の接続例	25
PC IN 端子の接続例	26
SERIAL IN (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	27
IR IN/IR OUT 端子の接続例	29
AUDIO OUT 端子の接続例	29
USB / USB DEVICE 端子の接続例	30
USB-C / USB DEVICE 端子の接続例	31
DIGITAL LINK 端子の接続例 (SQ2H シリーズ)	32
DIGITAL AV OUT 端子の接続例 (EQ2 シリーズ)	33
各部の基本説明	34
ディスプレイ	34
リモコン	36
基本の操作	37
入力信号を切り換える	40
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	41
音量を調整する	41
消音を使う	41
オフタイマーを使う	42
映像に合わせた拡大画面にする (画面モード)	43
画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)	44
オンスクリーンメニューについて	45
位置調整	47
自動位置補正	47

音声の調整	49
画質の調整	50
メモリー機能を使う	53
メモリーに保存する	54
メモリーを呼び出す	54
メモリーを編集する	55
初期設定	56
信号モード	56
起動設定	59
入力信号サーチ	60
フェイルオーバー / フェイルバック	61
スクリーンセーバー	62
入力表示書換設定	64
入力切換スキップ設定	64
パワーマネージメント設定	65
音声入力切換	67
外部機器連携設定	67
HDMI-CEC 設定	68
イメージ設定	69
入力切換固定	71
オフタイマー機能	71
無操作自動オフ	71
表示言語切換	71
マルチ画面設定	71
ポートレート設定	73
ホワイトボード設定	74
ビデオ会議モード設定	74
タイマー設定	75
日付と時刻	75
ネットワーク設定	77
USB メディアプレーヤー設定	85
メモリービューワー設定	87
Screen Transfer 設定	87
ワイヤレスプレゼンテーション設定	88
ファンクション設定	88
カラーデザイン設定	89
OSD 設定	90
オプション設定	90
コントロール設定	91
センサー設定 (SQ2H シリーズ)	92
情報通知タイミング	94
動作設定	95
制限設定	96
SLOT 設定	97
ネットワーク機能を使う	98
接続に必要なパソコン環境	98
ネットワーク接続例	98
コマンドコントロール	100
LAN 経由の制御コマンドについて	100

PJLink プロトコル	101	マウスメニュー	162
複数台監視制御ソフトウェアについて	103	画面ズーム	162
ビデオウォールマネージャーについて	103	消えるマーカー	163
コンテンツマネジメントソフトウェアについて	103	複数マウス対応	163
Screen Transfer について	103	HDMI-CEC 機能を使う	164
LAN で接続する	104	接続例	164
パソコンの操作	104	設定	164
WEB ブラウザーコントロールを使う	104	機器の連動	164
WEB ブラウザーコントロールを使う前に	104	機器の操作 (本機のリモコンで機器の操作)	165
WEB ブラウザーからのアクセス	105	ARC 機能を使う	166
WEB ブラウザーで操作する	106	設定	166
USB メディアプレーヤーを使う	126	接続例	166
機能の説明	126	音声出力先の切替	166
準備	127	データクローニングを使う	167
ファイルの再生	129	ディスプレイのデータを USB メモリーにコピー	167
ネットワーク環境 (マルチメディアプレーヤーのみ)	132	USB メモリーのデータをディスプレイにコピー (クローニング)	168
メディアプレーヤーの開始/終了	132	LAN を経由して他のディスプレイにデータをコピー	169
途中から再生機能 (レジューム再生)	133	クローニングパスワードを変更する	170
プレイリスト編集機能	133	USB メモリーでのネットワーク設定	171
コンテンツマネジメントソフトウェアによるスケジュール再生機能について	134	USB メモリーに LAN 設定のファイルを保存	171
メモリービューワーを使う	138	USB メモリーのデータをディスプレイにコピー	172
準備	138	ID リモコン機能を使う	173
メモリービューワー画面を表示する	140	リモコンの ID 番号を設定する	173
静止画を再生する	141	リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID 「0」)	173
動画・音楽を再生する	141	文字入力について	174
ホワイトボード機能を使用する	143	プリセット信号	175
コントロールメニュー	143	工場出荷時の設定に戻すには	178
内蔵ホワイトボードを使う	145	ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには	179
ホワイトボードモードで使う	145	リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには	179
透過モードで使う (動画・静止画の上に描画)	146	本機の本体ソフトウェアについて	179
メインメニューについて	147	修理を依頼される前に	180
ペン描画のしかた	149	保証とアフターサービス (よくお読みください)	182
モードを切り換える	150	仕様	183
ペン描画を保存する (ファイルメニュー)	151	ソフトウェアライセンス	187
描画ページを切り換える (ページメニュー)	153	商標について	187
簡易描画機能を使う	154		
比較モードを使う	154		
映像をキャプチャーする	155		
キャプチャー画像を表示する	155		
画面モードを変更する	156		
比較用画像ファイルを選択する	156		
画面を拡大縮小する	157		
画面に描画する	158		
キャプチャー操作を行う	159		
映像マスク機能を使う	160		
様々なアプリ機能を使う	161		
ホワイトボード機能 (マウスノテーション) を使う	162		

大切なお知らせ

業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、 ボタンから登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

■ 簡単なお登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

・ダウンロード

ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

・ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

■ 本体購入後 1 か月以内に PASS にご登録頂きますようお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音が出る
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源コネクター左右のロックが掛かっていることを確認してください。（86V 型のみ）

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など ）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドをご使用ください。(P. 20 ページ)
- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。
86/75V 型 : VESA 600 × 400
65/55/50V 型 : VESA 400 × 400
43V 型 : VESA 200 × 200
(P. 10 ページ)
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 4 乾電池、センサーモジュール、両面テープ、M3 ねじ、およびワッシャーは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた(キャビネット)を外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

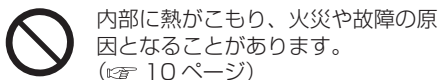
「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

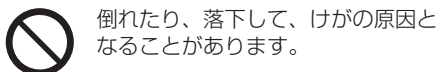
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

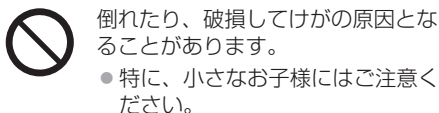
- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



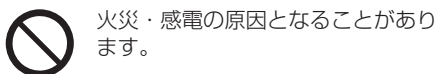
- 上に物を置かないでください



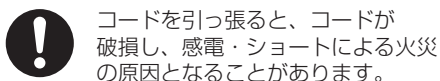
- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



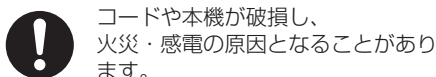
- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



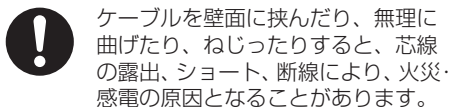
- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください



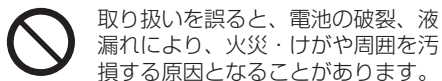
- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒防止具を外してください



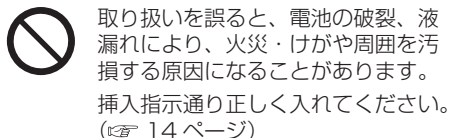
- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



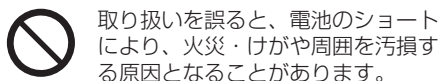
- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



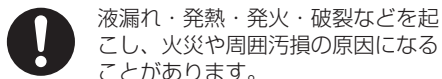
- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れしないでください



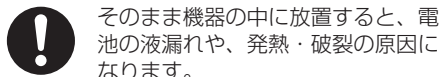
- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



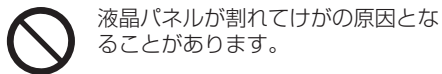
- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



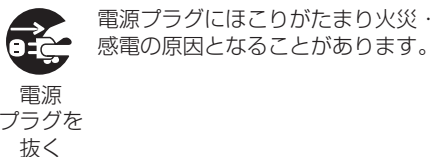
- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



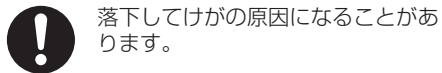
- 強い力や衝撃を加えないでください



- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



- 開梱や持ち運びは次の人数で行ってください
86/75V 型：4人以上
65/55/50/43V 型：2人以上



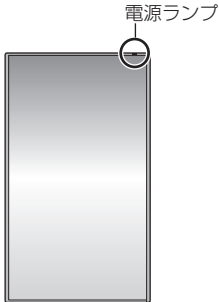
注意

- 運搬や移動をする場合は、必ず取っ手を持ち行ってください (86/75/65V 型のみ)



落下してけがの原因になることがあります。

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源ランプを上側にして設置してください



異なる方向に設置すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 据置きスタンドをご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔2 800 m以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔1 400 m未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔1 400 m以上～2 800 m未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

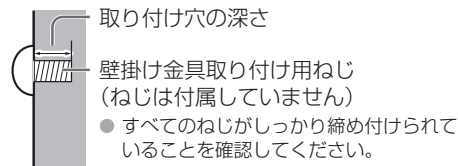
- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

設置時の空間距離について

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持するように適切な換気を確実に行ってください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて



(側面より見る)

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ (本数)
86V型	600 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
75V型	600 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
65V型	400 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
55V型	400 mm × 400 mm	18 mm	M6 (4)
50V型	400 mm × 400 mm	20 mm	M6 (4)
43V型	200 mm × 200 mm	16 mm	M6 (4)

■ 接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
- コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差してください。

■ ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

偏向サングラス使用時、画面表示が見えない場合があります。

- 液晶パネルの偏向特性による現象です。故障ではありませんのでご了承ください。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。

	ドット抜けの割合*
86V 型	0.00009% 以下
75V 型	0.00007% 以下
65V 型	0.00005% 以下
55V 型	0.00005% 以下
50V 型	0.00005% 以下
43V 型	0.00005% 以下

* ISO9241-307 の基準に従って副画素 (サブピクセル) 単位で計算しています

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

■ 有線 LAN について

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、有線 LAN または DIGITAL LINK での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN または DIGITAL LINK 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子、DIGITAL LINK 入力 / LAN 端子および DIGITAL LINK 出力端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

■ セキュリティーに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子、DIGITAL LINK 入力 / LAN 端子および DIGITAL LINK 出力端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。
(☎ 106・112 ページ)

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。「工場出荷時の設定に戻すには」(☎ 178 ページ)をご覧ください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



通気孔のゴミやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

付属品

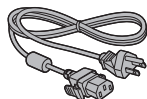
付属品が入っていることをご確認ください。

< >は個数です。

電源コード< 1 > (約 2 m)

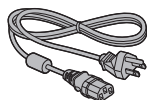
86V 型

- 1JP155AF1J



75/65/55/50/43V 型

- 1JP143CQ2J

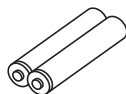


リモコン< 1 >

- DPVF4035ZA/X1

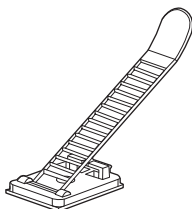


単 4 形乾電池< 2 > (リモコン用)



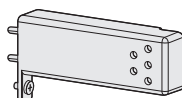
クランパー< 2 >

- DPVF1654ZA



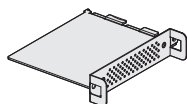
USB メモリーカバー < 1 >

- DPVF4044ZA/X1



SLOT アダプター< 1 >

- DPVF2722YA/X1

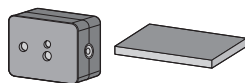


センサーモジュール< 1 >

両面テープ< 2 >

- DPVF3677ZA/X1

SQ2H シリーズのみの
付属品です。



4 極超ミニケーブル< 1 >

65V 型

- DPVF3657ZA/X1

(約 3 m)



55/50/43V 型

- DPVF1728ZA/X1

(約 1.8 m)

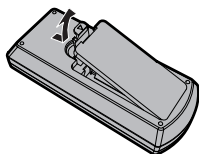
SQ2H シリーズのみの
付属品です。

お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

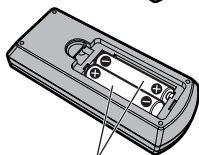
リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる

(⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください (例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

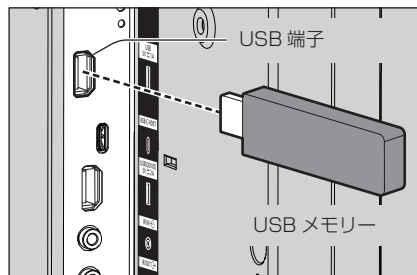
USB メモリーカバーの取り付け

USB メモリーを使用される場合、USB メモリーを保護するために USB メモリーカバーを取り付けることができます。

お知らせ

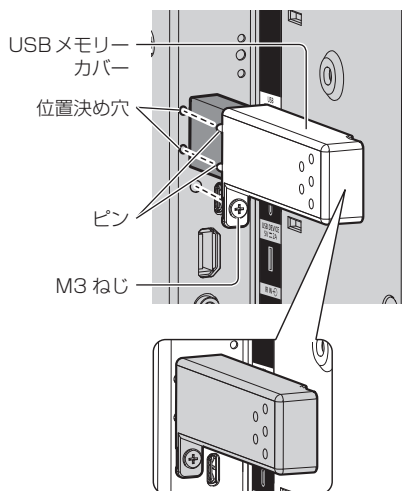
- 使用する USB メモリーの形状によっては、USB メモリーカバーを取り付けできない場合があります。

1 ディスプレイ側面の USB 端子に USB メモリーを挿入する



2 ピン 2 か所を位置決め穴に差し込み、M3 ねじをディスプレイ本体のねじ穴に合わせて USB メモリーカバーを取り付ける

3 M3 ねじを締めつけて、USB メモリーカバーを固定する



センサーモジュールの取り付け

SQ2H シリーズは付属品のセンサーモジュールを取り付けることで、センサー機能を使用することができます。

お願い

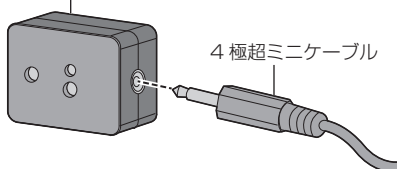
- センサーモジュールの取り付け、取り外しの際は、必ずディスプレイ本体の電源を切ってください。

1 センサーモジュールに 4 極超ミニケーブル (付属品) を接続する

お願い

- 4 極超ミニケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。

センサーモジュール

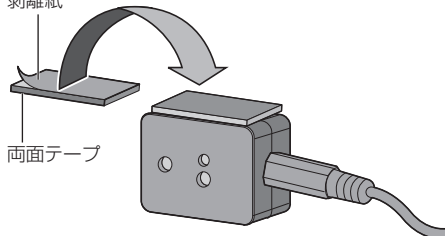


2 両面テープの片面の剥離紙をはがし、センサーモジュールの上面または底面に貼り付ける

お願い

- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けた両面テープの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。
- センサーモジュールの両面テープでの固定は恒久的な保持を保證するものではありません。外力を受けたり、環境条件などで外れた場合は、市販の両面テープで再度固定し直してください。

剥離紙

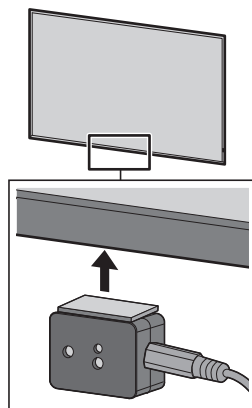


3 両面テープの残りの片面の剥離紙をはがし、センサーモジュールをディスプレイのベゼルに貼り付ける

お願い

- センサー前面が環境照度や接近する手を検出できる場所に貼り付けてください。
- 近接センサー機能を使用する場合は、センサーモジュールを床や机、天井から 2 cm 以上離してください。またセンサー前面 1 m 以内には物を置かないでください。
- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けた両面テープの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

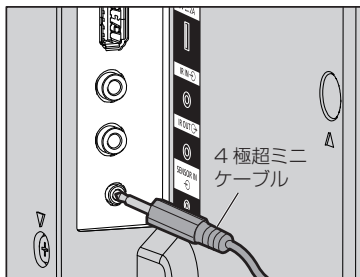
センサー取り付け場所の例：



4 4 極超ミニケーブルのもう一方の端子を SENSOR IN 端子に接続する

お願い

- 4 極超ミニケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。
- 接続ケーブルは、垂れ下がったり、不用意に引っ張られたりすることのないように、付属のクランプで本機に固定してください。(P.22 ページ「接続ケーブルの固定」)



ファンクションボードの取り付け

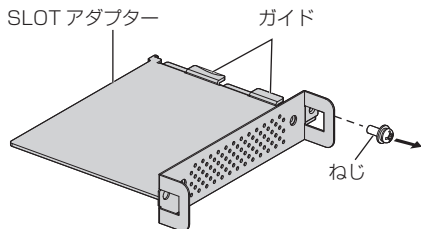
幅が狭いファンクションボードを使用される場合は、付属品の SLOT アダプターを取り付けて機能拡張用スロットに挿入してください。

お願い

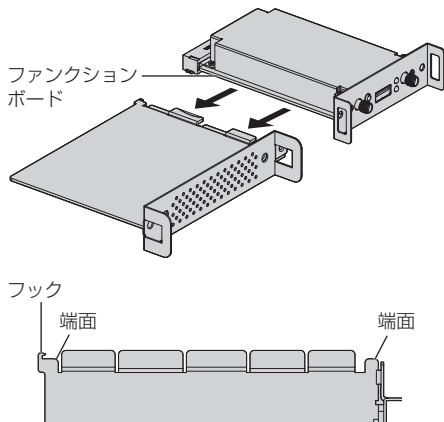
- 必ずディスプレイ本体および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルをディスプレイ本体から外してください。
- ファンクションボードの取り外し、取り付け時に金具でバックカバーや表示シートに傷を付けないようにしてください。

フルサイズのファンクションボードを装着する場合は、手順 4 に進んでください。

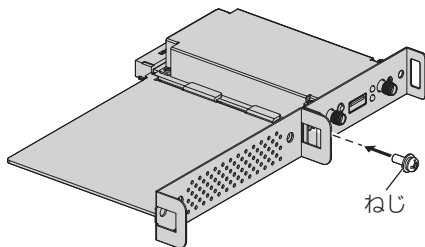
1 SLOT アダプターのガイドがある側のねじ 1 本を外す



2 SLOT アダプターのガイドにファンクションボードの基板をはめ込み、基板をフック (1ヶ所) と端面 (2ヶ所) を確実に接触させる



3 手順 1 で外したねじでファンクションボードを SLOT アダプターに固定する

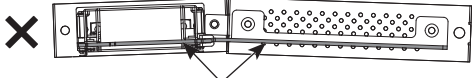
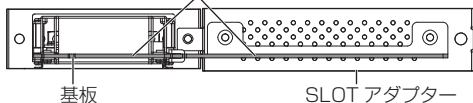


- 締め付けトルクは $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ 以下を目安として締め付けてください。

お願い

- ねじを確実に締め、SLOT アダプターのフックが基板を固定していることを確認してください。
- SLOT アダプターを取り付けたファンクションボードをカバーと反対側から見たときに、SLOT アダプターと基板のそれぞれの面が一致していることを確認してください。

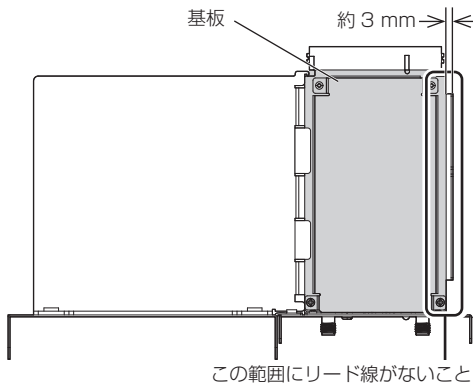
この面が一致していること



この面が水平になっていないと装着できません。



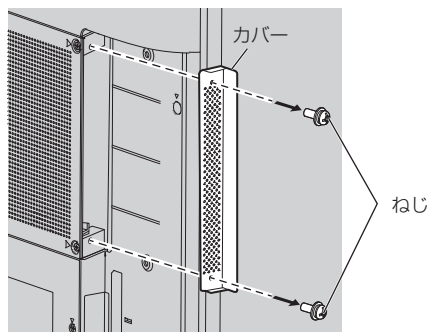
- 基板の端面から約 3 mm の範囲にリード線があるとガイドレールと干渉してファンクションボードを装着できません。この範囲にリード線がないことを確認してください。



この範囲にリード線がないこと

4 ねじ 2 本を外し、機能拡張用スロットのカバーまたはファンクションボードを取り外す

ファンクションボードを取り外す際は、ファンクションボードの取っ手を持ち、ゆっくりと矢印方向に引き抜いてください。

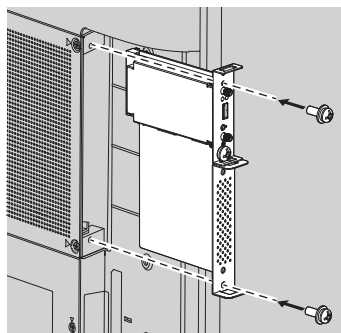


お知らせ

- SQ2H シリーズは機能拡張用スロットに DIGITAL LINK 端子ボード (TY-SB01DL) が取り付けられています。同梱の TY-SB01DL 説明書をご覧ください。
- EQ2 シリーズは機能拡張用スロットにカバーが取り付けられています。
- 取り外したファンクションボードまたはカバーは、修理・サービスを受けられるときに必要ですので、お客様にて保管してください。

5 機能拡張用スロットにファンクションボードを挿入し、ねじ 2 本を締める

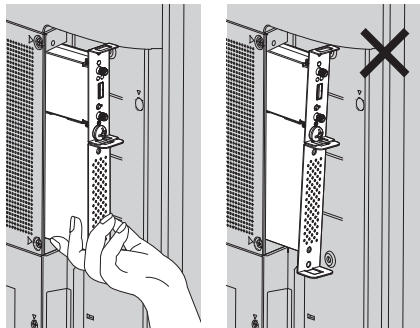
手順 4 で外したねじ (2 本) で固定してください。



- 締め付けトルクは $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ 以下を目安として締め付けてください。

お願い

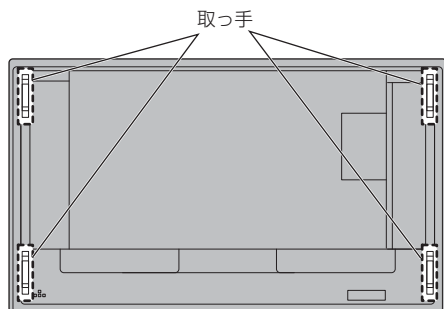
- ファンクションボードが機能拡張用スロットの開口部端面に接触しないように挿入してください。本体およびファンクションボードに傷がつく原因になります。



移動するときの注意

86/75/65V 型

本機には、持ち運びのための取っ手があります。移動するには取っ手を持ってください。



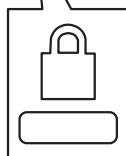
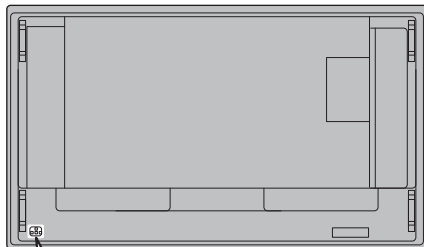
お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください。
(86/75/65V 型)
- 持ち運びは次の人数で行ってください。
86/75V 型：4 人以上
65/55/50/43V 型：2 人以上
落下してけがの原因になることがあります。
- 移動時は液晶パネル面を立てた状態で持って移動してください。
液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。
液晶パネルの故障の原因になります。
またパネルが割れてけがの原因となることがあります。

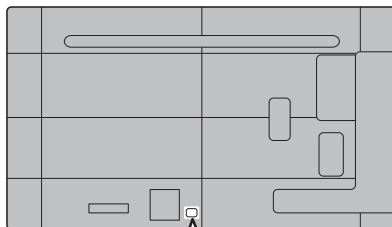
ケンジントンセキュリティスロット

本機のセキュリティスロットは、ケンジントンセキュリティケーブルと互換性があります。

86/75/65V 型



55/50/43V 型



アイボルト 86/75V型

本機には、アイボルト（M10）取り付け穴があります。設置の際、本機をつり上げるためにご利用ください。

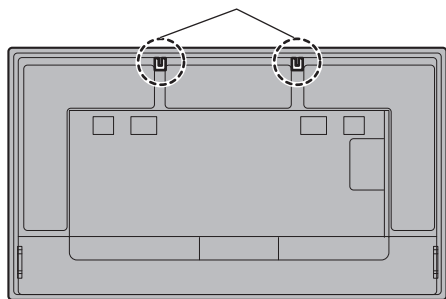
アイボルトは、設置の際の一時的なつり上げまたは移動にのみ使用してください。

常設のつり下げ設置には使用できません。

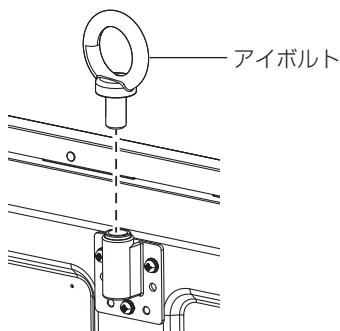
お知らせ

- アイボルト取り付け穴は 86/75V 型にあります。65/55/50/43V 型にはありません。

アイボルト（市販品）取り付け位置



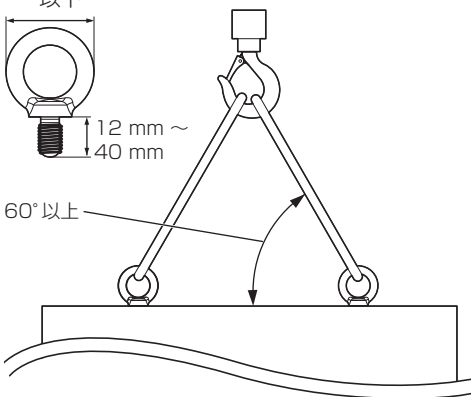
アイボルト取り付け位置（2カ所）にアイボルトを取り付ける



お願い

- 設置工事は工事専門業者にご依頼ください。
- アイボルト 1 本でつり上げしないでください。
- アイボルトは、製品品質の負荷条件を満たす、市販の M10、首下長さ 12 mm ~ 40 mm のものをご使用ください。
- アイボルトは JIS B 1168 規格品または ISO 3266 規格品をご使用ください。その他つり上げに使用する部材（ワイヤーなど）についても、JIS または ISO 規格品をご使用ください。
- つり上げ角度は 60° 以上にしてください。

φ 41 mm
以下



別売オプション

別売オプションのうち取り付けを行う据置きスタンドや壁掛け金具は、しっかりと取り付けてください。なお、取り付けについては専門業者にご依頼ください。

取り付けは次の人数で行ってください。

86/75V 型：4人以上

65/55/50/43V 型：2人以上

据置きスタンド：

- TY-ST75PE9 (75/65V 型)
- TY-ST55PE9 (55V 型)
- TY-ST43PE9 (50/43V 型)

壁掛け金具：

- TY-WK98PV1 (86/75/65V 型)

3G-SDI 端子ボード：

- TY-SB01SS

12G-SDI 端子ボード：

- TY-SB01QS

デジタルリンク端子ボード：

- TY-SB01DL

デジタルリンクスイッチャー^{※1}：

- ET-YFB200

予兆監視ソフトウェア

(基本ライセンス / 3年ライセンス)

- ET-SWA100 シリーズ^{※2}

※1 デジタルインターフェースボックス (品番：ET-YFB100) もご使用いただけます。

※2 ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

お願い

- 壁掛け金具を取り付けるときは、必ず取っ手（下側）2カ所を取り外してください。（86/75/65V 型）
- 据置きスタンドや壁掛け金具を取り付けるときは同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。また、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドまたは壁掛け金具の設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「液晶パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

接続

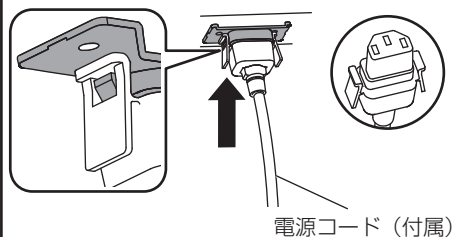
電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定

86V 型

本体後面



電源コードの固定方法



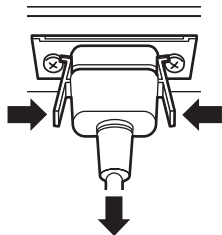
コネクタを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

お願い

- 左右のロックが掛かっていることを確認してください。

電源コードを外すとき



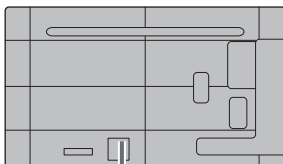
コネクタ横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

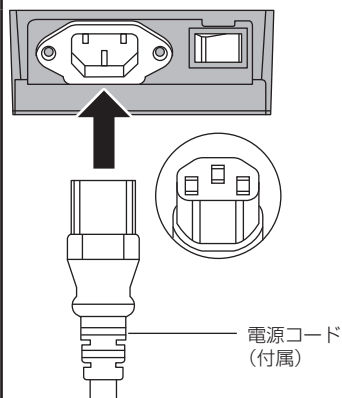
- つまみが破損している電源コードは使用しないでください。つまみが破損した状態で使用すると、電源コードのコネクタと〈AC IN〉端子との間で接触不良になるおそれがあります。電源コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

75/65/55/50/43V 型

本体後面



電源コードは本体背面に奥までしっかり
差し込んでください。



お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

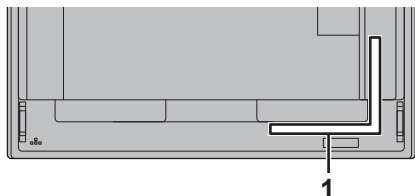
接続ケーブルの固定

お願い

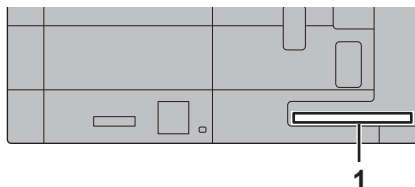
- 本機はクランパーを2本付属しています。下の図に示す位置でケーブルを固定してください。

※クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

86/75/65V型



55/50/43V型



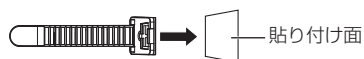
1 信号ケーブル用

1. クランパーの取り付け

お願い

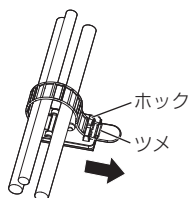
- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けたクランパーの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

裏面のテープをはがし、平らな貼り付け面に貼る



2. ケーブルを束ねる

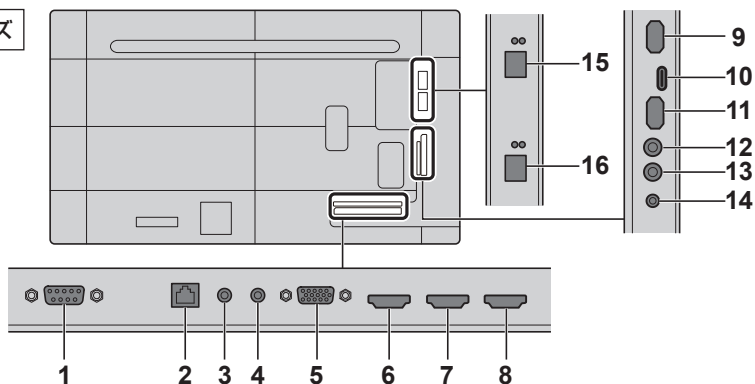
バンド先端をフックに通して引っ張り、ツメにかける



緩め方

ツメからバンドを外し、バンド先端を引き抜く

SQ2H シリーズ



1 SERIAL IN : シリアル入力端子

パソコンに接続して本機を制御します。(☞ 27 ページ)

2 LAN : LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。(☞ 98 ページ)

3 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。(☞ 29 ページ)

4 AUDIO IN : アナログ音声入力端子

(☞ 26 ページ)

5 PC IN : パソコン入力端子

パソコンの映像端子、YPbPr/YCbCr または RGB 出力のある映像機器を接続します。(☞ 26 ページ)

6 HDMI IN 1 : HDMI 入力端子 (3 系統)

7 HDMI IN 2 :

HDMI 出力がある映像機器を接続します。また、HDMI IN 3 端子は ARC 対応機器に接続して音声を出力できます。(☞ 25 ページ)

9 USB : USB 端子

USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能やメモリービューワー機能を使用します。また、受像時に 5V / 最大 1A まで外部機器に電源を供給する事ができます。(☞ 30 ページ)

10 USB-C HOST :

USB-C 端子があるパソコンや映像機器を接続します。また、受像時に最大 60W まで外部機器に電源を供給する事ができます。(☞ 31 ページ)

11 USB DEVICE :

USB-C HOST 端子に接続された機器との USB 通信が可能です。また、USB メモリーを接続したとき、メディアプレーヤーやメモリービューワー機能を使用できます。また、受像時に 5V / 最大 2A まで外部機器に電源を供給する事ができます。(☞ 31 ページ)

12 IR IN : 赤外線信号入力 / 出力端子

1 台のリモコンで複数台のディスプレイを操作するときに使用します。(☞ 29 ページ)

14 SENSOR IN : センサー端子

付属のセンサーモジュールを接続します。(☞ 15 ページ)

15 DIGITAL LINK IN / LAN :

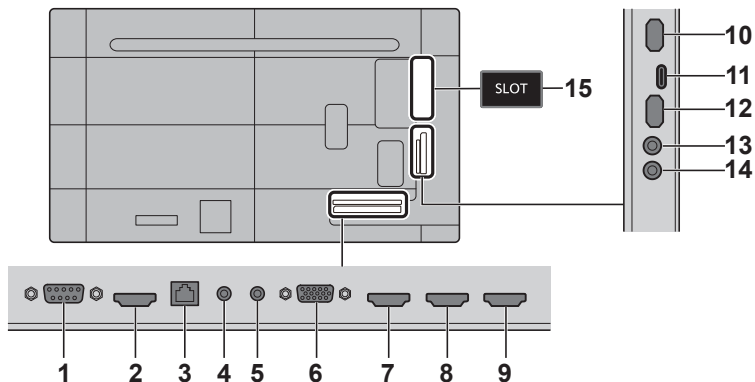
DIGITAL LINK 入力 / LAN 端子 ネットワークに接続して本機を制御します。または、DIGITAL LINK 端子経由で映像・音声信号を送出する機器を接続します。(☞ 32 ページ)

16 DIGITAL LINK OUT :

DIGITAL LINK 出力端子 複数台ディジーチェーン接続で映像を映す際、もう一方のディスプレイと接続します。(☞ 32 ページ)

お知らせ

- 機能拡張用スロットに DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられています。(☞ 16 ページ)
- 機能拡張用スロットに対応するファンクションボードについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

**1 SERIAL IN : シリアル入力端子**

パソコンに接続して本機を制御します。(☞ 27 ページ)

2 DIGITAL AV デジタル AV 出力端子 OUT :

本体に表示している映像および音声を出力します。HDMI 入力がある映像機器を接続します。(☞ 33 ページ)

3 LAN : LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。(☞ 98 ページ)

4 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。(☞ 29 ページ)

5 AUDIO IN : アナログ音声入力端子
(☞ 26 ページ)**6 PC IN : パソコン入力端子**

パソコンの映像端子、YPbPr/YCbCr または RGB 出力のある映像機器を接続します。(☞ 26 ページ)

7 HDMI IN 1 : HDMI 入力端子 (3 系統)

8 HDMI IN 2 : HDMI 出力がある映像機器
9 HDMI IN 3 : を接続します。また、HDMI IN 3 端子は ARC 対応機器に接続して音声を出力できます。(☞ 25 ページ)

10 USB : USB 端子

USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能やメモリービューワー機能を使用します。また、受像時に 5V/ 最大 1A まで外部機器に電源を供給することができます。(☞ 30 ページ)

11 USB-C HOST :

USB-C 端子
USB-C 端子があるパソコンや映像機器を接続します。また、受像時に最大 60W まで外部機器に電源を供給することができます。(☞ 31 ページ)

12 USB DEVICE :

USB 端子
USB-C HOST 端子に接続された機器との USB 通信が可能です。また、USB メモリーを接続したとき、メディアプレーヤーやメモリービューワー機能を使用できます。また、受像時に 5V/ 最大 2A まで外部機器に電源を供給することができます。(☞ 31 ページ)

13 IR IN : 赤外線信号入力 / 出力端子

14 IR OUT : 1 台のリモコンで複数台のディスプレイを操作するときに使用します。(☞ 29 ページ)

15 SLOT : 機能拡張用スロット
(☞ 16 ページ)**お知らせ**

- 対応するファンクションボードについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になると、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- 本機に接続できる信号は YP_BPR/YC_BCR 信号 (PC IN)、アナログ RGB 信号 (PC IN)、およびデジタル信号です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(P. 175 ページ) をご覧ください。

HDMI IN 1・HDMI IN 2・HDMI IN 3 端子の接続例

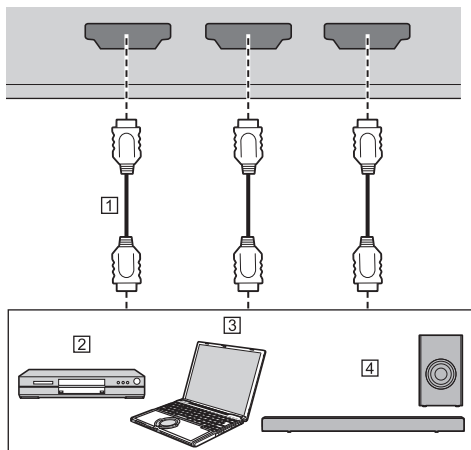
お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- HDMI 規格に準拠した機器を接続してください。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。
- 本機は、VIERA LINK には対応していません。
- 音声は AUDIO IN 端子を利用することもできます。(「音声入力切換」機能について P. 67 ページ)

お願い

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を入力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したのものなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。

使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。

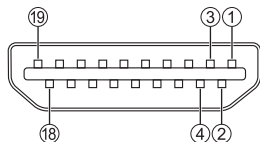


- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② ブルーレイディスクプレイヤー
- ③ パソコン
- ④ ARC オーディオ機器

お願い

- ARC オーディオ機器は、必ず HDMI IN 3 端子に接続してください。

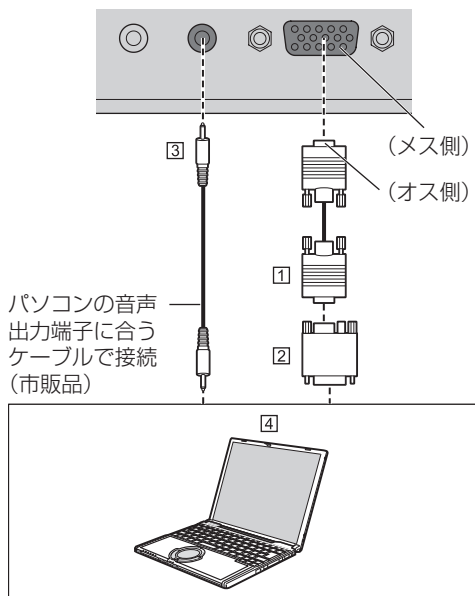
HDMI 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック +
⑪	T.M.D.S クロック シールド
⑫	T.M.D.S クロック -
⑬	CEC
⑭	NC (無接続) *
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	DDC/CEC グランド*
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

※ HDMI IN 3 端子のみ ARC

PC IN 端子の接続例



- ① ミニ D-sub 15 ピンケーブル (市販品)
- ② 変換アダプター [必要なとき] (市販品)
- ③ ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ④ パソコン

接続できるパソコン信号の種類

- 本機は「プリセット信号」(P.175 ページ) に記載のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
(対応周波数は水平 : 30 kHz ~ 110 kHz、垂直 : 48 Hz ~ 120 Hz です。)
- 解像度は「ノーマル」で最大 1 440 x 1 080 ドット、「フル」で最大 1 920 x 1 080 ドットの表示が可能です。
水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が「プリセット信号」(P.175 ページ) に該当しているかを確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

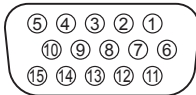
お願い

- この端子(ミニ D-sub15 ピン)は、コンポーネント(色差) ビデオ信号に対応しています。
入力信号に合わせて「初期設定」-「PC インプットモード」で入力信号の形式の選択を行ってください。
(☞ 95 ページ)
- 「PC インプットモード」の設定により、同期信号は以下の入力のみに対応します。
(☞ 95 ページ)
PC : HD/VD 信号入力のみ
PC[YPbPr] : Y 信号入力に重畳された同期信号のみ

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
- D-sub15 ピン端子の機種や Mac を接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※ パソコンのミニ D-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
- パソコン信号の水平および垂直走査周波数を指定された周波数範囲を上回るまたは下回る範囲に設定しないでください。

パソコン入力端子 (ミニ D-sub15 ピン) のピン配列と信号名



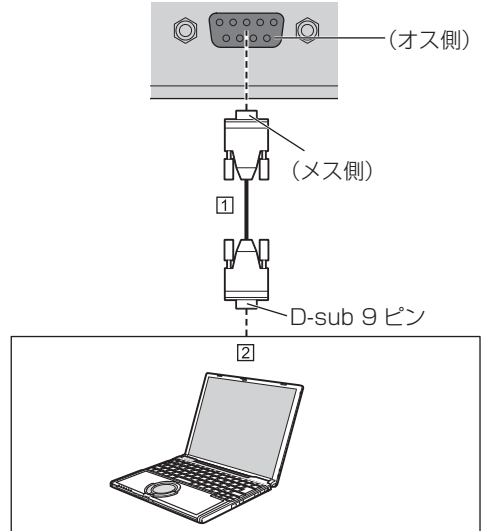
ピン No.	信号名
①	R (P _R / C _R)
②	G (Y)
③	B (P _B / C _B)
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	GND (アース)
⑦	GND (アース)
⑧	GND (アース)
⑨	+5 V DC
⑩	GND (アース)
⑪	NC (無接続)
⑫	SDA
⑬	HD
⑭	VD
⑮	SCL

SERIAL IN (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL (シリアル) 端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。

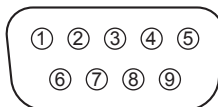


- ① RS-232C ストレートケーブル (市販品)
- ② パソコン

お願い

- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

SERIAL (シリアル) 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	CD (NC)
②	RXD (受信データ)
③	TXD (送信データ)
④	DTR (未使用)
⑤	GND (アース)
⑥	DSR (未使用)
⑦	RTS
⑧	CTS] (本体側で短絡)
⑨	RI (NC)

※パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル: RS-232C 準拠

同期方式: 調歩同期 (非同期)

ボーレート: 9 600 bps

パリティ: なし

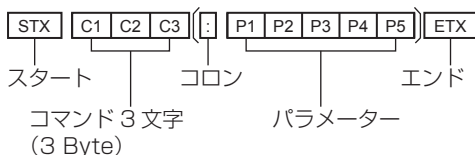
キャラクター長: 8 ビット

ストップビット: 1 ビット

フロー制御: なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	HM1	HDMI IN 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI IN 2 入力 (HDMI2)
	HM3	HDMI IN 3 入力 (HDMI3)
	UC1	USB-C HOST 入力 (USB-C)
	SL1	SLOT 入力 (SLOT)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
	NW1	Screen Transfer 入力 (Screen Transfer)
	UD1	USB / Internal Memory 入力 (USB / 内蔵メモリー)
	MV1	メモリービューワー入力 (MEMORY VIEWER)
	WB1	ホワイトボード入力 (WHITEBOARD)
DAM	なし	画面モード切り換え (トグル)
	FULL	フル
	NORM	ノーマル
	NATV	リアル
	HFIT	H フィット
	VFIT	V フィット
	ZOOM	ズーム 1
	ZOM2	ズーム 2

お願い

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロソ (:) は必要ありません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。

パナソニック業務用ディスプレイホームページ
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>

IR IN/IR OUT 端子の接続例

1 番目のディスプレイの IR OUT 端子から、2 番目のディスプレイの IR IN 端子に、ステレオミニプラグ (M3) ケーブルを使用して接続します。

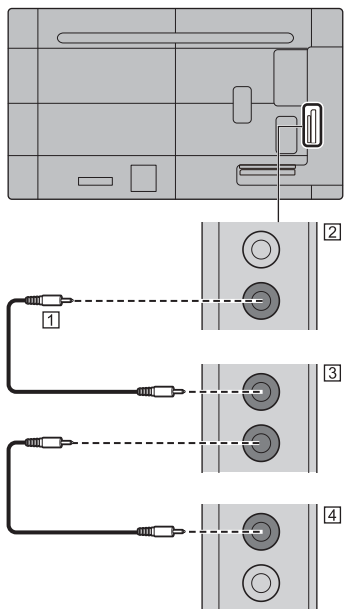
1 番目のディスプレイからの赤外線信号が、2 番目のディスプレイに送信されます。

このとき、2 番目のディスプレイの IR (リモコン受信部での赤外線受信) は動作しません。

なお、上記接続を繰り返すことで、デジチェーン接続が可能です。

お知らせ

- 接続ケーブルは本機に付属していません。
- 同一シリーズのディスプレイ同士でのみ、デジチェーン接続は可能です。

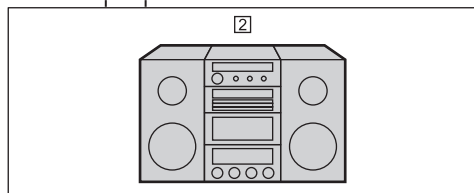
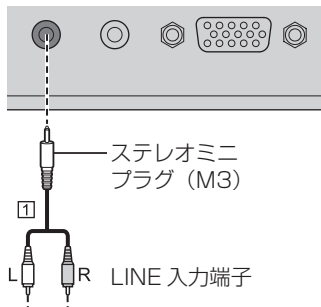


- ① ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ② 1 番目のディスプレイ
- ③ 2 番目のディスプレイ
- ④ 3 番目のディスプレイ

AUDIO OUT 端子の接続例

お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



- ① ステレオ音声ケーブル (市販品)
- ② オーディオ機器

お願い

- 本機の AUDIO OUT 端子から音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「出力切換」を必ず「外部出力」に設定してください。(P.49 ページ)

USB / USB DEVICE 端子の接続例

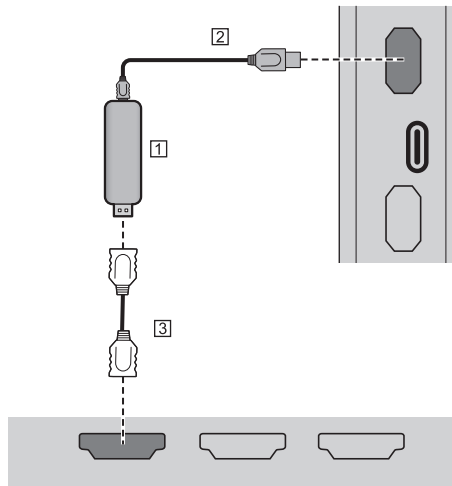
市販の USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能やメモリービューワー機能を使用します。(☞ 126・138 ページ)

USB マウスを接続して、マウスアノテーション機能 (☞ 162 ページ) を使用します。

また、別売のスティック PC などを接続した場合に、電源を供給します。

お知らせ

- USB DEVICE 端子は、「USB (DEVICE) 接続先設定」(☞ 96 ページ) の本体内部システムに接続する場合の接続例になります。
- USB と USB DEVICE、それぞれの端子に USB 機器やメモリーを接続することが可能です。
- USB メモリーを複数本接続した場合、最初に接続した 1 本のみ有効になります。
- 複数本接続した場合、2 本目以降は無効になります。
- 複数本接続した状態から外していくと、最後の 1 本の USB メモリーが有効になります。
- 起動時に複数の USB メモリーを接続している場合、どれが有効になるかは USB メモリー製品に依存します。起動時に選択したい USB メモリーがある場合は 1 本のみ接続された状態にしてください。
- スティック PC や接続ケーブルは本機に付属していません。
- USB メモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れることがあります。データにアクセスしている間は、USB メモリーのアクセランプが点滅します。
- USB メモリーは、ディスプレイの電源が入っているときでも切れているときでも、接続したり、取り出したりできます。



- ① スティック PC (市販品)
- ② USB ケーブル (市販品)
- ③ HDMI 延長ケーブル (市販品)

受像時、USB 端子により、5V/1A (USB) または 5V/2A (USB DEVICE) まで外部機器に電源を供給することができます。

- 供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され画面に次のメッセージが表示されます。

「USB の過電流を検出しました。

ケーブルや接続機器を取り外してディスプレイの電源をオフ / オンしてください。」

またスタンバイ時、供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され電源ランプが紫色点滅します。

この場合は接続機器を取り外し、リモコン等で電源を切 / 入してください。

「起動設定」- 「クイック起動」が「オン」でスタンバイ状態の時は、電源プラグをコンセントから抜き差しするか、または本体の電源ボタンを切 / 入してください。

お願い

- スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーを接続する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。
- USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。
 - 接続した USB メモリーのアクセランプが点滅しているときは、ディスプレイがデータを読み込んでいることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。
 - USB メモリーによっては、アクセランプが点滅したままになる場合、または、アクセランプなどの機能がない場合があります。その場合は、次の①または②の操作を確認後に USB メモリーを取り出してください。
 - ① 入力を USB、MEMORY VIEWER および WHITEBOARD 以外に切り換え、ユーザーメッセージ読み込み機能 (☞ 70 ページ)、プレイリスト編集機能 (☞ 133 ページ)、データクローニング機能 (☞ 167 ページ) など、USB メモリーにアクセスする機能が終了している
 - ② 本体の電源を切る
 - USB メモリーの接続と取り出しを頻繁に繰り返すことはお止めください。接続してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り出し、再び接続する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、接続してください。ディスプレイが、USB メモリーの接続と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。
 - データにアクセスしている途中で誤って本機の電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、次回 USB メモリーを使用時にデータにアクセスできないことがあります。その場合は、本体の電源を切 / 入してください。
- USB DEVICE (5V/ 最大 2A) からの電源供給を使用する場合は、2A 以上の電流に対応しているケーブルを使用してください。

USB-C / USB DEVICE 端子の接続例

本機の USB-C 端子は複数のプロトコルと最大 60W の電力供給をサポートしています。USB-Type-C 仕様を満たすデバイスと互換性があります。

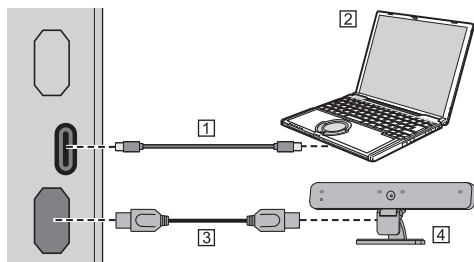
DisplayPort Alternative Mode (DP Alt Mode) をサポートしているソース機器と接続することができます。

USB DEVICE 端子は、「USB (DEVICE) 接続先設定」(☞ 96 ページ) で設定される接続先と USB 通信が可能となり、5V/ 最大 2A まで外部機器に電源を供給することができます。

また、USB-C 端子対応パソコンを USB-C 端子に接続し、USB 周辺機器を USB DEVICE 端子に接続した時、パソコンと USB 周辺機器とのパススルーによる USB データの通信をすることができます。

お知らせ

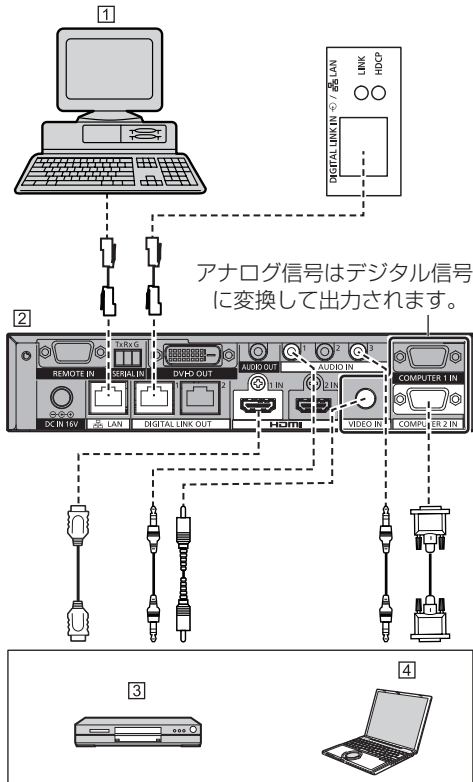
- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。
- USB-C 端子からのメディアプレーヤーやメモリビューワーの機能は使用できません。
- Type-C 接続を通してビデオをストリーミングするには、USB-C と電子認証された USB-C ケーブルを使用してください。
- USB DEVICE 端子は、「USB (DEVICE) 接続先設定」(☞ 96 ページ) で USB-C HOST 端子に接続される場合の接続例になります。
- 「USB (DEVICE) 接続先設定」(☞ 96 ページ) を「オート」に設定しているときに、USB-C 端子に接続したパソコンによって USB DEVICE 端子に接続している USB 機器を認識している場合、USB 機器によっては、ディスプレイの入力を切り換えると USB 機器を再認識しない場合があります。その場合は、「USB (DEVICE) 接続先設定」を「USB-C」に設定するか、USB 機器を USB 端子に接続してご使用ください。
- 供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され画面に次のメッセージが表示されます。
「USB の過電流を検出しました。
ケーブルや接続機器を取り外してディスプレイの電源をオフ / オンしてください。」
またスタンバイ時、供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され電源ランプが紫色点滅します。
この場合は接続機器を取り外し、リモコン等で電源を切 / 入してください。
「起動設定」 - 「クイック起動」が「オン」でスタンバイ状態の時は、電源プラグをコンセントから抜き差しするか、または本体の電源ボタンを切 / 入してください。



- ① USB-C ケーブル (市販品)
- ② パソコン
- ③ USB ケーブル (市販品)
- ④ USB 周辺機器

DIGITAL LINK 端子の接続例 (SQ2H シリーズ)

当社製デジタルインターフェイスボックス (ET-YFB100) またはデジタルリンクスイッチャー (ET-YFB200) などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号を DIGITAL LINK 入力 / LAN 端子に入力することができます。



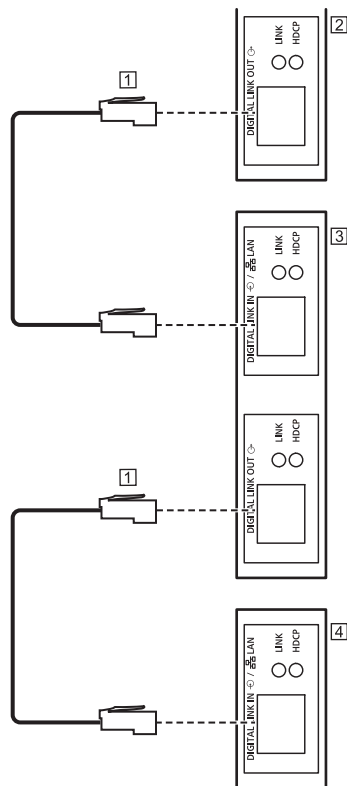
- ① 本機の制御用パソコン
- ② 当社製 ET-YFB200 の場合
- ③ ブルーレイディスクプレイヤー
- ④ パソコン

お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。
- DIGITAL LINK 接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。(☞ 77 ページ) DIGITAL LINK の設定や接続上の注意事項については DIGITAL LINK の端子接続や接続上の注意事項をご覧ください。(☞ 99 ページ)
- DIGITAL LINK 入力の対応信号は HDMI 入力と同じです。(☞ 175 ページ)
- 音声は AUDIO IN 端子を利用することもできます。(「音声入力切替」機能について ☞ 67 ページ)

デージーチェーン接続 (数珠つなぎ)

マルチスクリーン表示などで映像を映す場合に、本機を複数台デージーチェーン接続 (数珠つなぎ) することができます。



- ① LAN ケーブル (市販品)
- ② 1 番目のディスプレイ
- ③ 2 番目のディスプレイ
- ④ 3 番目のディスプレイ

お知らせ

- デージーチェーン用のケーブルは、伝送器と本機とを接続するケーブルと同じ条件のツイストペアケーブルをご使用ください。(☞ 99 ページ) ケーブルによっては伝送エラーを起こす可能性があります。
- デージーチェーンは最大 10 台まで可能ですが、ケーブルや信号、使用する機器などによって接続可能台数は制限される場合があります。
- デージーチェーン時、すべてのディスプレイに映像が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。
- デージーチェーン時、HDCP 1.4 信号を入力する場合は、最大 8 台まで対応可能です。
- デージーチェーン時、DIGITAL LINK 端子ボードが HDCP 2.2 に対応し、HDCP 2.2 信号を入力する場合は、最大 5 台まで対応可能です。
- 本機の DIGITAL LINK OUT 端子を、他社製ツイストペアケーブル伝送器に接続しても、映像音声は出力されません。

DIGITAL AV OUT 端子の接続例 (EQ2 シリーズ)

映像機器からの入力信号やホワイトボードでの描画映像など、本機に表示している映像を他のサブモニターに表示できます。

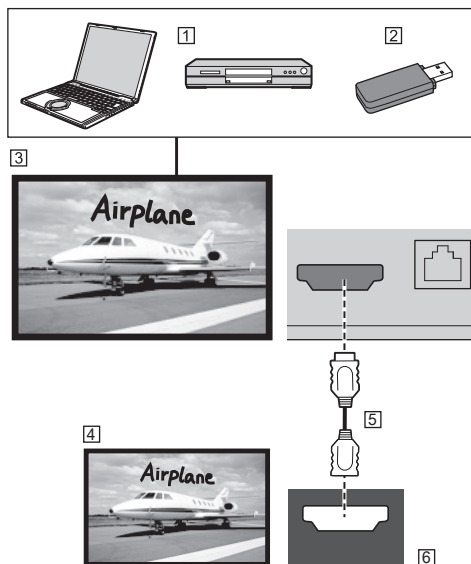
お知らせ

- 映像機器やHDMIケーブルは本機に付属していません。
- 著作権保護がかかった入力信号はサブモニターへ出力できません。
- 本機の映像や音声の調整を行った場合、サブモニターへの出力にも反映されます。
- 「音声の調整」 - 「出力切換」が「外部出力」の場合、DIGITAL AV OUT 端子から音声は出力されません。(P.49 ページ)
- サブモニターが EQ2 シリーズの場合、色調整のためサブモニターの「画質の調整」メニュー項目が自動で切り換わります。

お願い

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を出力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。

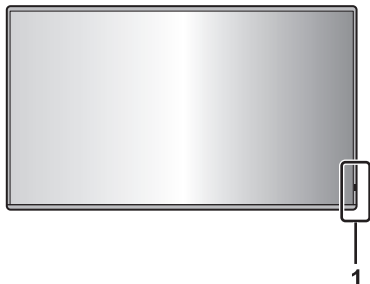
使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を出力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。



- ① パソコン、ブルーレイディスクプレイヤーなどの映像機器
- ② USB メモリー (メモリービューワーの映像)
- ③ 本機
- ④ サブモニター
- ⑤ HDMI ケーブル (市販品)
- ⑥ HDMI 入力端子

各部の基本説明

ディスプレイ



1 電源ランプ／リモコン受信部

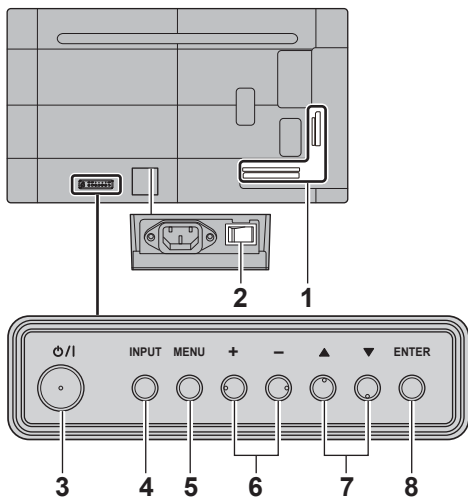
本体の電源「入」のとき(電源ボタン (㊦)「入」)

- 映像表示状態：青色点灯
- 以下のスタンバイ状態になったとき：紫色点灯
 - ・ 「起動設定」メニューの「クイック起動」が「オン」でスタンバイ状態
「起動設定」について (P.59 ページ)
 - ・ 「パワーマネジメント」機能によるスタンバイ状態
「パワーマネジメント」機能について (P.65 ページ)
 - ・ 「HDMI-CEC 制御」が「有効」で「連動機能」の1つ以上が「無効」以外でスタンバイ状態
「HDMI-CEC 制御」設定および「連動機能」について (P.68 ページ)
 - ・ 「ネットワークコントロール」が「オン」でスタンバイ状態
「ネットワークコントロール」設定について (P.78 ページ)
 - ・ 「SLOT スタンバイ」機能によるスタンバイ状態
「SLOT スタンバイ」機能について (P.97 ページ)
 - ・ スケジュール再生モード中にスタンバイ状態
「スケジュール再生モード」について (P.135 ページ)
- 上記以外のスタンバイ状態：橙色点灯

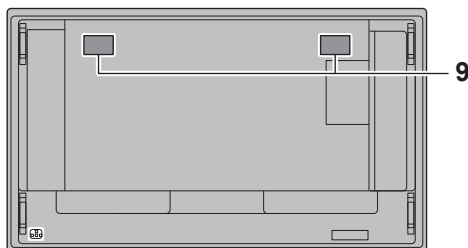
本体の電源「切」のとき(電源ボタン「切」)：
消灯

お知らせ

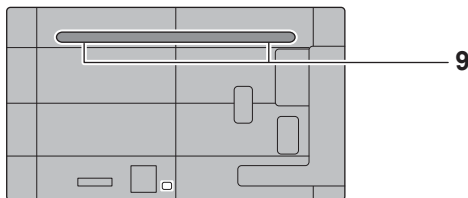
- 本体の電源「切」で電源ランプが消灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが紫色の場合は橙色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。
- 「電源ランプ点灯設定」が「オフ」の場合、電源ランプは点灯しません。
- 電源ボタンの動作説明は、明記がない限り、「電源ボタン操作設定」が「オフ」のときの動作です。



86/75/65V 型



55/50/43V 型



1 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。
([P.23](#))

2 主電源スイッチ (O/I)

主電源を「切 (O)」 「入 (I)」 します。

主電源スイッチの「切」「入」は電源プラグのコンセントからの抜き差しと同様です。主電源を「入 (I)」にしてから、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」「入」してください。

3 電源ボタン (O/I)

電源を「切」「入」します。

4 INPUT ボタン

接続された機器を選択します。
([P.40](#))

5 MENU ボタン

メニュー画面を表示します。
([P.45](#))

6 +- ボタン

音量を調整します。
([P.41](#))

メニュー画面で設定の切り換えやレベルを調整します。
([P.45](#))

7 ▲▼ ボタン

メニュー画面で設定項目を選択します。
([P.45](#))

8 ENTER ボタン

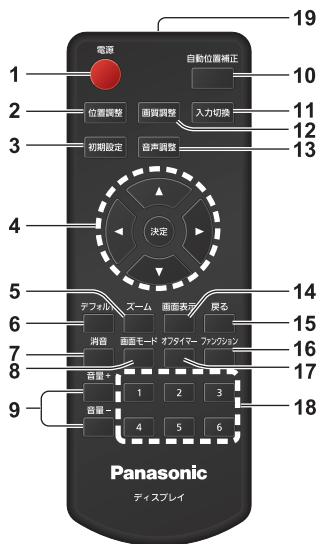
メニュー画面で項目を決定します。
([P.45](#))
画面モードを切り換えます。
([P.43](#))

9 内蔵スピーカー

音は後方へ出力されます。

お願い

- 本機の内蔵スピーカーから音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「出力切換」を必ず「スピーカー」に設定してください。
([P.49](#))



1 電源ボタン

- 本体の電源ボタンが「入」状態で電源を切/入します。(P. 37 ページ)

2 位置調整ボタン

- (P. 47 ページ)

3 初期設定ボタン

- (P. 56 ページ)

4 決定ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。(P. 45 ページ)

5 ズームボタン

- デジタルズームモードにします。(P. 44 ページ)

6 デフォルトボタン

- 映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。(P. 47・49・50 ページ)

7 消音ボタン

- 音声を一時的に消します。(P. 41 ページ)

8 画面モードボタン

- 画面モード (アスペクト) を選択します。(P. 43 ページ)

9 音量 - ボタン / 音量 + ボタン

- 音量を調節します。(P. 41 ページ)

10 自動位置補正ボタン

- 画面の位置/サイズを自動補正します。(P. 47 ページ)

11 入力切換ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。(P. 40 ページ)

12 画質調整ボタン

- (P. 50 ページ)

13 音声調整ボタン

- (P. 49 ページ)

14 画面表示ボタン

- 入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。(P. 41 ページ)

15 戻るボタン

- 1 つ前のメニュー画面に戻します。(P. 45 ページ)

16 ファンクションボタン

- ファンクションガイドを表示します。(P. 89 ページ)

17 オフタイマーボタン

- 自動的に電源を切ります。(P. 42 ページ)

18 数字 (1 ~ 6) ボタン

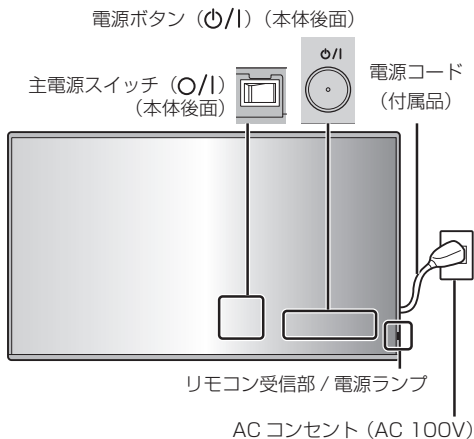
- よく使う操作をボタンに割り当て、ショートカットボタンとして使用します。(P. 88 ページ)

19 リモコン発信部

お知らせ

- 本書では < 入力切換 > のようにリモコンや本体のボタンを < > で表しています。また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合は、いずれのボタンもご使用になれます。

基本の操作



リモコンはリモコン受信部へ向けて操作してください



お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンはリモコン受信部の正面あるいはリモコン受信部を見通せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する

([P.21](#) ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する

(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いてから電源プラグを抜くか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の主電源スイッチ (O/I) を「入 (I)」にする

4 本体の電源ボタン (O/I) を押し 本体の電源を「入」にする

電源ランプ：青色点灯 (受像状態)

- 本体の電源が「入」のとき、電源ランプは点灯し、リモコンで操作ができます。
- 電源ランプが点灯している場合は、本体の電源ボタンを押す必要はありません。リモコンを操作して電源ランプを青色点灯 (受像状態) へ変更してください。

■ リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本体の主電源スイッチ「入 (I)」(電源ランプ --- 青色または紫色) でリモコンの電源ボタンを押すと受像します。

電源ランプ：青色点灯 (受像状態)

電源を切る

- 本体の主電源スイッチ「入 (I)」(電源ランプ --- 青色) でリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

電源ランプ：橙色または紫色点灯 (スタンバイ)

お知らせ

- 「パワーマネージメント」機能が働くと電源が「切」になり、電源ランプは紫色で点灯します。
(「パワーマネージメント」機能について [P.65](#) ページ)
- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。
- (受像状態) または「切 (O)」(スタンバイ状態) のときに本体の主電源スイッチを「切 (O)」にする、または本体の電源ボタン (O/I) を押し、ディスプレイ本体の電源が切れます。
- 「電源ランプ点灯設定」が「オフ」の場合、電源ランプは点灯しません。[P.95](#) ページ「電源ランプ点灯設定」

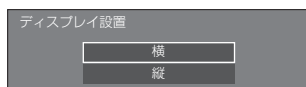
■初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。

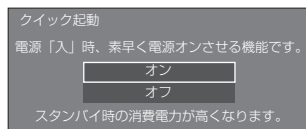
1 ▲▼でご利用の言語を選択し、 ＜決定＞を押す



2 縦置き設置をする場合は ▲▼で 「縦」を選択し、＜決定＞を押す



3 「クイック起動」を設定する場合は ▲▼で 「オン」を選択し、＜決定＞を押す



お知らせ

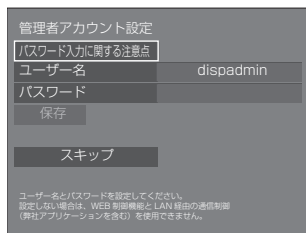
- 「クイック起動」設定は、本体ソフトウェアのメインマイコンのバージョンが Ver.2.4000 未満では利用できません。
- 「クイック起動」の設定画面で「オン」にカーソルを合わせると、以下のメッセージが表示されます。「スタンバイ時の消費電力が高くなります。」
- これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、次のメニューで設定してください。

表示言語切換 71 ページ

ディスプレイ設置 95 ページ

クイック起動 60 ページ

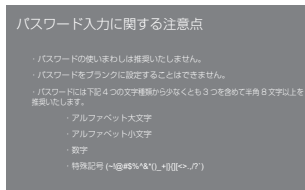
4 必要に応じてネットワークアカウントの 設定を行う。



ユーザー名とパスワードを設定してください。
設定しなおす場合は、Web管理機能からLAN経由の通信制御
(弊社アプリケーションを含む) を使用できません。

パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウィンドウで表示されます。



ユーザー名

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

- 文字の入力方法は「文字入力について」
(174 ページ) をご覧ください。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選ぶと確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選ぶとパスワードが決定されます。

保存

上記で設定したユーザー名およびパスワードをディスプレイ本体に保存します。

スキップ

本設定を行わずにこの画面を終了します。

お知らせ


- この画面は一度設定またはスキップすると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、次のメニューで設定してください。
ネットワーク設定 77 ページ

■ 電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。


無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。
( 71 ページ)

パワーマネージメントお知らせメッセージ

パワーマネージメントが働きました。




「パワーマネージメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。( 65 ページ)

カラーデザイン有効メッセージ

カラーデザイン設定はユニバーサルです。

「初期設定」メニューの「カラーデザイン設定」-「カラーデザイン」が「ユニバーサル」に設定されているときにお知らせメッセージが表示されます。

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

- 「起動設定」メニュー
 - お知らせ (無操作自動オフ) ( 59 ページ)
 - お知らせ (パワーマネージメント) ( 59 ページ)
 - お知らせ (カラーデザイン) ( 60 ページ)

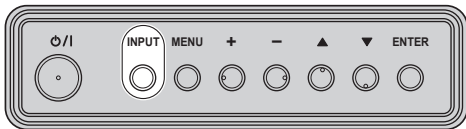
入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。

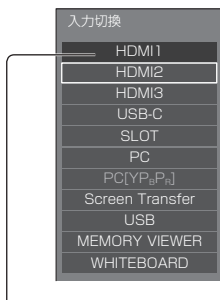
リモコンの <入力切換> または本体の <INPUT> を押す



本体ボタン



押すごとに入力が切り換わります。



HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → USB-C →
SLOT → PC → Screen Transfer →
USB または Internal Memory → MEMORY
VIEWER → WHITEBOARD

HDMI1 : HDMI IN 1 端子の HDMI 入力

HDMI2 : HDMI IN 2 端子の HDMI 入力

HDMI3 : HDMI IN 3 端子の HDMI 入力

USB-C : USB-C HOST 端子の USB-C 入力

SLOT : ファンクションボードの入力

PC^{*1} : PC IN 端子のパソコン入力

Screen Transfer :

当社の専用アプリケーション「Screen Transfer」を用いてネットワーク経由で伝送されてくる映像を表示する入力

USB^{*2} : USB 端子の USB 入力

Internal Memory^{*2} :

内蔵メモリーからの映像入力

MEMORY VIEWER :

USB 端子のメモリービューワー入力

WHITEBOARD :

WHITEBOARD 入力に切り換わります。

※ 1 「PC」は、「PC インプットモード」の設定により、「PC[YpPr]」と表示される場合があります。(P.95 ページ)

※ 2 「USB」と「Internal Memory」は、「使用メモリー選択」の設定で選択された方が表示されます (P.95 ページ)

お知らせ

- 「入力切換スキップ設定」で設定した入力、または、各機能無効時は選択できません。(P.64 ページ)
- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。(P.64 ページ)
- 「入力切換固定」が「オフ」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(P.71 ページ)
- PC IN 端子のコンポーネント（色差）ビデオ、RGB の切り換えは、接続した機器に合わせて「初期設定」- 「PC インプットモード」で設定します。(P.95 ページ)
- 静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の残像が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能と画面位置移動のご利用をおすすめします。(P.62・63 ページ)
- Screen Transfer 入力で Screen Transfer に接続している時に、他の入力に切り換えると接続が切れます。入力切り換え後、再度接続を確認してください。
- 「ホワイトボード設定」- 「ホワイトボード」を「オン」にすると、WHITEBOARD 入力が有効になります。(P.74 ページ)

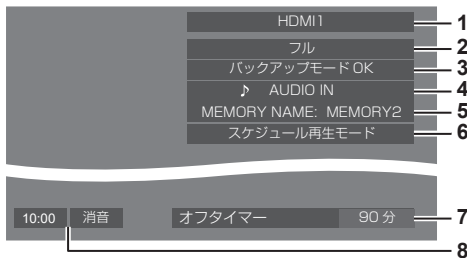
入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

<画面表示> を押す



現在の設定内容が表示されます。

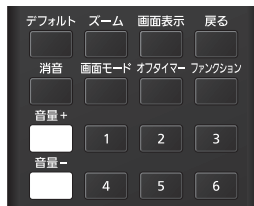


- 1 入力信号
- 2 画面モード (☞ 43 ページ)
- 3 バックアップ入力ステータス (☞ 62 ページ)
- 4 音声入力 (☞ 67 ページ)
- 5 メモリー名 (☞ 55 ページ)
- 6 スケジュール再生モード (☞ 135 ページ)
- 7 オフタイマー残り時間 (☞ 42 ページ)
- 8 時計/消音 (☞ 41、76 ページ)

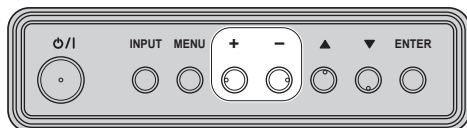
- ・ 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が、約 30 秒間表示されます。
- ・ USB 入力に切り換え時、USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合は「外部メディア無し」が約 30 秒間表示され、USB メモリーが接続されているが再生可能ファイルがない場合、「再生ファイル無し」が常に表示されます。
- ・ 「無信号イメージ設定」(☞ 70 ページ)の「表示設定」が「オン」の場合、「無信号」や「外部メディア無し」「再生ファイル無し」は表示されずに無信号イメージが表示されます。
- ・ 時計表示をするには、「日付と時刻」を設定し、「時計表示設定」を「オン」に設定してください。(☞ 75 ページ)

音量を調整する

リモコンの <音量 +> <音量 -> または本体の < + > < - > を押して音量を調節する



本体ボタン



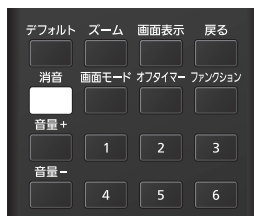
- ・ 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- ・ 最大音量設定機能が「オン」のときは、設定した音量まで上げると表示(数値)は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(☞ 96 ページ)
- ・ スタート音量設定機能が「オン」のときは、電源「入」時は設定した音量になります。(☞ 59 ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。

<消音> を押す

画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。



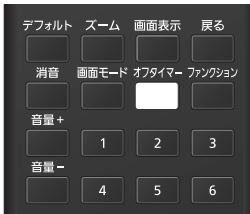
- ・ 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- ・ 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。
- ・ 無信号イメージ (☞ 69 ページ) が表示される場合は、操作後に「消音」は表示されません。


オフタイマーを使う

オフタイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。

<オフタイマー> を押しごとに、タイマー設定時間が選択できます。

0分 → 30分 → 60分 → 90分 → 0分（解除）

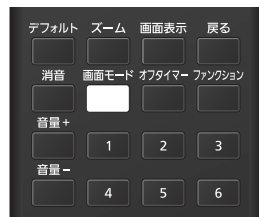


- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅（赤色）表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは <画面表示> を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。その後、電源が入るとスタンバイ状態になります。
- 無信号イメージ（ 70 ページ）が表示される場合は、タイマーが切れる3分前になっても残り時間の表示は行わず、電源が切れるまで無信号イメージを表示します。

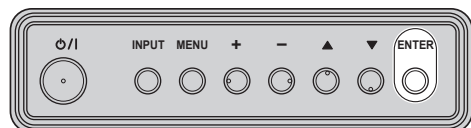
残り時間を確認するには <画面表示> を押ししてください。

映像に合わせた拡大画面にする（画面モード）

<画面モード>または本体の<ENTER>を押すごとに切り換わります。



本体ボタン



ノーマル → リアル → Hフィット →
Vフィット → スーム1 → スーム2 → フル

お知らせ

- Screen Transfer 入力時、画面モードの変更はできません。
 - 画面モードは入力端子ごとに記憶します。
 - 画面モード「Hフィット」「Vフィット」についてディスプレイを縦置きに設置しても、画面モード「Hフィット」「Vフィット」の拡大方向は横置きと変わりません。
- また、下記の場合も同様に拡大方向は変わりません。
- ・「ディスプレイ設置」を「縦」にしたとき。(P.95 ページ)
 - ・「USB メディアプレーヤー設定」- 「静止画回転」を「縦」にしたとき。(P.85 ページ)

画面モード一覧

画面モード	説明
フル	<p>映像を画面いっぱいに表示します。</p>
ノーマル	<p>入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。</p>

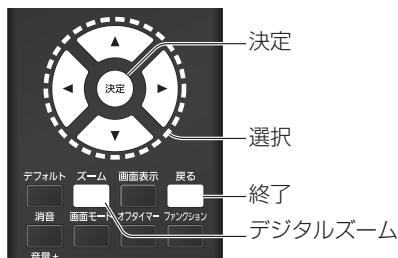
画面モード	説明
リアル	<p>映像を入力信号の解像度のまま表示します。</p>
Hフィット	<p>映像の水平方向を画面最大に拡大して表示します。</p> <p>画面のアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の上下が切られて表示されます。</p>
Vフィット	<p>映像の垂直方向を画面最大に拡大して表示します。</p> <p>画面のアスペクトよりも横長のアスペクト比を持つ信号は、画像の左右が切られて表示されます。</p>
ズーム1	<p>16:9のレターボックス映像を縦方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。</p>
ズーム2	<p>16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。</p>

お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の縮小や拡大等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意ください。
- ワイド映像でない4:3の映像をズーム・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

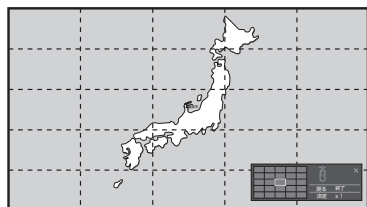
画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)

拡大したい画面領域（25 領域）を選び、選んだ画像領域を 2 倍、3 倍、4 倍に拡大します。
(リモコンで操作してください。本体のボタンでは一部の操作ができません。)



1 デジタルズームモードにする

<ズーム>を押します。



画面のアスペクトは「フル」になり、デジタルズーム操作ガイドが表示されます。

2 拡大したい画像領域を選ぶ

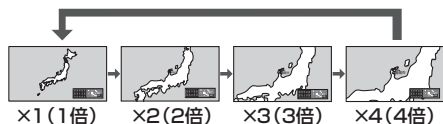
▼▲◀▶を押して選びます。



デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

<決定>を押すごとに、切り換わります。



- 画面の拡大率が「× 1 (1 倍)」の場合に、
「メニュー表示時間」(P.90 ページ) で設定した時間 (5 ~ 180 秒) 操作をしないと、終了します。
- 画面の拡大率が「× 2 (2 倍)」、
「× 3 (3 倍)」、
「× 4 (4 倍)」の場合に、約 3 秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。
▼▲◀▶のいずれかを押すと、再度表示します。

4 デジタルズームモードを終了する

<戻る>を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。
その後、押されたボタンの動作を行います。
リモコン：<自動位置補正><位置調整>
<画質調整><入力切替>
<初期設定><音声調整>
<デフォルト><画面表示>
<消音><画面モード>
<オフタイマー>
<ファンクション><音量 +>
<音量 -><1>~<6>

本体：<INPUT> <MENU> < + >
< - > ▲ ▼ <ENTER>

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
 - ・ リモコンの電源ボタンを押して電源を「切」にしたとき
 - ・ 本体の電源ボタンを「切」にしたとき
 - ・ オフタイマーで電源が「切」になったとき
 - ・ 無信号自動オフやパワーマネジメントなどで電源が「切」になったときなど

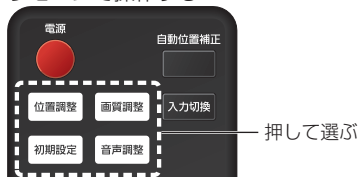
お知らせ

- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
 - ・ 「マルチ画面設定」 - 「マルチスクリーン表示」を「オン」に設定しているとき
 - ・ スクリーンセーバー起動中のとき
 - ・ 「ポートレート設定」 - 「ポートレート表示」を「オン」に設定しているとき
 - ・ Screen Transfer / USB / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD 入力を選択しているとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。
- マルチ画面の用途には「マルチ画面設定」の機能をご利用ください。(P.71 ページ)

オンスクリーンメニューについて

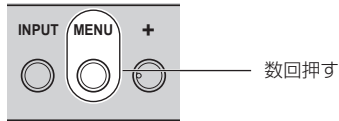
1 メニュー画面を表示する

リモコンで操作する



押して選ぶ

本体のボタンで操作する

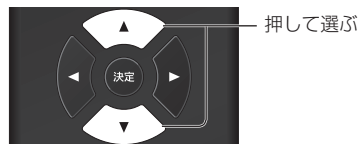


数回押す

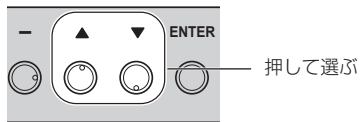
押すたびにメニュー画面が切り換わります。

通常画面 → 画質の調整 → 初期設定 → 位置調整 → 音声の調整

2 設定項目を選択する



押して選ぶ



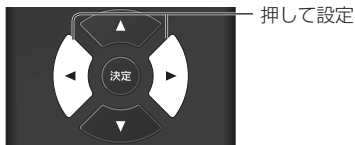
押して選ぶ

(例：画質の調整メニュー)

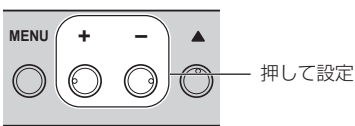
画質の調整	
デフォルト	デフォルト
映像メニュー	< スタンダード >
バックライト	< 50 >
ピクチャー	< 50 >
黒レベル	< 50 >
色の濃さ	< 50 >
色あい	< 50 >
シャープネス	< 50 >
シャープネス強度	< 高 >
ガンマ	< 2.2 >
色温度設定	< 9300K >
カラーマネジメント	< オフ >
適応コントラスト補正	< 5 >
カラーエンハンスメント	< オフ >
ブルーライト低減	< オフ >
リファインエンハンサー	< オフ >
階調スムーサー	< オフ >
メモリー保存	
メモリー呼出	
メモリー編集	

サブメニューを表示する場合、< 決定 > を押してください。

3 設定する

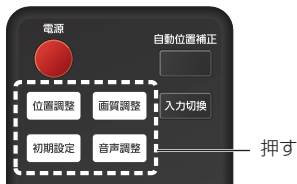


押して設定



押して設定

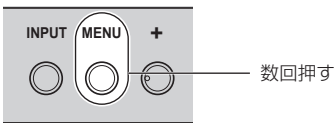
4 設定を終了する



押す

< 戻る > を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

または、手順 1 で選んだボタンを押して設定を終了することができます。



数回押す

お知らせ

- 本機の設定変更時、一時的に映像、音声に乱れが発生することがありますが故障ではありません。

メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

位置調整 (p. 47 ページ)

位置調整	
デフォルト	デフォルト
自動位置補正	
水平位置	< 0 <input type="text"/> >
水平サイズ	< 0 <input type="text"/> >
垂直位置	< 0 <input type="text"/> >
垂直サイズ	< 0 <input type="text"/> >
クロック位相	< 15 <input type="text"/> >
ドットクロック	< 0 <input type="text"/> >
オーバースキャン	< オフ >
自動位置補正設定 < オフ >	

音声の調整 (p. 49 ページ)

音声の調整	
デフォルト	デフォルト
出力切換	< スピーカー >
バランス	< 0 <input type="text"/> >
音声メニュー	< スタンダード >
バス	< 0 <input type="text"/> >
トレブル	< 0 <input type="text"/> >
サラウンド	< オフ >
音量自動調整	
設置	< 壁掛け >

画質の調整 (p. 50 ~ 55 ページ)

画質の調整	
デフォルト	デフォルト
映像メニュー	< スタンダード >
バックライト	< 50 <input type="text"/> >
ピクチャー	< 50 <input type="text"/> >
黒レベル	< 50 <input type="text"/> >
色の濃さ	< 50 <input type="text"/> >
色あい	< 50 <input type="text"/> >
シャープネス	< 50 <input type="text"/> >
シャープネス強度	< 高 >
ガンマ	< 2.2 >
色温度設定	< 9300K >
カラーマネジメント	< オフ >
適応コントラスト補正	< 5 <input type="text"/> >
カラーエンハンスメント	< オフ >
ブルーライト低減	< オフ >
リファインエンハンサー	< オフ >
階調スムーサー	< オフ >
メモリー保存	
メモリー呼出	
メモリー編集	

初期設定 (p. 56 ~ 97 ページ)

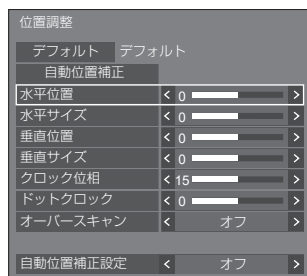
初期設定		1/3
信号モード		
起動設定		
入力信号サーチ		
フェイルオーバー/フェイルバック		
スクリーンセーバー		
入力表示書換設定		
入力切換スキップ設定		
パワーマネジメント設定		
音声入力切換		
外部機器連携設定		
HDMI-CEC 設定		
イメージ設定		
入力切換固定	< オフ >	>
オフタイマー機能	< 有効 >	>
無操作自動オフ	< 無効 >	>
表示言語切換	< 日本語 >	>

初期設定		2/3
マルチ画面設定		
ポートレート設定		
ホワイトボード設定		
ビデオ会議モード設定		
タイマー設定		
日付と時刻		
ネットワーク設定		
USB メディアプレーヤー設定		
メモリービューワー設定		
Screen Transfer 設定		
ワイヤレスプレゼンテーション設定		
ファンクション設定		
カラーデザイン設定		
OSD 設定		

初期設定		3/3
オプション設定		
コントロール設定		
センサー設定		
情報通知タイミング		
動作設定		
制限設定		
SLOT 設定		

位置調整

1 < 位置調整 > を押して「位置調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 < 位置調整 > を押して設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

< 戻る > を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

「デフォルト」を選んでいるときに < 決定 > を押すと表示されているメニューの調整値がすべて標準値に戻ります。

各項目を調整中に < デフォルト > を押すと、その項目のみ標準値に戻ります。

お知らせ

- Screen Transfer または WHITEBOARD 入力時、「位置調整」はできません。
- 「位置調整」の各調整は入力信号ごとに記憶します。

「位置調整」について

ディスプレイを縦置きに設置しても位置 / サイズの調整方向は変わりません。

「映像回転」が「180度」の場合は調整方向が「オフ」の場合の逆になります。(P.95 ページ)

ご注意の上調整してください。

自動位置補正

パソコン信号入力時に「水平位置 / 垂直位置」、「水平サイズ / 垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。

本設定は以下の条件で動作します。

- アナログ信号 (PC) 入力時で、「PC インพุットモード」が「PC」、画面モードが「フル」の場合に本設定が有効になります。(P.95 ページ)

対応する信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、< 決定 > を押す

リモコンで操作する

< 自動位置補正 > を押す

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

お知らせ

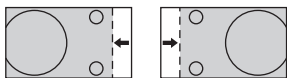
- パソコン信号でドットクロック 162 MHz 以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判別しにくい画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置 / サイズなどの微調整を行ってください。
- XGA 信号 (1024 x 768、1280 x 768、1366 x 768) で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGA モード」(P.57 ページ) で個別信号を選択設定しておく、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3 個同期信号が付加された映像信号の入力時は正しく自動位置補正できません。
- 「自動位置補正設定」を「オン」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。
 - ディスプレイの電源を「入」にしたとき
 - 入力信号が切り変わったとき

お願い

- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「デフォルト」を選び、< 決定 > を押した後、手動で位置 / サイズなどの調整を行ってください。

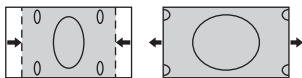
水平位置

◀▶ で画面を左右に移動します。



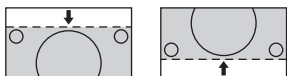
水平サイズ

◀▶ で画面を左右に拡大／縮小します。



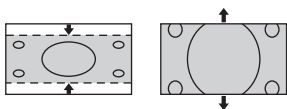
垂直位置

◀▶ で画面を上下に移動します。



垂直サイズ

◀▶ で画面を上下に拡大／縮小します。



クロック位相

(PC IN 入力時)

パソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっとも見やすくなるよう調整してください。

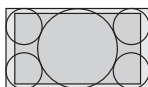
ドットクロック

(PC IN 入力時)

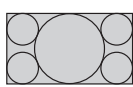
縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。

オーバースキャン

画像のオーバースキャンをオフ／オンします。



「オン」



「オフ」

お知らせ

- 画面モードが「フル」、「ズーム 1」、「ズーム 2」の場合に有効となります。

ただし、USB / MEMORY VIEWER 入力時、マルチ画面のマルチスクリーン表示、デジタルズームの場合は無効となります。

自動位置補正設定

「位置調整」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

オフ: リモコンの <自動位置補正> を押したときや「位置調整」メニューで自動位置補正を実行したときに動作します。

オン: リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。

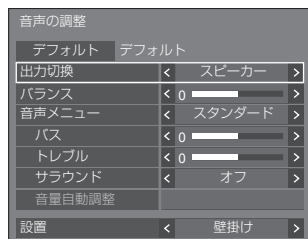
- ・ ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- ・ 入力信号が切り変わったとき

お知らせ

- 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- 「クロック位相」と「ドットクロック」は、PC IN 入力時において、「PC 入力モード」が「PC」のときのみ有効です。

音声の調整

1 < 音声調整 > を押して 「音声の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。

3 ◀▶ で設定をする

4 < 音声調整 > を押して 設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

< 戻る > を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

メニュー表示中に < デフォルト > を押す、または「デフォルト」を選んでいるときに < 決定 > を押すと表示されているメニューの調整値がすべて標準値に戻ります。

出力切換 音声出力を選びます。

スピーカー：内蔵スピーカー出力

外部出力： AUDIO OUT 端子出力

- 「外部出力」を選択した場合、他のメニューはグレー表示になり、設定できません。

- 音量は、出力選択ごとに記憶します。

バランス 左右の音量を調節します。

音声メニュー 最適な音質を選びます。

スタンダード：送られてくるそのままの音で聞きます。

ダイナミック：メリハリ感を強調した音で聞きます。

クリア：人の声を聞きやすくした音で聞きます。

バス 低音を調節します。

トレブル 高音を調節します。

サラウンド
オフ：通常の音声。
オン：臨場感のある音声。

お知らせ

- バス、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。

音量自動調整 音量レベルを自動調整します。ばらつき度合に応じて「弱」「中」「強」から選びます。

オフ、弱、中、強 (効果小～効果大)

お知らせ

- 本メニューは「音声メニュー」で「クリア」を選択したときに有効になります。
- 「音量自動調整」オン時(強 / 中 / 弱)は、「サラウンド」は「オフ」になります。
- テレビ会議等でご使用時に音量レベルがばらつきにご使用ください。
- 音楽を聴く場合、ボーカルと楽器の音量バランスが崩れて違和感を感じたり、ノイズ音が強調されて音声聞きづらくなる場合があります。このような場合は、調整レベルを下げるか(例：強→弱)、「オフ」に設定してください。

設置 設置環境に適した音声に切り換えます。

スタンド：スタンド設置を考慮した音声になります。

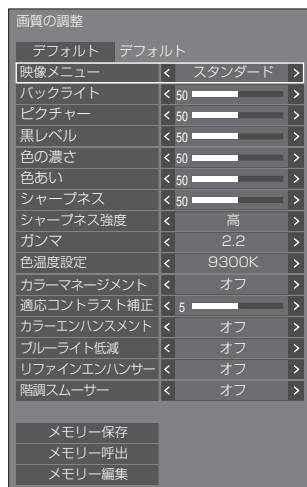
壁掛け：壁掛けを考慮し反射音を少し抑えた音声になります。

お知らせ

- 本メニューは「出力切換」で「スピーカー」を選択したときに有効になります。
- ARC 対応機器に音声を出力する場合、「ARC 機能を使う」(166 ページ)をご覧ください。

画質の調整

1 < 画質調整 > を押して 「画質の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。

3 ◀▶ で設定をする

4 < 画質調整 > を押して 設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

< 戻る > を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

「デフォルト」を選んでおき、< 決定 > を押すと表示されているメニューの調整値がすべて標準値に戻ります。

各項目を調整中に < デフォルト > を押すと、その項目のみ標準値に戻ります。

お知らせ

- USB/Internal Memory 入力 (USB メディアプレーヤー) で静止画を表示する場合、WHITEBOARD 入力の場合 (145 ページ)、または MEMORY VIEWER 入力 (メモリービューワー) のサムネイル画面やファイルリスト画面を表示する場合 (145 ページ)、次の設定項目のみ映像効果があります。バックライト、ガンマ、色温度設定、ブルーライト低減

映像メニュー 映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

ビビッド より鮮明でくっきりとした映像になり、店舗などの明るい環境下でのサイネージ用途に適しています。

ナチュラル 照明下でも色の再現性を重視した自然な色合いの映像になり、商品展示などのサイネージ用途に適しています。

スタンダード 原画を忠実に再現した映像になります。

監視 明るさを抑え階調性を重視、監視カメラからの入力に適した画像になります。

グラフィック パソコン入力に適した画像になります。

DICOM DICOM Part14 グレースケール規格に近い画像になります。

- 設定は入力端子ごとに記憶します。

お知らせ

- DICOMとは「Digital Imaging and Communication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。DICOMの名称を用いますが、本機は医療機器ではありませんので表示画像を診断などの用途に使用しないでください。

バックライト バックライトの明るさを調整します。

暗く ↔ 明るく

ピクチャー 映像の明暗度を調整します。

暗く ↔ 明るく

黒レベル 画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

暗く ↔ 明るく

色の濃さ 淡く ↔ 濃く

色あい 肌色部分の色あいを調整します。赤紫色がかった色に ↔ 緑色がかった色に

シャープネス 映像輪郭の鮮明度を調整します。ソフト ↔ シャープ

シャープネス強度 シャープネスの効果のレンジを切り換えます。

高: 効果大

低: 効果小

ガンマ 明るさ感を調整します。

2.0、2.2、2.4、2.6、DICOM:
傾き小～傾き大

お知らせ

- 「映像メニュー」で「DICOM」を選択した場合、「ガンマ」は「DICOM」に固定されます。また、「映像メニュー」で「DICOM」以外を選択した場合、「ガンマ」に「DICOM」を設定できません。

色温度設定 画面の色調を調整します。
3200K、4000K、5000K、
6500K、7500K、9300K、
10700K、ネイティブ、ユーザー 1、
ユーザー 2

お知らせ

- 色温度の数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます。
- 「ネイティブ」は、液晶パネルの素の色調となります。その際、「ガンマ」は 2.2 相当に固定となり、調整できなくなります。
- 「映像メニュー」で「DICOM」を選択した場合、「6500K」と「9300K」のみ選択できます。

色温度のユーザー設定

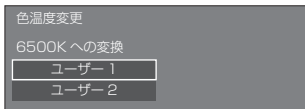
「ユーザー 1」と「ユーザー 2」の 2 種類の色温度詳細設定を保存できます。

- 1 「色温度設定」を設定中に
< 決定 > を押す。

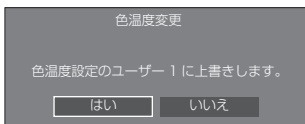


例：色温度設定が 6500K のとき、6500K の設定値を、ユーザー 1 およびユーザー 2 のユーザー設定に反映させる事ができます。

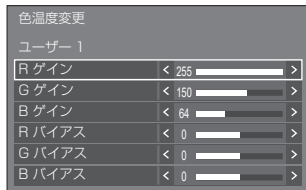
- 2 ▲▼ で設定を保存するユーザーを選び< 決定 > を押す。



- 3 ◀▶ で「はい」を選び< 決定 > を押す。



- 4 詳細設定画面で各種設定をする。



R ゲイン	赤色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
G ゲイン	緑色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
B ゲイン	青色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
R バイアス	赤色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128
G バイアス	緑色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128
B バイアス	青色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128

設定した内容がユーザーに保存されます。

「画質の調整」メニューに戻ると、「色温度設定」には設定したユーザーが選ばれています。



カラー マネージメント

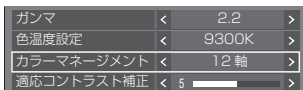
画面上の色調を、R (赤色)・G (緑色)・B (青色)・補色 (シアン、マゼンタ、黄色) およびその中間色ごとに個別に調整します。

オフ： カラーマネージメント機能は無効になります。

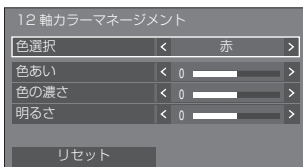
6 軸： 6 軸カラーマネージメント機能が有効になります。

12 軸： 12 軸カラーマネージメント機能が有効になります。

- 1 「カラーマネージメント」を「6 軸」または「12 軸」に切り換えた後、**< 決定 >**を押す。



- 2 詳細設定画面で各種設定をする。



色選択	◀▶ で調整する色を選択します。
色あい	色のバランスを調整します。 - 127 ~ + 127
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 - 127 ~ + 127
明るさ	色の明るさを調整します。 - 127 ~ + 127
リセット	設定を初期状態に戻します。◀▶ で「はい」を選び、 < 決定 > を押します。

お知らせ

- 「6 軸」を選択した場合は、R (赤色)・G (緑色)・B (青色) および補色 (シアン、マゼンタ、黄色) ごとに調整ができます。「12 軸」を選択した場合は、「6 軸」の項目に加えて、その中間色についても調整ができます。

適応コントラスト補正 動画など変化していく映像に対して、色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整します。

効果なし ↔ 効果大

カラーエンハンスメント 色を強調して表示します。

オフ、低、中、高 (効果小～効果大)

ブルーライト低減 映像のブルーライトを低減します。

オフ、低、中、高 (効果小～効果大)

お知らせ

- 「オフ」以外に設定した場合、黄色味がかった映像になります。

リファインエンハンサー リサイズなどによって生じた不明瞭な映像の輪郭部を補正し、映像の解像感を高めます。

オフ、低、中、高 (効果小～効果大)

階調スモーカー 入力された映像信号からノイズ成分だけを抽出・除去し、ノイズ感の少ない映像を表示します。

オフ、オン

メモリー機能を使う

6通りの映像調整値（「画質の調整」メニュー）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

画質の調整

デフォルト	デフォルト
映像メニュー	< スタANDARD >
バックライト	< 50 >
ピクチャー	< 50 >
黒レベル	< 50 >
色の濃さ	< 50 >
色あい	< 50 >
シャープネス	< 50 >
シャープネス強度	< 高 >
ガンマ	< 2.2 >
色温度設定	< 9300K >
カラーマネージメント	< オフ >
適応コントラスト補正	< 5 >
カラーエンハンスメント	< オフ >
ブルーライト低減	< オフ >
リファインエンハンサー	< オフ >
階調スムーサー	< オフ >

メモリー保存
メモリー呼出
メモリー編集

メモリー保存

(☞ 54 ページ)

メモリー呼出

(☞ 54 ページ)

メモリー編集

(☞ 55 ページ)

1. []	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3
4. []	MEMORY4
5. []	MEMORY5
6. []	MEMORY6

メモリー機能の概要

オリジナル映像



映像を調整する
(☞ 50 ~ 52 ページ)



カスタム映像



例)
映像調整値を
MEMORY1 に保存する
(メモリー保存)

オリジナル映像



例)
MEMORY1 を呼び出す
(メモリー呼出)



カスタム映像



メモリー編集画面

1. [*]	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

例)
メモリー名を「MY
PICTURE」に変更する
(メモリー編集)



1. [*]	MY PICTURE
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

メモリーに保存する

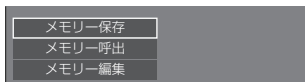
映像調整値をメモリーに保存します。

1 「画質の調整」メニューで、 画質を設定する

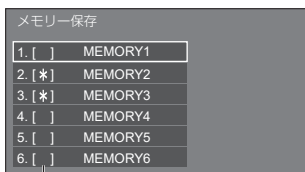
(☞ 50 ~ 52 ページ)

2 「画質の調整」メニューで

▲▼ で「メモリー保存」を選んで
< 決定 > を押す



3 ▲▼ で映像調整値を保存するメモリー名 を選んで < 決定 > を押す



・すでに映像調整値が保存されているメモリーには「*」が表示されます。

4 ◀▶ で「はい」を選んで < 決定 > を押す



5 ▲▼◀▶ でメモリー名を入力する

・文字の入力方法は「文字入力について」
(☞ 174 ページ) をご覧ください。



6 メモリー名の入力が終わったら

▲▼◀▶ で「確定」を選び
< 決定 > を押す



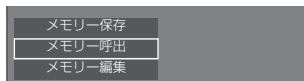
・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリーを呼び出す

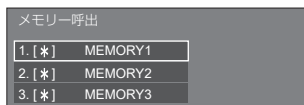
メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

1 「画質の調整」メニューで

▲▼ で「メモリー呼出」を選んで
< 決定 > を押す



2 ▲▼ で呼び出すメモリーを選んで < 決定 > を押す



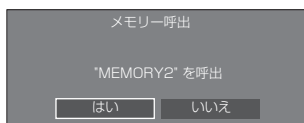
リモコンの数字ボタンでメモリーを呼び出す

数字ボタン <1> ~ <6> にはそれぞれ MEMORY1 ~ MEMORY 6 の呼び出し機能が割り当てられています。

「ファンクション設定」(☞ 88 ページ)

1 <1> ~ <6> のいずれかを押す

2 ◀▶ で「はい」を選んで < 決定 > を押す



メモリーを呼び出しているときはメモリー名を表示します。



お知らせ

- 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。

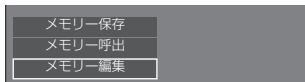
メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

1 「画質の調整」メニューで

▲▼で「メモリー編集」を選んで
<決定>を押す



2 ▲▼で「メモリー削除」を選んで <決定>を押す



3 ▲▼で削除するメモリーを選んで <決定>を押す



- すべてのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

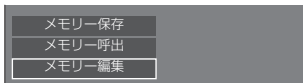
4 ◀▶で「はい」を選んで <決定>を押す



■メモリー名を変更する

1 「画質の調整」メニューで

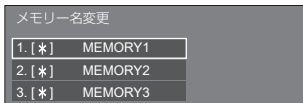
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<決定>を押す



2 ▲▼で「メモリー名変更」を選んで <決定>を押す



3 ▲▼で名前を変更するメモリーを選んで <決定>を押す



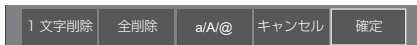
4 ▲▼◀▶でメモリー名を入力する

- 文字の入力方法は「文字入力について」(P.174 ページ)をご覧ください。



5 メモリー名の入力が終わったら

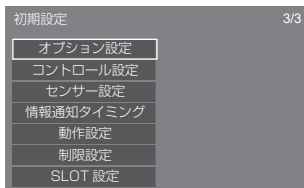
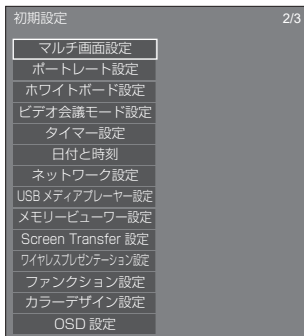
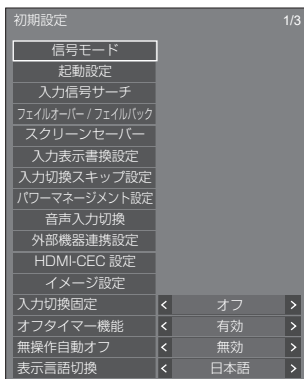
▲▼◀▶で「確定」を選び
<決定>を押す



- 「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。

初期設定

1 < 初期設定 > を押して 「初期設定」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。
信号入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

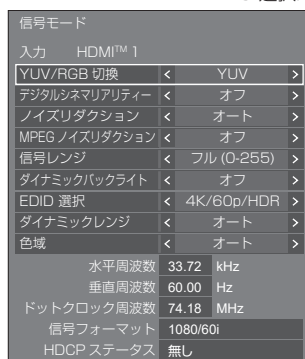
4 < 初期設定 > を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

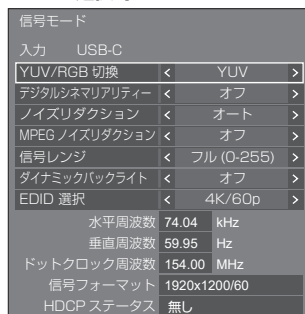
< 戻る > を押す。

信号モード

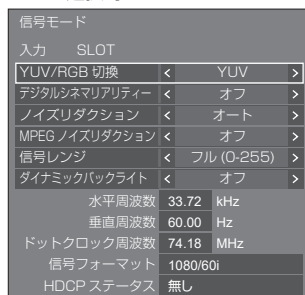
「信号モード」サブメニュー画面 (例)
HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 選択時



USB-C 選択時



SLOT 選択時



PC 選択時

信号モード	
入力 PC	
デジタルシネマリアリティー <	オフ >
ノイズリダクション <	オート >
MPEG ノイズリダクション <	オフ >
XGA モード <	オート >
入力レベル <	0
ダイナミックバックライト <	オフ >
水平周波数	74.04 kHz
垂直周波数	59.95 Hz
ドットクロック周波数	154.00 MHz
信号フォーマット	1920x1200/60

PC[YpPr] 選択時

信号モード	
入力 PC[YpPr]	
デジタルシネマリアリティー <	オフ >
ノイズリダクション <	オート >
MPEG ノイズリダクション <	オフ >
入力レベル <	0
ダイナミックバックライト <	オフ >
水平周波数	33.72 kHz
垂直周波数	60.00 Hz
ドットクロック周波数	74.18 MHz
信号フォーマット	1080/60i

Screen Transfer / USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD 選択時

信号モード	
入力 Screen Transfer	
ノイズリダクション <	オート >
MPEG ノイズリダクション <	オフ >

お知らせ

- 「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。
- 「信号モード」の「入力」項目には選択した入力が表示されます。
- 調整できない項目はグレー表示になります。

YUV/RGB 切替

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、USB-C および SLOT 入力時に表示されます。各端子の入力信号方式に合わせて設定します。

YUV : YUV 信号

RGB : RGB 信号

お知らせ

- 入力端子ごとに設定してください。

デジタルシネマリアリティー

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。通常は「オフ」に設定してください。

お知らせ

- 「デジタルシネマリアリティー」を「オン」にすると、映画など、毎秒 24 コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
- 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。

ノイズリダクション

映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

オフ :

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強 :

ノイズリダクションの強弱を設定します。

オート :

「ノイズリダクション」は「弱」、「中」、「強」から自動的に選択されます。

MPEG ノイズリダクション

MPEG 映像に特有なノイズを低減します。

オフ :

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強 :

ノイズリダクションの強弱を設定します。

XGA モード

本メニューは、PC IN 入力時で「PC インputモード」が「PC」の時に表示されます。

本機は、画角 / サンプリングが異なる XGA 信号 (1024 x 768、1280 x 768、1366 x 768) に対応しています。

オート :

信号の自動判別を行います。

画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ

- 本設定を行った後は、必要に応じて「位置調整」メニューの各調整（「自動位置補正」など）を行ってください。（[P.47](#) ページ）

信号レンジ

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3、USB-C および SLOT 入力時に表示されます。各端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

ビデオ (16-235) :

入力信号がビデオレンジの場合。

例：ブルーレイディスクプレイヤーの HDMI 端子出力

フル (0-255) :

入力信号がフルレンジの場合。

例：パソコンの HDMI 端子出力

オート :

入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ (16-235)」または「フル (0-255)」に切り換えます。

入力レベル

本メニューは PC IN 入力時に表示されます。

特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。

－ 16 ～ + 16 :

(レベル低) ～ (レベル高)

■ ダイナミックバックライト

平均輝度レベル (APL) の低い信号入力時にバックライトを制御することで映像のコントラストを向上、白浮きを低減させます。

オン：

ダイナミックバックライトが有効になります。

オフ：

ダイナミックバックライトが無効になります。

お知らせ

- 本機能が「オン」の時、オンスクリーンメニュー表示中に、メニュー操作や入力信号の切り換えにより、画面が暗くなることがあります。オンスクリーンメニューを非表示にすることにより、画面は適切な明るさに戻ります。
- 入力毎に「ダイナミックバックライト」の設定が異なる場合、入力切り換えにて画面の明るさが変わることがあります。
- 表示映像によってはちらつきが出る場合があります。気になる場合は、「ダイナミックバックライト」を「オフ」にしてご使用ください。

■ EDID 選択

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3 および USB-C 入力時に表示されます。各端子の EDID のデータを切り換えます。

4K/60p/SDR：

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 60Hz) に対応した EDID にします。SDR (Standard Dynamic Range) に対応した EDID です。HDR (High Dynamic Range) には対応していません。

4K/60p/HDR：

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 60Hz) に対応した EDID に設定します。HDR (High Dynamic Range) に対応した EDID です。

4K/60p：

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 60Hz) に対応した EDID にします。

4K/30p：

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 30Hz) に対応した EDID にします。

2K：

2K 映像信号 (最大 1 920 x 1 200 ドット) に対応した EDID にします。

お知らせ

- HDMI IN 入力時の選択肢は、「4K/60p/SDR」、「4K/60p/HDR」、「4K/30p」、「2K」となります。USB-C 入力時の選択肢は、「4K/60p」、「4K/30p」、「2K」となります。
- 「4K/60p/SDR」または「4K/60p/HDR」に設定して 4K 映像信号を入力しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を「4K/30p」に切り換えてください。

- 「4K/60p/SDR」、「4K/60p/HDR」または「4K/30p」に設定して 2K 映像以下の信号を入力しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を「2K」に切り換えてください。
- 「4K/60p/SDR」、「4K/60p/HDR」、「4K/30p」、「2K」の EDID に記述している信号について、詳しくは「プリセット信号」(P.175 ページ) をご覧ください。

■ ダイナミックレンジ

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2 および HDMI IN 3 入力時に表示されます。

ダイナミックレンジを切り換えます。

オート：

AVInfoFrame の情報に従って、自動で設定します。

HDR (PQ)：

HDR (PQ (Perceptual Quantization)) に対応したダイナミックレンジを設定します。

HDR (HLG)：

HDR (HLG (Hybrid Log Gamma)) に対応したダイナミックレンジを設定します。

SDR：

SDR に対応したダイナミックレンジを設定します。

■ 色域

本メニューは HDMI IN 1、HDMI IN 2 および HDMI IN 3 入力時に表示されます。

色域を切り換えます。

オート：

AVInfoFrame の ITU-2020 emu. 情報に従って、自動で色域を設定します。

ネイティブ：

本機独自の色空間で表示します。

ITU-2020 emu.：

ITU-R BT2020 規格に近い色空間で表示します。

■ 入力信号表示

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.72	kHz
垂直周波数	60.00	Hz
ドットクロック周波数	74.18	MHz
信号フォーマット	1080i/60i	
HDCP ステータス	無し	

表示範囲：

水平走査周波数 (15 kHz ~ 135 kHz)

垂直走査周波数 (24 Hz ~ 120 Hz)

デジタル信号およびパソコン信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

また、デジタル信号入力時には、HDCP ステータス情報を表示します。

起動設定

電源「入」時の各種設定を行います。

「起動設定」サブメニュー画面

起動設定		
スタート入力設定	< オフ >	>
電源復帰モード	< ラストメモリー >	>
スタート音量設定機能	< オフ >	>
スタート音量設定	< 0 >	>
起動遅延制御	< オフ >	>
お知らせ(無操作自動オフ)	< オフ >	>
お知らせ(パワーマネージメント)	< オフ >	>
お知らせ(カラーデザイン)	< オフ >	>
クイック起動	< オフ >	>

■ スタート入力設定

電源「入」時の入力を設定します。

オフ / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / USB-C / SLOT / PC / PC[YP_sPr] / Screen Transfer / USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD

お知らせ

- 「入力切替固定」が「オフ」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 71 ページ)

■ 電源復帰モード

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

ラストメモリー：電源が切れる前の状態で復帰します。

オン：電源「入」の状態復帰します
(電源ランプ：青色点灯)。

スタンバイ：電源「スタンバイ」の状態復帰します (電源ランプ：橙色 / 紫色点灯)。

お知らせ

- 本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「スタンバイ」に設定されることをおすすめします。

■ スタート音量設定機能

電源「入」時の音量設定機能の有効 / 無効を設定します。

オフ：電源「切」前の状態の音量になります。

オン：「スタート音量設定」で設定した音量になります。

■ スタート音量設定

スタート音量設定機能有効時の音量を設定します。

お知らせ

- メニューの「スタート音量設定機能」が「オン」の状態のときは、設定されている音量で出力します。
- 「最大音量設定機能」が「オン」のときは「最大音量設定」で設定した音量以上には設定できません。

■ 起動遅延制御

複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。ディスプレイごとに設定してください。

オフ：電源「入」と同時に電源が入ります。

オート：ディスプレイ ID で設定された番号に合わせて、遅延時間を自動で設定します。

ディスプレイ ID に 0.3 秒を掛けることで遅延時間が決定します。

例：ディスプレイ ID が 3 の場合 → 0.9 秒

1 ~ 30：遅延時間 (秒) を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが青色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。

■ お知らせ (無操作自動オフ)

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

オン：電源「入」時に警告メッセージを表示します。

オフ：電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。(☞ 71 ページ)

■ お知らせ (パワーマネージメント)

電源「入」時、パワーマネージメントによって電源オフされた事をお知らせするメッセージの表示 / 非表示を設定します。

オン：電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。

オフ：電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「パワーマネージメント」機能が「オン」の場合に有効になります。(☞ 65 ページ)

■お知らせ (カラーデザイン)

電源「入」時、「カラーデザイン設定」が「ユニバーサル」であることをお知らせするメッセージの表示 / 非表示を設定します。

オン: 電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。

オフ: 電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「カラーデザイン」機能が「ユニバーサル」の場合に有効になります。(☞ 89 ページ)

■クイック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

オン: 電源「入」時に素早く電源オンします。

オフ: 電源「入」時に通常通り電源オンします。

お知らせ

- 本設定が「オン」の場合、スタンバイ時の消費電力が高くなります。

入力信号サーチ

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り換えます。

お知らせ

- MEMORY VIEWER、Screen Transfer および WHITEBOARD 入力は、本機能の対象外です。
- 入力を USB に設定時、USB メモリーが接続されていない場合に無信号と判断します。また、USB メモリーを接続していても、再生できない場合は無信号と判断します。
- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - ・「フェイルオーバー / フェイルバック」が「オフ」以外の場合。(☞ 61 ページ)
 - ・「パワーマネージメントモード」が「入力信号検出」の場合。(☞ 65 ページ)
 - ・「入力切替固定」が「オフ」以外の場合。(☞ 71 ページ)
 - ・「初期設定」-「イメージ設定」で「無信号イメージ設定」-「表示設定」が「オン」の場合。(☞ 70 ページ)
 - ・「SLOT 電源連動」が「オン」の場合。(☞ 97 ページ)
- 本機能で入力が切り換わった場合、次回電源「入」時はその入力になります。電源「入」時に元の入力にするには「スタート入力設定」を元の入力に設定してください。(☞ 59 ページ)

「入力信号サーチ」サブメニュー画面

入力信号サーチ		
入力信号サーチ	<	カスタム >
プライマリーサーチ入力	<	(無し) >
セカンダリーサーチ入力	<	(無し) >

■入力信号サーチ

オフ: 無信号時、入力の自動切り換えをしません。

全入力: 全入力をサーチして、信号のある入力に切り換えます。

下記の順で入力をサーチします。

例: 現在の入力が HDMI1 の場合

**HDMI2 → HDMI3 → USB-C → SLOT
→ PC → USB または Internal Memory
→ HDMI1 →**

お知らせ

- 「入力切替スキップ設定」(☞ 64 ページ)で「オン」に設定している入力は飛び越してサーチします。

カスタム: 「現在の入力」、「プライマリーサーチ入力」、「セカンダリーサーチ入力」の順にサーチを繰り返して、信号のある入力に切り換えます。

入力信号検出: 「オン」に設定した入力を監視し、入力信号が無信号状態から信号ありの状態に変化したことを検出して、その入力に切り換える機能です。

HDMI1
サーチ中

入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。

■入力信号サーチ：カスタム

プライマリーサーチ入力、セカンダリーサーチ入力

「カスタム」のときにサーチする入力を設定します。

**HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / USB-C / SLOT / PC
/ PC[YPbPr] / USB/Internal Memory / (無し)**

■入力信号サーチ：入力信号検出

入力信号サーチ		
入力信号サーチ	<	入力信号検出 >
HDMI1	<	オフ >
HDMI2	<	オフ >
HDMI3	<	オフ >
USB-C	<	オフ >
SLOT	<	オフ >
PC	<	オフ >
切替遅延	<	オフ >

「入力信号検出」のときに監視する入力を設定します。

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / USB-C / SLOT / PC

オフ: 監視しません。

オン: 監視します。

■切替遅延

「入力信号検出」のときに入力を切り換えるまでの遅延時間を設定します。

オフ: 短い期間、信号が途絶えた場合でも入力を切り換えます。

1 ~ 10: 遅延時間(秒)を設定します。無信号を検出してから設定した時間だけ遅れて入力を切り換えます。ただし、設定した遅延時間より無信号を検出した期間が短い場合は、入力を切り換えません。

お知らせ

- 「入力信号検出」は、設定された入力に対して、信号の有無を監視し、次のように自動で入力を切り換える機能です。
 - 表示していない設定入力に映像信号が入力されると（無信号から信号ありとなった場合）、その入力に切り換えます。
 - 表示している入力が無信号になると、信号が入力されている設定入力に切り換えます。電源オン時や入力切り換え時に、表示された入力が無信号の場合も、信号が入力されている設定入力に切り換えます。複数の設定入力に信号が入力されている場合の優先順位は、初期値（電源「入」直後）は、優先順位が高い順番に、HDMI1、HDMI2、HDMI3、USB-C、PCの順番になります。それ以外（電源「入」後に、入力が切り換えられた場合）は、直近に表示されていた入力が優先されます。
- 「切換遅延」は、「入力信号検出」動作時に入力信号の周波数変化時などの短い期間に、信号が途絶えた場合に、入力が意図せず切り換わってしまうことを防ぐための機能です。設定時間（秒）以内の期間に、信号を再度検出した場合は、入力を切り換えません。
- 「入力信号検出」は、映像再生機器によっては、正しく動作しない場合があります。
- 「PC」は、「PC インプットモード」が「PC」の時のみ動作します。（[P.95](#) ページ）
- 「USB-C」と「SLOT」は、同時に選択しても動作しません。

フェイルオーバー / フェイルバック

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力で自動的に切り換えます。

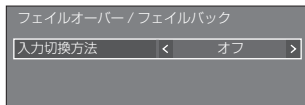
お知らせ

- 「PC」は、「PC インプットモード」が「PC」の時のみ動作します。（[P.95](#) ページ）
- 「SLOT」は、DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合に有効です。
- MEMORY VIEWER、Screen Transfer および WHITEBOARD 入力は、本機能の対象外です。
- 映像再生機器あるいは映像信号によっては、画面上にノイズが発生したり動作しない場合があります。

1. 入力切り換え方法の設定

■ 入力切り換え方法

オフ： バックアップ入力機能を無効にします。



オン： 映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力で自動的に切り換えます。

バックアップ入力の映像信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要はありません。

バックアップ入力で切り換えたときには、バックアップ入力の映像信号と音声の調整値が使用されます。



入力切り換え方法：オンの詳細設定

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力で自動的に切り換えます。

お知らせ

- この機能は、表示に使用する入力とバックアップ入力の両方で映像信号が検出されると開始され、「バックアップ入力ステータス」に「切換可能」と表示されます。

■ プライマリー入力

最も優先順位が高いバックアップ入力を設定します。
(無し) / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / USB-C / SLOT / PC / USB/Internal Memory

表示に使用する入力と同じ入力グレー表示になります。

■ セカンダリー入力

2番目に優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(無し) / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / USB-C / SLOT / PC / USB/Internal Memory

表示に使用する入力と同じ入力グレー表示になります。

■ 自動復帰モード

バックアップ入力機能によって有効になったバックアップ入力の映像の表示中に最初に表示されていた入力映像が回復した場合に前の（メイン）入力に自動的に戻るかどうかを設定します。

無効： 戻りません

有効： 戻ります

■ バックアップ入力ステータス

バックアップ入力機能の実行条件を満たしているかどうかを表示します。

切換不可： 条件を満たしていないことを示します。バックアップ入力機能は無効になります。

切換可能： 条件を満たしていることを示します。バックアップ入力機能は有効になります。

■ メイン入力

入力切り換えで設定した（メイン）入力を表示します。

■ 入力選択状態

現在表示に使用されている入力が入力切り換えで設定した（メイン）入力かバックアップ入力かを表示します。

設定の条件

次の表に各設定項目の制限（使用可能な組み合わせ）を示します。

		メイン			
		HDMI1 HDMI2 HDMI3 USB-C SLOT	PC	USB/ Internal Memory	
バック アップ	HDMI1				
	HDMI2				
	HDMI3	○*	○	○	○
	USB-C SLOT	△	×	△	△
	USB/ Internal Memory	○	○	×	×

○：バックアップのプライマリー／セカンダリー両方に選択可能

△：プライマリー／セカンダリーいずれか一方に選択可能

×：バックアップのプライマリー／セカンダリーいずれにも選択不可

*「USB-C」と「SLOT」は、同時に選択しても動作しません。

お知らせ

- プライマリー／セカンダリーに同じ入力を選択すると、セカンダリーは無効になります。プライマリー／セカンダリーにメイン入力と同じ入力を選択すると、無効になります。

画面表示

<画面表示>を押すと次のいずれかが表示されます。

- メイン入力を表示に使用し、バックアップ入力機能の実行条件を満たしている場合。



- バックアップ入力機能の実行によって有効になったバックアップ入力を使用して表示している場合。



バックアップ入力機能の条件を満たした場合、以下が表示されます。



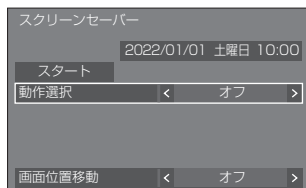
お知らせ

- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - ・「入力信号サーチ」が「オフ」以外の場合。（[P.60](#) ページ）
 - ・「初期設定」-「イメージ設定」で「無信号イメージ設定」-「表示設定」が「オン」の場合。（[P.70](#) ページ）
 - ・「パワーマネージメントモード」が「入力信号検出」の場合。（[P.65](#) ページ）
 - ・「SLOT 電源連動」が「オン」の場合。（[P.97](#) ページ）
- USB 入りに設定時、USB 端子に USB メモリーが接続されていないと判断された場合に映像信号の中断として扱います。
- 映像再生機器によっては、正しく動作しない場合があります。

■ スクリーンセーバー

静止画や 4：3 表示画像を長時間映す場合に残像の発生を軽減します。

「スクリーンセーバー」サブメニュー画面



■ スクリーンセーバーの設定

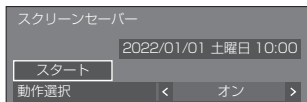
スクリーンセーバーの動作

スクリーンセーバー動作中は、次の 5 パターンを全面面に 5 秒毎に順次表示し、それを繰り返します。

黒→濃い灰色→灰色→薄い灰色→白→薄い灰色→灰色→濃い灰色

今すぐスクリーンセーバーをスタートする

- ①「動作選択」で「オン」を選ぶ。
- ②「スタート」を選んで<決定>を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始します。



お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

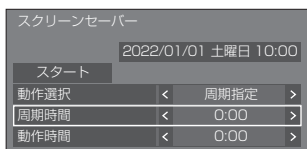
リモコン： <戻る>

本体： <MENU> <INPUT>
<+> <-> ▲▼ <ENTER>

- ・ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオフ／オンする

- ①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。
- ②「周期時間」を設定する。
 - ・◀▶を押すたびに15分ずつ変わります。
- ③「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。押し続けると15分ずつ変わります。

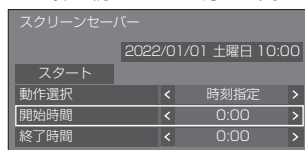


お知らせ

- 「動作時間」は「周期時間」より長い時間には設定できません。

指定した時刻にスクリーンセーバーをオフ／オンする

- ①「動作選択」で「時刻指定」を選ぶ。
- ②「開始時間」と「終了時間」を設定する。
 - ・◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。押し続けると15分ずつ変わります。

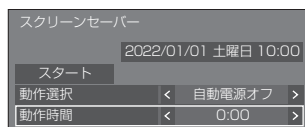


お知らせ

- 現在時刻が「-」と表示されている場合は、「日付と時刻」を設定してから、「開始時間」と「終了時間」を設定してください。(☞ 75 ページ)

スクリーンセーバーの後に電源を切る

- ①「動作選択」で「自動電源オフ」を選ぶ。
- ②「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶を一度押すと1分ずつ変わります。押し続けると15分ずつ変わります。
- ③「スタート」を選んで<決定>を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。



お知らせ

- 「動作時間」は0:00～23:59まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

■画面位置移動

液晶パネルの残像軽減のため、画面位置を移動させて表示します。

「オン」に設定すると、一定の時間間隔で画面位置を移動させて表示します。

お知らせ

- 「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」を「オン」に設定の場合は、画面位置移動は動作しません。(☞ 71 ページ)
- 「ポートレート設定」-「ポートレート表示」を「オン」に設定の場合は、画面位置移動は動作しません。(☞ 73 ページ)
- 画面の設定状態により、画面の一部が欠けて見える場合があります。

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

「入力表示書換設定」サブメニュー画面

HDMI1	<	HDMI1	>
HDMI2	<	HDMI2	>
HDMI3	<	HDMI3	>
USB-C	<	USB-C	>
SLOT	<	SLOT	>
PC	<	PC	>
PC[YP _b P _r]	<	PC[YP _b P _r]	>

HDMI1	HDMI1 / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / HD コム / USER
HDMI2	HDMI2 / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / HD コム / USER
HDMI3	HDMI3 / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / HD コム / USER
USB-C	USB-C / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / HD コム / USER
SLOT	SLOT / PressIT / USER
PC	PC / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / HD コム / USER
PC[YP _b P _r]	PC[YP _b P _r] / Blu-ray / CATV / STB / PressIT / HD コム / USER

「USER」を選択することにより、表示名を設定することができます。

「USER」の設定

- ① ▲▼ で入力を選ぶ。
- ② ◀▶ で「USER」を選んで<決定>を押す。
- ③ ▲▼◀▶ で入力表示名を入力する。
 - ・文字の入力方法は「文字入力について」(P.174 ページ)をご覧ください。

入力切替スキップ設定

すべての入力に対して、<入力切替>ボタンを押した時に、その入力をスキップするかどうかを設定します。

「入力切替スキップ設定」サブメニュー画面

HDMI1	<	オフ	>
HDMI2	<	オフ	>
HDMI3	<	オフ	>
USB-C	<	オフ	>
SLOT	<	オフ	>
PC	<	オフ	>
PC[YP _b P _r]	<	オフ	>
Screen Transfer	<	オフ	>
USB/Internal Memory	<	オフ	>
MEMORY VIEWER	<	オフ	>
WHITEBOARD	<	オフ	>

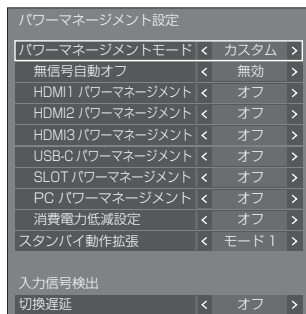
オフ：<入力切替>ボタンを押した時に、該当入力に切り換え選択できません。

オン：<入力切替>ボタンを押した時に、該当入力をスキップします（切り換えできません）。

パワーマネージメント設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。本機能は、選択中の入力端子にのみ機能します。

「パワーマネージメント設定」サブメニュー画面



1. パワーマネージメントモードの設定

お知らせ

- 機能動作させる端子は、パワーマネージメント機能を「オン」に設定してください。
- 本機能を「オン」に設定した場合、「センサー設定」-「照度センサー」は無効になります（「オフ」固定）。
- 「入力信号サーチ」が「全入力」または「カスタム」の場合は、「入力信号サーチ」機能動作が優先となります。（各端子におけるパワーマネージメント機能は動作しません。）（「入力信号サーチ」機能について 60 ページ）
- 「フェイルオーバー/フェイルバック」の「入力切換方法」が「オフ」以外の場合は、「フェイルオーバー/フェイルバック」機能動作が優先となります。（各端子におけるパワーマネージメント機能は動作しません。）（「フェイルオーバー/フェイルバック」機能について 61 ページ）

1-1 パワーマネージメントモード：オン

消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。

無信号自動オフ：有効

HDMI1 パワーマネージメント：オン

HDMI2 パワーマネージメント：オン

HDMI3 パワーマネージメント：オン

USB-C パワーマネージメント：オン

SLOT パワーマネージメント：オン

PC パワーマネージメント：オン

消費電力低減設定：オン

1-2 パワーマネージメントモード：カスタム

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「パワーマネージメントモード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

1-3 パワーマネージメントモード：入力信号検出

消費電力低減のメニューを個別設定します。「パワーマネージメントモード」が「入力信号検出」のとき設定が有効になり、パワーマネージメント動作と入力検出機能を連動させて動作させるモードです。このモードでは、入力信号を監視して、入力信号が信号なしの状態から信号ありの状態に変化したことを検出すると、入力信号検出機能が動作して、その入力に自動的に切り換えます。また、現在の入力信号が無くなると、ほかの入力に自動的に切り換わります。すべての入力信号が無くなるとパワーマネージメント機能が動作して、自動的に電源を切/入します。この動作は、選択された端子間で動作します。

お知らせ

- 「スタンバイ動作拡張」設定は、「モード2」となりグレー表示となります。

■ 無信号自動オフ

「有効」にすると、約 10 分間無操作で入力同期信号がないと自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

お知らせ

- USB 入力に設定時、USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合、または接続された USB メモリーに再生可能なファイルがない場合、無信号と判断します。
- Screen Transfer 入力では、待ち受け状態でパソコンが Screen Transfer に未接続状態の場合、無信号と判断します。
- 本機能は「無信号イメージ設定」の「オフ」/「オン」設定に関係なく動作します。
- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■ HDMI1 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切/入します。

HDMI1 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないととき：

電源「切」（スタンバイ）/ 電源ランプ：紫色点灯

その後、HDMI1 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」/ 電源ランプ：青色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■ HDMI2 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切 / 入します。

HDMI2 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：紫色点灯

その後、HDMI2 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：青色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■ HDMI3 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切 / 入します。

HDMI3 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：紫色点灯

その後、HDMI3 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：青色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■ USB-C パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切 / 入します。

USB-C 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：紫色点灯

その後、USB-C 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：青色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■ SLOT パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切 / 入します。

SLOT 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：紫色点灯

その後、SLOT 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：青色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。
- 本機能は、機能拡張用スロット（SLOT）に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合のみに有効です。

■ PC パワーマネージメント（DPMS 機能）

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を切 / 入します。

PC 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：紫色点灯

その後、PC 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：青色点灯

お知らせ

- 「PC インプットモード」が「PC」の時にのみ動作します。（[P.95](#) ページ）
- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

■ 消費電力低減設定

バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。

オフ： 消費電力低減機能は動作しません。

オン： バックライトの明るさを下げます。

お知らせ

- 「初期設定」 - 「センサー設定」 - 「照度センサー」が「オフ」以外に設定された場合、「消費電力低減設定」は設定できません。

■ スタンバイ動作拡張

パワーマネージメント機能を「オン」に設定している入力端子について、パワーマネージメント機能によるスタンバイ時の動作を設定します。

モード 1：スタンバイ動作したときの入力端子で映像（同期信号）が検知されるとその入力で電源「入」になります。

モード 2：パワーマネージメント機能を「オン」に設定しているいずれかの入力端子で映像（同期信号）が検知されると電源「入」になり、その入力に切り換わります。

モード 3：リモコンで電源オフに操作した場合についても、パワーマネージメント機能を「オン」に設定しているいずれかの入力端子で新たに映像（同期信号）が検知されると電源「入」になり、その入力に切り換わります。

お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜くと本機能は動作しません。一度電源「入」にする必要があります。


■ 切換遅延

「パワーマネージメントモード」が「入力信号検出」のときに入力を切り換えるまでの遅延時間を設定します。

オフ： 短い期間、信号が途絶えた場合でも入力を切り換えます。

1 ~ 10：遅延時間（秒）を設定します。無信号を検出してから設定した時間だけ遅れて入力を切り換えます。ただし、設定した遅延時間より無信号を検出した期間が短い場合は、入力を切り換えません。

お知らせ

- 「入力信号検出」に設定時の動作は、「入力信号サーチ」が「入力信号検出」の時の動作と同じです。
( 60 ページ)

音声入力切換

「音声入力切換」サブメニュー画面

音声入力切換		
HDMI1	< 音	HDMI1 >
HDMI2	< 音	HDMI2 >
HDMI3	< 音	HDMI3 >
USB-C	< 音	USB-C >
SLOT	< 音	SLOT >
PC	< 音	AUDIO IN >
PC[YPbPr]	< 音	AUDIO IN >
Screen Transfer	< 音	Screen Transfer >

映像入力	音声入力
HDMI1	HDMI1 / AUDIO IN / 音声入力無し
HDMI2	HDMI2 / AUDIO IN / 音声入力無し
HDMI3	HDMI3 / AUDIO IN / 音声入力無し
USB-C	USB-C / AUDIO IN / 音声入力無し
SLOT	SLOT / AUDIO IN / 音声入力無し
PC	AUDIO IN / 音声入力無し
PC[YPbPr]	AUDIO IN / 音声入力無し
Screen Transfer	Screen Transfer / AUDIO IN / 音声入力無し

- 音声入力無し：音声入力なし（ミュート）

音声入力の設定が工場出荷状態から変更されている場合、以下のように音声入力が表示されます。

HDMI1
フル
音 AUDIO IN

外部機器連携設定

外部接続機器との連携について設定します。

「外部機器連携設定」サブメニュー画面

外部機器連携設定		
接続機器情報表示	< オフ >	
ワイヤレスプレゼンテーション	< オン >	
Webex 連携	< オン >	

■ 接続機器情報表示

HDMI 端子または SLOT 端子に接続されている機器情報の表示 / 非表示を設定します。

オフ： 接続機器情報が表示されません。

オン： 以下のように、接続機器情報が表示されます。

HDMI1
フル
Player 1

お知らせ

- 信号の情報または HDMI-CEC の情報のうち取得できた内容を表示します。
- 取得できた先頭の 16 文字までを表示します。

■ ワイヤレスプレゼンテーション連携

ワイヤレスプレゼンテーションシステム接続時の設定を行うメニューです。

詳細は下記のサポートサイトの取扱説明書を参照してください。

(<https://archives.connect.panasonic.com/prodisplays/pressit/>)


■ Webex 連携 (EQ2 シリーズ)

Webex 機器との連携について設定します。

オフ： Webex 機器と連携しません。

オン： Webex 機器と連携します。

お知らせ

- HDMI IN 1、HDMI IN 2 または HDMI IN 3 端子に Webex 機器が接続されている場合に連携機能が働きます。
- 以下の機能が固定されます。
 - 該当する入力の「ビデオ会議モード設定」が「オン」に固定されます。
「ビデオ会議モード設定」が「オン」の場合の動作の詳細については「ビデオ会議モード設定」( 74 ページ) を参照してください。
 - 「映像メニュー」が最適な値に設定されます。
 - 「オーバースキャン」が「オフ」に固定されます。

- ・「HDMI-CEC 制御」が「有効」、「ディスプレイ → 機器」が「電源オフ / オン」、「機器 → ディスプレイ」が「電源オフ / オン」に固定されます。
- ・「クイック起動」が「オン」に固定されます。
- ・「音声入力切換」が該当する入力に固定されます。
- ・「HDMI-CEC 制御」が「有効」となります。Webex 機器を接続している HDMI 端子以外の HDMI 端子に他の機器を接続している場合は、HDMI-CEC 制御が不要なら、その機器で HDMI-CEC 機能の設定をオフしてください。
- ・Webex 機器が接続されて連携動作中は、初期設定のメニューなどに、「Webex」と表示されます。
- ・Webex 機器の仕様上、ディスプレイの電源オフ(スタンバイ)で Webex 機器をスタンバイにはできません。(2022年4月現在)

HDMI-CEC 設定

HDMI-CEC 機能について設定します。

HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(P.164 ページ)をご覧ください。

「HDMI-CEC 設定」サブメニュー画面

HDMI-CEC 設定		
HDMI-CEC 制御	<	有効 >
HDMI 1	<	---- >
HDMI 2	<	---- >
HDMI 3	<	---- >
SLOT	<	---- >
HDMI-CEC 操作		
MENU コード	<	1 >
連動機能		
ディスプレイ → 機器	<	無効 >
機器 → ディスプレイ	<	無効 >
ARC	<	オン >

■ HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能の有効 / 無効を設定します。

無効：HDMI-CEC 制御を無効にします。

有効：HDMI-CEC 制御を有効にします。

お知らせ

- 「有効」に設定する事で、本機のリモコンで、HDMI-CEC 対応機器の操作が可能になります。

■ HDMI 1

HDMI IN 1 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

◀▶ で制御対象を変更することができます。

お知らせ

- 機器がつながっていない場合は「----」を表示します。

■ HDMI 2

HDMI IN 2 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

◀▶ で制御対象を変更することができます。

お知らせ

- 機器がつながっていない場合は「----」を表示します。

■ HDMI 3

HDMI IN 3 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

◀▶ で制御対象を変更することができます。

お知らせ

- 機器がつながっていない場合は「----」を表示します。

■ SLOT

SLOT 端子に HDMI-CEC 対応機器がつながっている場合に、操作する機器を表示します。

お知らせ

- 「SLOT」の項目は SLOT にファンクションボードが挿入されている場合のみ表示されます。HDMI-CEC 対応 SLOT がつながっていない場合は「----」を表示します。

■ HDMI-CEC 操作

HDMI-CEC 対応機器の操作画面を表示します。

< 戻る > を押すと操作画面が消えます。

■ MENU コード

HDMI-CEC 操作画面の「MENU」操作時に割り当てるコードを変更します。接続される HDMI-CEC 対応機器に合わせてください。

■ ディスプレイ → 機器

本機から HDMI-CEC 対応機器への連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効：本機から機器への連動制御を無効にします。

本機の電源状態の変化で機器の電源状態は変化しません。

電源オフ：本機の電源オフ(スタンバイ)により、HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3 または SLOT 端子に接続されているすべての機器を電源オフ(スタンバイ)にします。電源オン動作には連動しません。

電源オフ / オン：

本機の電源オフ(スタンバイ) / オン動作に機器が連動してオフ(スタンバイ) / オンになります。

お知らせ

- 動作の詳細については「HDMI-CEC 機能を使う」(P.164 ページ)をご覧ください。

■ 機器 → ディスプレイ

HDMI-CEC 対応機器から本機への連動制御の有効 / 無効を設定します。

無効： 機器から本機への連動制御を無効にします。
機器の電源状態の変化で本機の電源状態は変化しません。

電源オン： 機器の電源オンで本機の電源をオンし、その機器の入力 (HDMI1/HDMI2/HDMI3/SLOT) に切り換えます。

電源オフ / オン： 機器の電源オフ / オンに本機の電源が連動します。

お知らせ

- 動作の詳細については「HDMI-CEC 機能を使う」(☞ 164 ページ) をご覧ください。
- 「初期設定」 - 「入力切替固定」が設定されている場合は、入力は切り換わりません。

■ ARC

HDMI IN 3 (ARC) 端子の音声出力について設定します。

オート： アンプ接続時、自動で HDMI IN 3 端子から音声出力します。

オフ： 常に内蔵スピーカーまたは AUDIO OUT 端子から音声出力します。

オン： 常に HDMI IN 3 端子から音声出力します。

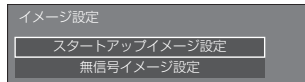
お知らせ

- 動作の詳細については「ARC 機能を使う」(☞ 166 ページ) をご覧ください。

イメージ設定

電源を入れたときや無信号入力時に、画面に表示するイメージを設定します。

「イメージ設定」サブメニュー画面



スタートアップイメージ設定：

電源を入れたときに表示するイメージを設定します。

無信号イメージ設定：

選択した入力端子に信号入力がないときに表示するイメージを設定します。

「ユーザーイメージ読込」で設定できる画像の条件

- 画像サイズは 3 840 x 2 160、1 920 x 1 080 のみ
- jpg ファイル / bmp ファイル (USB メディアプレーヤーで再生不可能なものは除く☞ 127 ページ)

ファイルリストに表示されるものは、以下の通りです。

- USB 直下にファイル、フォルダを置く場合下記になります。

- ファイル名は 246 文字 (拡張子を含む) まで正常に表示されます。ただし、オンスクリーンメニューの表示時間により、ファイル名の全体表示が完了する前にファイルリストが消えることがあります。

- フォルダ名は 244 文字まで正常に表示されます。
※ フォルダを階層的に置く場合、ファイルパス (フォルダ情報) 分、文字数は少なくなります。

- 制御コードを除く ASCII 文字で記述されたファイル名をもつファイルしか表示されません。

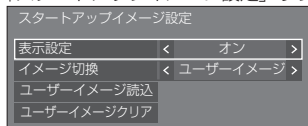
お知らせ

- スタートアップイメージは、「画質の調整」はできません。
- 無信号イメージは、「バックライト」、「ガンマ」、「色温度設定」と「ブルーライト低減」のみ調整できます。
- スタートアップイメージおよび無信号イメージで表示される画像は、パソコン上で確認した画像と若干異なる場合があります。
- 「無信号イメージ設定」を「オン」に設定すると、「入力信号サーチ」と「フェイルオーバー / フェイルバック」は無効となり、メニューはグレー表示になります。

■ スタートアップイメージ設定 / 無信号イメージ設定

「無信号イメージ設定」の操作は、「スタートアップイメージ設定」の操作と共通です。

「スタートアップイメージ設定」サブメニュー画面



表示設定

電源を入れた時のイメージ表示を設定します。

オフ：各イメージ設定機能を無効にします。

オン：各イメージ設定機能を有効にします。

お知らせ

- 無信号イメージ表示時は、液晶パネルの残像軽減のため、一定の時間間隔で画面位置を移動させてイメージを表示します。
- 「画面位置移動」(P.63 ページ) の設定に関わらず表示位置を移動させます。
- 画面の設定状態により、画面の一部が欠けて見える場合があります。

イメージ切換

表示するイメージを選択します。

デフォルトイメージ：Panasonic ロゴ (青背景)

ユーザーイメージ：ユーザーが登録したイメージ

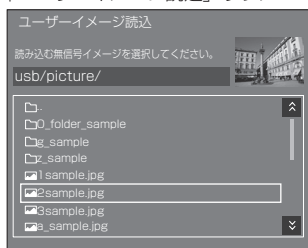
お知らせ

- 「デフォルトイメージ」を表示するときのみ、「ディスプレイ設置」(P.95 ページ) の設定や設置方向に応じて、自動的にロゴの表示が回転します。
- 「ユーザーイメージ」を選択した場合は、「ディスプレイ設置」の設定や設置方向に応じてイメージは回転しません。設置方向に対応した 3 840 x 2 160 または 1 920 x 1 080 の画像を用意してください。
- 「無信号イメージ設定」の「デフォルトイメージ」は、Panasonic ロゴ (黒背景) です。

ユーザーイメージ読込

USB メモリーから読み込んだイメージを登録します。

「ユーザーイメージ読込」サブメニュー画面



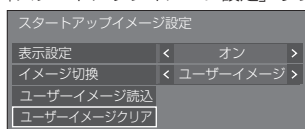
お知らせ

- 入力を USB、MEMORY VIEWER および WHITEBOARD 以外に設定してイメージ読み込みを実行してください。
- 登録できるユーザーイメージは、「スタートアップイメージ設定」と「無信号イメージ設定」の各機能ごとに 1 つだけです。
- ユーザーイメージ読み込みの処理中は電源を切らないでください。
- 「ユーザーイメージ読込」サブメニュー画面に、選択している画像のプレビュー表示を行います。
- USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合、「ユーザーイメージ読込」はグレー表示になり選択できません。
- プレビュー画像作成中に読み込みを開始するとアクセスエラーとなり画像ファイルと認識されない場合があります。プレビュー画像の表示を確認のうえ、読み込み処理を開始してください。
- 表示されるファイル名には以下の制限があります。
 - ・ 拡張子が jpg、jpe、jpeg、bmp のいずれかであること
 - ・ ファイル名がドット (.) で始まる「.jpg」「.jpe」「.jpeg」「.bmp」ではないこと
- OS の設定により、お使いのコンピューターでは見えない USB メモリー内のフォルダやファイルが、本機で表示される場合があります。
- 3 840 x 2 160 の画像を「スタートアップイメージ設定」で登録し、「イメージ切換」を「ユーザーイメージ」に設定すると、電源を入れたときの起動時間が長くなります。
- 3 840 x 2 160 の画像を「無信号イメージ設定」で登録した際、表示されるイメージは 1 920 x 1 080 相当の画質になります。
- 「使用メモリー選択」で「内蔵メモリー」を選択時にも USB メモリーからイメージ読み込みを行います。(内蔵メモリーからのイメージ読み込みはできません。)

ユーザーイメージクリア

「ユーザーイメージ読込」で読み込んだ画像を消去します。

「スタートアップイメージ設定」サブメニュー画面



お知らせ

- 読み込んだユーザーイメージがない場合、「ユーザーイメージクリア」はグレー表示になり選択できません。
- 「イメージ切換」が「ユーザーイメージ」に設定されているときに、「ユーザーイメージクリア」を実行すると、「イメージ切換」は、「デフォルトイメージ」に変更されます。

入力切替固定

入力を固定して「入力切替」操作をできなくします。

オフ / HDMI1 / HDMI2 // HDMI3 / USB-C / SLOT / PC / PC[YpPr] / Screen Transfer / USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD

お知らせ

- 「オフ」以外に設定すると、すぐに入力切り換え操作ができなくなります。

オフタイマー機能

オフタイマー機能を有効 / 無効の設定をします。

有効： オフタイマー機能を有効にします。

無効： オフタイマー機能を無効にします。

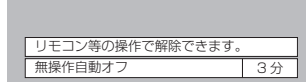
お知らせ

- オフタイマー設定時は「無効」にするとオフタイマーが解除されます。

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約 4 時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます (スタンバイ)。

電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間を表示します。



本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

無信号イメージ (P.70) が表示される場合は、電源が切れる 3 分前になっても残り時間の表示は行わず、電源が切れるまで無信号イメージを表示します。

お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。

表示言語切替

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

選択できる言語

English(UK) : 英語 (イギリス)

Deutsch : ドイツ語

Français : フランス語

Italiano : イタリア語

Español : スペイン語

ENGLISH(US) : 英語 (アメリカ)

日本語 : 日本語

Русский : ロシア語

マルチ画面設定

画面の表示モードを設定します。

お知らせ

- 入力を Screen Transfer / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD 以外に設定して「マルチ画面設定」を設定してください。
- 本メニューを表示中は画面モードが「フル」になります。

1. マルチ画面の設定

■ マルチスクリーン表示

オフ： 拡大分割画面にしない。

オン： 拡大分割画面にする。

「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。

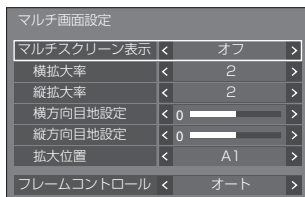
お知らせ

- 「ポートレート表示」が「オン」の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
(P.73 ページ)

2. マルチスクリーン表示

横方向に 1 ~ 10 台と縦方向に 1 ~ 10 台を並べたディスプレイを 1 つのグループとして、拡大した映像を映します。

「マルチ画面設定」サブメニュー画面 (マルチスクリーン表示)



お知らせ

- 設定は入力端子ごとに記憶します。
- 「マルチスクリーン表示」が「オフ」時に「位置調整」(P.47 ページ) で、同一画角に調整後、「マルチスクリーン表示」を「オン」にして再度、「位置調整」で画角を微調整してください。
- 「位置調整」メニューは、マルチスクリーン表示の状態では調整できません。
- USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER / Screen Transfer / WHITEBOARD 入力時、「フレームコントロール」は設定できません。
- 「フレームコントロール」の機能は、各ディスプレイに入力されている垂直同期がすべて同じ場合に効果があります。
- マルチスクリーン時、アスペクトは「フル」になります。
- USB/Internal Memory 入力時、「横拡大率」と「縦拡大率」の設定は、下記の組み合わせのみとなります。
1 × 2、1 × 3、1 × 4、2 × 1、2 × 2、
3 × 1、4 × 1

■ 横拡大率

マルチスクリーン表示の横方向の拡大率を設定します。

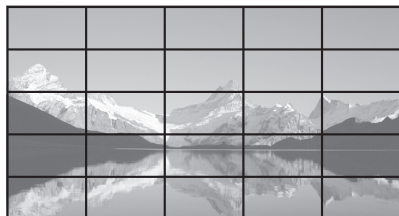
1 ~ 10

■ 縦拡大率

マルチスクリーン表示の縦方向の拡大率を設定します。

1 ~ 10

例) 横拡大率「5」と縦拡大率「5」に設定のマルチスクリーン表示画面



■ 横方向目地設定 / 縦方向目地設定

目地部分に隠れる映像の領域を、縦方向と横方向でそれぞれ調整します。

0 ~ 100

表示例)

設定値 0



目地部分を含むすべての映像を表示します。(パンコンなどで文字情報を表示する場合に適しています)

設定値 100



目地部分の映像を表示しません。(動画など動きのある映像を表示する場合に適しています)

■ 拡大位置

マルチスクリーンの画面位置を割り当てます。

例) 横拡大率「10」、縦拡大率「10」の場合

A1	A2	...	A9	A10
B1	B2	...	B9	B10
...
I1	I2	...	I9	I10
J1	J2	...	J9	J10

A1 ~ J10 から選ぶ。

- 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。
- 「マルチスクリーン表示」を「オフ」にしておくと、設定メニューを表示中、画面上で拡大位置を確認できます。
- 「映像回転」を「180度」にすると拡大位置も回転します。
(16 95 ページ)

お知らせ

- 横拡大率「1」 / 縦拡大率「1」には設定できません。

■ フレームコントロール

マルチスクリーン構成で1画面表示したときの動画をより自然に表示させるために、画像表示タイミングを調整します。

オート:

「マルチスクリーン表示」が「オン」のとき、縦方向の「拡大位置」に応じて画像表示タイミングの自動調整を行います。ただし、「マルチスクリーン表示」が「オフ」のときは、画像表示タイミング調整値は「0」(調整無し)の固定値となります。

1 ~ 4:

画像表示タイミング調整値 (手動設定)
「マルチスクリーン表示」の「オン」 / 「オフ」に関係なく動作します。

お知らせ

- 「ビデオ会議モード設定」、「フレームコントロール」および「デジタルアウト設定」は同時に使用できません。いずれか1つのみの使用となります。
- 「1」 ~ 「4」に設定時、垂直周波数が60Hzを越える信号が入力された場合は意図通りの制御動作をしなくなる場合があります。また、縦方向が2160ドットを越える信号が入力された場合は画面異常が発生する場合があります。
- 本機能の設定を変更時、映像にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

ポートレート設定

入力映像を 90 度回転して表示する機能について設定します。

お知らせ

- 入力を Screen Transfer/MEMORY VIEWER / WHITEBOARD 以外に設定して「ポートレート設定」を設定してください。
- 表示する動画や静止画は 16:9 解像度のものでご利用ください。
- USB/Internal Memory 入力での再生については「USB メディアプレーヤーを使う」(P.126 ページ)を参照してください。
- 本メニューを表示中は画面モードが「フル」になります。

「ポートレート設定」サブメニュー画面

ポートレート設定		
ポートレート表示	< オフ >	>
設置方法	< 縦 3 面 >	>
表示方式	< フル >	>
目地設定	< 0 >	>
拡大位置	< 左 >	>

■ ポートレート表示

オフ：ポートレート表示にしない。

オン：ポートレート表示にする。

「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。

■ 設置方法

ポートレート表示を構成するディスプレイの設置方法を設定します。

縦 1 面：「縦 1 面」のときの設定構成。



縦 3 面：「縦 3 面」のときの設定構成。



横 3 面：「横 3 面」のときの設定構成。



■ 表示方式

フル：映像が表示されない部分が出ないように入力映像をすべて表示します。

「設置方法」が「横 3 面」の場合

16:9H フィット：映像が表示されない部分が出ないように表示しますが、入力映像の上下の端が一部カットされます。

16:9V フィット：入力映像をすべて表示しますが、左右に映像が表示されない部分が出ます。

「設置方法」が「縦 3 面」の場合

16:9V フィット：映像が表示されない部分が出ないように表示しますが、入力映像の左右の端が一部カットされます。

16:9H フィット：入力映像をすべて表示しますが、上下に映像が表示されない部分が出ます。

お知らせ

- 「16:9V フィット」および「16:9H フィット」はアスペクト比 16:9 を維持しますが、「フル」はアスペクト比 16:9 を維持しません。

■ 目地設定

ポートレート画面の目地部分に隠れる映像の領域を調整します。

0 ~ 100

■ 拡大位置

ポートレート画面の位置を割り当てます。

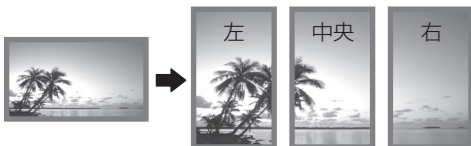
「設置方法」が「横 3 面」の場合

上 / 中央 / 下

「設置方法」が「縦 3 面」の場合

左 / 中央 / 右

ポートレート画面表示例



- ・「ポートレート表示」を「オフ」にしておくと、「設置方法」が「縦 3 面」の場合に画面上で拡大位置を確認できます。

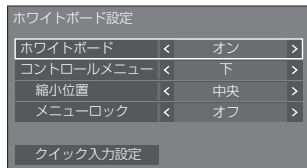
お知らせ

- 設定は入力端子ごとに記憶します。
- 「表示方式」、「目地設定」、「拡大位置」は、「設置方法」が「縦 3 面」と「横 3 面」の場合に設定できます。
- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - ・「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」が「オン」の場合 (P.71 ページ)
- 「ポートレート表示」が「オン」の場合、画面モードの変更はできません。(P.43 ページ)

ホワイトボード設定

ホワイトボード機能について設定します。

「ホワイトボード設定」サブメニュー画面



■ ホワイトボード

オフ：ホワイトボード機能が無効になります。

オン：ホワイトボード機能が有効になります。

■ コントロールメニュー

上：コントロールメニューが画面上部に表示されます。

下：コントロールメニューが画面下部に表示されます。

■ 縮小位置

コントロールメニューを最小化する位置を設定します。

左：縮小位置を左に設定します。

中央：縮小位置を中央に設定します。

右：縮小位置を右に設定します。

左2：縮小位置を左（一段内側）に設定します。

中央2：縮小位置を中央（一段内側）に設定します。

右2：縮小位置を右（一段内側）に設定します。

■ メニューロック

オフ：コントロールメニューのメニュー表示ボタンの操作を有効にします。

オン：コントロールメニューのメニュー表示ボタンの操作を無効にします。



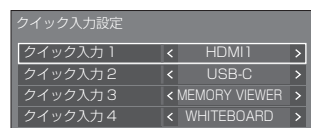
メニュー表示ボタン

お知らせ

- 「メニューロック」のオフ / オン設定に関わらず、リモコンでメニューを表示した後の操作は有効になります。

■ クイック入力設定

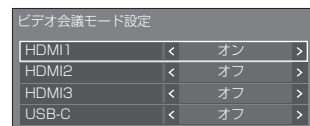
コントロールメニューの入力切替ボタンに割り当てる入力信号を設定します。



ビデオ会議モード設定

入力から映像提示までの遅延時間を短くして、外部に接続したビデオ会議機器に適した設定にします。それに伴い、映像のサイズや位置を変更する機能が使用できなくなります。

「ビデオ会議モード設定」サブメニュー画面



HDMI1：「オン」にすると、HDMI IN 1 端子からの入力がビデオ会議に適した設定になります。

HDMI2：「オン」にすると、HDMI IN 2 端子からの入力がビデオ会議に適した設定になります。

HDMI3：「オン」にすると、HDMI IN 3 端子からの入力がビデオ会議に適した設定になります。

USB-C：「オン」にすると、USB-C HOST 端子からの入力がビデオ会議に適した設定になります。

お知らせ

- 「ビデオ会議モード設定」、「フレームコントロール」および「デジタルアウト設定」は同時に使用できません。いずれか 1 つのみの使用となります。
- アスペクトが「フル」になります。
- 「位置調整」メニューの調整値が無効になります。
- 「ディスプレイ設置」が「横」になります。
- 以下の機能が使用できなくなります。
 - ・ デジタルズーム
 - ・ 「スクリーンセーバー」 - 「画面位置移動」
 - ・ 「マルチ画面設定」
 - ・ 「ポートレート設定」
 - ・ 「映像回転」
- ホワイトボード関連では、以下の機能が使用できなくなります。
 - ・ 内蔵ホワイトボード
 - ・ 比較モード
 - ・ キャプチャー
 - ・ ズーム

タイマー設定

指定した時刻・映像入力で電源オン／指定した時刻に電源オフのプログラムを設定します。プログラムは 20 通り設定できます。

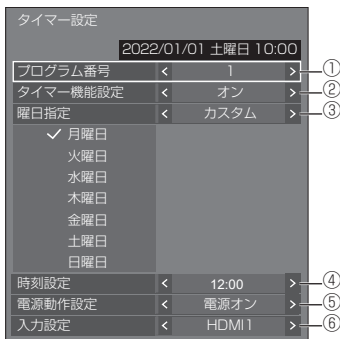
お知らせ

- 現在時刻が「-」と表示されている場合は、「日付と時刻」を設定してから、タイマー設定をしてください。(P.75 ページ)
- 同じ時刻に複数のプログラムが設定されている場合、プログラム番号の最も小さいものが有効になります。
- 「電源動作設定」が「電源オン」に設定されている場合、電源「入」時にプログラムが実行されると、「入力設定」で設定した入力に切り換わります。

「タイマー設定」サブメニュー画面

〔設定例〕

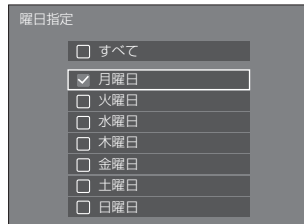
プログラム 1 毎週月曜日 12:00
電源入 入力：HDMI1



- ① プログラム番号を設定する。
- ② プログラムを実行する場合は「オン」に設定する。プログラムは「オフ」が設定されると無効になります。
- ③ 曜日を設定する。
毎日：プログラムを毎日実行します。
平日：月曜日～金曜日にプログラムを実行します。
週末：土曜日と日曜日にプログラムを実行します。
カスタム：選択した曜日にプログラムを実行します。（「曜日のカスタム設定」を参照）
- ④ 時刻を設定する。
◀▶を一度押すと 1 分ずつ変わります。
押し続けると 15 分ずつ変わります。
- ⑤ 電源の切 / 入を設定する。
- ⑥ 入力を設定する。

■ 曜日のカスタム設定

- ① 「曜日指定」を「カスタム」にする。
- ② 「曜日指定」を選択中に < 決定 > を押す。「曜日指定」画面に進みます。



▲▼◀▶ フォーカスを移動

- < 音量 + > 曜日を選択（曜日にチェックをつける）
- < 音量 - > 曜日の選択を解除（曜日にチェックがついていた場合に、チェックを消去）
- < 決定 > 現在の設定を保存し、タイマー設定画面に戻る。
- < 戻る > 現在の設定を保存せずに、タイマー設定画面に戻る。

- ③ 設定を変更し、< 決定 > を押して、タイマー設定画面に戻る

- ・「すべて」は、すべての曜日を選択 / 解除します。

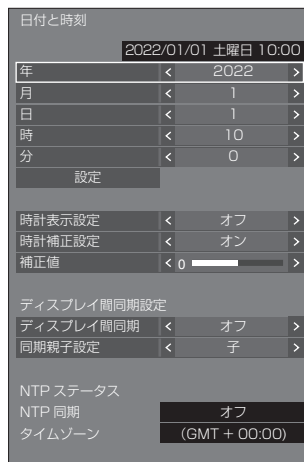
お知らせ

- 「曜日のカスタム設定」の操作にはリモコンをご使用ください。
- < 決定 > を押さずに「曜日指定」画面を消去した場合は設定は保存されません。

日付と時刻

日付と時刻を設定します。（「-」と表示されている場合は、未設定となっています）

「日付と時刻」サブメニュー画面



■ 日付と時刻を設定する

①「年 / 月 / 日 / 時 / 分」を選ぶ。

② 選んだ項目を設定する。



日付と時刻	
2022/01/01 土曜日 10:00	
年	< 2022 >
月	< 1 >
日	< 1 >
時	< 10 >
分	< 0 >
設定	

③「設定」を選んで <決定> を押す。

日付と時刻	
2022/02/06 日曜日 18:00	
年	< 2022 >
月	< 2 >
日	< 6 >
時	< 18 >
分	< 0 >
設定	

お知らせ

- 現在日時を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 現在日時の設定は、下記の場合にリセットされます。
 - ・ 本体の電源ボタンを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約7日間以上放置したとき。
※長期間あるいは高温環境でご使用の場合は7日間よりも短くなる場合があります。
- 「年 / 月 / 日 / 時 / 分」を「-」以外に設定しないと、日付と時刻の設定はできません。
- 日付と時刻で設定できる上限値は2035年12月31日23時59分までとなります。

■ 時計表示設定

時計表示の表示 / 非表示を設定します

オフ：時計を表示しません。

オン：時計を表示します。

お知らせ

- 時計表示は、<画面表示> を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。表示時間は、約5秒です。
- 現在日時が未設定の場合、「時計表示設定」を「オン」に設定しても時計は表示されません。

■ 時計補正設定

時刻ずれの調整機能を設定します。

オフ：時刻ずれを調整しません。

オン：時刻ずれを調整します。

■ 補正值

時刻ずれの補正量を設定します。

時計遅れ補正の目安

設定値	1か月当たりの補正值	6か月当たりの補正值	1年当たりの補正值
0	補正無し		
+1	約10秒	約1分	約2分
+2	約20秒	約2分	約4分
+3	約30秒	約3分	約6分
+4	約40秒	約4分	約8分
+5	約50秒	約5分	約10分
+6	約60秒	約6分	約12分
+7	約70秒	約7分	約14分
+8	約80秒	約8分	約16分
+9	約90秒	約9分	約18分
+10	約100秒	約10分	約20分

時計進み補正の目安

設定値	1か月当たりの補正值	6か月当たりの補正值	1年当たりの補正值
0	補正無し		
-1	約10秒	約1分	約2分
-2	約20秒	約2分	約4分
-3	約30秒	約3分	約6分
-4	約40秒	約4分	約8分
-5	約50秒	約5分	約10分
-6	約60秒	約6分	約12分
-7	約70秒	約7分	約14分
-8	約80秒	約8分	約16分
-9	約90秒	約9分	約18分
-10	約100秒	約10分	約20分

■ ディスプレイ間同期設定

ネットワークでつながったディスプレイ同士の時刻を同期させます。

お知らせ

- 本機能は時刻を同期したいディスプレイ同士がLANでつながっていないと動作しません。
- 本機能はLANでつながっている機器同士が異なるIPアドレスで接続されていないと動作しません。
- 時刻の同期は、電源オン状態またはスケジュール待ち機スタンバイ中のみ動作します。
- 本機同士でディスプレイ間同期の機能を有効にした場合のみ、正常動作します。
他の機器が同一ネットワークに接続されている場合は正常動作しない場合があります。

ディスプレイ間同期：

ディスプレイ間同期の機能を有効または無効に設定します。

同期親子設定：

本機をディスプレイ間同期設定の「親」または「子」に設定します。

「ディスプレイ間同期」が「オン」のときに動作します。

親：同期する元になる時刻の設定が必要です。

子：親の時刻に同期します。

お知らせ

- 「ディスプレイ間同期」が「オン」、「同期親子設定」が「子」の場合、日付と時刻は設定できません。
- 「ディスプレイ間同期」が「オン」、「同期親子設定」が「子」の場合、「NTP 同期」はオフ動作となります。
- 1つのネットワーク上で複数の「親」設定のディスプレイがあると、ディスプレイ間同期設定は正しく動作しません。
- 1つのネットワーク上に「親」設定のディスプレイがない場合は時刻は同期しません。
- ネットワーク上の「親」設定のディスプレイの時刻が設定されていない場合、時刻同期はしません。
- ネットワークの環境によっては、同期が大きくずれる可能性があります。
- 親機と子機の間にルーターを置くと同期はできません。
- 無線 LAN では、同期はできません。
- IPv6 設定で通信している場合、本機能は無効となります。

■ NTP ステータス

現在の NTP 同期とタイムゾーン (☞ 109 ページ) の設定を表示します。

お知らせ

- 「NTP 同期」が「オン」表示のときに「ディスプレイ間同期」を「オン」、「同期親子設定」を「子」に設定した場合、「NTP 同期」は「--」表示となりオフ動作となります。
- 「NTP 同期」が「オン」のときは、日付と時刻は設定できません。
- 本メニューで NTP 同期とタイムゾーンの設定は変更できません。設定の変更は WEB ブラウザーで行ってください。(☞ 109 ページ)
- NTP 同期は、電源オン状態またはスケジュール待機スタンバイ中のみ動作します。

ネットワーク設定

コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。

お知らせ

- DIGITAL LINK 関連のメニューは、機能拡張用スロット (SLOT) に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合にのみ表示されます。

「ネットワーク設定」サブメニューが表示されます。

- メインソフトウェアのバージョン 1.5000 以降では、「LAN 設定」の右側に現在の設定が表示されます。

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)

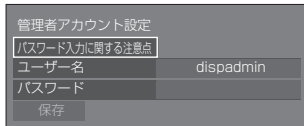


バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)



■ 管理者アカウント設定

管理者アカウントを設定します。



パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウィンドウで表示されます。

ユーザー名

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

- 文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 174 ページ) をご覧ください。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選ぶと確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選ぶとパスワードが決定されます。

保存

上記で設定したユーザー名およびパスワードをディスプレイ本体に保存します。

お知らせ

- 一度設定すると、本設定を表示するにはユーザー名とパスワードの入力が必要です。

■ ネットワークコントロール

本機の LAN 端子で制御する場合に設定します。

オフ：LAN 端子での制御を無効にします。

(この場合、リモコンで電源を「切」にしたとき(スタンバイ)の消費電力を少し低減します。)

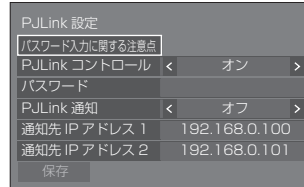
オン：LAN 端子で LAN 制御します。リモコンで電源を「切」にしたとき(スタンバイ)、電源ランプが紫色点灯します。

お知らせ

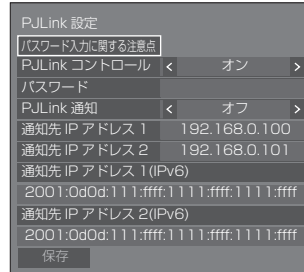
- 「ネットワーク機能を使う」(☞ 98 ~ 125 ページ) に記載の LAN により制御する機能を使用する場合は、「オン」に設定してください。
- 設定が「オフ」の場合でも、WEB ブラウザーコントロールの本機を制御しない画面(ディスプレイ情報 [Status]、詳細設定 [Detailed set up]、パスワード変更 [Change password]) は、動作します。

■ PJLink 設定

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)



バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)



パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウィンドウで表示されます。

PJLink コントロール

PJ Link での通信を行う場合に設定します。

オフ：PJLink での制御を無効にします。

オン：PJLink での制御を有効にします。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選ぶと確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選ぶとパスワードが決定されます。

- 文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 174 ページ) をご覧ください。

PJLink 通知

PJLink 通知を使用する場合に設定します。

オフ：通知を無効にします。

オン：通知を有効にします。

通知先 IP アドレス 1、通知先 IP アドレス 2

本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレスを設定します。

通知先 IP アドレス 1 (IPv6)、通知先 IP アドレス 2 (IPv6)

本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレス (IPv6) を設定します。

お知らせ

- IPv6 の IP アドレス入力方法は、「数値の入力方法」(81 ページ) をご覧ください。
- IPv6 の通知先 IP アドレスの初期値は空欄になります。

保存

上記で設定したパスワードをディスプレイ本体に保存します。

お知らせ

- 一度設定すると、本設定を表示するにはパスワードの入力が必要です。
- 本設定を「オン」に設定する場合、「管理者アカウント設定」を設定しておく必要があります。
- PJLinkでの制御を行う場合、本設定を「オン」にする以外に、「ネットワークコントロール」を「オン」に設定する必要があります。
- 本設定のパスワードは、「LAN設定」のパスワードとは別の独立したものになります。

■ AMX D. D.

AMX デバイスディスカバリーで検知するかを設定します。

オフ: AMX デバイスディスカバリーによる検知を無効にします。

オン: AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にします。

- ・詳細は下記のWEBサイトを参照してください。
<http://www.amx.com/>

お知らせ

- 本設定を「オン」に設定する場合、「管理者アカウント設定」を設定しておく必要があります。
- IPv6設定で通信している場合、本機能は無効になります。

■ Crestron Connected

この機能を「オン」に設定すると、Crestron Electronics, Inc. 製の機器やアプリケーションソフトを使用して、ネットワーク経由で本機の監視や制御を行うことができます。

本機は Crestron Electronics, Inc. 社の下記アプリケーションソフトに対応しています。

- Crestron Fusion

Crestron Connected は、ネットワークに接続された複数の様々な機器を、管理・制御する Crestron Electronics, Inc. 製のシステムに接続できる機能です。

- Crestron Connected の詳細については、Crestron Electronics, Inc の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
URL <http://www.crestron.com/>

お知らせ

- IPv6 設定で通信している場合、本機能は無効になります。

■ LAN 設定

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)

LAN の詳細なネットワーク設定ができます。

本メニュー画面は、IPv6 対応前後で画面構成が異なります。

▲▼で「LAN 設定」を選び、<決定>を押します。

LAN 設定	
DHCP	< オフ >
IP アドレス	192.168. 0. 8
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
保存	
コマンドポート	1024
EAP	< 無し >
ユーザー名	
パスワード	
MAC アドレス	12:34:56:78:9A:BC

DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ

① ◀▶で「DHCP」の「オン」「オフ」を設定する「オフ」を選ぶとIPアドレスなどを手動で設定できます。

DHCP :

(DHCP クライアント機能)

オン: ディスプレイを接続するネットワークにDHCP サーバーが存在する場合、自動的にIPアドレスを取得します。

オフ: ディスプレイを接続するネットワークにDHCP サーバーが存在しない場合、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定してください。

IP アドレス :

(IP アドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にIPアドレスを入力します。

サブネットマスク :

(サブネットマスクの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ :

(ゲートウェイアドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- 「DHCP」を「オン」に設定するとIPアドレスなどはグレー表示になります。

数値の入力方法

IP アドレス

192.168.0.008

- 1) 設定するアドレスを選んで <決定> を押す
- 2) ◀▶ で桁を選ぶ。
- 3) ▲▼ で数値を変更する。
- 4) <決定> を押す。
<戻る> を押すと数値の変更をキャンセルできます。

② 「保存」を選んで <決定> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記のように設定されています。

DHCP : オフ

IP アドレス : 192.168.0.8

サブネットマスク : 255.255.255.0

ゲートウェイ : 192.168.0.1

コマンドポート

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。

「コマンドポート」を選んで <決定> を押し、数値を設定する

- ・設定できる範囲は 1024 ~ 65535 です。
- ・数値の入力方法については「数値の入力方法」(☞ 80 ページ) を参照してください。

お知らせ

- PjLink プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

EAP

RADIUS サーバーに設定されている EAP を選択します。EAP が設定されていない場合は「無し」に設定してください。

設定可能な EAP の種類は次のとおりです。

「PEAP(MS-CHAPv2)」、 「PEAP(GTC)」、 「EAP-TTLS(MD5)」、 「EAP-TTLS(MS-CHAPv2)」、 「EAP-FAST(MS-CHAPv2)」、 「EAP-FAST(GTC)」、 「EAP-TLS」

ユーザー名

認証に使用するユーザー名を半角英数字 (スペースを除く) で入力します。(最大 64 文字)

「EAP」が「無し」または「EAP-TLS」以外の場合に設定できます。

パスワード

認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。(最大 64 文字)

「EAP」が「無し」または「EAP-TLS」以外の場合に設定できます。

お知らせ

- EAP を使用する場合、RADIUS サーバーの設定に合わせて本機を設定する必要があります。
RADIUS サーバーの設定についてはネットワーク管理者にご確認ください。
- 「EAP」が「EAP-TLS」の場合、「日付と時刻」の設定(☞ 75 ページ) と、WEB ブラウザーコントロールから証明書登録を行ってください。(☞ 108 ページ)

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

■ LAN 設定

バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)

IPv4/IPv6 の設定を行います。

▲▼ で「LAN 設定」を選び、<決定> を押します。

LAN 設定	
IPバージョン	< IPv4 & IPv6 >
IPv4 設定	
IPv6 設定	
コマンドポート	1024
EAP	< 無し >
ユーザー名	
パスワード	
MAC アドレス	00:0B:97:41:03:05

IP バージョン

LAN の動作モードを設定します。

IPv4 : IPv4 モードで動作します。

IPv6 : IPv6 モードで動作します。

IPv4 & IPv6 : IPv4・IPv6 モードの両方で動作します。

IPv4 設定

IPv4 の詳細なネットワーク設定ができます。

IPv4 設定	
DHCP	< オフ >
IP アドレス	192.168. 0. 8
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
保存	

DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ

- ① ◀▶ で「DHCP」の「オン」「オフ」を設定する
「オフ」を選ぶと IP アドレスなどを手動で設定できます。

DHCP :

(DHCP クライアント機能)

オン：ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。

オフ：ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定してください。

IP アドレス：

(IP アドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合に IP アドレスを入力します。

サブネットマスク：

(サブネットマスクの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ：

(ゲートウェイアドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- 「DHCP」を「オン」に設定すると IP アドレスなどはグレー表示になります。

数値の入力方法

IP アドレス

192.168.000.008

- 1) 設定するアドレスを選んで <決定> を押す
- 2) ◀▶ で桁を選ぶ。
- 3) ▲▼ で数値を変更する。
- 4) <決定> を押す。
<戻る> を押すと数値の変更をキャンセルできます。

② 「保存」を選んで <決定> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記のように設定されています。

DHCP：オフ

IP アドレス：192.168.0.8

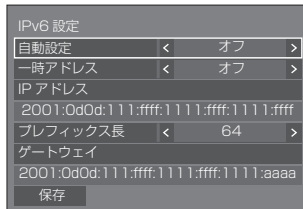
サブネットマスク：255.255.255.0

ゲートウェイ：192.168.0.1

IPv6 設定

IPv6 の詳細なネットワーク設定ができます。

① ◀▶ で「自動設定」・「一時アドレス」の「オン」「オフ」を設定する



自動設定

IPv6 での IP 自動設定を行うかどうかを設定します。

オン：IP アドレスを自動的に取得します。

オフ：IP アドレスを手動で設定します。

一時アドレス

「自動設定」が「オン」のときに、一時 IP アドレスを使用するかどうかを設定します。

オン：一時アドレスを使用します。

オフ：一時アドレスを使用しません。

IP アドレス

(IPv6 アドレスの表示および設定)

「自動設定」が「オフ」のときに、IP アドレスを入力します。

プレフィックス長

「自動設定」が「オフ」のときに、プレフィックス長（ネットマスク）を設定します。

ゲートウェイ

(ゲートウェイアドレスの表示および設定)

「自動設定」が「オフ」のときに、ゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- IPv6 設定での IP アドレス、ゲートウェイの初期値は空欄になります。
- 「自動設定」を「オン」に設定すると IP アドレスなどはグレー表示になります。

数値の入力方法

・IPv6 アドレス設定時



- 1) 設定するアドレスを選んで <決定> を押す。
- 2) 設定する数値を ▲▼◀▶ で選んで <決定> を押す。
- 3) 「確定」を選んで <決定> を押す。

② 「保存」を選んで<決定>を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

コマンドポート

コマンドコントロールで使用されるポート番号を設定します。

「コマンドポート」を選んで<決定>を押し、数値を設定する

- 設定できる範囲は 1024 ~ 65535 です。
- 数値の入力方法については「数値の入力方法」(☞ 81 ページ) を参照してください。

お知らせ

- PjLink プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

EAP

RADIUS サーバーに設定されている EAP を選択します。EAP が設定されていない場合は「無し」に設定してください。

設定可能な EAP の種類は次のとおりです。

「PEAP(MS-CHAPv2)」、 「PEAP(GTC)」、 「EAP-TTLS(MD5)」、 「EAP-TTLS(MS-CHAPv2)」、 「EAP-FAST(MS-CHAPv2)」、 「EAP-FAST(GTC)」、 「EAP-TLS」

ユーザー名

認証に使用するユーザー名を半角英数字(スペースを除く)で入力します。(最大 64 文字)

「EAP」が「無し」または「EAP-TLS」以外の場合に設定できます。

パスワード

認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。(最大 64 文字)

「EAP」が「無し」または「EAP-TLS」以外の場合に設定できます。

お知らせ

- EAP を使用する場合、RADIUS サーバーの設定に合わせて本機を設定する必要があります。RADIUS サーバーの設定についてはネットワーク管理者にご確認ください。
- 「EAP」が「EAP-TLS」の場合、「日付と時刻」の設定(☞ 75 ページ)と、WEB ブラウザーコントロールから証明書の登録を行ってください。(☞ 108 ページ)

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

■ ネットワークステータス

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)

現在のネットワークの設定状態を確認します。

本メニュー画面は、IPv6 対応前後で画面構成が異なります。

ネットワークステータス	
DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.0.8
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
EAP	無し
MAC アドレス	12:34:56:78:9A:BC

■ ネットワークステータス (IPv4)

バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)

ネットワークステータス (IPv4)	
DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.0.8
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
EAP	無し
MAC アドレス	12:34:56:78:9A:BC

■ ネットワークステータス (IPv6)

バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)

現在の IPv6 ネットワークの設定状態を確認します。

お知らせ

- 「IPv6 設定」 - 「自動設定」の「オン」「オフ」によって表示項目が変わります。

自動設定：オフ時

ネットワークステータス (IPv6)	
自動設定	オフ
リンクローカルアドレス	fe80::20b:97ff:fe41:305/64
IP アドレス	2001:db8:222:ffff:1111:ffff:1111:ffff/64
ゲートウェイ	2001:db8:222:ffff:1/64
DNS1	2001:db8:222:ffff:1/64
DNS2	2001:db8:222:ffff:2/64
MAC アドレス	00:08:97:41:03:05

自動設定：オン時

ネットワークステータス (IPv6)	
自動設定	オン
リンクローカルアドレス	fe80::20b:97ff:fe41:305/64
ステートフルアドレス	2001:db8:222:ffff:1111:ffff:1111:ffff/64
ステートレスアドレス	2001:db8:111:ffff:20b:97ff:fe41:305/64
一時アドレス	2001:db8:111:ffff:1111:ffff:1111:aaa1/64
ゲートウェイ	2001:db8:222:ffff:1/64
DNS1	2001:db8:222:ffff:1/64
DNS2	2001:db8:222:ffff:2/64
MAC アドレス	00:08:97:41:03:05

リンクローカルアドレス

IPv6 でのリンクローカルの IP アドレスを表示します。

DNS 1/2

IPv6 でのリンクローカルの IP アドレスを表示します。

ステートフルアドレス

IPv6 でのステートフルの IP アドレスを表示します。

ステートレスアドレス

IPv6 でのステートレスの IP アドレスを表示します。

一時アドレス

IPv6 での一時 IP アドレスを表示します。

お知らせ

- 「IPv6 設定」 - 「自動設定」が「オン」のときに「ステートレスアドレス」または「一時アドレス」を選択して < 決定 > を押すと一覧表示画面が表示されます。(最大 8 個表示)

ステートレスアドレス一覧画面

ステートレスアドレス
2001:db8:111:ffff:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:eeee:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:dddd:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:cccc:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:bbbb:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:aaaa:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:9999:20b:97ff:fe41:305/64
2001:db8:111:8888:20b:97ff:fe41:305/64

一時アドレス一覧画面

一時アドレス
2001:db8:111:ffff:1111:ffff:1111:aaa1/64
2001:db8:111:eeee:1111:ffff:1111:aaa2/64
2001:db8:111:dddd:1111:ffff:1111:aaa3/64
2001:db8:111:cccc:1111:ffff:1111:aaa4/64
2001:db8:111:bbbb:1111:ffff:1111:aaa5/64
2001:db8:111:aaaa:1111:ffff:1111:aaa6/64
2001:db8:111:9999:1111:ffff:1111:aaa7/64
2001:db8:111:8888:1111:ffff:1111:aaa8/64

DIGITAL LINK モード

DIGITAL LINK 端子の通信方式を切り換えることができます。

オート： 通信方式が自動的に選択されます。HDMI / LAN / シリアル通信を使用することができます。

イーサネット接続を行うことができます。

DIGITAL LINK： HDMI / LAN / シリアル通信は、ツイストペアケーブル伝送器を介して使用することができます。

イーサネット： LAN 通信を行います。

ロングリーチ： 通信方式がロングリーチに固定されます。

通信可能なモードについて

✓：通信可能

—：通信不可

設定		通信可否		イーサネット	RS-232C
		映像伝送 (100 m)	(150 m)		
オート	DIGITAL LINK の場合	✓	—	✓	✓
	ロングリーチの場合	—	✓	✓	✓
	イーサネットの場合	—	—	✓	—
DIGITAL LINK		✓	—	✓	✓
ロングリーチ		—	✓	✓	✓
イーサネット		—	—	✓	—

お知らせ

- 「ロングリーチ」の通信方式で接続した場合の最長伝送距離は 150 m です。ただし、その場合に本機が受信できる信号は 1080/60p (148.5 MHz) までになります。
- ツイストペアケーブル伝送器側の通信方式が「ロングリーチ」に設定されている場合、「DIGITAL LINK モード」を「オート」に設定すると、「ロングリーチ」の通信方式で接続します。別売品のデジタルリンクスイッチャー (ET-YFB200) との間を「ロングリーチ」の通信方式で接続する場合は、「DIGITAL LINK モード」を「ロングリーチ」に設定してください。
- 「DIGITAL LINK モード」を「ロングリーチ」に設定しても、ツイストペアケーブル伝送器が「ロングリーチ」の通信方式に対応していない場合は正常に接続できません。
- 「LAN 制御端子設定」が「LAN 端子」の場合は、「DIGITAL LINK モード」を「イーサネット」に設定しても動作しません。

■ DIGITAL LINK ステータス

DIGITAL LINK の接続環境を表示します。

▲▼で「DIGITAL LINK ステータス」を選んで
<決定>を押します。

DIGITAL LINK ステータス	
リンク状態	No link
HDMI ステータス	No HDMI
信号品質	
最小	-XX dB
最大	-YY dB

リンク状態：

「No link」、「DIGITAL LINK」、「ロングリーチ」、「イーサネット」のいずれかが表示されます。

No link： LAN 接続無しなど

DIGITAL LINK： DIGITAL LINK 機器と LAN 接続中

ロングリーチ： 通信方式を「ロングリーチ」に設定した状態で、DIGITAL LINK 機器と LAN 接続中

イーサネット： 本機 DIGITAL LINK / LAN 端子にパソコンを接続して LAN 接続中

HDMI ステータス：

HDMI フォーマットの接続状況を表示します。

「No HDMI」、「HDMI ON」、「HDCP ON」のいずれかが表示されます。

No HDMI： DIGITAL LINK 非接続

HDMI ON： DIGITAL LINK 接続中

HDCP ON： HDCP 有りの信号が DIGITAL LINK 接続で流れています。

信号品質：

エラー発生量の最小値と最大値を数値化したもので、その数値によって表示色が赤 / 黄 / 青に変わります。

信号品質	表示色	受信状態
-12dB 以下	青色	正常に受信しています
-11 ~ -8dB	黄色	受信データの一部が破損しています
-7dB 以上	赤色	受信異常です

・LAN ケーブルが断線している、またはケーブルがシールドされていない場合などは黄色または赤色の数値となります。

・この信号品質は接続されたツイストペアケーブル伝送器とディスプレイとの間のものを表しています。

■ DIGITAL LINK メニュー

デジタルインターフェースボックスの設定メニューを表示します。

▲▼で「DIGITAL LINK メニュー」を選んで <決定> を押します。

お知らせ

- この機能は、当社製の DIGITAL LINK 出力対応機器 (ET-YFB100、ET-YFB200) が DIGITAL LINK IN 端子に接続されていて、その電源が入っているときのみ選択することができます。
- 詳しくは、DIGITAL LINK 出力対応機器の取扱説明書をご覧ください。

■ Extron XTP

Extron 社製の「XTP トランスミッター」を DIGITAL LINK IN 端子に接続するときに「オン」に設定します。

- ・Extron についての情報は、下記の WEB サイトを参照してください。
<http://www.extron.co.jp/>

お知らせ

- 本項目を「オン」に設定する場合、「管理者アカウント設定」を設定しておく必要があります。

■ 自動ディスプレイ名

ディスプレイ名を自動的に変更するかどうかを設定します。

オフ：自動的にディスプレイ名は変更しません。

オン：ディスプレイ ID の設定値に従い自動的にディスプレイ名を変更します。

■ ディスプレイ名設定

ネットワーク上で、表示される本機の名前を変更することができます。

お知らせ

- 「自動ディスプレイ名」が「オフ」の場合のみ、名前の変更を行うことができます。
- 「ネットワーク設定」-「リセット」では、ディスプレイ ID は、初期値に設定されません。

■ USB メモリーでのネットワーク設定

USB メモリーを使用したネットワークの設定を許可するかを設定します。(☞ 171 ページ)

許可： USB メモリーでのネットワーク設定を許可します。

禁止： USB メモリーでのネットワーク設定を禁止します。

お知らせ

- 工場出荷時、本機能は「許可」に設定されています。
- 一度 USB メモリーでネットワーク設定を行うと、本機能は「禁止」に設定されます。

■ LAN 制御プロトコル

LAN 制御のプロトコルを選択します。

プロトコル 1 Panasonic ディスプレイのシーケンスで制御します。

プロトコル 2 Panasonic プロジェクターと互換性のあるシーケンスで制御します。

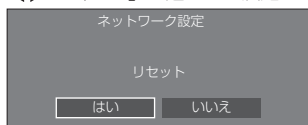
お知らせ

- PLink と WEB ブラウザーコントロールについては、設定に関わらず動作可能です。
- 複数台監視制御ソフトウェアを動作させる場合には、「プロトコル 2」を選択してください。

■ リセット

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻します。

◀▶ で「はい」を選び、< 決定 > を押します。



お知らせ

- 「NTP 同期」、「NTP サーバー」、「タイムゾーン」の設定も工場出荷状態に戻ります。
- 「セキュリティパスワード」 - 「セキュリティパスワード」が「オン」の場合は、「リセット」を実行する際にパスワードを入力する必要があります。

USB メディアプレーヤー設定

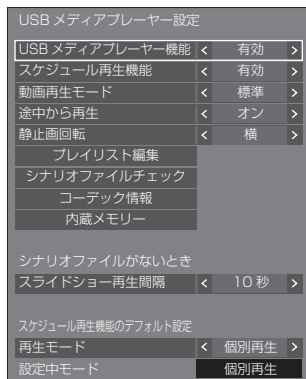
USB メディアプレーヤー機能について設定します。

USB メディアプレーヤー機能について詳しくは、「USB メディアプレーヤーを使う」(P.126 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- 「使用メモリー選択」の設定内容により、アクセスするデバイスが異なります。「USB」が選択されている場合は、USB 端子に挿入されている USB メモリーを、「内蔵メモリー」が選択されている場合は、内蔵のメモリーを使用します。

「USB メディアプレーヤー設定」サブメニュー画面



■ USB メディアプレーヤー機能

USB メディアプレーヤーの機能を有効または無効に設定します。

■ スケジュール再生機能

コンテンツマネージメントソフトウェアによるスケジュール再生機能を有効または無効に設定します。

お知らせ

- 「スケジュール再生機能」が「有効」のとき、USB メモリーに、従来の USB メディアプレーヤーのシナリオファイルと、本機能のスケジュールファイルがどちらも存在する場合、「スケジュール再生機能」の動作が優先されます。
- スケジュール再生モード中は「USB メディアプレーヤー機能」の変更はできません。

■ 動画再生モード

動画再生モードを設定します。

「標準」モードでの再生時、動画ファイル間のつなぎ目で映像の乱れ等が発生する場合は、「補正」モードに切り換えてご使用ください。

標準：動画ファイル間のつなぎ目を黒画無しで再生します。

補正：動画ファイル間のつなぎ目に黒画（約 2 秒）を挿入して再生します。

お知らせ

- マルチメディアプレーヤー時は、「動画再生モード」の設定に関係なく動画ファイル間のつなぎ目に黒画が一定時間表示されます。
- 標準再生時、ファイルのつなぎ目で画面が乱れることがあります。
- コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生中の場合、シングルモードとマルチモードどちらの場合でも、「動画再生モード」の切り換えが有効となります。

■ 途中から再生

途中から再生機能をオフまたはオンに設定します。

■ 静止画回転

USB/Internal Memory 入力の静止画について、表示方法を設定します。

横：静止画を横向きに表示します。

縦：静止画を縦向きに表示します。

Exif 情報：ファイルの情報に従って回転表示します。

お知らせ

- 「Exif 情報」は Exif 情報が付加された JPEG フォーマットでのみ回転動作します。
- Exif 情報が検出されない JPEG フォーマット時、あるいは BMP フォーマット時には、「横」選択時の動作をします。

■ プレイリスト編集

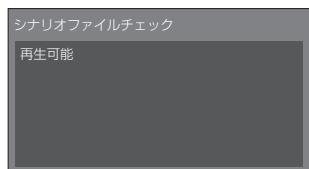
シナリオファイル (scenario.dat) を作成・編集します。プレイリスト編集の詳細については、「プレイリスト編集機能」(P.133 ページ)をご覧ください。

■ シナリオファイルチェック

「使用メモリー選択」で選択されているメモリーのチェックを実行します。エラーが検出された場合は、エラーコードとファイル名が表示されます。

エラーコードの詳細については「USBメモリー内容チェック」(P.131ページ)をご覧ください。

▲▼で「シナリオファイルチェック」を選び、<決定>を押します。



お知らせ

- コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生中の場合、「シナリオファイルチェック」は無効となります。

■ コーデック情報

USBメディアプレーヤーで再生中の動画・静止画ファイルのコーデック情報を表示します。

実行するとファイルを解析し、解析完了後にコーデック情報が表示されます。

お知らせ

- ファイルの解析には、USBメモリー内のファイルの数に比例した解析時間がかかります。
- 解析中は、再生を停止するため黒画面になります。
- スケジュール再生モードには非対応です。

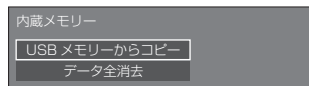
■ 内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータ操作を行います。

お知らせ

- 操作の対象になる「内蔵メモリー」は、USBメディアプレーヤーで使用されるものです。(ホワイトボード機能の「内蔵メモリー」とは別です。)
- 内蔵メモリーを使用される場合は、「使用メモリー選択」を参照してください。(P.95ページ)
- 内蔵メモリーの容量は、約3GBです。

「内蔵メモリー」サブメニュー画面



USBメモリーからコピー：

USBメモリーから内蔵メモリーにデータをコピーします。

データ全消去：

内蔵メモリー内のデータを消去します。

■ スライドショー再生間隔

静止画像の表示時間を選択します。

10秒～600秒

お知らせ

- コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生中の場合、「スライドショー再生間隔」は無効となります。

■ 再生モード

「スケジュール再生機能」で動作中の再生モードの指定を行います。スケジュール再生の動作に反映するためには、本機の再起動が必要です。

また、スケジュール再生中に、コンテンツマネージメントソフトウェアのスケジュールデータに再生モードの指定があった場合は、そちらを優先して動作します。

個別再生：個別再生モードで再生します。

コンテンツはディスプレイ1台での単独再生となります。

同期再生：同期再生モードで再生します。

複数台のディスプレイで同期して再生します。ただし、再生タイミングを合わせるために、コンテンツの切り換わり時に約5秒間の準備時間が追加されます。

お知らせ

- 同期再生は「日付と時刻」-「ディスプレイ間同期」が「オン」で、時刻が同期している場合のみ正しく動作します。
- 設定中モードは、本機によるスケジュール再生時の再生モードを表示します。
- IPv6設定で通信している場合、同期再生はできません。

メモリービューワー設定

メモリービューワー機能について設定します。

メモリービューワー機能について詳しくは、「メモリービューワーを使う」(P.138 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- 「使用メモリー選択」の設定内容により、アクセスするデバイスが異なります。「USB」が選択されている場合は、USB 端子に挿入されている USB メモリーを、「内蔵メモリー」が選択されている場合は、内蔵のメモリーを使用します。

「メモリービューワー設定」サブメニュー画面

メモリービューワー設定		
メモリービューワー機能	<	有効 >
表示切換	<	サムネイル >
再生コンテンツ	<	動画 >
表示順種類	<	ファイル名 >
表示順方向	<	昇順 >
再生方式	<	リピートなし >
静止画再生間隔	<	10秒 >
再生情報自動表示	<	オン >
操作ガイド自動表示	<	オン >

メモリービューワー機能

メモリービューワーの機能を有効または無効に設定します。

表示切換

USB メモリーまたは内蔵メモリー内のコンテンツ表示形式をサムネイルまたはリストに設定します。

再生コンテンツ

表示するコンテンツの種類を設定します。

オール：静止画、動画、音楽すべてのファイルを表示します。

静止画 / 動画：静止画ファイルと動画ファイルを表示します。

静止画 / 音楽：静止画ファイルと音楽ファイルを表示します。

動画 / 音楽：動画ファイルと音楽ファイルを表示します。

静止画：静止画ファイルのみ表示します。

動画：動画ファイルのみ表示します。

音楽：音楽ファイルのみ表示します。

表示順種類

「表示順方向」と組み合わせてコンテンツの並び順を設定します。

表示順方向

「表示順種類」と組み合わせてコンテンツの並び順を設定します。

再生方式

コンテンツの再生方式を設定します。

リピートなし：選択ファイルの再生が終了するとコンテンツ表示画面に自動的に戻ります。

1 ファイル繰り返し：選択ファイルを連続再生します。

全ファイル繰り返し：コンテンツ表示画面に表示されたコンテンツを表示された順に連続再生します。

ランダム：コンテンツ表示画面に表示されたコンテンツをランダムに再生します。

選択：選択したファイルをコンテンツ表示画面内の並び順に再生します。

プログラム：選択したファイルを選択した順に再生します。

静止画再生間隔

静止画ファイルの表示時間を設定します。

10秒～600秒

再生情報自動表示

「オン」の場合、コンテンツ再生開始時にコンテンツ情報を自動表示し、一定時間経過後に自動消去します。

操作ガイド自動表示

「オン」の場合、コンテンツ再生開始時に操作ガイドを自動表示し、一定時間経過後に自動消去します。また、再生中の制御 (P.140 ページ) は操作ガイド表示中のみ動作し、操作ガイドが表示されていない場合は再生制御を行わずに操作ガイドを表示します。

「オフ」の場合、コンテンツ再生開始時に操作ガイドを表示しません。また、操作ガイドの表示 / 非表示に関わらず再生制御を行います。

お知らせ

- 「再生方式」が「1 ファイル繰り返し」の場合、再生情報や操作ガイドが自動表示されるのは 1 回目のコンテンツ再生開始時のみとなります。
- 「再生方式」が「選択」または「プログラム」の場合、選択できるファイルは 99 個までとなります。
- コンテンツ再生中は本メニューはグレー表示になり設定できません。

Screen Transfer 設定

「Screen Transfer 設定」サブメニュー画面

Screen Transfer 設定		
Screen Transfer 機能	<	有効 >
割り込み	<	オフ >
PIN コード	<	オン >

Screen Transfer 機能

当社の専用アプリケーション「Screen Transfer」を使用して映像を表示する機能を有効または無効に設定します。

■ 割り込み

Screen Transfer を使用して映像表示中に、他のユーザーによる映像の割り込みを許可するかどうかを設定します。

オフ：映像の割り込みを無効にします。

オン：映像の割り込みを有効にします。

■ PIN コード

Screen Transfer を使用して本機に接続しようとしたときに、PIN コードの入力を必要とするかどうかを設定します。

オフ：PIN コードの入力を不要にします。

オン：PIN コードの入力を必要にします。

お知らせ

- IPv6 設定で通信している場合、本機能は動作しません。

ワイヤレスプレゼンテーション設定

ワイヤレスプレゼンテーションシステム接続時の設定を行うメニューです。

詳細は下記のサポートサイトの取扱説明書を参照してください。

(<https://archives.connect.panasonic.com/prodisplays/pressit/>)

「ワイヤレスプレゼンテーション設定」サブメニュー画面

ワイヤレスプレゼンテーション設定		
背景色設定	<	黒 >
日時表示設定	<	Y/M/D >
言語連動	<	有効 >

ファンクション設定

リモコンの数字ボタン (<1> ~ <6>) の機能を設定します。よく使う操作をボタンに割り当てることで、ショートカットボタンとして使用できます。

1 ▲▼ で数字ボタンを選び、<決定>を押す

「ファンクション設定」サブメニュー画面

ファンクション設定	
ファンクション 1	HDMI1
ファンクション 2	HDMI2
ファンクション 3	HDMI3
ファンクション 4	USB-C
ファンクション 5	PC
ファンクション 6	MEMORY VIEWER
ファンクションガイド	< オン >

2 ◀▶ で「グループ」を切り換える

ファンクション 1	
グループ	< 入力切換 >
入力切換	< HDMI 1 >

3 ▲▼ で機能（入力切換 / メモリー呼出 / ショートカット）を選び、◀▶ で割り当てる機能を設定する

数字ボタンに割り当てる機能

入力切換（ダイレクト入力選択）

入力をワンタッチで選択できます。

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / USB-C / SLOT / PC / PC [YPbPr] / Screen Transfer / USB/Internal Memory / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD

メモリー呼出

メモリーをワンタッチで呼び出します。

「メモリーを呼び出す」(☞ 54 ページ) をご覧ください。

MEMORY1 / MEMORY2 / MEMORY3 / MEMORY4 / MEMORY5 / MEMORY6

お知らせ

- 選択肢は、「メモリー保存」で設定した名称で表示されます。(☞ 54 ページ)

ショートカット（アクション・メニュー画面表示）

信号モード、スクリーンセーバー、タイマー設定、パワーマネージメント設定、ネットワーク設定、マルチ画面設定、ポートレート設定

- 数字ボタンを押すとメニュー画面を表示します。もう一度数字ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

電源オフ

- 数字ボタンを押すと電源を「切」にします。

電源オン

- 数字ボタンを押すと電源を「入」にします。

AV ミュート

- 数字ボタンを押すと音声や映像をミュートします。解除するにはリモコンの電源ボタン以外を押してください。

デジタルズーム

- 数字ボタンを押すとデジタルズームモードになります。(☞ 44 ページ)

ディスプレイ ID / ディスプレイ名

- 数字ボタンを押すとディスプレイ ID とディスプレイ名を拡大表示します。

HDMI-CEC 操作

- 数字ボタンを押すと HDMI-CEC 対応機器の操作画面を表示します。

プレイリスト編集

- 数字ボタンを押すとプレイリスト編集画面を表示します。(☞ 133 ページ)

ポートレート切換

- 数字ボタンを押すと「ポートレート設定」-「ポートレート表示」の「オン」「オフ」を切り換えます。

マルチ画面切換

- 数字ボタンを押すと「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」の「オン」「オフ」を切り換えます。

USB (DEVICE) 接続切換

(バージョン 1.5000 以降対応)

- 数字ボタンを押すと USB DEVICE 端子の接続先を「内部」、「USB-C」または「SLOT」に切り換えます。

お知らせ

- メニュー画面を表示していないときに、本体の ▲ ▼ を押すと USB DEVICE 端子の接続先が切り換わります。
- ファンクション「USB (DEVICE) 接続切換」で設定した接続先は、電源オフ / 入力切換の操作で「動作設定」-「USB (DEVICE) 接続先設定」(P.96 ページ) の設定値に戻ります。
- 本機能は、USB / Internal Memory / MEMORY VIEWER / WHITEBOARD 入力では動作しません。

工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように数字ボタンに機能が設定されています。

	入力切換
1	HDMI1
2	HDMI2
3	HDMI3
4	USB-C
5	PC
6	MEMORY VIEWER

■ ファンクションガイド

数字ボタンを押したときの機能表示を設定します。ファンクショングループごとに設定してください。

オン： 数字ボタンの機能一覧を表示します。

オフ： 機能一覧を表示しません。数字ボタンを押すと動作を行います。

お知らせ

- <ファンクション> を押したときは、設定のオフ/オンにかかわらずファンクションガイドを表示します。

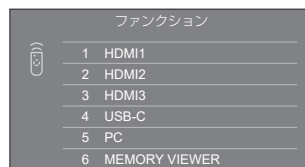
ショートカットボタン (数字ボタン) の使い方

1 <ファンクション> または <1> ~ <6> を押す

ファンクションガイドが表示されます。

ファンクションガイド：オフのときは、数字ボタンを押すと機能が働きます。

例：入力切換



2 <1> ~ <6> を押す

押したボタンの機能が働きます。

カラーデザイン設定

カラーデザインについて設定します。

「カラーデザイン設定」サブメニュー画面



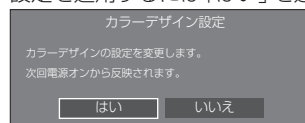
- ①「ユニバーサル」または「オリジナル」を設定し、「保存」を選んでください。

オリジナル： ホワイトボードで使用できるパレットの数が多くなります。

ユニバーサル： ユニバーサルデザインに配慮した配色になります。
ホワイトボードで視認しやすい色のパレットを使用します。

- ② 確認画面が表示されます。

設定を適用するには「はい」を選んでください。



お知らせ

- 設定切替後は、次回電源オンから設定が反映されます。本体の電源ボタン (P/I) を押して電源を切ってください。電源ボタンがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 「ユニバーサル」に設定している場合は、起動時にメッセージが表示されます。

OSD 設定

オンスクリーンメニューについて各種設定を行います。

「OSD 設定」サブメニュー画面

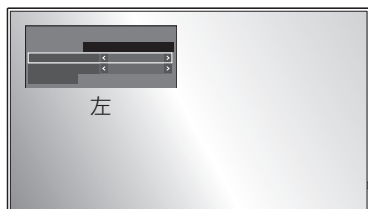
OSD 設定		
メニュー位置	< 右 >	>
メニュー表示時間	< 60 秒 >	>
オンスクリーン表示	< オン >	>
OSD 透過率	< 0 >	>
OSD メモリー	< オン >	>

■ メニュー位置

オンスクリーンメニューの表示位置を設定します。

◀または▶を押すたびにオンスクリーンメニューの表示位置が変わります。

表示例：



■ メニュー表示時間

オンスクリーンメニューの表示時間を設定します。

5 秒～ 180 秒

■ オンスクリーン表示

電源オン表示、入力切り換え表示、無信号表示、外部メディア無し表示 (USB 入力時)、メニュー画面表示後の消音表示、オフタイマー 3 分前の残時間表示、また、外部制御からのコマンド応答時の表示を行わなくすることができます。

オン：表示にします。

オフ：非表示にします。

■ OSD 透過率

オンスクリーンメニュー表示の背景の透過率を設定します。

0～100

■ OSD メモリー

メニュー画面のカーソル位置を保持するかどうかを設定します。

オフ：カーソル位置を保持しません。

オン：カーソル位置を保持します。

お知らせ

- 「オン」に設定している場合でも、本体の電源をオフにすると、カーソル位置は保持されません。

オプション設定

本機の情報を表示したり、データを工場出荷時の状態に戻したりするメニューです。

「オプション設定」サブメニュー画面

オプション設定	
ディスプレイ情報	
ソフトウェアライセンス	
クローニングパスワード	
USB データクローニング	
LAN データクローニング	
ログ出力	
セキュリティーパスワード	
工場出荷時設定	

■ ディスプレイ情報

本機のシリアル番号、ソフトウェアバージョンと使用時間を表示します。

■ ソフトウェアライセンス

ソフトウェアライセンスを表示します。

■ クローニングパスワード

クローニング機能のパスワードを設定します。

詳しい設定方法については、「クローニングパスワードを変更する」(P.170 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- クローニングパスワードの初期化方法については、販売店にご相談ください。

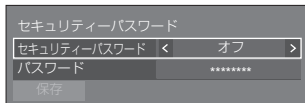
■ USB データクローニング、LAN データクローニング

USB メモリーを使用または LAN 経由で、1 台のディスプレイのデータを複数台のディスプレイにコピーします。詳しい設定方法については「データクローニングを使う」(P.167 ページ)をご覧ください。

■ ログ出力

USB メモリーにサービス用ログを保存します。

■ セキュリティーパスワード



セキュリティパスワード

オフ：セキュリティパスワードの制御を無効にします。

オン：セキュリティパスワードの制御を有効にします。

パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選ぶと確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選ぶとパスワードが決定されます。

- ・文字の入力方法は「文字入力について」(P.174 ページ)をご覧ください。

保存

上記で設定した内容をディスプレイ本体に保存します。

お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「1111」です。
- セキュリティパスワードは「工場出荷時設定」および「ネットワーク設定」-「リセット」を行う際に用いられます。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティパスワードの初期化方法については、販売店にご相談ください。

■ 工場出荷時設定

本機のデータを工場出荷時の状態に戻します。詳しい設定方法については「工場出荷時の設定に戻すには」(P.178 ページ)をご覧ください。

■ コントロール設定

複数台のディスプレイを同時に、または個別に制御する機能について各種設定を行います。

お知らせ

- DIGITAL LINK 関連のメニューは、機能拡張用スロット (SLOT) に DIGITAL LINK 端子ボードが取り付けられている場合にのみ表示されます。

「コントロール設定」サブメニュー画面

コントロール設定		
シリアル制御	<	SERIAL IN >
ディスプレイ ID	<	0 >
リモコン ID 機能	<	オフ >
シリアル ID 機能	<	オフ >
応答 (通常制御)	<	オン >
応答 (シリアル ID オール)	<	オフ >
シリアル ID グループ	<	A >
応答 (シリアル ID グループ)	<	オフ >
シリアルディジーチェーン 接続位置	<	---

■ シリアル制御

RS-232C での制御端子を選択します。

SERIAL IN：本機の SERIAL IN 端子を使って制御します。

SLOT：本機の SLOT に挿入したファンクションボードを経由して制御します。

■ ディスプレイ ID

「リモコン ID 機能」「シリアル ID 機能」でディスプレイ本体の制御を行うときの ID 番号を設定します。

0 ~ 100 (標準値：0)

■ リモコン ID 機能

リモコン ID 機能の有効 / 無効を設定します。

オフ：リモコン ID 機能を無効にします。(通常のリモコンとして操作できません)

オン：リモコン ID 機能を有効にします。「オン」に切り換えと同時に有効になります。

お知らせ

- リモコン ID 機能を使うときは、リモコンの ID 番号とディスプレイ本体の ID 番号の設定が必要です。リモコンの ID 番号の設定は 173 ページをご覧ください。
- 設定を標準値に戻す方法については、「ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」(P.179 ページ)をご覧ください。

■ シリアル ID 機能

SERIAL (シリアル) 端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイの ID 番号により制御する設定をします。

オフ：ID による外部制御を無効にします。

オン：ID による外部制御を有効にします。

■ 応答 (通常制御)

ID なしの通常のコマンドに対して応答コマンドを返すかどうかを設定します。

オフ：応答を返しません。(問い合わせコマンドを含む)

オン：応答を返します。

■ 応答 (シリアル ID オール)

ID 番号「0」のシリアルコマンドを受信したときに応答コマンドを返すかどうかを設定します。

オフ：応答を返しません。

オン：応答を返します。

■ シリアル ID グループ

マルチ画面などで複数のディスプレイをシリアル通信で同時に制御する場合に、ディスプレイを 1 つのグループに設定します。

A ~ G (7 グループ)

■ 応答 (シリアル ID グループ)

グループ指定のシリアルコマンドを受信したときに応答コマンドを返すかどうかを設定します。

オフ: 応答を返しません。

オン: 応答を返します。

■ シリアルデジチェーン 接続位置

本機を DIGITAL LINK 経由でデジチェーン接続でシリアル制御する場合、デジチェーン接続の先頭と終端を設定します。

—: 本機を単体でシリアル制御する場合またはデジチェーンの先頭・終端以外の場合。

先頭: デジチェーンの先頭に接続する場合。

終端: デジチェーンの終端に接続する場合。

センサー設定 (SQ2H シリーズ)

各種センサーの接続確認・設定を行います。

「センサー設定」サブメニュー画面

センサー設定	
接続確認	
センサー動作可能	
照度センサー	< 消費電力低減 弱 >
近接センサー	< コンテンツ操作 >
カラーセンサー	< 色温度設定 >
モード	< 照明 >
ホワイトバランス調整	
2 面色合わせ調整	

■ 接続確認

センサーの接続確認を実施します。

状態により、次のメッセージを表示します。

状態	表示
接続	センサー動作可能
接続していない場合	センサーの接続を確認してください。

お知らせ

- 「センサー動作可能」と表示されてから設定を行ってください。

■ 照度センサー

照度センサーの動作を設定します。

オフ: 動作しません。

消費電力低減 弱、強:

視聴環境に応じてバックライトの明るさを自動調整します。

強: 明るい環境に適した調整をします。

弱: 暗い環境に適した調整をします。

お知らせ

- 「消費電力低減設定」については、66 ページを参照してください。
- 「初期設定」- 「パワーマネジメントモード」を「オン」に設定した場合、「照度センサー」は「オフ」に固定され、設定できません。
- 「照度センサー」が動作する場合、「消費電力低減設定」は設定できません。

■ 近接センサー

近接センサーの動作を設定します。

オフ: 動作しません。

コンテンツ操作: USB メディアプレーヤー再生時のコンテンツ操作に使用します。

USB メディアプレーヤー再生中の近接センサー動作

センサーの近くに手などをかざす (10 cm 以下):

前の再生ファイルへスキップします。

センサーの遠くに手などをかざす (約 20 cm):

次の再生ファイルへスキップします。

電源操作: 電源操作に使用します。

電源「入」時に 3 秒以上手などをかざす (10cm 以下):

電源を「切」(スタンバイ) にします。

電源「切」(スタンバイ) 時に 3 秒以上手などをかざす (10cm 以下):

電源を「入」にします。

お知らせ

- USB メディアプレーヤーについては、126 ページを参照してください。
- スケジュール再生機能が有効時は、近接センサー動作 (スキップ操作) はできません。
- 距離は目安です。かざす手などの色や形などの状態が変わります。
- センサー前面に手などを接触させないようにしてください。

■ カラーセンサー

カラーセンサーの動作を設定します。

オフ: 動作しません

色温度設定: 視聴環境に応じて色温度を自動調整します。

白補正設定: 視聴環境に応じて白補正 (色あい) を自動調整します。

色強調設定: 視聴環境に応じて色強調 (カラーエンハンスメント) を自動調整します。

色温度 / 色強調設定:

視聴環境に応じて色温度 / 色強調 (カラーエンハンスメント) を自動調整します。

白補正 / 色強調設定:

視聴環境に応じて白補正 (色あい) / 色強調 (カラーエンハンスメント) を自動調整します。

■ モード

カラーセンサーの動作モード (感度モード) を設置環境に応じて設定します。

照明: 室内の環境下に適した調整を行います。

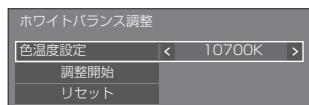
デilight: 明るい環境下に適した調整を行います。

お知らせ

- 「色温度設定」については、51 ページを参照してください。
- 「色あい」については、50 ページを参照してください。
- 「カラーエンハンスメント」については、52 ページを参照してください。

■ ホワイトバランス調整

カラーセンサーを用いて、ディスプレイのホワイトバランスを調整します。



色温度設定： 色温度設定のターゲット値を設定します。

調整開始： ホワイトバランス調整を開始します。

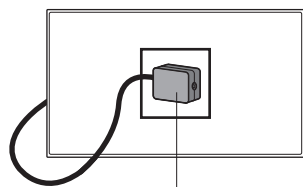
リセット： カラーセンサーで調整した RGB ゲイン値をリセットして工場調整時の RGB ゲイン値に戻します。

お知らせ

- 調整された値は、「画質の調整」-「色温度設定」-「ユーザー2」に保存されます。
- 調整するディスプレイの「画質の調整」-「映像メニュー」が「DICOM」の場合は操作できません。
- パネルにセンサーモジュールを当てる時、強く押し付けられないよう注意してください。
- ディスプレイにセンサーモジュールを再度取り付ける場合、予備の両面テープ等をご使用ください。
- 調整前に、映像信号表示状態で1時間以上通電してください。

調整手順

- 1 「色温度設定」で設定したい色温度を選択する
- 2 画面中央の四角表示内に、センサーの前面をパネルに向けてセットする



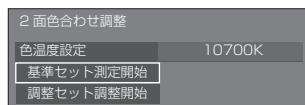
センサーモジュール

- 3 「調整開始」を選択して <決定> を押す調整がスタートします。
- 4 「調整 OK」と表示されたら調整完了です「調整 NG」の場合、再度やり直してください。



■ 2面色合わせ調整

カラーセンサーを用いて、2台のディスプレイの色合わせを行います。



色温度設定： 基準ディスプレイの色温度設定を表示します。

基準セット測定開始： センサーを基準ディスプレイにセットして実行すると測定を開始します。

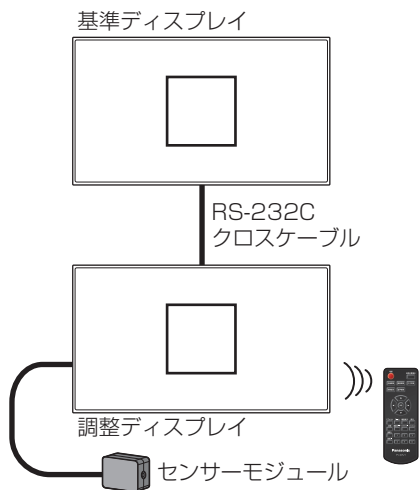
調整セット調整開始： センサーを調整するディスプレイにセットして実行すると調整を開始します。

お知らせ

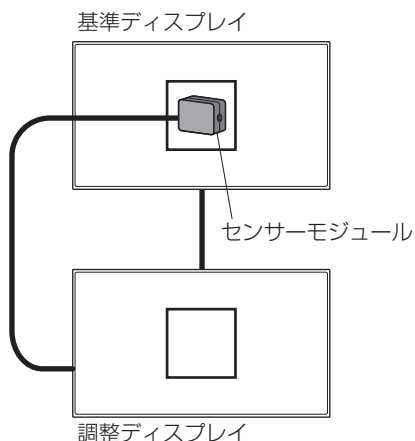
- 2台のディスプレイ間をRS-232Cクロスケーブル(メス-メス)で接続してください。
- 2台のディスプレイで、「コントロール設定」が次の設定内容であることを確認してください。
 - ・「シリアル制御」が「SERIAL IN」であること。
 - ・「応答(通常制御)」が「オン」であること。
- パネルにセンサーモジュールを当てる時、強く押し付けられないよう注意してください。
- ディスプレイにセンサーモジュールを再度取り付ける場合、予備の両面テープ等をご使用ください。
- 調整前に、映像信号表示状態で1時間以上通電してください。
- 調整するディスプレイのセンサーモジュールを使用します。
- 基準ディスプレイの「画質の調整」-「色温度設定」が「ネイティブ」、「ユーザー1」または「ユーザー2」の場合はメニュー操作できません。
- 調整するディスプレイの「画質の調整」-「映像メニュー」が「DICOM」の場合は操作できません。

調整手順

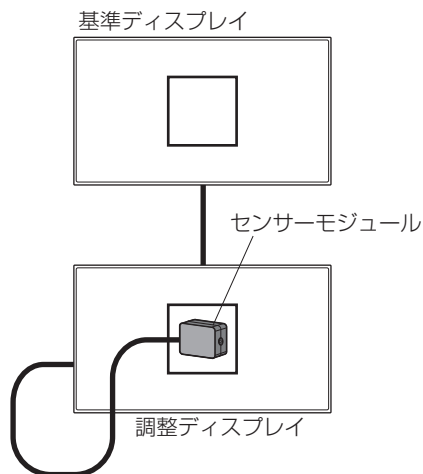
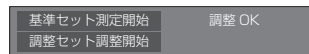
- 1 2台のディスプレイをRS-232Cクロスケーブルで接続する
- 2 調整するディスプレイで「2面色合わせ調整」を選択して<決定>を押す
画面中央に四角が表示されます。



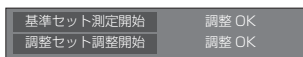
- 3 基準ディスプレイの四角表示内に、センサーの前面をパネルに向けてセットする



- 4 「基準セット測定開始」を選択して
<決定>を押す
- 5 測定終了後、「調整 OK」と表示されたら、
調整するディスプレイにセンサーを
セットする



- 6 「調整セット調整開始」を選択して
<決定>を押す
- 7 「調整 OK」と表示されたら調整完了です
「調整 NG」の場合、再度やり直してください。



情報通知タイミング

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。

RS-232C 制御：

警告・エラー情報を本機から自動で発信します。

LAN 制御：

警告・エラー情報を本機から取得できます。

「情報通知タイミング」サブメニュー画面

情報通知タイミング		
無信号警告	< オン >	
無信号警告タイミング	< 5分 >	
無信号エラー	< オン >	
無信号エラータイミング	< 10分 >	
温度警告	< オン >	

■ 無信号警告

「オン」に設定すると無信号警告を通知します。

■ 無信号警告タイミング

無信号警告の検出時間を設定します。

(範囲：01～60、間隔：1分)

■ 無信号エラー

「オン」に設定すると無信号エラーを通知します。

■ 無信号エラータイミング

無信号エラーの検出時間を設定します。

(範囲：01～90、間隔：1分)

- 次の機能のいずれかが働いて無信号を検出した場合は、「無信号警告」と「無信号エラー」による警告・エラーは通知されません。

無信号自動オフ、各入力のパワーマネージメント
(☞ 65 ページをご覧ください。)

設定例)

- HDMI1 入力時に無信号を検出すると「HDMI1 パワーマネージメント」が先に働いてスタンバイになります。

無信号警告タイミング：5分

無信号エラータイミング：10分

HDMI1 パワーマネージメント：オン (60 秒)

お知らせ

- 「無信号エラータイミング」は「無信号警告タイミング」より短く設定できません。
- USB メモリーまたは内蔵メモリーを接続していても、再生できない場合は無信号と判断します。

■ 温度警告

「オン」に設定すると本機の温度警告を通知します。

動作設定

各種動作を設定します。

「動作設定」サブメニュー画面

動作設定		
ディスプレイ設定	< 横 >	
映像回転	< オフ >	
電源ボタン操作設定	< オフ >	
電源ランプ点灯設定	< オフ >	
PC インพุットモード	< PC >	
使用メモリー選択	< USB >	
デジタルアウト設定	< オート >	
デジタルアウト音量設定	< 100 >	
USB (DEVICE) 接続先設定	< オート >	
USB-C/SLOT 選択	< USB-C+SLOT >	
LAN 制御端子設定	< LAN 端子 >	

■ ディスプレイ設置

縦置き設置時のオンスクリーン表示の表示方向を設定します。

横： 横置き用のオンスクリーン表示になります。

縦： オンスクリーン表示が時計方向に90度回転表示し、縦置き設置時に表示が見やすくなります。



お知らせ

- 縦置き設置時は、電源ランプを上側にして設置してください。

■ 映像回転

縦置き設置時の映像回転を設定します。

オフ： 映像を回転しません。

180度： 映像を180度回転します。

「映像回転」が「180度」のときの「位置調整」について

「映像回転」が「180度」の場合は調整方向が「オフ」の場合の逆になります。(☞ 47 ページ)

ご注意の上調整してください。

■ 電源ボタン操作設定

本体電源ボタン (⏻ / ⏻) を押したときの動作を設定します。

オフ： 電源を切ります。

スタンバイ： スタンバイ状態になります。

■ 電源ランプ点灯設定

本体電源ランプの表示動作を設定します。

オフ： 点灯しません。

オン： 電源の状態に応じて点灯します。

■ PC インพุットモード

PC IN 端子の入力信号形式に合わせて設定します。

PC： RGB 信号

PC[YPbPr]： YPbPr/YCbCr 信号

お知らせ

- 同期信号は以下の入力のみに対応します。
PC： HD/VD 信号入力のみ
PC[YPbPr]： Y 信号入力に重畳された同期信号のみ

■ 使用メモリー選択

使用するメモリーを選択します。

USB： USB メモリーを使用します。

内蔵メモリー： 内蔵メモリーを使用します。

■ デジタルアウト設定 (EQ2 シリーズ)

DIGITAL AV OUT 端子から出力する映像の解像度を設定します。

オフ: 映像を出力しません。

オート: 接続した機器に適した解像度を自動で選び出力します。

4K(2160p): 3860 x 2160p@60Hz または 50Hz で出力します。

1080p: 1920 x 1080p@60Hz または 50Hz で出力します。

お知らせ

- 「ビデオ会議モード設定」、「フレームコントロール」および「デジタルアウト設定」は同時に使用できません。いずれか 1 つのみの使用となります。
- 出力周波数 (60Hz/50Hz) の選択はできません。
- 本機に入力している映像信号の周波数に依存します。

■ デジタルアウト音量設定 (EQ2 シリーズ)

デジタル AV 出力端子 (DIGITAL AV OUT) の音声出力を調整します。

音量は 0 ~ 100 の範囲で設定可能です。

工場出荷時の音量は「100」です。

お知らせ

- デジタルアウト音声出力では、スタート音量設定機能および最大音量設定機能は動作しません。

■ USB (DEVICE) 接続先設定

USB DEVICE 端子の接続先を設定します。

オート: 入力設定より接続先を切り換えます。

USB-C: USB-C HOST 端子に接続

SLOT: SLOT に接続

その他の入力: 本体内部システムに接続

USB-C: USB-C HOST 端子に接続します。

SLOT: SLOT に接続します。

内部: 本体内部システムに接続します。USB 端子と同じ動作となります。

お知らせ

- ファンクション「USB (DEVICE) 接続切換」実行時、本設定は無効になります。再設定することで有効になります。

■ USB-C/SLOT 選択

USB-C HOST 端子と SLOT 端子への電力供給を制御します。

USB-C: USB-C HOST 端子への電力供給が、最大 60W まで可能となります。この設定の場合、SLOT は使用できません。

USB-C+SLOT:

USB-C HOST 端子と SLOT 端子の両方が使用できます。ただし、USB への電力供給が、最大 7.5W までに制限されます。

お知らせ

- 本体ソフトウェアのメインマイコンのバージョン Ver.2.6000 未満では、設定を変更した場合は、主電源スイッチを入れ直すか、電源プラグを抜き差ししてください。

■ LAN 制御端子設定

LAN 制御をする端子を選択します。

LAN 端子: 本体の LAN 端子より、制御を行います。

DIGITAL LINK SLOT:

DIGITAL LINK 端子ボードの LAN 制御端子より、制御を行います。

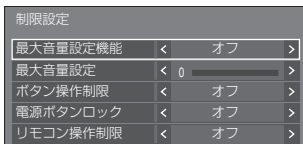
お知らせ

- DIGITAL LINK 端子ボードが装着されていない場合は、メニュー非表示、強制的に本体 LAN 端子で制御します。
- DIGITAL LINK 端子ボードの LAN 制御端子は、LAN 制御のデジチェーン接続には対応していません。

制限設定

各種動作制限を設定します。

「制限設定」サブメニュー画面



■ 最大音量設定機能

最大音量設定機能の有効 / 無効を設定します。

オフ: 音量を「100」(最大値)まで設定できます。

オン: 「最大音量設定」で設定した音量以上にはなりません。

■ 最大音量設定

最大音量設定機能有効時の音量を設定します。

お知らせ

- メニューの「最大音量設定」を選択中で「オン」の状態のときは、設定されている音量で出力します。
- 「最大音量設定機能」を「オフ」から「オン」にしたとき、「最大音量設定」で設定した音量が「スタート音量設定」で設定した音量以下では強制的に「スタート音量設定」で設定した音量は「最大音量設定」で設定した音量になります。

■ ボタン操作制限

本体のボタン操作を制限します。

オフ: ボタン操作を制限しません。

オン: 本体の電源ボタンを除くすべてのボタン操作はできません。

MENU & ENTER: <MENU>と<ENTER>操作はできません。

ボタン操作制限の設定

本体のボタンを操作して設定できます。

オフ：

- ① <+> を 4 回押す
- ② <INPUT> を 4 回押す
- ③ <-> を 4 回押す
- ④ <ENTER> を押す

オン：

- ① <-> を 4 回押す
- ② <ENTER> を 4 回押す
- ③ <+> を 4 回押す
- ④ <ENTER> を押す

MENU & ENTER：

- ① <ENTER> を 4 回押す
- ② <+> を 4 回押す
- ③ <INPUT> を 4 回押す
- ④ <ENTER> を押す

お知らせ

- 設定を標準値に戻す方法については、「ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」(P.179 ページ)をご覧ください。

電源ボタンロック

本体電源ボタン (⏻ / |) のロック設定をします。

オフ：電源ボタンの操作が有効になります。

オン：電源ボタンの操作が無効になります。

リモコン操作制限

リモコンのボタン操作を制限します。

オフ： ボタン操作を制限しません。

ユーザー 1：電源ボタン <入力切換> <画面表示> <消音> <音量-> <音量+> 以外のボタン操作はできません。

ユーザー 2：電源ボタン以外のボタン操作はできません。

ユーザー 3：すべてのボタン操作はできません。

お知らせ

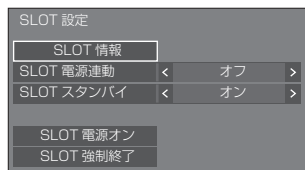
- 設定を標準値に戻す方法については、「ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」(P.179 ページ)をご覧ください。

SLOT 設定

SLOT について、設定します。

本メニューは SLOT にファンクションボードが挿入されている場合のみ表示されます。

「SLOT 設定」サブメニュー画面



■ SLOT 情報

SLOT に挿入したファンクションボードの情報を表示します。

■ SLOT 電源運動

SLOT の電源動作と本機の電源動作を連動させます。

オフ： 連動しません。

オン： SLOT 入力時に、挿入されているファンクションボードの電源がオフされたり、パワーセーブモードになると、本機の電源が切れます。その後、ファンクションボードの電源がオンされたり、パワーセーブモードから復帰すると本機の電源が入ります。

お知らせ

- 「HDMI-CEC 制御」が「有効」の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。(P.68 ページ)
- DIGITAL LINK 端子ボードが装着されている場合は、「SLOT 電源運動」がグレー表示になり設定できません。

■ SLOT スタンバイ

スタンバイ時の SLOT への電源供給状態を設定します。

オフ： リモコンなどで電源オフ時、SLOT に電源を供給しません。

オン： リモコンなどで電源オフ時、SLOT に電源を供給します。

お知らせ

- 「SLOT スタンバイ」が「オン」の場合は、スタンバイ状態時の電源ランプは、紫色に点灯します。
- 「HDMI-CEC 制御」が「有効」の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。(P.68 ページ)
- DIGITAL LINK 端子ボードをご使用の場合は、「SLOT スタンバイ」を「オン」に設定してください。

■ SLOT 電源オン

SLOT の電源を起動します。

■ SLOT 強制終了

SLOT の電源を強制的に切ります。オペレーティングシステムの問題などにより手動で電源を切ることができない場合のみに使用してください。

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンに LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。

ディスプレイとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック 1: LAN ケーブルについて

- ・ ケーブルを正しく接続してください。
- ・ LAN ケーブルは、カテゴリ 5e 以上に対応したものを使用してください。

チェック 2: 有線 LAN の設定

有線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

- ・ 有線 LAN を有効にしてください。

有線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- ・ 有線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。
- ・ 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

WEB ブラウザーについて

WEB 制御を行うには WEB ブラウザーが必要です。

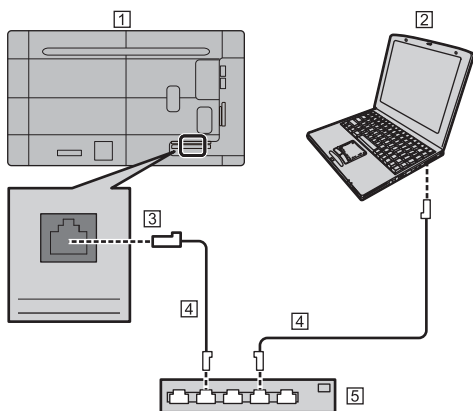
- ・ 対応 OS : Windows、Mac OS
- ・ 対応ブラウザー : Internet Explorer 11.0、
Microsoft Edge (Windows)
Safari 10.0/11.0/12.0/13.0/
14.0 (Mac OS)

ネットワーク接続例

お知らせ

- ネットワーク機能をご利用になる場合は、「ネットワーク設定」の各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。
([P.78](#) ページ)
- 「オン」に設定すると、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）、電源ランプが紫色点灯します。
- DIGITAL LINK IN / LAN 端子を LAN 制御に使用する場合は、「初期設定」-「動作設定」メニューの「LAN 制御端子設定」を「DIGITAL LINK SLOT」に設定してください。
([P.96](#) ページ)

LAN 端子接続



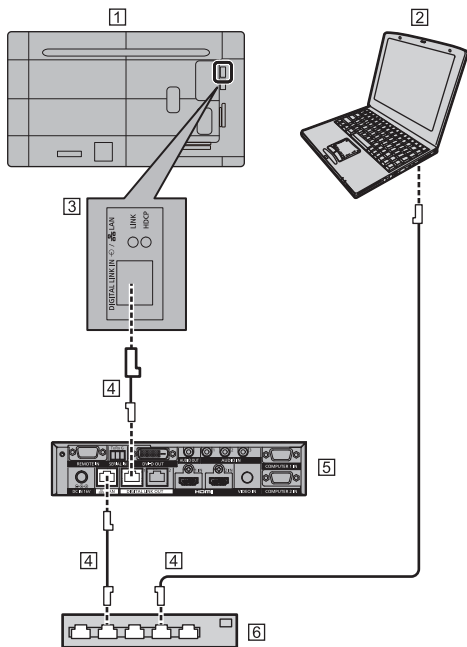
- ① ディスプレイ（本体後面）
- ② パソコン
- ③ LAN 端子
- ④ LAN ケーブル（市販品）
- ⑤ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- ・ LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ・ ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TX に対応していることをご確認ください。
- ・ 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- ・ 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

■DIGITAL LINK IN 端子接続 (SQ2H シリーズ)

当社製 DIGITAL LINK 出力対応機器 (ET-YFB100、ET-YFB200) などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号を DIGITAL LINK 端子に入力することができます。



- ① ディスプレイ (本体後面)
- ② パソコン
- ③ DIGITAL LINK IN/LAN 端子
- ④ LAN ケーブル (市販品)
- ⑤ 当社製 ET-YFB200 の場合
- ⑥ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- DIGITAL LINK 接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。(P.77 ページ)

ツイストペアケーブル伝送器接続時の使用上の注意

設置 / 接続について

- DIGITAL LINK 接続用のケーブル配線工事は、専門業者または販売店に依頼してください。工事の不備によりケーブル伝送特性が得られず、映像や音声が入り乱れたり断れたりする原因となります。

- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の伝送可能距離は、通常は最長 100 m です。4K 信号の伝送時は最長 50m です。また伝送器が「ロングリーチ」の通信方式に対応している場合は、最長 150 m まで伝送できます。これを上回ると映像や音声が入り乱れたり、LAN 通信で誤動作したりすることがありますので、ご注意ください。なお「ロングリーチ」で接続する場合、伝送器の仕様によって伝送できる映像信号や距離に制限がある場合があります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間にハブを使用しないでください。
- 他社製ツイストペアケーブル伝送器 (受信器) を使用して本機に接続を行うとき、他社製ツイストペアケーブル伝送器と本機間に別のツイストペアケーブル伝送器 (送信器) を経由させないでください。映像、音声が入り乱れたり断れたりする原因となります。
- 外部からのノイズだけでなく、内部からのノイズにも影響を受けやすくなりますので、できるだけケーブルは巻かずに引き伸ばした状態で敷設してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルからは離して敷設してください。
- 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで並走する距離をできるだけ短くしてください。
- ケーブル敷設後に、[DIGITAL LINK ステータス] の信号品質が、-12 dB 以下であることを確認してください。

ツイストペアケーブルについて

- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の LAN ケーブルは、次の条件に適合したものをご使用ください。
 - ・ CAT5e 以上の規格に適合
 - ・ ストレート結線
 - ・ シールドタイプ (コネクタを含む)
 - ・ 単線
- ケーブル敷設時にはケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性が CAT5e 以上の特性を満たしていることをご確認ください。また、途中に中継コネクタを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ケーブルを強い力で引っ張らないでください。また、無理に曲げたり折ったりしないようにしてください。

その他

- 本機は、当社製 DIGITAL LINK 出力対応機器 (ET-YFB100、ET-YFB200) に対応しています。他社製ツイストペアケーブル伝送器の対応については、弊社 WEB サイト (https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_prodisplays_solutions_digitalink) をご覧ください。
- 他社製機器の動作確認は弊社確認項目について実施したものであり、すべての動作を保証するものではありません。他社製機器に起因する操作性や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(※ 28 ページ)

LAN 経由の制御コマンドについて

「初期設定」 - 「ネットワーク設定」メニューの「LAN 制御プロトコル」の設定が「プロトコル 1」か「プロトコル 2」かによって通信内容が異なります。

1. 「LAN 制御プロトコル」が「プロトコル 1」の場合

ディスプレイ専用のプロトコルで通信を行います。

接続方法

- 1 ディスプレイの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してディスプレイへ接続を要求してください。

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス : 「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」または「ネットワークステータス」
- ポート番号 : 「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」
- 詳しい設定方法については 79 ページをご覧ください。

- 2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
PDPCONTROL (ASCII 文字列)	「」	「1」	「」	{zzzzzzzz} (ASCII コード 16 進数)	(CR) Ox0d
10 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	8 バイト	1 バイト

モード : 1 = プロテクトモード

- 3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

「zzzzzzzzzyyyyy」

zzzzzzzz : 手順 2 で取得した 8 バイトの乱数

yyyyyy : 「管理者アカウント設定」で設定したパスワード

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	制御記号	データ部	制御記号	終端記号
ハッシュ値 (「接続方法 参照」)	(STX) 0x02	制御コマ ンド (ASCII 文 字列)	(ETX) 0x03	(CR) 0x0d
32 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

受信データ

制御記号	データ部	制御記号	終端記号
(STX) 0x02	制御コマ ンド (ASCII 文 字列)	(ETX) 0x03	(CR) 0x0d
1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
“ERR1” 未定義の制御コマンド	(CR)
“ERR2” パラメーター範囲外	Ox0d
“ERR3” ビジー状態または受け付け不可期間	
“ERR4” タイムアウトまたは受け付け不可期間	
“ERR5” 誤ったデータの長さ “PDPCONTROL パスワード不一致 ERRA”	
4 バイトまたは 15 バイト	1 バイト

2. 「LAN 制御プロトコル」が「プロトコル 2」の場合

当社プロジェクターと同じプロトコルで通信を行います。

接続方法

- 1 ディスプレイの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してディスプレイへ接続を要求してください

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス : 「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」または「ネットワークステータス」
- ポート番号 : 「初期設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「LAN 設定」
- 詳しい設定方法については 79 ページをご覧ください。

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
INTCONTROL	「」	「1」	「」	zzzzzzz	(CR)
(ASCII 文字列)	0x20	0x31	0x20	(ASCII コード 16進数)	0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト	8バイト	1バイト

モード：1=プロテクトモード

3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

「xxxxxx:yyyyy:zzzzzzz」

xxxxxx : 「管理者アカウント設定」で設定したユーザー名

yyyyy : 上記「管理者アカウント設定」で設定したパスワード

zzzzzzz: 手順2で取得した8バイトの乱数

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	データ部		終端記号
ハッシュ値 (「接続方法 参照」)	'0'	'0'	制御コマンド (ASCII 文字列)
32バイト	1バイト	1バイト	不定長 1バイト

受信データ

ヘッダー	データ部		終端記号
'0'	'0'	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR)
0x30	0x30		0x0d
1バイト	1バイト	不定長	1バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" 誤ったデータの長さ	
"ERRA" パスワード不一致	
4バイト	1バイト

お知らせ

- いくつかのコマンドでは受信データに送信データの文字列の一部が含まれないものがあります。

- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。
パナソニック業務用ディスプレイホームページ
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 およびクラス 2 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

クラス	コマンド	制御内容
1	POWR	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1	POWR?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1,2	INPT	入力切り換え ※コマンド INST? のパラメーターを参照。
1,2	INPT?	入力切り換え問い合わせ ※ コマンド INST? のパラメーターを参照。
1	AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
1	AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)

1	ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目: 0 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 のいずれか • 0、2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない、 2 = エラー
1,2	INST?	入力切り換え一覧問い合わせ 11: PC IN 入力 (PC / PC[YPrPr]) 31: HDMI IN 1 入力 (HDMI1) 32: HDMI IN 2 入力 (HDMI2) 33: HDMI IN 3 入力 (HDMI3) 34: USB-C HOST 入力(USB-C) 35: SLOT 入力 (SLOT) 36: WHITEBOARD 入力 (WHITEBOARD) 41: USB / Internal Memory 入力 (USB / 内蔵メモリー) 42: MEMORY VIEWER 入力 (MEMORY VIEWER) 51: Screen Transfer 入力 (Screen Transfer)
1	NAME?	ディスプレイ名問い合わせ ネットワーク設定のディスプレイ名設定の内容を応答します。
1	INF1?	メーカー名問い合わせ "Panasonic" と応答します。
1	INF2?	機種名問い合わせ "55SQ2HJ" と応答します。 (55V 型 SQ2H の場合)
1	INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
1	CLSS?	クラス情報問い合わせ "2" と応答します。
2	SNUM?	シリアル番号問い合わせ シリアル番号を応答します。
2	SVER?	ソフトウェアバージョン問い合わせ バージョン番号を応答します。

2	INNM?	入力端子名称問い合わせ 入力端子名称を応答します。 11: PC 31: HDMI1 32: HDMI2 33: HDMI3 34: USB-C 35: SLOT 36: WHITEBOARD 41: USB / Internal Memory 42: MEMORY VIEWER 51: Screen Transfer
2	IRES?	入力信号解像度問い合わせ 入力信号解像度を応答します。
2	RRES?	推奨解像度問い合わせ "3840x2160" と応答します。
2	SVOL	スピーカー音量 0: 音を小さくします。 1: 音を大きくします。
2	LKUP	リンクアップ通知 PJLink の通信が可能になったときに、MAC アドレスを通知します。
2	SRCH	ディスプレイ検索 同一ネットワーク内に接続されている、PJLink クラス 2 の通信が可能な機器が、その MAC アドレスを応答します。

PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、「PJLink 設定」 - 「パスワード」で設定してください。(☞ 78 ページ)

認証なしで使用する場合は、パスワードはなし (空欄) にしてください。

- PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

複数台監視制御ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材（プロジェクターやディスプレイ）に対して、監視および制御を行ったり、機材の異常発生の予兆を検知する予兆監視を行うソフトウェア「複数台監視制御ソフトウェア」(Multi Monitoring & Control Software) に対応しています。

予兆監視機能については、ライセンスの種類によって監視できる機材の登録台数が異なります。コンピューターへのインストール後 90 日間に限り、無料で最大 2048 台の機材を登録してご使用いただけます。

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)
- 予兆監視機能については下記の WEB サイトを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>

ビデオウォールマネージャーについて

本機は、1 台のコンピューターから接続ケーブルをつなぎ換えること無く、複数のディスプレイを個別または同時に調整するソフトウェア「ビデオウォールマネージャー」に対応しています。

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

お知らせ

- 本機は、自動ディスプレイ調整アップグレードキット (TY-VUK10) には対応していません。

コンテンツマネージメントソフトウェアについて

本機は、静止画や動画を再生するために必要なスケジュールのデータを、パソコン上で作成するためのソフトウェア「コンテンツマネージメントソフトウェア」に対応しています。(Ver3.0 以降で対応します。)

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

Screen Transfer について

本機は、パソコンの画面をディスプレイへ LAN で送信するソフトウェア「Screen Transfer」に対応しています。

「Screen Transfer」は WEB ブラウザーコントロールのダウンロード [Download] からダウンロードすることができます。

( 125 ページ)

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

LAN で接続する

お知らせ

- ネットワーク機能をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行い、「ネットワークコントロール」を「オン」に設定してください。(☞ 78 ページ)

パソコンの操作

- 1 パソコンの電源をオンにする
- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

ディスプレイの設定が工場出荷の状態 (☞ 80 ページ) であれば、パソコン側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

IP アドレス	192.168.0.9
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

WEB ブラウザーコントロールを使う

WEB ブラウザーを使用して、本機の制御、ネットワーク設定、パスワード設定ができます。

WEB ブラウザーコントロールを使う前に

WEB ブラウザーコントロールを使うためには、本機の設定とパソコンの設定が必要になります。

■ WEB ブラウザーについて

本機の「ネットワーク設定」で各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。(☞ 78 ページ)

お知らせ

- 設定が「オフ」の場合でも、WEB ブラウザーコントロールの本機を制御しない画面 (ディスプレイ情報 [Status]、詳細設定 [Detailed set up]、パスワード変更 [Change password]) は、動作します。

■ パソコンの設定

プロキシサーバーの設定を解除し、JavaScript を有効にしてください。

- 設定方法はバージョンにより異なります。各ソフトウェアのヘルプなどの説明を参照してください。

(Windows)

Windows 10 を例に説明しています。

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示する。
[スタート] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → [ネットワークと共有センター] → [インターネットオプション] をクリックする。
- 2 [接続] タブの [LAN の設定] をクリックする。
- 3 [自動構成スクリプトを使用する] と [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外す。
- 4 [OK] をクリック

JavaScript を有効にする

- 1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示する。
[スタート] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → [ネットワークと共有センター] → [インターネットオプション] をクリックする。
- 2 [セキュリティ] タブのセキュリティーレベルを [既定のレベル] にする。または [レベルのカスタマイズ] から [アクティブスクリプト] を有効にする。

(Mac)

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [Safari] メニューの [環境設定...] をクリックする。
「設定」画面が表示されます。
- 2 [詳細] タブの [プロキシ] の [設定を変更...] をクリックする。
「プロキシ」をクリックし、プロキシサーバーを設定してください。
- 3 [web プロキシ] と [自動プロキシ] のチェックを外す。
- 4 [今すぐ適用] をクリックする。

JavaScript を有効にする

- 1 Safari の [セキュリティ] を表示する。
- 2 [web コンテンツ] の [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる。

WEB ブラウザーからのアクセス

WEB ブラウザーを使用して、WEB ブラウザーコントロールの TOP 画面にアクセスします。

- 1 WEB ブラウザーを起動させる
- 2 本機の [LAN 設定] で設定した IP アドレスを入力する

( 79 ページ)



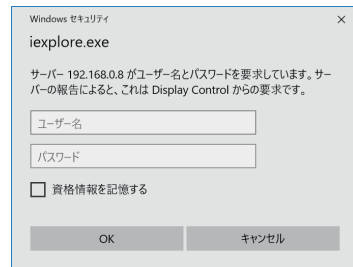
「管理者アカウント設定」(38・78 ページ) または WEB 制御機能で、すでにユーザー名とパスワードを設定されている場合は手順 3 へ進んでください。設定されていない場合に初めて WEB 制御機能を使用する場合には、手順 4 に進んでください。

ユーザー権限の場合も同様です。

- 3 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力する

手順 7 へ進んでください。

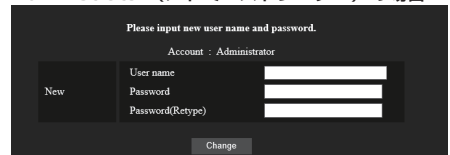
なお、User (ユーザー) 権限でパスワードを設定していない場合は、「OK」をクリックして手順 4 に進んでください。



- 4 ユーザー名とパスワードを設定する

ユーザー名パスワード変更ページが表示されます。

Administrator (アドミニストレーター) の場合



User (ユーザー) の場合



- 5 新しいユーザー名やパスワードを入力し、「変更」をクリックする

手順 3 の画面が再度表示されます。

- 6 新しいユーザー名やパスワードを入力する
手順 5 で設定した、新しいユーザー名やパスワード
を入力してください。

7 「OK」をクリックする

お知らせ

- ここで使用するパスワードは、「ネットワーク設定」 - 「管理者アカウント設定」で使用するパスワードと共通です。(☞ 78 ページ)
- 出荷時の設定は以下の通りです。
 - ・ アドミニストレーター権限
「管理者アカウント設定」で設定したユーザー名とパスワードを設定してください。(☞ 38 ページ)
 - ・ ユーザー権限
ユーザー名：dispuser
パスワード：なし

最初にパスワードの変更を行ってください。

- 本機の「ネットワーク設定」の「リセット」を実行した際にもログイン後、パスワードの変更を求められます。(☞ 85 ページ)
- パスワードはログイン後、パスワード設定画面で変更できます(☞ 112 ページ)。ユーザー名は、アドミニストレーター権限によるログインで接続する場合には変更できます。
- ログイン時にユーザー名 / パスワードを3回続けて間違えると、数分間ロックされます。
- 詳細設定 [Detailed set up] (☞ 108 ページ) をご利用になる場合は、アドミニストレーター権限でログインしてください。
- ご使用になる WEB ブラウザーにより表示動作が変わる場合があります。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。
直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

WEB ブラウザーで操作する

■ 各項目の説明



① ページタブ

クリックすると、ページが切り換わります。

② ディスプレイ情報 [Status]

この項目をクリックすると、ディスプレイの状態が表示されます。

③ ディスプレイコントロール [Display control]

この項目をクリックすると、ディスプレイコントロールページが表示されます。

④ 詳細設定 [Detailed set up]

この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

⑤ パスワード変更 [Change password]

⑥ ダウンロード [Download]

この項目をクリックすると専用アプリケーション「Screen Transfer」のダウンロードページが表示されます。

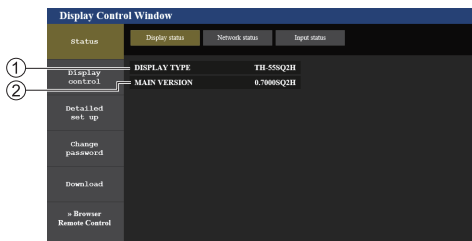
⑦ ブラウザーリモコン [Browser Remote Control]

この項目をクリックすると、WEB ブラウザー上に付属品のリモコンと同様のブラウザーリモコンが表示されます。

■ ディスプレイ情報ページ

本機の状態を表示します。

[Status] → [Display status] をクリックします。



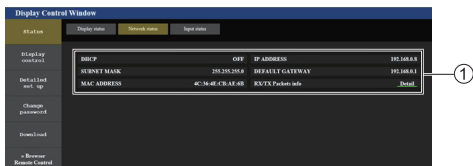
① ディスプレイの種類を表示します。

② ディスプレイのファームウェアバージョンを表示します。

■ ネットワーク情報ページ

現在のネットワークの設定情報を表示します。
[Status] → [Network status] をクリック
します。

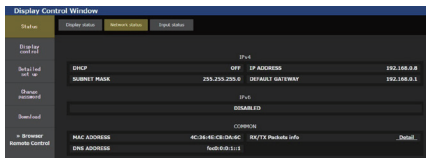
バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)



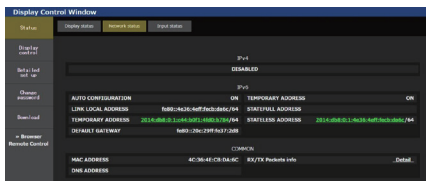
① 有線 LAN の設定内容を表示します。

バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)

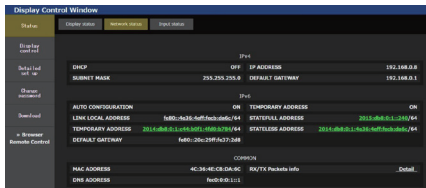
(1) IPv4 設定時



(2) IPv6 設定時

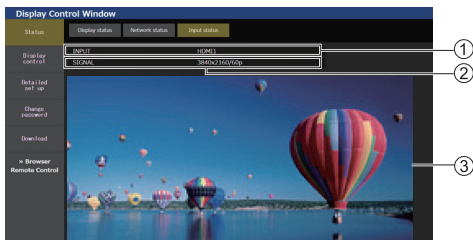


(3) IPv4 & IPv6 設定時



■ 入力情報ページ

本機の入力の情報を表示します。
[Status] → [Input status] をクリックします。



- ① 入力端子の情報を表示します。
- ② 入力信号の情報を表示します。
- ③ 入力映像を画像で簡易表示します。

お知らせ

- USB/Internal Memory 入力および MEMORY VIEWER 入力以外の場合は、入力されている信号名を表示します。
- USB/Internal Memory 入力および MEMORY VIEWER 入力の場合は、再生されているファイル名を表示します。
- スタンバイ中は「---」を表示します。
- PC[YPbPr] 入力の場合、画像は表示されません。
- HDCP 保護映像の場合、画像は表示されません。
- ディスプレイ本体の設定によっては、表示される画像が元映像と異なる場合があります。

■ 基本制御ページ

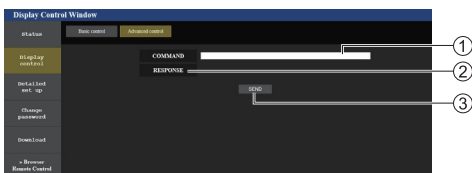
本機の基本的な機能が操作できます。
[Display control] → [Basic control] をクリック
します。



- ① 電源の「切」/「入」の操作
- ② 入力切り換え
- ③ AUDIO ミュート
- ④ 画面モードの切り換え

■ 詳細制御ページ

本機の詳細な機能が操作できます。
[Display control] → [Advanced control]
をクリックします。



- ① コマンドを入力します。シリアル制御で使用しているコマンドと同じコマンドを使います。
- ② 本機からの応答が表示されます。
- ③ コマンドが送信され、実行されます。

お知らせ

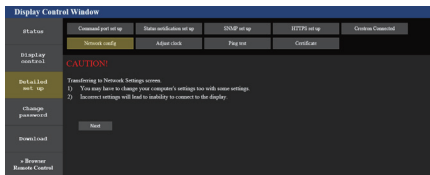
- 設定変更後、ディスプレイの状態が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。

■ 詳細設定

アドミニストレーター権限によるログインで接続する場合に、ディスプレイに関するネットワークの詳細設定を行うことができます。

■ LAN 設定ページ

1 メインメニューの [Detailed set up] をクリックする。

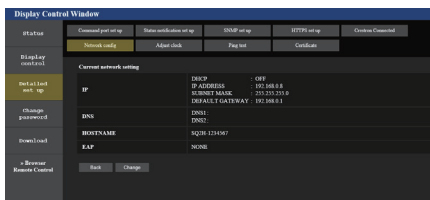


2 [Next] をクリックする。

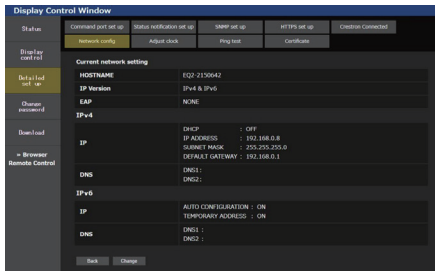
設定画面が表示され、現在の設定が表示されます。

- [Change] をクリックすると LAN 設定の変更が出来ます。
- [Back] をクリックすると元の画面に戻ります。

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)



バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)



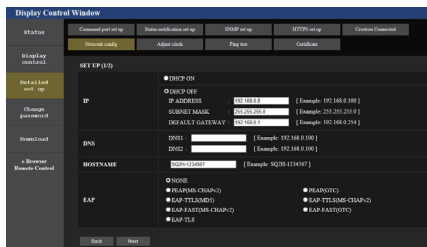
3 詳細を設定し、[Next] をクリックする。

ここでの設定は、ディスプレイの「LAN 設定」メニューで設定するアドレス情報に加え、DNS サーバーおよび HOSTNAME (最大 20 文字) の設定をすることが出来ます。

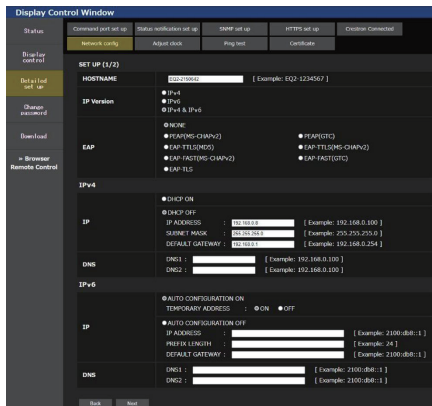
必要な項目の入力がすべて完了した後、[Next] をクリックすると、[EAP] を [NONE] に設定した場合は入力内容の確認画面が表示されます。

[EAP] を [NONE] 以外に設定した場合は次のページへ進みます。

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)



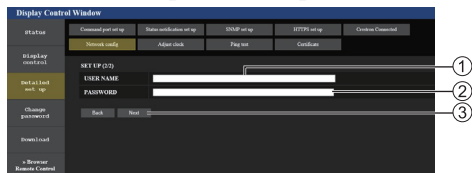
バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)



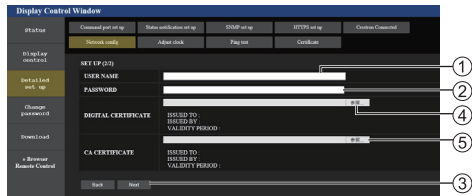
お知らせ

- [DHCP ON] のとき、DHCP サーバーから DNS サーバーのアドレスを取得した場合は、そのアドレスが有効となります。

EAP が「NONE」「EAP-TLS」以外の場合



EAP が「EAP-TLS」の場合



① USER NAME

認証に使用するユーザー名を半角英数字（スペースを除く）で入力します。（最大 64 文字）

② PASSWORD

認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。（最大 64 文字）

③ Back, Next

[Back] をクリックすると、元の画面に戻ります。
[Next] をクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。

④ DIGITAL CERTIFICATE

認証に使用する電子証明書（拡張子: PFX）を登録します。

⑤ CA CERTIFICATE

認証に使用する CA 証明書（拡張子: CER）を登録します。

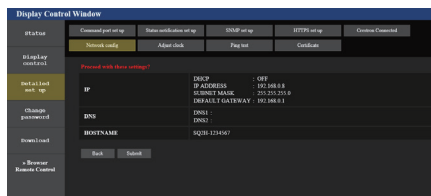
お知らせ

- EAP が「EAP-TLS」の場合、時刻設定ページで日付と時刻が設定されている必要があります。（[P.109](#) ページ）

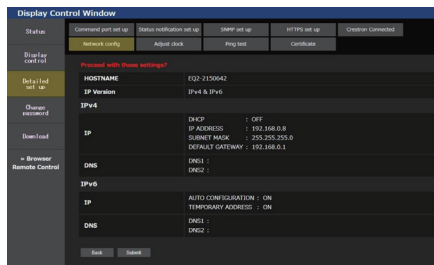
4 [Submit] をクリックする。

設定した内容が登録されます。

バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)



バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)



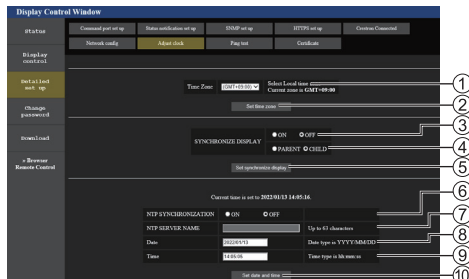
お知らせ

- LAN で接続中に LAN 設定を変更したとき、接続が途切れる場合があります。
- 「LAN 設定」および「自動設定」の設定によって、画面の表示内容が変わります。

■ 時刻設定ページ

本機の時刻関係の項目を設定します。

[Detailed set up] → [Adjust clock] をクリックします。



① タイムゾーンの選択欄

（日本は、GMT + 09:00）

② タイムゾーンの設定更新ボタン

③ ディスプレイ間同期の選択欄

④ ディスプレイ間同期親子設定の選択欄

⑤ ディスプレイ間同期の設定更新ボタン

⑥ NTP 同期の選択欄

⑦ NTP サーバーの入力欄

（NTP 同期で日時設定する場合は、IP アドレスがサーバー名を入力します。サーバー名を入力する場合は DNS サーバーの設定が必要です。）

⑧ 日付の入力欄

⑨ 時刻の入力欄

⑩ NTP 同期の設定および日時設定の更新ボタン

お知らせ

- 未設定の場合、日付と時刻は「-」と表示されます。
- 「ネットワークコントロール」が「オン」でスタンバイ状態の場合、日付と時刻は空白表示になり設定できません。また、タイムゾーン、ディスプレイ間同期、NTP 同期設定も設定できません。

- [SYNCHRONIZE DISPLAY] が、[ON]/[CHILD] の場合は、[NTP SYNCHRONIZATION] の設定および [Date]・[Time] の設定はできません。
- [NTP SYNCHRONIZATION] が [ON] の場合は、[Date]・[Time] の設定はできません。
- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- NTP 同期は、電源オン状態もしくはスケジュール待ち機スタンバイ中のみ動作します。

■ 接続テストページ

DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。

[Detailed set up] → [Ping test] をクリックします。



- ① テストするサーバーの IP アドレスの入力
- ② テストの実行ボタン

接続できた場合の表示例

```
PING 192.168.0.60 (192.168.0.60): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.0.60: seq=0 ttl=128 time=1.474 ms
64 bytes from 192.168.0.60: seq=1 ttl=128 time=1.255 ms
64 bytes from 192.168.0.60: seq=2 ttl=128 time=1.146 ms
64 bytes from 192.168.0.60: seq=3 ttl=128 time=1.052 ms
--- 192.168.0.60 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 1.052/1.231/1.474 ms
```

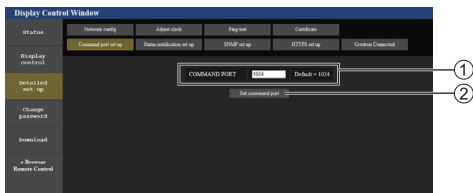
接続できなかった場合の表示例

```
PING 192.168.0.100 (192.168.0.100): 56 data bytes
--- 192.168.0.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

■ コマンドポート設定ページ

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。

[Detailed set up] → [Command port set up] をクリックします。



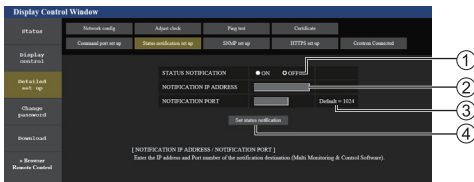
- ① コマンドコントロールで使用するポート番号の入力
- ② 設定の更新ボタン

■ 状態通知設定ページ

複数台監視制御ソフトウェア (103 ページ) が動作しているパソコンに本機の状態を通知する場合に、その IP アドレスとポート番号を設定します。

[Detailed set up] → [Status notification set up] をクリックします。

状態通知の設定をしておくと、本機が故障して電源ランプが橙色点滅している場合に、電源ランプを直接確認できない離れた場所からでも故障内容を把握することができます。



- ① 状態通知の選択欄
- ② 通知先パソコンの IP アドレスの入力欄
- ③ 通知先パソコンのポート番号の入力欄
- ④ 設定の更新ボタン

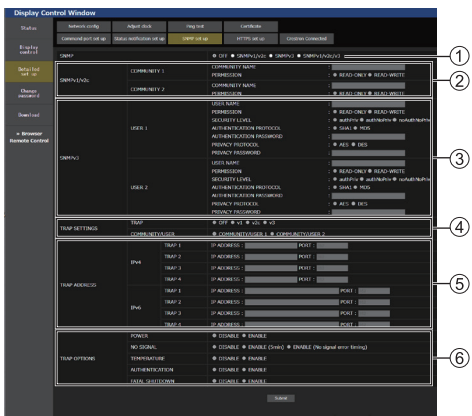
■ SNMP 設定ページ

SNMP の各種項目を設定します。

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、ネットワークに接続された機器を管理するためのプロトコルです。

SNMP マネージャーを使用して接続すると、対象機器の情報取得、設定変更ができます。

[Detailed set up] → [SNMP set up] をクリックします。



① SNMP :使用する SNMP バージョンを選択します。

② SNMP v1/v2c COMMUNITY
COMMUNITY NAME : SNMPv1/v2c のコミュニティ名を入力します。
PERMISSION : SNMPv1/v2c で情報取得のみか、情報取得と設定を両方向うか選択します。

③ SNMP v3 USER
USER NAME : SNMPv3 のユーザー名を入力します。
PERMISSION :SNMPv3 で情報取得のみか、情報取得と設定を両方向うか選択します。
SECURITY LEVEL :SNMPv3 のセキュリティレベルを選択します。
AUTHENTICATION PROTOCOL :
SNMPv3 の認証方式を SHA1 /MD5 から選択します。
AUTHENTICATION PASSWORD :
SNMPv3 の認証パスワードを設定します。
PRIVACY PROTOCOL :
SNMPv3 の暗号化方式を AES/DES から選択します。
PRIVACY PASSWORD :
SNMPv3 の暗号化パスワードを設定します。

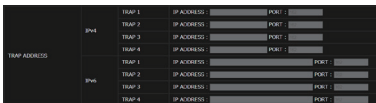
④ TRAP SETTINGS
TRAP : TRAP を送信する際に使用する SNMP バージョンを選択します。

COMMUNITY/USER :
TRAP 送信時に使用する COMMUNITY/USER を選択します。
TRAP の SNMP バージョンとして SNMPv1/v2c 選択時は COMMUNITY1/2 設定、SNMPv3 選択時は USER1/2 設定が使用されます。

⑤ TRAP ADDRESS バージョン 1.5000 未満 (IPv6 対応前)

ADDRESS : TRAP を通知する SNMP マネージャーの IP アドレスを設定します。
PORT : TRAP を通知する SNMP マネージャーの TRAP 受信ポート番号を設定します。

⑤ TRAP ADDRESS バージョン 1.5000 以降 (IPv6 対応後)



IPV4-ADDRESS : TRAP を通知する SNMP マネージャーの IPv4 用アドレスを設定します。

IPV4-PORT : TRAP を通知する SNMP マネージャーの TRAP IPv4 用受信ポート番号を設定します。

IPV6-ADDRESS : TRAP を通知する SNMP マネージャーの IPv6 用アドレスを設定します。

IPV6-PORT : TRAP を通知する SNMP マネージャーの TRAP IPv6 用受信ポート番号を設定します。

⑥ TRAP OPTIONS

POWER : パワーマネジメント、無信号自動オフ、無操作自動オフによりスタンバイになった場合に TRAP を送信します。

NO SIGNAL : 無信号が以下の条件で続いた場合に TRAP を送信します。

ENABLE(5min) 設定時 :

無信号が 5 分続いた場合に TRAP を送信します。

ENABLE(No signal error timing) 設定時 :

「初期設定」 - 「情報通知タイミング」で設定した無信号エラーが発生した場合に TRAP を送信します。(P.94 ページ)

TEMPERATURE : 温度エラーが発生した場合に TRAP を送信します。

AUTHENTICATION :

SNMP の認証失敗時に TRAP を送信します

FATAL SHUTDOWN :

強制的に電源オフする必要がある致命的なエラーが発生した場合に TRAP を送信します。ただし、すべての致命的なエラーが TRAP に対応しているわけではありません。

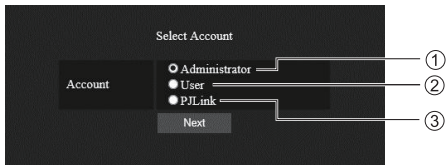
お知らせ

- コミュニティ名で使用できる文字数は半角英数字記号で 32 文字以内です。
- ユーザー名とパスワードで使用できる文字数は半角英数字記号で 32 文字以内です。
但し、パスワードは、8 文字以上設定する必要があります。
- パスワードは、定期的に変更し推測されにくいものにしてください。
- お使いのシステム構成の中で、SNMP マネージャーが稼働している必要があります。
- 本機の MIB (Management Information Base) については、下記の WEB サイトより取得してください。
パナソニック業務用ディスプレイホームページ
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)
- SNMP マネージャーの設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

■ ユーザー名パスワード変更ページ

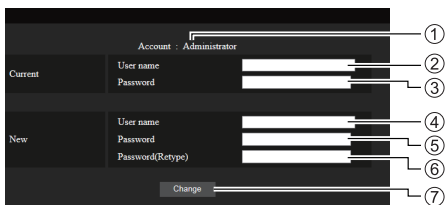
パスワードを設定します。

[Change password] をクリックします。



- ① Administrator (アドミニストレーター) を選択
- ② User (ユーザー) を選択
- ③ PJLink を選択

Administrator (アドミニストレーター) について

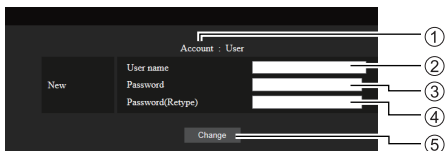


- ① 変更を行うアカウントの表示
- ② 変更前のユーザー名入力欄
- ③ 変更前のパスワード入力欄
- ④ 変更後のユーザー名入力欄
- ⑤ 変更後のパスワード入力欄
- ⑥ 変更後のパスワード (確認) 入力欄
- ⑦ パスワード変更実行ボタン

お知らせ

- 複数台監視制御ソフトウェアなど、LAN 経由の通信制御を使用したアプリケーションソフトに本機をすでに登録している場合、Administrator のユーザー名またはパスワードを変更すると、本機との通信ができなくなります。Administrator のユーザー名またはパスワードを変更した場合は、ご使用のアプリケーションソフトの登録情報を更新してください。

User (ユーザー) について



- ① 変更を行うアカウントの表示
- ② 変更後のユーザー名入力欄
- ③ 変更後のパスワード入力欄
- ④ 変更後のパスワード (確認) 入力欄
- ⑤ パスワード変更実行ボタン

パスワード変更 (ユーザー権限)

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



- ① 旧パスワード入力欄
- ② 新パスワード入力欄
- ③ 新パスワード (確認) 入力欄
- ④ パスワード変更実行ボタン

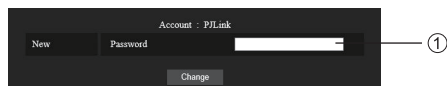
お知らせ

- ユーザー名で使用できる文字は、半角英数字です。
 - ユーザー名とパスワードで使用できる文字数は 16 文字以内です。
 - 管理者アカウント変更時は「変更前のユーザー名」、「変更前のパスワード」の入力が必要です。
 - アドミニストレーター権限ログイン時のアカウント変更の推奨は以下の通りです。
 - ・ 変更後のユーザー名とパスワードに現在のユーザー名とパスワードと同じ値または、出荷時の設定と同じ値を設定しないことを推奨します。
 - ユーザー権限ログイン時のパスワード変更の推奨は、以下の通りです。
 - ・ 新パスワードに旧パスワードと同じ値または、出荷時の設定と同じ値を設定しないことを推奨します。
 - パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。
 - パスワード変更の複雑さの推奨は、以下の通りです。(アドミニストレーター、ユーザー権限共通)

下記 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて、8 文字以上

 - ・ アルファベット大文字 (A ~ Z)
 - ・ アルファベット小文字 (a ~ z)
 - ・ 数字 (0 ~ 9)
 - ・ 特殊文字
(! @ # \$ % ^ & * () _ + | } { [] < > . / ? ' 等)
- パスワード欄を空欄にせず、上記の文字種類を用いて設定することを推奨します。

PJLink について



① パスワード入力欄

お知らせ

- PJLink のパスワード入力は設定のみとなります。
- パスワードで使用できる文字は 16 文字以内です。
- ユーザー権限ログイン時のパスワード変更の推奨は、以下の通りです。

- ・ 新パスワードに旧パスワードと同じ値または、出荷時の設定と同じ値を設定しないことを推奨します。

- パソコンや他の機器と同じパスワードを使用されないことを推奨します。

- パスワード変更の複雑さの推奨は、以下の通りです。
(アドミニストレーター、ユーザー権限共通)

下記 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて、
8 文字以上

- ・ アルファベット大文字 (A ~ Z)

- ・ アルファベット小文字 (a ~ z)

- ・ 数字 (0 ~ 9)

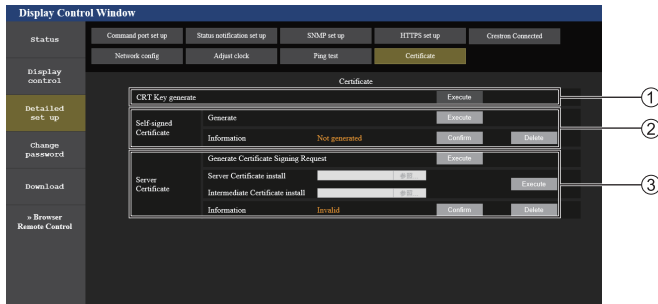
- ・ 特殊文字

(! @ # \$ % ^ & * () _ + { } [] < > . , / ? ' 等)

■ 証明書ページ

HTTPS 通信を行う場合や、Crestron 社のコントロールシステムやアプリケーションソフトを使用する場合は、認証のための証明書をディスプレイにインストールする必要があります。

[Detailed set up] → [Certificate] をクリックします。



① CRT Key generate

CRT (Certificate) 鍵を生成します。

[Execute] をクリックすると、CRT 鍵生成のページが表示されます。

詳しくは、「CRT 鍵を生成する」(☞ 116 ページ)をご覧ください。

② Self-signed Certificate

Generate:

自己署名証明書を本機自身で生成します。

[Execute] をクリックすると、自己署名証明書生成のページが表示されます。

詳しくは、「自己署名証明書を生成する」(☞ 120 ページ)をご覧ください。

Information:

自己署名証明書の状態を表示します。

• Not generated:

自己署名証明書が生成されていません。

• (ホスト名):

自己署名証明書が生成済みで有効な状態です。

自己署名証明書に登録されているホスト名が表示されます。

• Invalid (Reason: Server Certificate installed):

サーバー証明書が有効になっているため、生成済みの自己署名証明書は無効になっています。

[Confirm] をクリックすると、生成済みの自己署名証明書の情報が表示されます。

[Delete] をクリックすると、生成済みの自己署名証明書を削除できます。

詳しくは、「自己署名証明書の情報を確認する」(☞ 121 ページ)をご覧ください。

③ Server Certificate

署名リクエスト (CSR) 生成:

[Execute] をクリックすると、署名リクエスト生成のページが表示されます。

詳しくは、「署名リクエストを生成する」(☞ 118 ページ)をご覧ください。

Server Certificate install/Intermediate Certificate install:

サーバー証明書および中間証明書をインストールします。

証明書のファイルを指定して [Execute] をクリックすると、本機に証明書をインストールします。

詳しくは、「証明書をインストールする」(☞ 119 ページ)をご覧ください。

Information:

サーバー証明書の状態を表示します。

• **Invalid**: サーバー証明書がインストールされていません。または、現在の CRT 鍵が、インストール済みのサーバー証明書を申請する際に使用した CRT 鍵と異なります。

• **(ホスト名)**: サーバー証明書をインストール済みで有効な状態です。

サーバー証明書に登録されているホスト名が表示されます。

• **Expired**: サーバー証明書の有効期間を超えています。

サーバー証明書をインストール済みで有効になっている場合は、サーバー証明書に登録されているホスト名が表示されます。

[Confirm] をクリックすると、インストール済みのサーバー証明書の情報が表示されます。

[Delete] をクリックすると、インストール済みのサーバー証明書と中間証明書を削除できます。

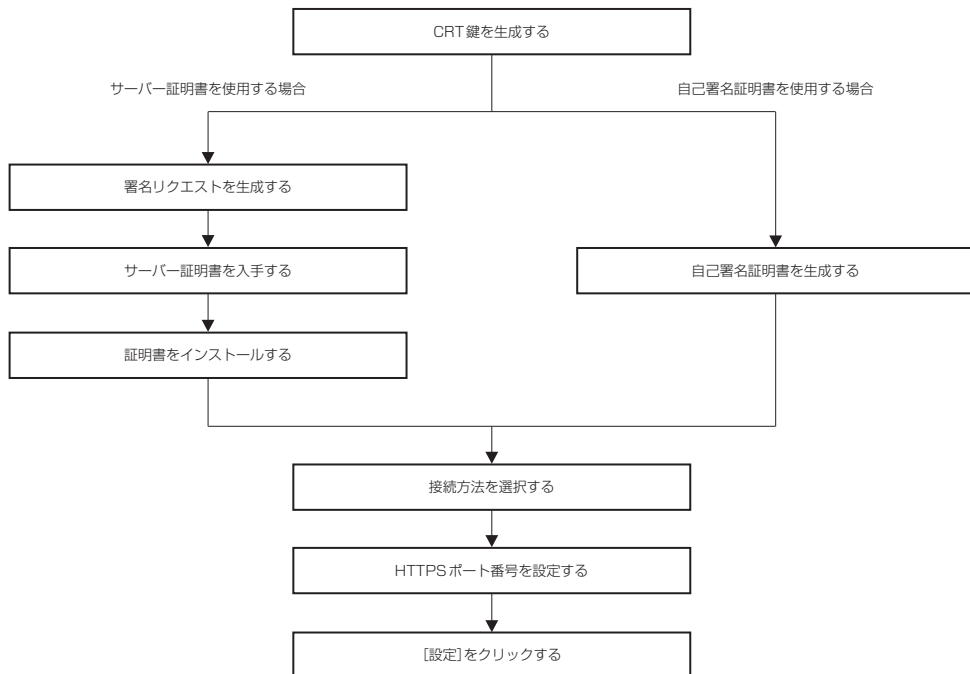
詳しくは、「サーバー証明書の情報を確認する」(☞ 119 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- お使いのコンピューターや WEB ブラウザーによっては、証明書のインストール操作ができないことがあります。

設定のフロー

セキュリティー証明書として、サーバー証明書と自己署名証明書のどちらの証明書を使用するかによって設定のフローが異なります。



お知らせ

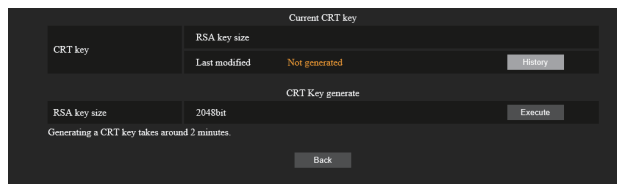
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関への申請からサーバー証明書の発行までの手続きは、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。申請方法などにつきましては、認証機関へお問い合わせください。

CRT 鍵を生成する

RSA (Rivest-Shamir-Adleman cryptosystem) 公開鍵暗号方式による暗号化に使用する CRT 鍵を生成します。CRT 鍵は、秘密鍵の一種です。

1 [Certificate] → [CRT Key generate] → [Execute] をクリックする

CRT 鍵生成のページが表示されます。



2 [Execute] をクリックする

CRT 鍵を生成するのが初めての場合、CRT 鍵が生成されるとともに次のメッセージが表示されます。手順 4 に進んでください。

「CRT key - Generated」

CRT 鍵を生成するのが 2 回目以降の場合、次の確認メッセージが表示されます。

「The CRT key will be generated. In updating the CRT key, the Server Certificate corresponds to the current CRT key will become unavailable. Continue?」

(CRT 鍵を生成します。サーバー証明書をお持ちの場合、CRT 鍵を更新すると、現在のサーバー証明書が使用できなくなります。よろしいですか?)

3 [OK] をクリックする

CRT 鍵が生成されるとともに次のメッセージが表示されます。

「CRT key - Generated」

4 [OK] をクリックする

再度 [Certificate] → [CRT Key generate] → [Execute] をクリックすることで、CRT 鍵生成のページ上段にある [Current CRT key] の [RSA key size] と [Last modified] で、現在の CRT 鍵の鍵長とその生成日時を確認できます。

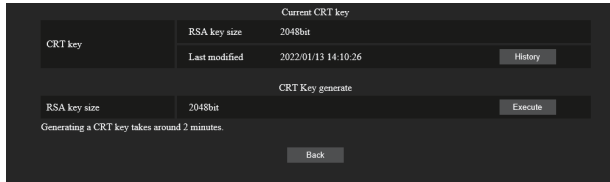
お知らせ

- [Last modified] に [Not generated] と表示されている場合は、CRT 鍵が生成されていないことを示しています。
- [RSA key size] は [2048bit] 固定です。申請先の認証機関によっては、2048bit の鍵長ではサーバー証明書を発行できない場合があります。
- CRT 鍵の生成には、2 分程度の時間を要することがあります。
- CRT 鍵を更新した場合は、その CRT 鍵を使用して改めてサーバー証明書の申請または自己署名証明書の生成を行ってください。CRT 鍵にひも付いた証明書が必要です。
- CRT 鍵を更新しても、前回生成した CRT 鍵の情報は保存されています。ひとつ前の CRT 鍵に戻りたい場合は、「CRT 鍵の更新を取りやめる」(117 ページ) をご覧ください。

CRT 鍵の更新を取りやめる

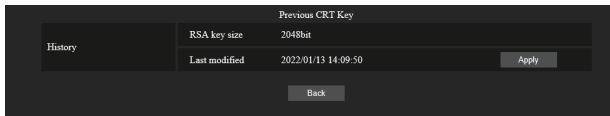
CRT 鍵を更新しても、一度だけ前回生成した CRT 鍵に戻すことができます。

- 1 **[Certificate] → [CRT Key generate] → [Execute]** をクリックする
CRT 鍵生成のページが表示されます。



- 2 **[History]** をクリックする

次の内容が表示されます。



- 3 元に戻す CRT 鍵の **[RSA key size]** と **[Last modified]** を確認する

- 4 **[Apply]** をクリックする

次の確認メッセージが表示されます。

「The previous CRT key will be loaded. Please generate Self-signed Certificate or install the Server Certificate corresponds to the CRT key. Continue?」

(過去の CRT 鍵に戻します。自己署名証明書を生成するか、選択した CRT 鍵に対応したサーバー証明書をインストールしてください。よろしいですか?)

- 5 **[OK]** をクリックする

前回生成した CRT 鍵が、現在の CRT 鍵として反映されます。

お知らせ

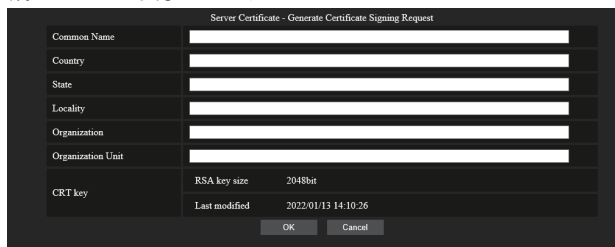
- 前回生成した CRT 鍵に戻した場合は、その CRT 鍵にひも付いた証明書が必要です。

署名リクエストを生成する

セキュリティ証明書として、認証機関から発行されたサーバー証明書を使用する場合に、認証機関への発行申請に必要な署名リクエストを生成します。CRT 鍵を生成したあとで署名リクエストを生成してください。

1 [Certificate] → [Generate Certificate Signing Request] → [Execute] をクリックする

署名リクエスト生成のページが表示されます。



2 申請に必要な情報を入力する

各項目の内容は次のとおりです。申請先の認証機関の要求に従って入力してください。

項目	内容	文字数制限	
Common Name	ディスプレイに設定されているディスプレイ名または IP アドレスを入力します。	64 文字	
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）を入力します。	—	
State	都道府県名を入力します。	128 文字	
Locality	市区町村名を入力します。	128 文字	
Organization	組織名を入力します。	64 文字	
Organization Unit	部署名を入力します。	64 文字	
CRT key	RSA key size	現在の CRT 鍵の鍵長が表示されます。	—
	Last modified	現在の CRT 鍵の生成日時が表示されます。	—

3 [OK] をクリックする

署名リクエストのファイルが生成されます。ファイルに名前を付けて任意のフォルダーに保存してください。

4 ファイル名を入力して【保存】をクリックする

指定したフォルダーに署名リクエストのファイルが保存されます。

お知らせ

- 入力できる文字は次のとおりです。
 - ・ 半角数字：0～9
 - ・ 半角アルファベット：A～Z、a～z
 - ・ 半角記号：-、_、+、/（）
- 本機で生成する署名リクエストは、PEM 形式（拡張子：pem）です。
- 保存した署名リクエストのファイル（PEM 形式）を使用して、認証機関に対してサーバー証明書の発行を申請してください。

証明書をインストールする

認証機関から発行されたサーバー証明書および中間証明書を本機にインストールします。

1 [Certificate] → [Server Certificate install] → [参照] をクリックする

ファイルを選択するダイアログが表示されます。

2 サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] をクリックする

認証機関からサーバー証明書とともに中間証明書が発行されている場合は手順 3 に進んでください。

認証機関からサーバー証明書のみが発行されている場合は手順 5 に進んでください。

3 [Intermediate Certificate install] の [参照] をクリックする

ファイルを選択するダイアログが表示されます。

4 中間証明書ファイルを選択し、[開く] をクリックする

5 [Execute] をクリックする

サーバー証明書および中間証明書が本機にインストールされます。

6 [OK] をクリックする

お知らせ

- インストールしたサーバー証明書の情報を確認する場合は、「サーバー証明書の情報を確認する」(☞ 119 ページ) をご覧ください。

サーバー証明書の情報を確認する

本機にインストールしたサーバー証明書の情報を確認します。

1 [Certificate] → [Server Certificate] → [Information] → [Confirm] をクリックする

インストールしたサーバー証明書の情報が表示されます。各項目の内容は次のとおりです。

項目	内容	
Common Name	ディスプレイ名または IP アドレスが表示されます。	
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード (大文字アルファベット 2 文字) が表示されます。	
State	都道府県名が表示されます。	
Locality	市区町村名を入力します。	
Organization	組織名を入力します。	
Organization Unit	部署名を入力します。	
Not Before	サーバー証明書の発行日時が表示されます。	
Not After	サーバー証明書の失効日時が表示されます。	
CRT key	RSA key size	CRT 鍵の鍵長が表示されます。
	Last modified	CRT 鍵の生成日時が表示されます。

お知らせ

- [Certificate] → [Server Certificate] → [Delete] をクリックすると、インストール済みのサーバー証明書と中間証明書を削除できます。

ただし、[HTTPS set up] → [Connection] が [HTTPS] に設定されている状態では削除できません。HTTP 通信ができる状態に設定を変更したうえで削除してください。

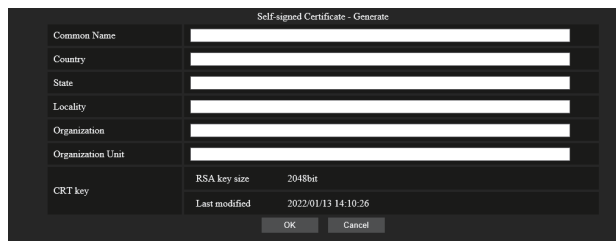
また、有効期間内のサーバー証明書を削除する場合は、インストールに使用した証明書ファイルをお手元に準備できることを確認してください。再度サーバー証明書をインストールする場合に必要になります。

自己署名証明書を生成する

セキュリティー証明書として、認証機関から発行されたサーバー証明書を使用しない場合は、本機自身で生成した自己署名証明書を使用することができます。CRT 鍵を生成したあとで自己署名証明書を生成してください。

1 [Certificate] → [Self-signed Certificate] → [Generate] → [Execute] をクリックする

自己署名証明書生成のページが表示されます。



2 生成に必要な情報を入力する

各項目の内容は次のとおりです。

項目	内容	文字数制限	
Common Name	ディスプレイに設定されているディスプレイ名または IP アドレスを入力します。	64 文字	
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）を入力します。	—	
State	都道府県名を入力します。	128 文字	
Locality	市区町村名を入力します。	128 文字	
Organization	組織名を入力します。	64 文字	
Organization Unit	部署名を入力します。	64 文字	
CRT key	RSA key size	現在の CRT 鍵の鍵長が表示されます。	—
	Last modified	現在の CRT 鍵の生成日時が表示されます。	—

3 [OK] をクリックする

自己署名証明書が生成されます。

お知らせ

- 入力できる文字は次のとおりです。
 - ・ 半角数字：0～9
 - ・ 半角アルファベット：A～Z、a～z
 - ・ 半角記号：-、_、+、/（）

自己署名証明書の情報を確認する

本機で生成した自己署名証明書の情報を確認します。

1 [Certificate] → [Self-signed Certificate] → [Information] → [Confirm] をクリックする

生成済みの自己署名証明書の情報が表示されます。各項目の内容は次のとおりです。

項目	内容	
Common Name	ディスプレイ名または IP アドレスが表示されます。	
Country	ISO 3166-1 alpha-2 で定義されている国名コード（大文字アルファベット 2 文字）が表示されます。	
State	都道府県名が表示されます。	
Locality	市区町村名が表示されます。	
Organization	組織名が表示されます。	
Organization Unit	部署名が表示されます。	
Not Before	自己署名証明書の発行日時が表示されます。	
Not After	自己署名証明書の失効日時（グリニッジ標準時 2035 年 12 月 31 日 23 時 59 分に相当するローカル日時）が表示されます。	
CRT key	RSA key size	CRT 鍵の鍵長が表示されます。
	Last modified	CRT 鍵の生成日時が表示されます。

お知らせ

- [Certificate] → [Self-signed Certificate] → [Delete] をクリックすると、生成済みの自己署名証明書を削除できます。
ただし、[HTTPS set up] → [Connection] が [HTTPS] に設定されている状態では削除できません。HTTP 通信ができる状態に設定を変更したうえで削除してください。

■ HTTPS 設定ページ

WEB 制御機能を使用する際に、コンピューターとディスプレイとの間で SSL/TLS プロトコルによって暗号化された HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) 通信を行う場合に設定します。

[Detailed set up] → [HTTPS set up] をクリックします。

なお、HTTPS 通信を行うには、認証のための証明書をあらかじめディスプレイにインストールしておく必要があります。証明書のインストールについて、詳しくは「証明書ページ」(P.114 ページ)をご覧ください。



① Connection

ディスプレイとの接続方法を設定します。

HTTP : HTTP 通信を使用します。(工場出荷時の値)

HTTPS : HTTPS 通信を使用します。

② HTTPS port

HTTPS 通信で使用するポート番号を設定します。

設定できるポート番号 : 1 ~ 65535

工場出荷時の値 : 443

③ Set

設定を有効にします。

お知らせ

- [Connection] の設定を [HTTPS] から [HTTP] に変更すると、WEB 制御画面の操作や更新を行ったときに画面が表示されないことがあります。その場合は、WEB ブラウザーのキャッシュを削除してください。

■ Crestron Connected ページ

Crestron 社のコントロールシステムをディスプレイに接続するために必要な情報、および Crestron 社のコントロールシステムを用いてディスプレイを監視 / 制御するための情報を設定します。

[Detailed set up] → [Crestron Connected] をクリックします。

Control System

コントロールシステムを、クライアントであるディスプレイと接続するために必要な設定を行います。

① Use TLS

セキュア通信について設定します。

Disable :

セキュアではない通信を行います。

Enable :

TLS (Transport Layer Security) を使用したセキュアな通信を行います。

② IP Address / Hostname

接続先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

③ IP ID

ネットワーク上でディスプレイを識別するための IP ID を設定します。(最大 4 桁までの数字)

初期値 : 3

④ Room ID

ネットワーク上でディスプレイを識別するための Room ID を設定します。(半角で 32 文字まで)

⑤ Non Secure Port

セキュアではない通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41794

⑥ Secure Port

セキュア通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41796

⑦ Authentication

セキュア通信を行う際の、接続先との認証について選択します。

Disable :

接続認証を行いません。

Enable :

接続認証を行います。

⑧ User Name

接続認証時に使用するユーザー名を入力します。(半角で 20 文字まで)

⑨ Password

接続認証時に使用するパスワードを入力します。(半角で 20 文字まで)

⑩ Submit

[Control System] の設定を更新します。

お知らせ

- [Use TLS] を [Disable] に設定した場合、[Authentication] は [Disable] に固定され、[Secure Port] は設定できません。

Server

コントロールシステムを使用して、ディスプレイをサーバーと位置付けてアクセスする場合に必要な設定を行います。

The screenshot shows a 'Server' configuration form with the following fields and settings:

Field	Value / Setting	Default / Note
1 Use TLS	<input type="radio"/> Disable <input checked="" type="radio"/> Enable	
2 IP ID	5	
3 Non Secure Port	41794	Default = 41794
4 Secure Port		Default = 41796
5 Authentication	<input type="radio"/> Disable <input checked="" type="radio"/> Enable	
6 User Name		Up to 20 characters
7 Password		Up to 20 characters
8 Crestron Fusion in the Cloud (FITC)	<input type="radio"/> Disable <input checked="" type="radio"/> Enable	
9 FITC URL		
10	<input type="button" value="Submit"/>	

① Use TLS

セキュア通信について設定します。

Disable :

セキュアではない通信を行います。

Enable :

TLS (Transport Layer Security) を使用したセキュアな通信を行います。

② IP ID

ネットワーク上でディスプレイを識別するための IP ID を設定します。(最大 4 桁までの数字)

③ Non Secure Port

セキュアではない通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41794

④ Secure Port

セキュア通信に使用するポート番号を設定します。

初期値 : 41796

⑤ Authentication

セキュア通信を行う際の、接続先との認証について選択します。

Disable :

接続認証を行いません。

Enable :

接続認証を行います。

お知らせ

- サーバー証明書、自己署名証明書のいずれもインストールされていない場合、[Use TLS] は [Disable] に固定されます。
- [Use TLS] を [Disable] に設定した場合、[Authentication] は [Disable] に固定され、[Secure Port] は設定できません。
- [Crestron Fusion in the Cloud (FITC)] を [Disable] に設定している場合、[FITC URL] は入力できません。

⑥ User Name

接続認証時に使用するユーザー名を入力します。(半角で 20 文字まで)

⑦ Password

接続認証時に使用するパスワードを入力します。(半角で 20 文字まで)

⑧ Crestron Fusion in the Cloud (FITC)

クラウド上の Fusion サーバーの使用について設定します。

Disable :

クラウド上の Fusion サーバーを使用しません。

Enable :

クラウド上の Fusion サーバーを使用します。

⑨ FITC URL

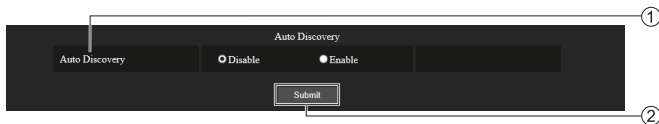
クラウド上の Fusion サーバーの URL を入力します。

⑩ Submit

[Server] の設定を更新します。

Auto Discovery

コントロールシステムおよびアプリケーションソフトの検索プロトコルに対する待ち受け処理について設定を行います。



① Auto Discovery

Disable :

待ち受け処理を無効にします。

Enable :

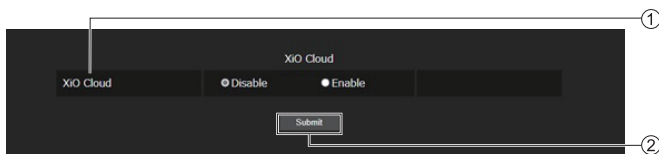
待ち受け処理を有効にして、ディスプレイの自動検出を可能にします。

② Submit

[Auto Discovery] の設定を更新します。

XiO Cloud

XiO Cloud を利用して機器を管理する場合の設定を行います。



① XiO Cloud

Disable :

XiO Cloud 機能を無効にします。

Enable :

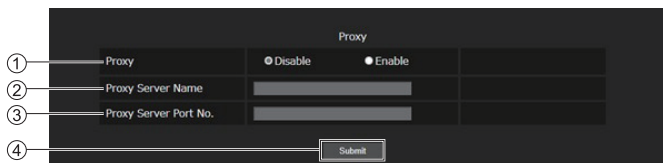
XiO Cloud 機能を有効にします。

② Submit

[XiO Cloud] の設定を更新します。

Proxy

プロキシサーバーの設定を行います。



① Proxy

Disable :

プロキシサーバーを使用しません。

Enable :

プロキシサーバーを使用します。

② Proxy Server Name

プロキシサーバー名、または IPv4 アドレスを入力します。

③ Proxy Server Port No.

プロキシサーバーのポート番号を入力します。

④ Submit

[Proxy] の設定を更新します。

お知らせ

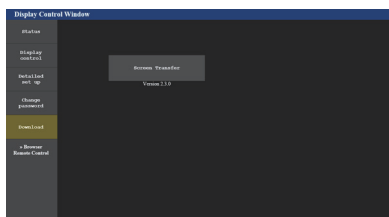
- [Proxy Server Name] は、IPv6 アドレスには対応していません。

■ ダウンロード

パソコンの画面をディスプレイへLANで送信するソフトウェア「Screen Transfer」をダウンロードすることができます。

[Download] をクリックします。

ダウンロードの画面が表示されます。



[Screen Transfer] をクリックし、インストーラー「setup.msi」をダウンロードします。

[Screen Transfer] をインストール後は、パソコンの画面を本機へLANで送信することができます。

- 詳細は以下のWEBサイトを参照してください。

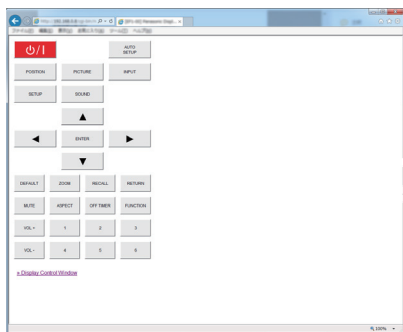
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

■ ブラウザリモコン

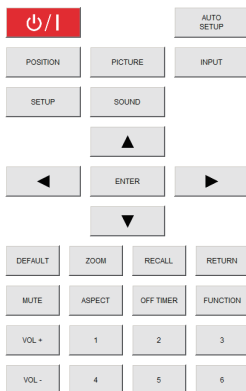
WEB ブラウザーに表示された操作ボタンで本機を操作できます。

[Browser Remote Control] をクリックします。

ブラウザリモコンの画面が表示されます。



ブラウザリモコン



ブラウザリモコンは、付属品のリモコンと同様の操作ができます。

各ボタンの配置・機能については 36 ページをご覧ください。

ブラウザリモコンを終了するには、「>> Display Control Window」をクリックまたはブラウザを終了してください。

（お知らせ）

- 「ネットワークコントロール」を「オン」にしてご使用ください。（[P.78](#) ページ）
- WEB ブラウザーの URL 入力欄に「http://xxx.xxx.xxx.xxx/remote/」と入力することで、同様にブラウザリモコンの画面を表示できます。
 - xxx.xxx.xxx.xxx は、本機に設定した IP アドレスです。
- ボタンの長押し操作はできません。
- 「初期設定」メニューの「リモコン操作制限」（[P.97](#) ページ）で設定したリモコンのボタン操作制限はかかりません。
- 複数のブラウザリモコンで同時に操作をすることは避けてください。
- アドミニストレーター権限とユーザー権限で、使用できる操作は同じです。
- ブラウザリモコンの画面が表示されない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ブラウザリモコンの画面更新時に画面が一瞬白くなることがありますが、故障ではありません。
- ブラウザリモコン操作中は、WEB 制御画面やリモコン、外部制御コマンド等他の手段により本体を操作することは行わないでください。
- WEB ブラウザーの「戻る」または「進む」機能を使用した場合、画面表示が異常になることがあります。その場合、以降の動作は保証されませんので、WEB ブラウザーを最新の状態に更新してください。

USB メディアプレーヤーを使う

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。
「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵メモリーを使用します。

機能の説明

USB メディアプレーヤーは、ディスプレイへ USB メモリーを挿入することで、USB メモリー内に保存された静止画や動画を表示する機能です。

お知らせ

- 本機能をご使用になるには「初期設定」-「USB メディアプレーヤー設定」で「USB メディアプレーヤー機能」を「有効」に設定してください。(☞ 85 ページ)

- シングルメディアプレーヤーの場合に、静止画や動画の切り換わり時に黒画の表示を抑えるよう動作しますが、以下の制約があります。

- (1) 動画コーデックの切り換わりに黒画が表示される場合があります。
- (2) フレームレートやアスペクト比が異なる動画に切り換わる場合、黒画が表示されたり、映像が乱れる場合があります。また、16:9 の画角以外の場合は、再生終了付近で、映像が乱れる場合があります。

すべての動画への切り換わり時に黒画を挿入（約 2 秒間）することで、(2) の映像が乱れる現象を見せないようにすることができます。(「USB メディアプレーヤー設定」☞ 85 ページ)

- 複数台監視制御ソフトウェア (☞ 103 ページ) のコンテンツリスト配信機能によって、USB メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ（静止画 / 動画）およびその再生リストを配信が可能です（配信できる静止画は jpg ファイルのみ、動画は H.265 / HEVC 以外です）。詳しくは複数台監視制御ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

シングルメディアプレーヤー

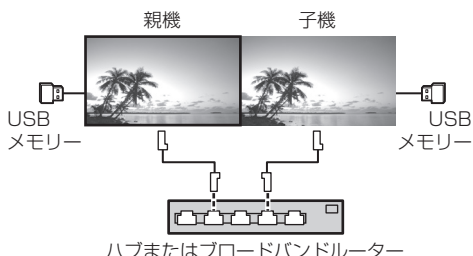
ファイルは 1 台の本機で再生されます。



マルチメディアプレーヤー

本機を複数台、LAN ケーブル接続すると USB メモリー内のファイルを同時に再生します。複数台のうち 1 台が親機になり、残りは子機になります。下図は 2 台の場合の構成例です。

LAN 接続については、132 ページ「ネットワーク環境（マルチメディアプレーヤーのみ）」をご覧ください。



お知らせ

- マルチメディアプレーヤーでは、本機 1 台につき 1 つの USB メモリーが必要です。
- マルチメディアプレーヤーでは、親機には scenario.dat と filelist.dat の 2 つが、子機には filelist.dat のみが必要です。
- GroupID:G01 は数字（2 桁の記述が必須）以外の文字は変更せずに記述してください。記述をしないとマルチメディアプレーヤーとして動作しません。
- マルチメディアプレーヤーで動画を再生する場合、前後の切り換わり時に黒画が一定時間表示されます。

準備

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティー機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたものの以外は使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

■ 準備するもの

メディアプレーヤーに対して、USB メモリーのルート直下に以下のファイルを用意します。

- 再生ファイル
- シナリオ (必要に応じて)
- ファイルリスト (必要に応じて)

お知らせ

- 再生に関係のないファイルは、USB メモリーから削除してください。
- 再生ファイルの最大数は、999 個までです。最大数を超えて格納した場合、一部のファイルは再生されません。シナリオファイルチェック (☞ 86 ページ) で、エラー表示を行います。
- シナリオのファイルは、最大 999 行までです。

■ 再生ファイル

本機のメディアプレーヤーは以下の形式をサポートしています。

USB メモリーのルート直下に保存します。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
jpg/ jpeg/ jpe	JPEG	画素数： 最小 32 x 18 最大 4 096 x 4 096 (ベースラインのみ対応) YUV フォーマット： YUV444、YUV442、 YUV440 に対応 カラーモード： RGB のみ対応
bmp	Windows Bitmap	画素数： 最小 32 x 18 最大 4 096 x 4 096 (1bit、4bit、8bit、24bit) 次の形式には対応しており ません。 ランレングス圧縮、ビット フィールド、トップダウン、 透過データ

動画

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	AAC-LC/LPCM/MP/ WMA Standard
mkv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/LPCM/ MP3
wmv asf	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	LPCM/MP3/WMA Standard/WMA9/ WMA10 Pro
mp4/ mov/flv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/ MP3
ts/mts	H.264/MPEG4 AVC H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/ LPCM/MP3

制限事項

映像	
コーデック	解像度
H.264/ MPEG4 AVC MP@L5.1/ HP@L5.1	1 920 x 1 080p@60.0 3 840 x 2 160p@30.0 ビットレート：最大 80Mbps ・ MVC (多視点) 非対応
H.265 MP@L5.1/ MP10@L5.1	1 920 x 1 080p@60.0 ビットレート：最大 80Mbps ・ GMC は 1 ポイントのみ対応 ・ Data Partitioning 非対応
MPEG4 Visual SP@L5/ASP@ L5	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps ・ MPEG4 Part2 で規定されるビデオ規格
VC-1 Advanced AP@L3	1 920 x 1 080i@30.0 1 920 x 1 080p@24.0 ビットレート：最大 40Mbps
VC-1 Simple & Main SP@LL/SP@ ML/MP@LL/ MP@ML/MP@ HL	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps

音声		
コーデック	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)
MP3	8/11.025/12/16/	8 ~ 320
WMA Standard	22.05/24/32/44.1/48	32 ~ 384
WMA 9		32 ~ 384
WMA 10 Pro		32 ~ 384
LPCM		64 ~ 1 536 対応量子化ビット： 8/16/24/32
AAC(LC)		8 ~ 1 440
HE-AAC (Ver.2 Level4)		8 ~ 256

お知らせ

- 最大ビットレートは、USB3.0 メモリーにおける上限で、使用する USB メモリーの性能に依存します。
- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。
- ファイルやフォルダに半角英数字以外の文字が含まれる場合は表示や再生が正しく行われずおそれがあります。
ファイルやフォルダには半角英数字のみを使用することを推奨します。
- 映像と音声をもとに対応しているコーデックとしてください。動画ファイルの音声コーデックが非対応フォーマットの場合、映像が正しく表示されない場合があります。また、音声のみのファイルは再生できません。
- コーデックの Profile や Level などで規定された最大ビットレートを超過して再生はできません。また、USB メモリーによっては、記載されている最大ビットレート以下でも再生できない場合があります。
- ファイルの画素数が画面サイズを超える場合、画質が変化します。
- 動画の種類によっては再生時に映像が一瞬乱れることがあります。
- 静止画 / 動画ファイルの一部の情報については、該当のファイルにアクセス可能なコンピューターで確認できます。

操作例

Windows コンピューターの場合

1. ファイルを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

2. [詳細] タブをクリックする

Mac の場合

1. Control キーを押しながらファイルをクリックし、[情報を見る] をクリックする

2. [詳細情報] をクリックする

■ シナリオ

再生ファイルに対して、再生順や時間を指定できます。

USB メモリーのルート直下に「scenario.dat」という名前 (半角英字) で保存します。

- ファイルは UTF-8N 形式で保存します。
- シナリオに指定できる行数は 1 ~ 999 行です。

■ ファイルリスト

再生ファイルのリストです。

USB メモリーのルート直下に「filelist.dat」という名前 (半角英字) で保存します。

- ファイルは UTF-8N 形式で保存します。

■ シナリオ / ファイルリスト関連用語

ファイル名

再生ファイルの名称です。

ファイル名は、拡張子を含む必要があります。

例) Introduction.jpg

Contents_Video01.wmv

- ファイル名の拡張子は、半角英数字で入力します。

ファイル定義

シナリオとファイルの間で共有するファイル定義です。

PHOTO_xxx : 静止画ファイル定義

VIDEO_xxx : 動画ファイル定義

- xxx の部分は、001 ~ 999 を設定できます。
- ファイル定義は、半角英数字で入力します。

再生時間

ファイルの再生時間です。

再生時間は、3 秒から 24 時間まで指定できます。(単位: 秒)

例) 10 : 10 秒

86400 : 24 時間

10.5 : 10.5 秒。小数点 (ピリオド) を使って、1 秒の 10 分の 1 (1/10) まで設定できます。

再生時間は省略可能です。

静止画については、ファイルは「USB メディアプレーヤー設定」の「スライドショー再生間隔」で選択した時間間隔で再生されます。(P.86 ページ)

動画については、ファイルの再生時間の間隔で再生されます。

- 再生時間は、半角数字で入力します。

● サイズの大きいファイルを再生する際、再生時間を短く指定すると画面にノイズが入るなど正常に再生できない場合があります。その場合は、再生時間を長め（10 秒以上）に指定しなおしてください。

● 動画の再生時間にその動画ファイルの再生時間より長い時間を指定した場合、動画再生終了後は終了時の映像が表示されます。

グループ ID (マルチメディアプレーヤー用)

マルチメディアプレーヤーとして使用する際に、ネットワークを分類するために使用される ID です。

GroupID:Gxx : グループ xx

- xx の部分は、01 ~ 10 を設定できます。
- グループ ID は、1 バイトの英数字で入力します。

お知らせ

- UTF-8N: 文字コード UTF-8 で BOM (Byte Order Mark) が無い形式です。Windows 標準のメモ帳は、本形式での保存に非対応です。対応しているテキストエディターをご使用ください。

ファイルの再生

■ 各モードの設定例

シングルメディアプレーヤー (タイプ 1)

ファイルは、USB メモリー内の名前順に再生されます。

シナリオ、ファイルリスト

シナリオ : 不要

ファイルリスト : 不要

設定例

USB メモリーコンテンツ

```
└ 000_Introduction.jpg
└ 001_Contents_Video1.wmv
└ 002_Contents_Video2.wmv
└ 003_Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます (ループ)。

1. 000_Introduction.jpg (*1)
2. 001_Contents_Video1.wmv (*2)
3. 002_Contents_Video2.wmv (*2)
4. 003_Contents_Video3.wmv (*2)

*1 「スライドショー再生間隔」の設定時間の間、再生されます。

*2 ファイルの再生時間の間、再生されます。

シングルメディアプレーヤー (タイプ 2)

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオ、ファイルリスト

シナリオ :

[ファイル名:再生時間]を入力します。

ファイルリスト : 不要

設定例

USB メモリーコンテンツ

```
└ scenario.dat
└ Introduction.jpg
└ Contents_Video1.wmv
└ Contents_Video2.wmv
└ Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat (シナリオ)

```
Introduction.jpg:10
Contents_Video1.wmv:10
Contents_Video2.wmv:20
Contents_Video3.wmv:
```

再生内容

前記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます (ループ)。

1. Introduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生されます)

シングルメディアプレーヤー (タイプ 3)

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオ、ファイルリスト

シナリオ :

[ファイル定義:再生時間]を入力します。

ファイルリスト :

[ファイル定義:ファイル名]を入力します。

設定例

USB メモリーコンテンツ

```
└ filelist.dat
└ scenario.dat
└ Introduction.jpg
└ Contents_Video1.wmv
└ Contents_Video2.wmv
└ Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat (シナリオ)

```
PHOTO_001:10
VIDEO_001:10
VIDEO_002:20
VIDEO_003:
```

filelist.dat (ファイルリスト)

```
PHOTO_001:Introduction.jpg
VIDEO_001:Contents_Video1.wmv
VIDEO_002:Contents_Video2.wmv
VIDEO_003:Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます (ループ)。

1. Introduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生されます)

マルチメディアプレーヤー

ファイルは、親機の設定例に記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

[親機側]

シナリオ :

[ファイル定義 : 再生時間] を入力します。

ファイルリスト 1 行目 :

[グループID] を入力します。

ファイルリスト 2 行目以降 :

[ファイル定義 : ファイル名] を入力します。

[子機側]

シナリオ : 不要

ファイルリスト 1 行目 :

[グループID] を入力します。

ファイルリスト 2 行目以降 :

[ファイル定義 : ファイル名] を入力します。

設定例

[親機側]

USB メモリーコンテンツ

```
└ filelist.dat
└ scenario.dat
└ L_Introduction.jpg
└ L_Contents_Video1.wmv
└ L_Contents_Video2.wmv
└ L_Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat (シナリオ)

```
PHOTO_001:10
VIDEO_001:10
VIDEO_002:20
VIDEO_003:
```

filelist.dat (ファイルリスト)

```
GroupID:GO1
PHOTO_001:L_Introduction.jpg
VIDEO_001:L_Contents_Video1.wmv
VIDEO_002:L_Contents_Video2.wmv
VIDEO_003:L_Contents_Video3.wmv
```

[子機側]

USB メモリーコンテンツ

```
└ filelist.dat
└ R_Introduction.jpg
└ R_Contents_Video1.wmv
└ R_Contents_Video2.wmv
└ R_Contents_Video3.wmv
```

filelist.dat (ファイルリスト)

```
GroupID:GO1
PHOTO_001:R_Introduction.jpg
VIDEO_001:R_Contents_Video1.wmv
VIDEO_002:R_Contents_Video2.wmv
VIDEO_003:R_Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返して再生されます（ループ）。

〔親機側〕

1. L_Introduction.jpg (10 秒)
2. L_Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. L_Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. L_Contents_Video3.wmv (*1)

〔子機側〕

1. R_Introduction.jpg (10 秒)
2. R_Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. R_Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. R_Contents_Video3.wmv (*1)

*1 L_Contents_Video3.wmv（親機側）の再生時間の間、再生されます。

お知らせ

- メニュー画面が表示されていない間は▶で次の再生ファイルへ、◀で前の再生ファイルへスキップし、▼で先頭のファイルから再生しなおすことができます（リモコンのみ対応）。この操作を行った場合、再生の前に黒画が挿入されます。スケジュール再生機能が有効時は、スキップ操作はできません。
- 「日付と時刻」（☞ 75 ページ）の設定により、日付、時刻を変更時は、現在再生中のファイル再生を中断し、再度ファイルの最初から再生を実施します。
- IPv6 設定で通信している場合、マルチメディアプレーヤーは動作しません。

■ USB メモリー内容チェック

USB メモリーの内容チェックは「USB メディアプレーヤー設定」の「シナリオファイルチェック」で実行できます。（☞ 86 ページ）

エラーがあるときは以下の形式でお知らせします。

A(B) : C

D

A : エラーがあるファイル名

B : エラーがある行

C : エラーコード

D : エラー内容

お知らせ

- 主要なエラーコードを表示します。
エラーの検出内容は以下のとおりです。

エラーコード	エラー内容
1.	USB メモリーが挿入されていません。
2.	scenario.dat/filelist.dat が開けません。
3.	scenario.dat/filelist.dat の記載内容にエラーがあります。

4.	再生ファイルの形式はサポートされていません。
5.	再生ファイルが存在しません。
6.	マルチメディアプレーヤーに必要なグループ ID が未設定です。
7.	ファイル定義が重複しています。
8.	シナリオの再生時間が範囲外です。
9.	シナリオに記載されたファイル定義がファイルリストにありません。
10.	シナリオの再生ファイルが 0 もしくは 1 000 以上あります。
11.	再生ファイルが 0 もしくは 1 000 以上あります。 (シングルメディアプレーヤー(タイプ 1)のみ)
12.	ファイルリストにグループ ID しかありません。 (マルチメディアプレーヤーのみ)

※エラーコード 1 および 11 の場合は、下記のようにエラーコードとエラー内容のみ表示されます。

1

USB メモリーが挿入されていません。

補足事項

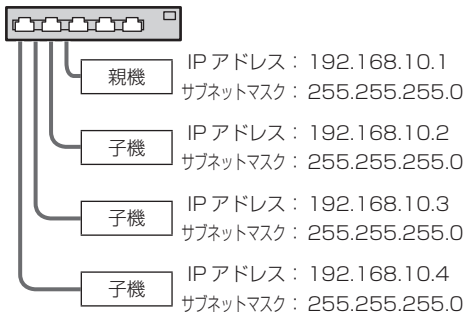
USB メモリー内容チェックは、再生ファイルが再生可能かどうかは判断できません。

メディアプレーヤーが有効であるのにファイルが再生できない場合、エラーメッセージが表示されます。マルチメディアプレーヤーで同期再生する場合には、「USB メディアプレーヤー設定」の「シナリオファイルチェック」で再生可能であることを確認してください。

ネットワーク環境（マルチメディアプレーヤーのみ）

■ LAN 接続および IP アドレス／サブネットマスクの設定例

下記のように、複数台の本機を LAN ケーブルで接続し、IP アドレス／サブネットマスクを設定し、すべてのディスプレイが同じネットワークに存在するようにします。



お知らせ

- すべてのディスプレイの「ネットワークコントロール」を「オン」に設定してください。(☞ 78 ページ)
- ネットワークの環境によっては、同期が大きくなる可能性があります。
- ネットワークトラフィックが混雑しないように、他の機器を接続しないでください。
- ディスプレイ間にルーターを置くと接続できません。同じサブネット内で使用してください。
- 正常に再生できない場合があるため、無線 LAN で接続しないでください。

メディアプレーヤーの開始／終了

お願い

- お使いになる USB 端子を「USB 選択」で選択してください。(☞ 95 ページ)
- USB 端子により、外部機器に供給できる電力が異なります。(「USB 端子の接続例」☞ 30 ページ)

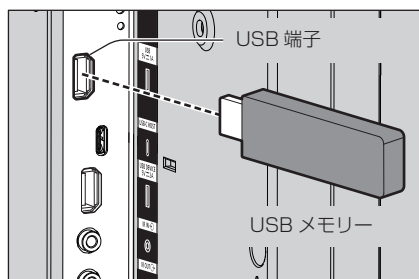
■ シングルメディアプレーヤーの場合

開始

1. ディスプレイ側面の USB 端子にメディアプレーヤー用の USB メモリーを挿入します。

お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。



2. USB メモリー内容チェックを実行します。
3. 入力を「USB」に切り換えます。

終了

入力を「USB」以外に切り換えます。

■ マルチメディアプレーヤーの場合

開始

1. 複数台の本機を LAN ケーブルで接続します。(☞ 132 ページ「LAN 接続および IP アドレス／サブネットマスクの設定例」)
2. メディアプレーヤー用の USB メモリーを各ディスプレイに挿入します。
3. 各ディスプレイで USB メモリー内容チェックを実行します。
4. 子機入力を「USB」に切り換えます。
5. 親機入力を「USB」に切り換えます。

終了

親機入力を「USB」以外に切り換えます。

途中から再生機能（レジューム再生）

メディアプレーヤー終了後、次に再生されるファイルは、「USB メディアプレーヤー設定」の「途中から再生」の設定により異なります。

設定が「オン」の場合：

メディアプレーヤーの終了前に再生されたファイルが、最初から再生されます。

設定が「オフ」の場合：

シナリオの最初のファイルの初めから再生されます。

お知らせ

- 途中から再生機能は本機の電源を切るか USB メモリーを抜くまで保持されます。

プレイリスト編集機能

USB メディアプレーヤーのシナリオを作成・編集する機能です。「初期設定」-「USB メディアプレーヤー設定」-「プレイリスト編集」で、コンテンツの選択、再生順・再生時間の設定、USB メモリーへのファイル出力（scenario.dat）ができます。

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。
「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵のメモリーを使用します。
- シナリオ（scenario.dat）の記述は、USB メディアプレーヤーの制約に従います。
- プレイリスト編集後は、シングルメディアプレーヤー（タイプ2）として動作します。
- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にすでにシナリオ（scenario.dat）ファイルがある場合は、削除後に新規作成します。
- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にファイルリスト（filelist.dat）ファイルがある場合は削除します。
- プレイリスト編集中は以下の機能が無効になります。

「位置調整」

「音声の調整」

「画質の調整」

「初期設定」

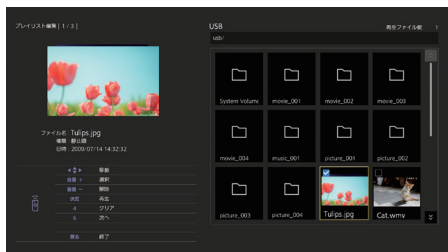
- 「信号モード」
- 「入力表示書換設定」
- 「パワーマネジメント設定」- 「無信号自動オフ」
- 「イメージ設定」- 「ユーザーイメージ読込」
- 「マルチ画面設定」
- 「ファンクション設定」
- 「フェイルオーバー / フェイルバック」
- 「音声入力切替」
- 「ポートレート設定」

デジタルズーム

- プレイリスト編集中の画質ならびに音声は、MEMORY VIEWER 入力と同じ調整内容になります。
- プレイリスト編集を行う場合は USB メモリーに 2MB 以上の空き領域が必要です。
- ファイルの読み書きが正常に行える USB メモリーをお使いください。
- プレイリスト編集機能の操作にはリモコンをご使用ください。

1. ファイル選択画面

再生するコンテンツファイルを選択します。
ファイルを選択後、<6> を押して、次の編集画面に進みます。



リモコンボタンを押して次の操作ができます。

<音量 +> コンテンツを選択（サムネイルの左上にチェックを付ける）

<音量 -> コンテンツ選択を解除（サムネイルの左上にチェックが付いていた場合にチェックを消去）

▲▼◀▶ フォーカスを移動

<4> すべてのチェックを消去

<決定> コンテンツを再生または階層移動

<戻る> プレイリスト編集を終了または上位階層へ移動

<6> 次の編集画面に進む

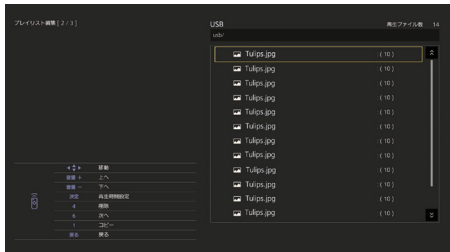
お知らせ

- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にすでにシナリオ（scenario.dat）がある場合は自動的に読み込み、該当ファイルが存在すれば、コンテンツ選択画面ではそれがすでに選択済みの状態になります。
- シナリオ（scenario.dat）から読み込む行数は最大 999 行までです。
- USB メモリーまたは内蔵メモリー内にファイルリスト（filelist.dat）がある場合、シナリオ（scenario.dat）があっても読み込みます、何も選択されていない状態でコンテンツ選択画面が表示されます。
- USB ルート直下だけでなく、フォルダ内のファイルについても選択可能です。
- 選択可能なコンテンツ数は最大 999 個です。

- 999 個選択済みの場合、未選択のコンテンツに対して <音量 +> を押してもコンテンツを選択できません。
- <4> ですべてのチェックを消去する場合、実行確認画面が表示されます。

2. 再生順 / 再生時間設定画面

選択したコンテンツを再生順に並べて、再生時間を設定します。



リモコンボタンを押して次の操作ができます。

- <音量 +> コンテンツを 1 つ上へ移動
- <音量 -> コンテンツを 1 つ下へ移動
- ▲▼◀▶ フォーカスを移動
- <1> 現在選択しているコンテンツをコピーしてリストに追加
- <4> 現在選択しているコンテンツをリストから削除
- <決定> 再生時間を設定する画面を表示
- <戻る> 前の編集画面に戻る
- <6> 次の編集画面に進む

<決定> を押すと再生時間を設定する画面が表示されます。

数値の入力方法については「数値の入力方法」(P.80 ページ) をご覧ください。



お知らせ

- 再生時間の設定範囲は、0、3 (最小) ~ 86400 (最大) です。0 に設定した場合は再生時間の設定を削除します。
- プレイリスト編集で設定できる再生時間は 1 秒単位となります。すでにシナリオ (scenario.dat) があり、該当ファイルの再生時間に小数点を使った指定がされている場合、シナリオファイルの書き出しを行うと 1 秒単位の再生時間に変換されます。
- 再生時間が設定されたコンテンツは、ファイル名の右側に “:” 再生時間 (秒) が表示されます。

再生時間が設定されていないコンテンツは、静止画の場合はファイル名の右側に “:(数字)” が表示されます。(数字は「USB メディアプレーヤー設定」-「スライドショー再生間隔」の設定値 (P.86 ページ) です。) 動画の場合はファイル名の右側に “:(-)” が表示されます。

- <4> でコンテンツをリストから削除する場合、実行確認画面が表示されます。
- 再生コンテンツが既に 999 個ある場合、<1> を押してもリストに追加できません。

3. ファイル出力画面

◀▶ で「はい」を選択して、<決定> を押す。USB メモリーまたは内蔵メモリーへのファイル出力を開始します。

4. 終了画面

終了画面が表示されます。

コンテンツマネージメントソフトウェアによるスケジュール再生機能について

本機は、静止画や動画を再生するために必要なスケジュールのデータを、パソコン上で作成するためのソフトウェア「コンテンツマネージメントソフトウェア」に対応しています。

コンテンツマネージメントソフトウェアで設定できる機能は以下の通りです。

- ・コンテンツ再生 (静止画・動画)
- ・音楽再生
- ・入力切り換え
- ・電源制御
- ・マルチ画面設定
- ・テロップ表示

各機能の設定方法・詳細については、コンテンツマネージメントソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵メモリーを使用します。
- IPv6 設定で通信している場合、コンテンツマネージメントソフトウェアでのスケジュール再生機能は動作しません。
- 本機能をご使用になるには「初期設定」-「USB メディアプレーヤー設定」で「USB メディアプレーヤー機能」と「スケジュール再生機能」をともに「有効」に設定してください。(P.85 ページ)
- 対応デバイスについては「対応デバイスについて」(P.127 ページ) をご覧ください。
- 本機能での USB メモリーの挿入は、電源オンまたはスケジュール待機スタンバイのときに行ってください。それ以外のときに USB メモリーを挿入しても、スケジュール再生は行われません。

- USB メディアプレーヤーで制限される機能は、スケジュール再生機能中も同様に制限されます。

■ スケジュール再生モード

「USB メディアプレーヤー機能」が「有効」、「スケジュール再生機能」が「有効」のとき、本機は「スケジュール再生モード」となり、設定されたスケジュールの通りにコンテンツ再生を行います。

スケジュール再生モードになった際に、

すでにスケジュールが指定された時間であった場合、「再生モード」(☞ 86 ページ) に応じて以下のように動作します。

- 個別再生モードの場合
指定されたスケジュールの最初から再生を開始します。
- 同期再生モードの場合
次回コンテンツ開始時刻より、同期再生を開始します。

お知らせ

- 「スケジュール再生モード」になると自動で入力が「USB」または「Internal Memory」に切り換わります。
- 「スケジュール再生モード」中は一部の本体機能が無効となります。
- 「スケジュール再生モード」中に入力切り換えを行うと、スケジュール再生を一旦中断します。

再びスケジュール再生を行いたい場合は、

- 入力を USB または Internal Memory に切り換えると、次回スケジュールより再生を開始します。
- リモコンで電源を切ると、次回の電源オンとなるスケジュールで電源が立ち上がり、スケジュール再生を開始します。

上記の動作によりスケジュール再生に復帰します。

- 「スケジュール再生モード」中に <画面表示> を押すと、「スケジュール再生モード」の表示が出ます。
- 「スケジュール再生モード」中はメディアプレーヤーのシナリオ再生機能は動作しません。

■ コンテンツ再生

スケジュールで設定した時刻に、指定したコンテンツを再生します。

再生ファイルに関しては以下の形式をサポートしています。

bmp	Windows Bitmap	画素数： 最小 32 x 18 最大 2 000 x 2 000 (1bit、4bit、8bit、24bit) 次の形式には対応しておりません。 ランレングス圧縮、ビットフィールド、トップダウン、透過データ
-----	-------------------	--

動画

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	AAC-LC/LPCM/MP3 WMA Standard
wmv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	LPCM/MP3/WMA Standard/WMA9/WMA10 Pro
mp4 / mov	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/MP3

お知らせ

- 記載されている再生フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- 再生ファイルの映像コーデックに関しての制限事項は「再生ファイル」(☞ 127 ページ) をご覧ください。
- コンテンツマネージメントソフトウェアから作成・配信される設定ファイル(「PRIVATE」フォルダ以下)の中身を変更された場合、動作は保証できません。
- コンテンツが設定されていない時刻の場合、画面は黒画のまま何も表示されません。
またこのとき、画面右上に「スケジュール待機中」の表記が表示されます。
この表示をオフしたい場合は、「初期設定」- 「OSD 設定」メニューの「オンスクリーン表示」機能を「オフ」にしてください。
- コンテンツの各コーデックの詳細については、USB メディアプレーヤー機能の再生コンテンツの制限事項をご確認ください。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
jpg/ jpeg/ jpe	JPEG	画素数： 最小 32 x 18 最大 4 096 x 4 096 (ベースラインのみ対応) YUV フォーマット： YUV444、YUV442、 YUV440 に対応 カラーモード： RGB のみ対応

■ 音楽再生

スケジュールデータで設定した時刻に音楽コンテンツを再生します。

再生ファイルに関しては以下の形式をサポートしています。

音楽

拡張子	コーデック	フォーマット
mp3	MPEG-1/2 Audio Layer-3 AAC(LC)	サンプリングレート： 最大 48kHz チャンネル：最大 2ch ビットレート： 最大 320kbps
wma	WMA	

お知らせ

- 記載されている再生フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- 非対応の音楽コンテンツをスケジュールに設定した場合は、その音楽コンテンツは再生されません。
- 音楽コンテンツが再生されるのは USB または Internal Memory 入力のみです。
- 動画コンテンツと音楽コンテンツは同時に再生できません。同時刻に2つのコンテンツ再生が設定されている場合、動画コンテンツが優先して再生されません。
- 音楽コンテンツ再生中に動画コンテンツの再生が始まった場合、音楽コンテンツの再生は停止します。
- 動画コンテンツの再生が終了し、音楽コンテンツが再生される場合、コンテンツの初めから再生されます。
- 音楽コンテンツは他のディスプレイとの同期再生はできません。
- 音楽コンテンツの切り換わりの際には、数秒の準備時間が発生します。

■ 入力切り換え

スケジュールデータで設定した時刻になると、指定した入力に入力切り換えを行います。また、設定した時刻が過ぎると、再び USB または Internal Memory 入力に戻ります。

お知らせ

- 入力切り換え先が無信号の場合でも、切り換えは行われます。
- 入力切り換えが行われる際、入力表示は表示されません。

■ 電源制御

スケジュールデータで設定した時刻に、電源オン・電源オフを行います。

お知らせ

- 「スケジュール再生モード」中に電源がオフされると、スケジュール待機スタンバイモードとなります。
- スケジュール待機スタンバイモード中は待機電力が通常時と比べて増加します。
- スケジュール待機スタンバイ中も、「スケジュール再生モード」での本体機能の一部無効は継続します。
- 電源オンのスケジュールは、指定されたスケジュール時刻の1分前に動作いたします。
- 電源オンのスケジュールの1分前以降にスケジュール待機スタンバイモードになった場合は、当該時刻のスケジュール再生機能での電源オンは行われません。
- スケジュール再生機能での電源オン動作は、スケジュール待機スタンバイ以外のスタンバイ状態では動作しません。

■ マルチ画面のマルチスクリーン表示設定

再生するコンテンツについて、以下の設定を行います。

- 個別再生モードで再生する
- 同期再生モードで再生する
- 本体の「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」の設定を変更する

個別再生モード

コンテンツはディスプレイ1台での単独再生となります。

同期再生モード

複数台のディスプレイで同期して再生します。

同期再生モードで再生するには、下記の設定をする事で正常に動作します。

- 「USB メディアプレーヤー機能」を「有効」
- 「スケジュール再生機能」を「有効」
- 「ディスプレイ間同期」を「オン」
- 「同期親子設定」を、時刻の基準となるディスプレイ1台を「親」、それ以外のセットを「子」

お知らせ

- 「個別再生モード」および「同期再生モード」は、従来の USB メディアプレーヤーの「シングルメディアプレーヤー」や「マルチメディアプレーヤー」とは別の動作となります。
- 同期再生モードで再生する場合、コンテンツの切り換わりに約5秒間の準備時間が追加されます。
- 複数台で同期再生を行う場合、「ディスプレイ間同期」機能をオンに設定して、再生するディスプレイ同士時刻を合わせてください。
- 「ディスプレイ間同期」が「オン」の場合も、時刻が正しく同期していない場合は正常に動作しない場合があります。「ディスプレイ間同期」の動作条件をご確認ください。(P.75 ページ)

- コンテンツマネージメントソフトウェアのスケジュールデータに「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」の指定があった場合は、その設定値のマルチスクリーン表示に切り換わります。指定のスケジュール再生中は「マルチスクリーン表示」の設定は変更できません。指定のスケジュールが終了すると「マルチスクリーン表示」の設定は設定前の状態に戻ります。

■ テロップ表示

スケジュールデータで設定した時刻に、テロップを表示します。

お知らせ

- テロップは映像の上に重ねて表示されます。
- テロップで表示できる文字数は最大 600 文字までとなります。
- テロップのスクロールは、コンテンツ再生・音楽再生の切り換わり付近のタイミングで停止することがあります。
- テロップは入力切り換えを行うと非表示になります。ただし、スケジュール再生機能による入力切り換えでは、テロップの表示を継続します。
また、スケジュール再生機能を再開するとテロップは最初から表示されます。
- 「表示言語切換」、「ディスプレイ設置」、「映像回転」の設定を変更する、またはディスプレイ ID / ディスプレイ名を表示すると、表示中のテロップが消去されます。
- スケジュールデータの作成時、「スクロール」設定を「しない」にした状態で、文字数の多いテロップを表示させると、テロップ文字が画面からはみ出て表示されます。
- テロップは再生モードが同期再生の場合も他のディスプレイと同期はしません。

■ 無効機能について

「スケジュール再生モード」中は、以下の本体機能が「無効（オフ）」となります。

- 「タイマー設定」
- 「スクリーンセーバー」
- 「パワーマネージメント機能」
- 「無信号自動オフ」
- 「HDMI-CEC 設定」
- 「無操作自動オフ」
- 「OSD 透過率」
- 「イメージ設定」（ユーザーイメージ読込無効）
- 「入力信号サーチ」
- 「スタート入力設定」
- 「入力切換固定」
- 「フェイルオーバー / フェイルバック」

お知らせ

- 無効状態の機能は、オンスクリーンメニューではグレー表示で設定できません。またシリアルコマンドも「ER401」となります（問い合わせコマンドを含む）。

- 「スケジュール再生モード」中、無効機能は「無効（オフ）」となり強制的に動作が停止します。
- 「スケジュール再生モード」が終了すると、無効だった本体機能は元の設定値に戻ります。
- 「マルチ画面設定」-「マルチスクリーン表示」を設定する場合、設定できるのは「横拡大率」、「縦拡大率」、「拡大位置」のみとなります。「目地設定」は設定できません。
- ARC 機能は使用できません。「初期設定」-「HDMI-CEC 設定」メニューの「ARC」を必ず「オフ」に設定してください。（[P.69](#) ページ）

■ 途中から再生機能（レジューム再生）

「スケジュール再生モード」を一旦中断した後、再びスケジュール再生に復帰した時の動作を設定します。

設定が「オン」の場合：

スケジュール再生モードが中断される直前のコンテンツが、最初から再生されます。

設定が「オフ」の場合：

現在の時刻のスケジュール設定されたプレイリストの最初から再生されます。

お知らせ

- スケジュールが同期再生モードの再生の場合、設定が「オン」「オフ」どちらの場合でも、時刻通りの再生を行います。

メモリービューワーを使う

メモリービューワーは、USB メモリーまたは内蔵メモリー内に保存された静止画や動画を選択し、ディスプレイに表示する機能です。

お知らせ

- USB 端子に接続した USB メモリーを使用する前提で機能を説明しています。
「使用メモリー選択」の設定が「内蔵メモリー」に選択されている場合は、内蔵メモリーを使用します。

準備

■メモリービューワー機能で再生できるファイル

以下のファイルを再生できます。

静止画

拡張子	フォーマット	制限事項
jpg/ jpeg/ jpe	JPEG	画素数： 最小 32 x 32 最大 4 096 x 4 096 (ベースラインのみ対応) YUV フォーマット： YUV444、YUV442、 YUV440 に対応 カラーモード： RGB のみ対応
bmp	Windows Bitmap	画素数： 最小 32 x 32 最大 4 096 x 4 096 (1bit、4bit、8bit、24bit) 次の形式には対応しており ません。 ランレングス圧縮、ビット フィールド、トップダウン、 透過データ 画素数が 1 920 x 1 080 を超える場合には、表示す るまでに長時間要すること があります。

動画

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	AAC-LC/LPCM/MP/ WMA Standard

mkv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/LPCM/ MP3
wmv asf	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual VC-1 Advanced VC-1 Simple & Main	LPCM/MP3/WMA Standard/WMA9/ WMA10 Pro
mp4/ mov/flv	H.264/MPEG4 AVC MPEG4 Visual H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/ MP3
ts/mts	H.264/MPEG4 AVC H.265/HEVC	AAC-LC/HE-AAC/ LPCM/MP3

制限事項	
映像	
コーデック	解像度
H.264/ MPEG4 AVC MP@L5.1/ HP@L5.1	1 920 x 1 080p@60.0 3 840 x 2 160p@30.0 ビットレート：最大 80Mbps ・ MVC (多視点) 非対応
H.265 MP@L5.1/ MP10@L5.1	3 840 x 2 160p@60.0 1 920 x 1 080p@60.0 ビットレート：最大 80Mbps ・ GMC は 1 ポイントのみ対応 ・ Data Partitioning 非対応
MPEG4 Visual SP@L5/ASP@ L5	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps ・ MPEG4 Part2 で規定されるビデオ規格
VC-1 Advanced AP@L3	1 920 x 1 080i@30.0 1 920 x 1 080p@24.0 ビットレート：最大 40Mbps
VC-1 Simple & Main SP@LL/SP@ ML/MP@LL/ MP@ML/MP@ HL	1 920 x 1 080p@30.0 ビットレート：最大 40Mbps

音声		
コーデック	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)
MP3	8/11.025/12/16/	8 ~ 320
WMA Standard	22.05/24/32/44.1/48	32 ~ 384
WMA 9		32 ~ 384
WMA 10 Pro		32 ~ 384
LPCM		64 ~ 1 536 対応量子化ビット： 8/16/24/32
AAC(LC)		8 ~ 1 440
HE-AAC (Ver.2 Level4)		8 ~ 256

音楽

拡張子	コーデック	
mp3	MPEG-1/2 Audio Layer-3 AAC(LC) HE-AAC (Ver.1)	サンプリングレート： 最大 48kHz チャンネル： 最大 2ch ビットレート： 最大 320kbps
wma	WMA	

お知らせ

- 最大ビットレートは、USB3.0 メモリーにおける上限で、使用する USB メモリーの性能に依存します。
- 静止画 / 動画ファイルの一部の情報については、該当のファイルにアクセス可能なコンピューターで確認できます。
- 対応デバイスについては「対応デバイスについて」(☞ 127 ページ) をご覧ください。
- 記載されている再生フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- ファイルの画素数が画面サイズを超える場合、画質が変化します。

操作例

- Windows コンピューターの場合
 1. ファイルを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
 2. [詳細] タブをクリックする
- Mac の場合
 1. [Control] キーを押しながらファイルをクリックし、[情報を見る] をクリックする
 2. [詳細情報] をクリックする
- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- ファイル / フォルダの最大数：2 000 個までです。超えた場合は、2 000 個までのファイル / フォルダのみ表示されます。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。
- ファイルやフォルダに半角英数字以外の文字が含まれる場合は表示や再生が正しく行われずおそれがあります。
ファイルやフォルダには半角英数字のみを使用することを推奨します。

- 再生可能なファイルでもサムネイルが正しく表示されないものがあります。
- ファイルパス (フォルダ情報) および拡張子を含めたファイル名が半角英数字 248 文字以上になるとサムネイルは表示されません。(☞ 140 ページ)
- アスペクト比が異なるコンテンツを連続再生する場合、コンテンツ切り換わり時に映像が一瞬乱れることがあります。
連続再生する場合はアスペクト比を統一することを推奨します。
- 動画の種類によってはサムネイル表示時や再生時に映像が一瞬乱れることがあります。

メモリービューワー画面を表示する

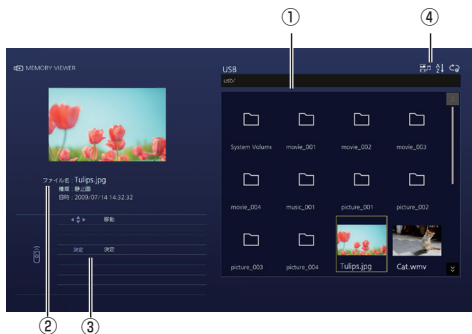
<入力切換>を押して入力を「MEMORY VIEWER」に切り換えます。

「入力切換」機能を数字ボタン (<1> ~ <6>) に設定するとワンタッチで入力が「MEMORY VIEWER」に切り換わります。(☞ 88 ページ)
サムネイルまたはファイルリストが表示されます。サムネイルとファイルリストの表示切り換えは「初期設定」-「メモリービューワー設定」で設定します。(☞ 87 ページ)

お知らせ

- メモリービューワーの操作にはリモコンをご使用ください。

■ サムネイル画面



①サムネイル

フォルダ、静止画、動画または音楽ファイルを表示します。
次のアイコンが表示されます。



選択すると上位階層へ移動します。



選択すると下位階層へ移動します。



静止画ファイルです。



動画ファイルです。



音楽ファイルです。



対応している拡張子ですが、再生できないファイルです。

サムネイル形式では、サムネイル用の画像を表示できる場合は画像を自動生成し、アイコンがサムネイル画像に差し替えられます。

お知らせ

- Exif 情報を含む画像の場合、サムネイル画像と再生時の向きが異なることがあります。
- ②選択されているファイルの情報を表示します。
- ③リモコン操作ガイド
- ④状態表示アイコン

コンテンツ種類、表示順、再生方式の状態をアイコンで表示します。

コンテンツ種類



静止画



静止画・動画



動画



動画・音楽



音楽



静止画・音楽



オール

表示順



ファイル名・昇順



日時・昇順



ファイル名・降順



日時・降順

再生方式



リピートなし



ランダム



1 ファイル繰り返し



選択

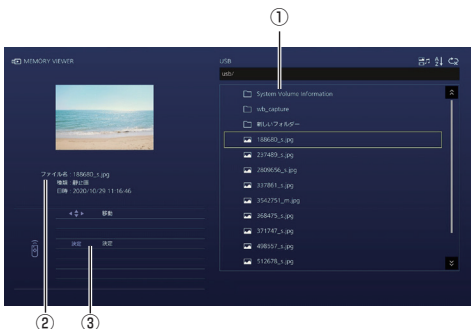


全ファイル繰り返し



プログラム

■ ファイルリスト画面

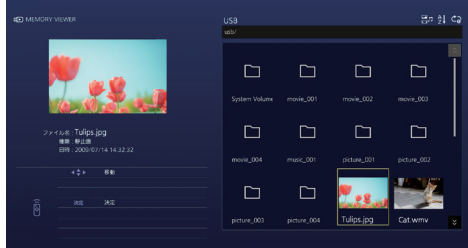


①ファイルリスト

フォルダ、静止画、動画または音楽ファイルを表示します。

- ②選択されているファイルの情報を表示します。
- ③リモコン操作ガイド

静止画を再生する



ファイルリスト画面でもファイルの選び方は同じです。

1 サムネイル / ファイルリスト画面において、▲▼◀▶で再生したいファイルを選択します。

お知らせ

- 「再生方式」が「選択」または「プログラム」の場合、<音量 + ><音量 - >で再生したいファイルを指定します。(☞ 87 ページ)

また、ファイル指定は以下の操作により解除されます。

- ・フォルダ移動
- ・「再生方式」の変更
- ・USB メモリーの抜き取り
- ・入力切り換え
- ・電源オフ

2 <決定> を押します。

全画面に静止画が表示されます。



①リモコン操作ガイド

リモコンボタンを押して次の操作ができます。

◀ 前のファイルへ移動

▶ 次のファイルへ移動

▲ 画像の右回転 (90°)

▼ 画像の左回転 (90°)

<決定> 再生の一時停止 / 再生再開

<戻る> 一覧表示に戻る

<1> 未使用

<2> 再生コンテンツの情報を表示 / 消去する

<3> 未使用

<4> 未使用

<5> リモコン操作ガイドを表示 / 消去する

<6> 未使用

再生中に <決定> を押すと一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

再生中に ◀ を押すと前の画像から、▶ を押すと次の画像から再生を続けます。

再生間隔は「初期設定」-「メモリービューワー設定」で設定します。(☞ 87 ページ)

3 <戻る> を押します。

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

動画・音楽を再生する

1 「静止画を再生する」と同じように再生したいファイルを選択します。

(☞ 141 ページ)

2 <決定> を押します。

全画面に動画が表示されます。

お知らせ

- 音楽を再生する場合、画面に音楽アイコンが表示されます。



①早送り / 巻戻し / 一時停止の表示

▶ 通常再生

⏏ 一時停止中

⏩ 早送り (第一段階)

⏪ 早送り (第二段階)

⏮ 巻き戻し (第一段階)

⏭ 巻き戻し (第二段階)

② タイムバー

③ リモコン操作ガイド

リモコンボタンを押して次の操作ができます。

再生中に <4> を押すと巻戻し、<6> を押すと早送りを行います。ボタンを押すたびに、早さが2段階で変わり、通常再生に戻ります。

◀ 前のファイルへ移動

▶ 次のファイルへ移動

▲ 頭出し (現在のファイルを最初から再生)

▼ 頭出し (現在のファイルを最初から再生)

<決定> 再生一時停止 / 再生再開

<戻る> 一覧表示に戻る

<1> 10秒戻る

<2> 再生コンテンツの情報を表示 / 消去する

<3> 30秒進む

<4> 巻戻し

<5> リモコン操作ガイドを表示 / 消去する

<6> 早送り

お知らせ

- 再生するコンテンツによっては、「10秒戻る」や「30秒進む」が正しく動作しない場合があります。

3 <戻る> を押します。

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

■ 無効機能について

メモリービューワー機能使用中は、以下の本体機能が無効となります。

- 「イメージ設定」の「ユーザーイメージ読込」
- マルチ画面のマルチスクリーン表示
- デジタルズーム
- 無信号自動オフ
- 「位置調整」
- ファンクション機能 (コンテンツ再生中のみ無効)

お知らせ

- 液晶パネルの残像軽減のため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。(P.62 ページ)

ホワイトボード機能を使用する

お知らせ

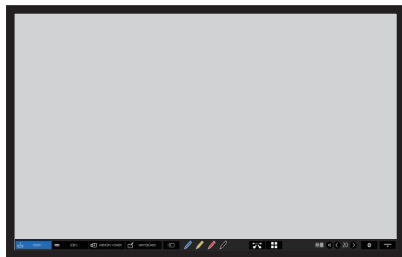
- ホワイトボード機能を使用するには、外付けのタッチパネルまたはマウスが必要です。
- ホワイトボード機能を使用するには「初期設定」-「ホワイトボード設定」で「ホワイトボード」を「オン」に設定してください。(☞ 74 ページ)
- マウスを使用されている場合は、クリック操作で動作します。
- 外付けのタッチパネルを使用されている場合は、タッチ操作で動作します。
- 次の場合は、操作に対応していません。
 - ・「ディスプレイ設置」が「縦」の場合 (☞ 95 ページ)
 - ・「映像回転」が「180度」の場合 (☞ 95 ページ)

コントロールメニュー

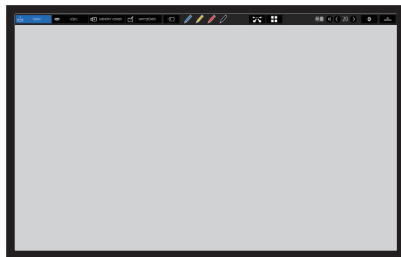
画面下に表示されているコントロールメニューによって、使いたい機能をクリックします。

コントロールメニューの表示方法は、「初期設定」-「ホワイトボード設定」-「コントロールメニュー」で設定できます。(☞ 74 ページ)

コントロールメニュー「下」のとき



コントロールメニュー「上」のとき



コントロールメニュー



入力の切り換え

クリックした入力に切り換わります。

コントロールメニューに表示する入力を選択できます。
「**クイック入力設定**」☞ 74 ページ

入力表示

入力選択一覧が表示されます。

ホワイトボード

透過モードまたはホワイトボードモードになります。

クリックしたペン色でホワイトボードを起動します。

青色、黄色、赤色と、黒色で起動することができます。

お知らせ

- 下記の場合はボタンがグレー表示になり、ホワイトボードを起動できません。
 - ・入力切り換え後の数秒間
- 下記の場合は、ホワイトボードではなく簡易描画機能が起動します。
 - ・USB 入力の時
 - ・比較モード起動時

ズーム

ズームモードになり、画像の拡大・縮小ができます。

アプリランチャー

本体に内蔵されているアプリ用のランチャーを起動します。(☞ 161 ページ)

音量調節・消音

左右の ◀ ▶ をクリックして音量を調節できます。

🔇 をクリックすると音声が消え、🔇 の表示になり、音量調節は無効になります。再度クリックすると解除されます。

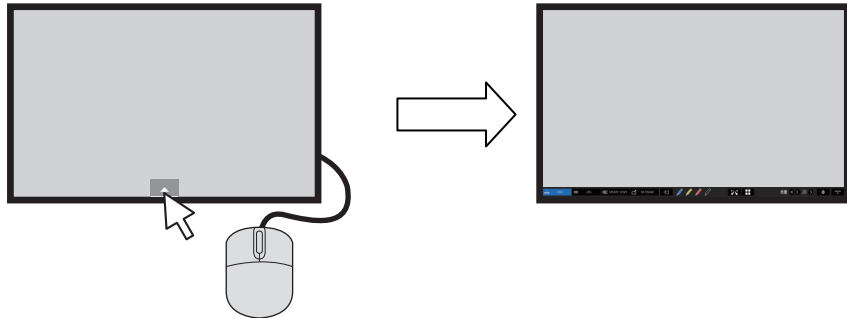
ディスプレイ設定

メニューを選択する画面が表示されます。

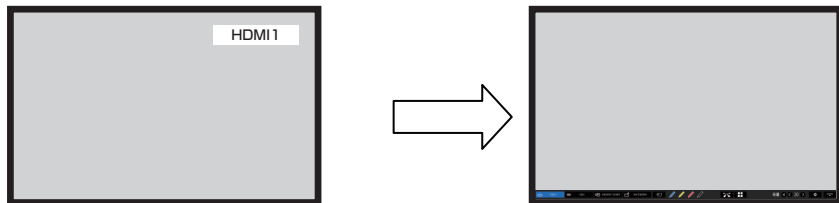
閉じる

「閉じる」をクリックするとコントロールメニューを最小化します。

最小化されたタブをクリックすると再度コントロールメニューが表示されます。



コントロールメニュー以外のメニューや画面表示が行われている時、コントロールメニューは表示されません。表示が消えるとコントロールメニューが表示されます。



内蔵ホワイトボードを使う

内蔵ホワイトボードを使用して、ディスプレイをホワイトボードとして使用したり、映像の上にマーキングするなどのペン描画をします。

■内蔵ホワイトボードについて

- ペン描画をするには、「初期設定」-「ホワイトボード設定」で「ホワイトボード」を「オン」に設定してください。
([☞](#) 74 ページ)
- ペン描画には指を使用します。
- マーキングされた映像を、背景の映像とともに内蔵メモリーや USB メモリーに保存したりできます。

お知らせ

- 映像、写真等を外部入力して本機をご利用になる場合には、引用等のほかは、ご利用できる映像、写真等は、お客様自身が創作、撮影等している著作権等を有するもの、または権利者からの利用にあたっての許諾を得ているものに限ります。

ペン描画には次の 2 つのモードがあります。

ホワイトボードモードで使う

WHITEBOARD 入力で白地画面上に描画します。

入力を WHITEBOARD に切り換える

リモコン操作

<入力切換> を押して入力を
WHITEBOARD に切り換える

「初期設定」-「ファンクション設定」で数字ボタンの機能を「入力切換 (WHITEBOARD)」に設定するとワンタッチで入力が WHITEBOARD に切り換わります。

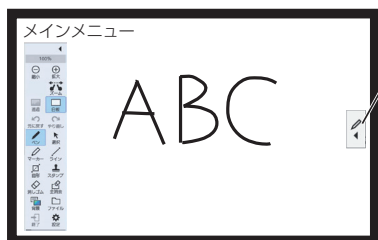
マウス操作

コントロールメニューで WHITEBOARD を
クリックする




コントロールメニューについて [☞](#) 143 ページ

ホワイトボードモードになり、白地画面上にペン描画できます。



メインメニューの表示

 をクリックするとペン描画用のメインメニューが表示されます。

メインメニューについて [☞](#) 147 ページ


背景はメインメニューで変更できます。([☞](#) 147 ページ)

ホワイトボードの背景は内蔵アプリケーションの設定メニューで白以外に設定できます。
([☞](#) 148 ページ)

WHITEBOARD 以外の入力では、メインメニューの「白板」で透過モードからホワイトボードに切り換えます。[☞](#) 146、150 ページ

ペン描画のしかた [☞](#) 149 ページ

お知らせ

- WHITEBOARD 入力時、終了ボタン  は無効になります。

透過モードで使う（動画・静止画の上に描画）

PC や HDMI 入力などの映像を表示している上に描画します。

1 任意の入力に切り換える

2 コントロールメニューからホワイトボードを起動する

透過モードになり、動画および静止画の上に描画できます。




メインメニューの機能ボタンをクリックしてモードを切り換えます。



透過：透過モードに切り換わります。

白板：ホワイトボードモードに切り換わります。

3 ホワイトボードを終了する メインメニューの  をクリックしてください。

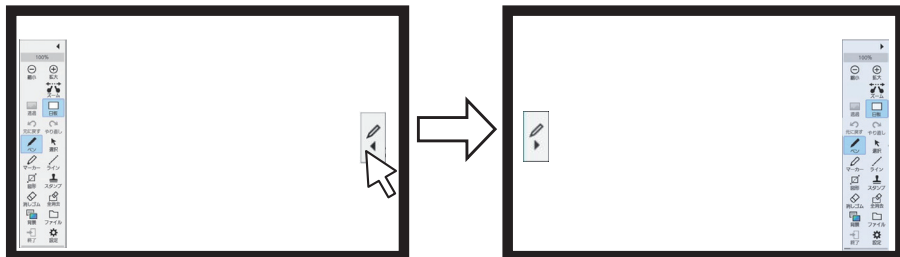
メインメニューについて

メインメニューの機能ボタンをクリックして、その機能を選びます。
表示される機能ボタンはモードによって異なります。

メインメニューの表示

画面の右または左の  をクリックすると、クリックした側にメインメニューが表示されます。

メインメニュー



メインメニュー

メニューを最小化します。

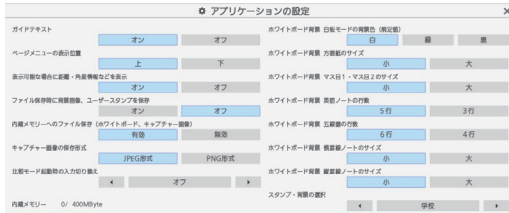
ズーム倍率表示

縮小：画面を縮小します。(100%まで)
拡大：画面を拡大します。(400%まで)
ズーム：ズームモードになります。
透過：ホワイトボードで背景透過になります。
白板：ホワイトボードで白い背景になります。(白以外も設定できます。)
元に戻す：1つ前の操作を取り消します。(最大20回まで)
やり直し：取り消した操作をやり直します。
ペン：文字や図形などの自由線を描画します。
選択：描画オブジェクトを選択します。
マーカー：半透明のペンです。
ライン：直線や矢印などを描画します。
図形：四角や円などを描画します。
スタンプ：画像をスタンプのように貼り付けます。
消しゴム：画面に描画した内容を描画オブジェクト単位で消去します。
全消去：画面に描画した内容をすべて消去します。
背景：ホワイトボードの背景を設定します。
ファイル：データ保存、読み出しなどのファイル操作をします。
終了：ホワイトボードを終了します。
設定：ホワイトボードの機能や制御を設定します。

使用メモリーゲージ：使用しているメモリー量ゲージ。使用するほど右に伸びます。残量が少なくなると赤色になります。

■ 設定メニューについて

ホワイトボードを含む内蔵アプリケーションの設定メニューは以下の通りです。



ガイドテキスト： メインメニューのボタン下の文字表示を設定します。

ページメニューの表示位置： ページメニューの表示位置を設定します。

表示可能な場合に距離・角度情報などを表示：

ラインや図形描画において、その長さ（距離）や角度の情報表示を設定します。

ファイル保存時に背景画像、ユーザースタンプを保存：

pwb 形式（内蔵ホワイトボード用ファイル）でファイルを保存するとき、描画中に使用している背景画像やユーザースタンプも保存するかどうかの選択をします。

内蔵メモリーへのファイル保存（ホワイトボード、キャプチャー画像）：

本体内蔵メモリーに対象データの保存を設定します。

キャプチャー画像の保存形式： 画面キャプチャーした画像の保存形式を設定します。

比較モード起動時の入力切り換え： 比較モードアプリ起動時に自動で切り換える入力を設定します。

内蔵メモリー */*** MByte：** 内蔵メモリーの使用量と全容量を表示します。

ホワイトボード背景

- 白板モードの背景色（規定値）：白板モードにした時の背景色を設定します。
- 方眼紙のサイズ：背景方眼紙のマス目サイズを設定します。
- マス目 1・マス目 2 のサイズ：マス目のサイズを設定します。
- 英語ノートの行数：背景英語ノートの 1 画面に表示する行数を設定します。
- 五線譜の行数：背景五線譜の 1 画面に表示する行数を設定します。
- 横罫線ノートのサイズ：横罫線ノートのサイズを設定します。
- 縦罫線ノートのサイズ：縦罫線ノートのサイズを設定します。

スタンプ・背景の選択： 本機の使用用途に対応して、表示するスタンプや背景を切り換えます。

お知らせ

- 「キャプチャー画像の保存形式」で「PNG 形式」を選択すると保存・読み出しが遅くなります。
- 「ファイル保存時に背景画像、ユーザースタンプを保存」を「オフ」にしてデータ保存すると、別の本体でデータを参照した際には、それらの画像は表示されません。

■ メモリー使用量と警告について

本体メモリー使用量によって以下のように動作します。

メモリー使用量 60% 超え時：

次の警告メッセージが表示されます。

「メモリーの使用量が 60% を超えました。

80% を超えると書き込みができなくなります。」

メモリー使用量 80% 超え時：

次の警告メッセージが表示されます。

「メモリーの使用量が 80% を超えました。

ホワイトボードは継続して使用できますが、ページ追加や書き込み操作などはできなくなります。

ファイルを保存して、ホワイトボードを再起動してください。」

ペン描画のしかた

メインメニューから機能を選んで描画します。

1 描画系のボタンをクリックする

(ペン・マーカー・ライン・図形・スタンプ)



描画設定を変更する

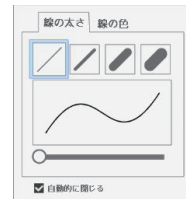
ペンとマーカーはそれぞれ独立して色・太さの変更ができます。

図形・ラインの色はペンの設定と同じになります。

変更項目はパレットメニュー内に表示され、カテゴリごとにタブで表示されます。



色の選択



太さの選択

スライダーでペンの太さを自由に設定できます。プレビュー画面でどの程度の太さになるのか確認ができます。

2 ディスプレイ上に描画する



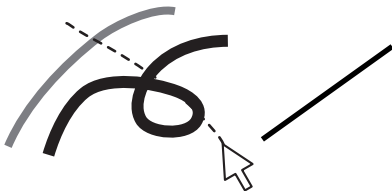
■ 描画を消す

部分的に消す

1 「消しゴム」をクリックする



2 マウスをドラッグして、消したい部分をなぞる



3 なぞった部分の描画オブジェクトが選択表示されます。

4 マウスをドロップすると、なぞった部分の線が描画した部品単位で消去されます。

すべて消えます。
(描画オブジェクト単位)



お知らせ

- 描画オブジェクトの一部のみを消去することはできません。間違って消したときはメニューの「元に戻す」ボタンをクリックすると元に戻ります

全消去

「全消去」をクリックする

画面に描画した内容がすべて消去されます。



モードを切り換える

メインメニューの「白板」または「透過」をクリックすると描画モードが切り換わります。



透過：透過モードに切り換わります。

白板：ホワイトボードモードに切り換わります。

入力は WHITEBOARD には切り換わりません。

お知らせ

- WHITEBOARD 入力ではホワイトボードモードのみ使用できます。モードの切り換えはできません。

ペン描画を保存する（ファイルメニュー）

描画した内容を背景画像とともに内蔵メモリーや USB メモリーに保存したり、ページとして読み出し
たりできます。

USB メモリーはディスプレイの USB 端子に接続して使用します。



新規作成：新しいプロジェクトファイルを作成します。

ファイル読み込み：保存済みのプロジェクトファイルを読み込みます。

ファイル保存：作成したデータをファイルに保存します。

その他ファイル形式読み込み：プロジェクトファイル形式以外の画像やページ毎に連番保存された画像
データ、PDF を読み込みます。

その他ファイル形式保存：ホワイトボード上のデータを画像やページ毎に連番保存された画像データ、
PDF 形式で保存します。

お知らせ

- 機密保持のため、内蔵メモリーをご使用後は、保存されているファイルを削除されることをお勧めします。

ファイルの保存形式について

ページはファイルで管理されており、内蔵メモリーおよび USB メモリーに保存されます。

通常は、pwb という独自形式ですべてのページ・描画オブジェクトが 1 ファイルで保存されます。

ファイル名は「Wbyyyymmdd-***（通し番号）.pwb」が標準となります。

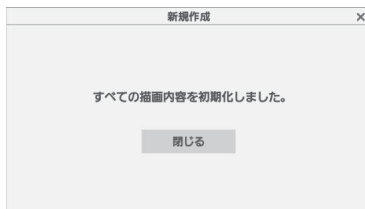
また、1 ページごとに JPEG 形式でファイル保存を行うことも可能です。

その場合、画像単体保存 / 連番画像保存を用いて保存してください。

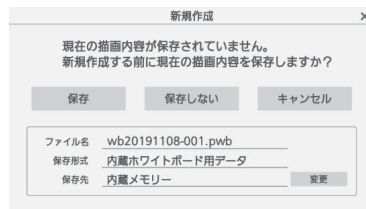
ファイルメニュー動作

ホワイトボードの設定メニューは以下の通りです。

新規作成（事前に変更なし）

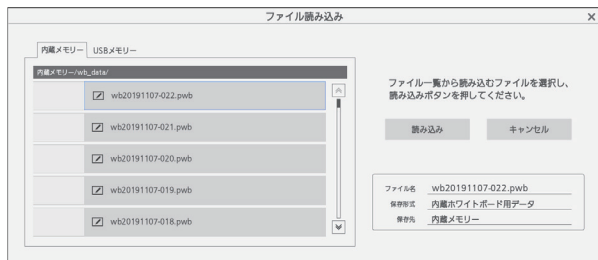


新規作成（描画データに変更あり）



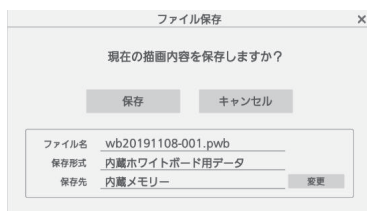
「新規作成」を選択すると新たにファイルが作成されます。その際、事前にホワイトボードで何か変更
をしていた場合は保存を促すダイアログが表示されます。「保存しない」をクリックすると、現在の描
画内容を保存せずに破棄したうえで新規作成を行います。

ファイル読み込み



作成したホワイトボード用データ（pwb）を読み込みます。
左側で読み込み先を内蔵メモリーか USB メモリーで選択できます。
ファイルを選択すると右下にファイル名・保存形式・保存先が表示されます。
「読み込み」をクリックすると、選択したデータを読み込んでホワイトボードに表示します。

ファイル保存

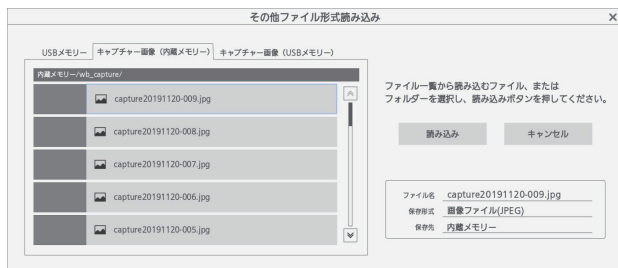


現在の描画内容を保存します。保存先は「内蔵メモリー」または「USB メモリー」が選択できます。

お知らせ

- ホワイトボードの描画内容を印刷したいときは、PDF 形式で USB メモリーに保存してパソコンから印刷できます。（[P.153](#) ページ）

その他ファイル形式読み込み



pwb 形式以外のファイルを読み込みます。読み込める形式は、「JPEG」、「PNG」、「SVG」、「PDF」およびフォルダー（フォルダー内の読み込める画像をすべて読み込み）です。

左側で読み込み先をキャプチャーデータか USB メモリーで選択できます。ファイルを選択すると右下にファイル名・保存形式・保存先が表示されます。

「読み込み」をクリックすると、選択したデータを読み込んでホワイトボードに表示します。

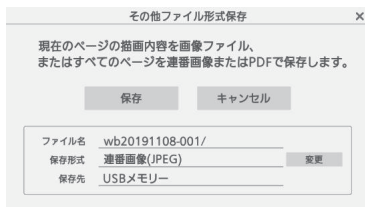
USB メモリーを選択中は、左のファイル一覧に表示されたフォルダー名をダブルクリックすることでそのフォルダーに移動します。

その他ファイル形式保存

画像単体



連番画像



描画したホワイトボードデータを保存します。保存先は「USBメモリー」のみです。保存形式は「画像ファイル (JPEG)」、「画像ファイル (PNG)」、「PDF ファイル」、「連番画像 (JPEG)」、「連番画像 (PNG)」です。

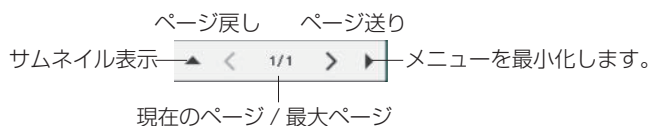
お知らせ

- PDF はすべてのページを 1 ファイルに保存します。
- 連番画像は設定した形式ですべてのページをページ毎にファイル作成し表示されているフォルダーに保存します。

描画ページを切り換える (ページメニュー)

ホワイトボード機能で描画する際、ページを追加することができます。

ページの追加・移動は画面上部または下部の左右にあるページメニューを用いて行います。



<> をクリックするとプロジェクトデータのページを順に切り換えて表示します。

左側の数字は現在のページ番号、右側の数字は最終ページの番号を表します。

▲ をクリックするとサムネイルが一覧で表示されます。

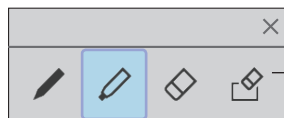
▶ をクリックするとページメニューが最小化されます。

簡易描画機能を使う

本機にはホワイトボード機能とは別に、簡易的にペンやマーカーで描画できる「簡易描画機能」があります。

- ホワイトボードを使用できない下記の条件で動作します。
 - ・ USB 入力の時
 - ・ 比較モード起動時

簡易描画機能



左から
ペン・マーカー・消しゴム・全消去

- ・ ペン、マーカーの色はコントロールメニューで選択した色になります。
- ・ 消しゴムはなぞった部分が消去されます。(ホワイトボードの動作と異なります。)
- ・ 画面更新を行う操作をすると描画データは消去されます。
- ・ 描画データは保存できません。(一時的に描画する機能になります。)

お知らせ

- 簡易描画機能動作中の「キャプチャー」は、映像部分以外（描画内容など）を含んだキャプチャーとなります。
- 簡易描画機能の描画できる範囲はホワイトボード機能とは異なります。

比較モードを使う

比較モード機能を使用して、実物投影機からの映像と内蔵メモリーや USB メモリー上のデータとの比較をします。

■ 比較モードについて

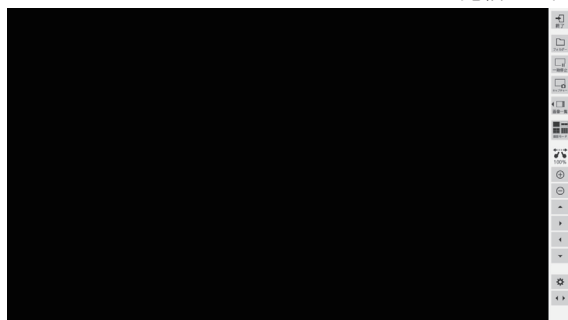
- 本機能を開始するとき、実物投影機を接続した入力に自動で切り換えることが可能です。(P.148 ページ)
- USB メモリーを用いて比較する場合、最初に挿した 1 本目が有効となります。

比較モード機能の起動

コントロールメニューでアプリランチャーを選択し、ランチャーから「比較モード」をクリックして起動する

起動すると以下の画面になります。

比較モードメニュー



比較モードには以下の機能があります。

映像をキャプチャーする

画面に表示されている映像をキャプチャーし、内蔵および USB メモリーに保存します。

比較モードメニューの「キャプチャー」ボタンをクリックする



クリックした時点の映像がキャプチャーされ内蔵および USB メモリーに保存されます。

1 画面時：映像のみをキャプチャーします。

1 画面時以外（分割表示中、簡易描画中等）：映像部分以外（描画内容など）を含んだキャプチャーをします。

ズーム中・簡易描画中・画面分割中・画像表示中は、描画内容を含んだ画面のスクリーンショットが保存されます。

保存時にはキャプチャーした画像が画面上に表示されます。

保存先は、キャプチャー画像フォルダーになります。デフォルトで開くフォルダーは USB メモリーの有無で切り換わります。

お知らせ

- 「キャプチャー」ボタンクリックと実際の取り込むタイミングにはずれがあるため、動作が大きい動画では意図した画像をキャプチャーできない場合があります。
- 比較画像選択前に「画像一覧」や「画面モード」をクリックした場合は、ライブ 1 画面でキャプチャーしたデータのみが新しい順番に表示されます。それ以外のキャプチャーデータを表示する場合は、比較画像選択機能で選択してください。

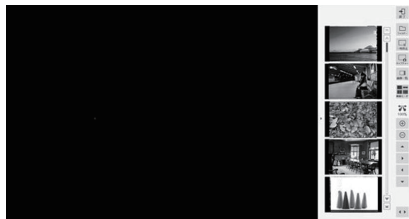
キャプチャー画像を表示する

キャプチャーした画像を選択し画面に表示します。

比較モードメニューの「画像一覧」ボタンをクリックする



クリックするとメニュー内側にキャプチャーした画像の一覧が表示されます。



表示された画像一覧の画像部分をクリックすると、その画像が画面に大きく表示されます。

表示されている画像一覧が画面内に入りきらない場合、上下矢印で切り換えることができます。



先頭ページに移動

1 ページ前に移動



1 ページ後ろに移動

最終ページに移動

画面モードを変更する

画面表示を 1/2/4/9 画面の 4 通りに切り換えます。

比較モードメニューの「画面モード」ボタンをクリックする



クリックすると画面表示のパターンが変更されます。

クリックするたびに画面分割数が 1 → 2 → 4 → 9 → 1 と切り換わります。



2画面表示

4画面表示

9画面表示

分割表示中、ライブ映像は左 (2画面時) / 左上 (2画面時以外) に表示されます。

表示されている画像一覧が画面内に入りきらない場合、上下矢印で切り換えることができます。

2つのデータを透過で重ねて表示比較する (2画面表示時のみ有効)

「透過比較」ボタンをクリックする

透過比較



2つのデータを透過で重ね合わせて比較できます。

本モード中は比較モードメニューに、透過度合い設定のスライダーが表示され調整することができます。

メニュー右上の「戻る」ボタンをクリックすると通常の 2画面表示に戻ります。

お知らせ

- USBメモリーの任意フォルダーを指定している場合、ライブ映像表示機能は使用できません。

比較用画像ファイルを選択する

比較するための画像ファイルを選択します。

比較モードメニューの「フォルダー」ボタンをクリックする



画像ファイル選択画面が表示されます。

その際、比較モードメニューは無効になります。



画面左に画像ファイル選択部、右側に選択しているフォルダーの画像ファイルが表示されます。

画像ファイル選択には「キャプチャー」と「USBメモリー」の2種類があり、タブ表示で切り換えて選択します。

キャプチャー画像

「内蔵メモリー」か「USB メモリー」を選択します。選択するとそのメモリー上にあるキャプチャー画像の一覧が画面右側に表示されます。

USB メモリー画像

フォルダーをダブルクリックするとそのフォルダーに移動します。

選択しているフォルダー内の画像ファイル一覧が画面右側に表示されます。

お知らせ

- 1つ上のフォルダーに戻る場合、「../」を選択します。
- 表示されている画像ファイル一覧が画面内に入りきらない場合、上下矢印で切り換えることができます。

ライブ映像の有無を選択する

比較画像の1つ（左 / 左上）をライブ映像にするかどうかの選択を行います。

「ライブ映像有効」のチェックボックスをクリックすると、比較時に左または左上にライブ映像を表示します。チェックを外すと選択した画像のみが表示されます。

画像を選択する

選択フォルダー内の画像から比較に用いるための画像を絞り込む選択を行います。

右側に表示されている、画像右上のチェックボックスをクリックすると画像が選択されます。再度クリックすると選択が解除されます。

また、「全て選択・全て解除」のチェックボックスをクリックすると、フォルダー内全画像の選択・解除が一度にできます。

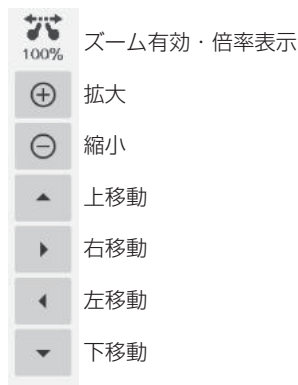
画像を選択した状態で「決定」をクリックすると、選択した状態で通常の比較モード画面に戻ります。

「キャンセル」をクリックすると選択した状態を保持せずに戻ります。

画面を拡大縮小する

画面表示を拡大することができます。

ズーム動作が有効なときはズームアイコンが表示されます。



お知らせ

- 「拡大 / 縮小」ボタンで画面の拡大縮小を行います。
- 4方向の移動ボタンでその方向に画像を移動します。
- ズーム機能を解除すると倍率は100%に戻ります。
- 画面モードを変更した際にズームが解除されます。

画面に描画する

比較モードが動作している状態でコントロールメニューのペンボタンをクリックする



比較モードメニューとは別に簡易描画用メニューが表示されます。

お知らせ

- ホワイトボードの描画機能とは異なります。(簡易描画機能について 154 ページ)
 - ・ 描画はペンとマーカーが選択できます。
 - ・ 描画できる色は限定されます (4 色。コントロールメニューのペンボタン色に連動)。
 - ・ 描画以外の操作を行うと書いたデータはすべて消去されます。
- 簡易描画機能で書いた描画データはズームされません。ただし、すでにズームした状態の場合その倍率は保持されます。

比較モードメニューの説明

	終了：	比較モードを終了します。
	フォルダー：	データ選択画面を表示します。
	一時停止：	表示画面の映像を一時停止します。
	キャプチャー：	表示画像をキャプチャーします。(メニューなどはキャプチャーできません。ズームはキャプチャー画像に反映されません。)
	画像一覧：	1 画面時に比較用データ一覧を表示します。
	画面モード：	表示画面数を切り換えます。 クリックするたびに画面数が切り換わります (1 → 2 → 4 → 9 → 1)。
	ズーム倍率表示	
	拡大	
	縮小	
	上移動	
	右移動	
	左移動	
	下移動	
	設定：	アプリ関連の設定画面を表示します。
	メニュー表示位置切り換え：	メニューの表示位置 (左右) を切り換えます。

キャプチャー操作を行う

1 コントロールメニューから「アプリランチャー」を起動する



アプリランチャー

2 アプリランチャーから「キャプチャー」を起動する

キャプチャーアプリが起動します。



3 キャプチャーボタン（左右どちらか）をクリックする

機能に応じた画像がキャプチャーされます。

本機のキャプチャー機能には次の2つのモードがあります。

映像のみ（左ボタン）：ホワイトボードの描画を含まず、映像のみをキャプチャーする

ズーム中・簡易描画中・画面分割中・画像表示中は、画面のスクリーンショットが保存されます。

USB入力では、常にスクリーンショットが保存されます。

ホワイトボードキャプチャー（右ボタン）：映像にホワイトボードの描画を合成してキャプチャーする
「背景に設定」：

チェックを入れると、キャプチャーした画像がホワイトボードのページの背景に設定されます。

「新規ページを作成」：

チェックを入れると、キャプチャーした画像を新規ページの背景に設定します。チェックがない場合は現在のページの背景に設定します。

お知らせ

- 本項目は「背景に設定」にチェックが入っているときのみ有効になります。

両モードの動作条件は以下の通りです。無効の場合はグレーアウトをクリックできなくなります。

状態	映像のみ ボタン	ホワイトボード キャプチャーボタン	「背景に設定」に チェック	「新規ページを作成」 にチェック
ホワイトボード未起動	有効	無効	無効	無効
ホワイトボード起動 (ホワイトボードモード)	無効	有効	無効	無効
ホワイトボード起動 (透過モード)	有効	有効	有効	無効
ホワイトボード起動 (透過モード+「背景に設定」 チェックあり)	有効	有効	有効	有効

各キャプチャーボタンをクリックした時点で、キャプチャー画像のファイルを保存します。

その際、USBメモリー接続時はUSBメモリーに、接続していないときは内蔵メモリーにファイルが保存されます。

ファイル保存時はダイアログが表示されます。

お知らせ

- 簡易描画中のキャプチャーは動作が異なります。(P.154 ページ)
- 設定によってはキャプチャーしたデータの色が元映像と異なる場合があります。

映像マスク機能を使う

1 コントロールメニューから「アプリランチャー」を起動する



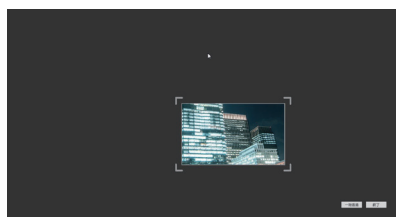
2 アプリランチャーから「映像マスク」を起動する

2つの機能が選択できます。

スポットライトモード

画面を全面マスクし、一部分を四角く抜いて映像を見せます。

ドラッグで移動、4隅をつまんでサイズを変更できます。

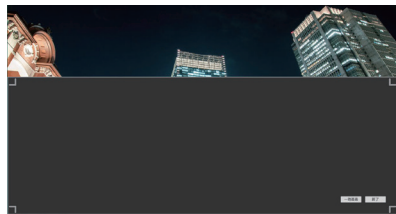


シェードモード

マスクをずらしていき、画面を少しずつ見せます。

4隅をつまんで画面全幅のマスク幅を調整できます。

それ以外の位置をつまんでマスクの位置を移動できます。

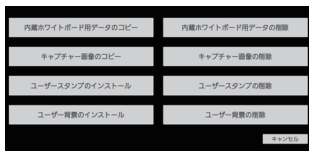


様々なアプリ機能を使う

本機はその他様々なアプリを内蔵しています。
アプリランチャーで一覧が表示されます。

ファイルユーティリティー

内蔵メモリーと USB メモリー間でデータのやり取りを行います。



それぞれの機能を選択するとその画面が表示されます。

内蔵ホワイトボード用データのコピー：内蔵ホワイトボードの保存データをコピーします。

内蔵ホワイトボード用データの削除：内蔵ホワイトボードの保存データを削除します。

キャプチャー画像のコピー：キャプチャーした画像データをコピーします。

キャプチャー画像の削除：キャプチャーした画像データを削除します。

ユーザースタンプのインストール：USB メモリーから内蔵メモリーへ追加するユーザースタンプをコピーします。

ユーザースタンプの削除：内蔵メモリーのユーザースタンプを削除します。

ユーザー背景のインストール：USB メモリーから内蔵メモリーへ追加するユーザー背景をコピーします。

ユーザー背景の削除：内蔵メモリーのユーザー背景を削除します。

キャンセル：メニューを終了します。

お知らせ

- ユーザーデータでインストールできる対応フォーマットは以下の通りです。
JPEG、PNG、SVG
- スタンプのデータは正方サイズを推奨します。(それ以外は余白が付与されます。)

電卓

四則演算のみの簡単な計算ができます。



時計学習モード

算数の授業で使用する時計模型です。
長短針を手動で動作でき、片方の針に連動して、もう一方の針も回転します。



ストップウォッチ

ストップウォッチ機能です。



時計

画面に時計を表示します。



お知らせ

- 時計表示をするには、「日付と時刻」を設定してください。

タイマー

減算タイマーを表示します。最大 2 時間まで設定でき、1 秒ごとにカウントダウンします。

0 秒になるとアラームのダイアログが表示されます。



ホワイトボード機能 (マウスアノテーション) を使う

本機にマウスを接続してホワイトボードのメニューを操作します。

また、マウスホイールでズーム機能の操作ができます。

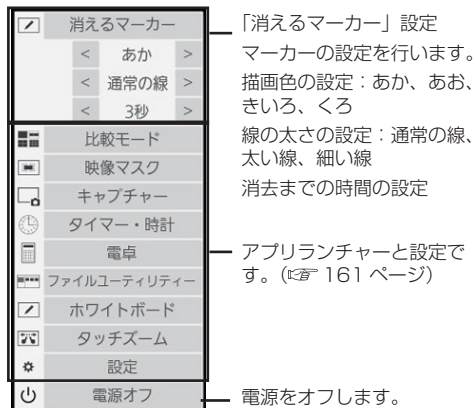
お知らせ

- ホワイトボードのメニューは、本体縦置き設置および映像回転には対応していません。

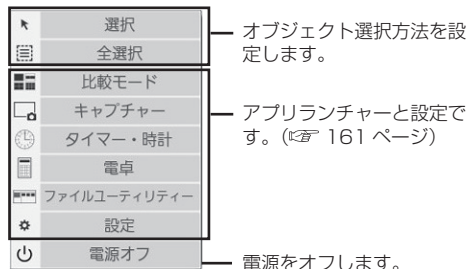
マウスメニュー

マウス接続時、右クリックすると設定メニューが起動します。

WHITEBOARD 入力以外



WHITEBOARD 入力時

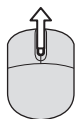


画面ズーム

マウスホイールの操作で、映像の拡大・縮小表示ができます。

拡大

ホイール前回転



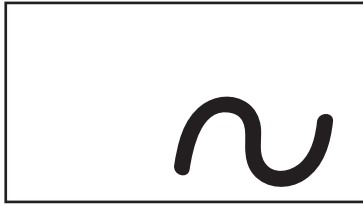
縮小

ホイール後回転



消えるマーカー

左クリックしながらマウスを動かすと、マーカーが描画されます。
描画は、メニューで設定した時間経過後に消去されます。



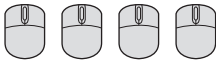
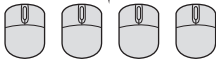
1. 「消えるマーカー」動作状態で左クリックしながらマウスを動かすと描画される。
2. 描画動作完了後、一定時間経過ですべての描画を消去する。

お知らせ

- アプリ起動時は描画ができません。
- 描画してタイムアウトするまでは、ペンアイコンは消えるマーカーの色選択ボタンとして機能します。

複数マウス対応

複数マウスでアノテーションが可能となります。



お知らせ

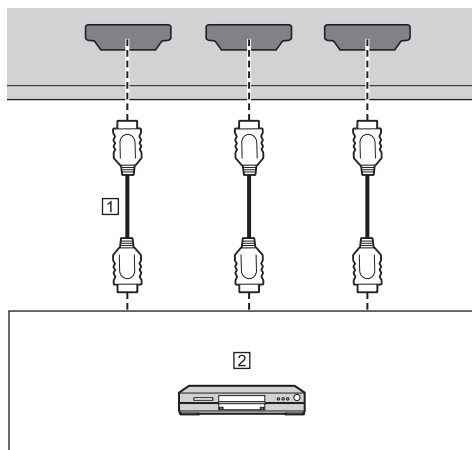
- USB 端子数以上のマウスを接続する際は、USB ハブが必要です。
- 最大 8 個までマウスを接続可能です。ただし、同時アノテーションは 1 個までとなります。
- 1 個のマウスがアノテーションしているとき、他のマウスは動作しません。

HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機と HDMI-CEC 対応機器の運動制御により、本機のリモコンのみで HDMI-CEC 対応機器の基本操作を可能にする機能であり、また、HDMI-CEC 対応機器のリモコン（あるいは本体のボタン）のみで、本機の電源オフ/オンと入力切り換えを可能にする機能です。

接続例

HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3 または SLOT 端子に HDMI-CEC 対応機器を接続します。



① HDMI ケーブル（市販品）

② ブルーレイディスクプレイヤー

設定

- ① 接続した機器側（HDMI-CEC 対応機器）で、本機側が動作するように設定します。
- ② 「HDMI-CEC 設定」 - 「HDMI-CEC 制御」を「有効」にします。（[P.68](#) ページ）
- ③ すべての機器の電源を入れて、本機の電源を切/入したあと、HDMI1、HDMI2、HDMI3 または SLOT 入力で映像が正しく映ることを確認してください。

機器の運動

「HDMI-CEC 設定」で「運動機能」について各種設定することにより、以下の運動動作を行います。

■「ディスプレイ → 機器」の運動

- 設定が「電源オフ」、「電源オフ / オン」の場合：
本機を電源オフすると、接続されているすべての HDMI-CEC 対応機器を電源オフします。
- 設定が「電源オフ / オン」の場合：
本機を電源オンすると、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」の場合、「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」入りに接続されている HDMI-CEC 対応機器を電源オンします。
- 本機の入力を「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」に切り換えると、接続している HDMI-CEC 対応機器を電源オンします。

お知らせ

- 「電源オフ / オン」設定で本機を電源オンしたときに、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」で機器が複数台接続されている場合は、最後に視聴されていた機器を電源オンします。
- 「電源オフ / オン」設定で本機を電源オンしたときに、入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」で最後に視聴された機器が接続されていない場合は、「HDMI-CEC 設定」の「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」に表示している機器を電源オンします。

■「機器 → ディスプレイ」の運動

設定が「電源オン」、「電源オフ / オン」の場合：

- HDMI-CEC 対応機器を電源オンすると、本機の電源をオンして、入力を機器が接続されている「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」に切り換えます。
- HDMI-CEC 対応機器の再生を始めると、本機の電源をオンして、入力を機器が接続されている「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」に切り換えます。
- HDMI-CEC 対応機器の再生を始めると、本機の入力を機器が接続されている「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」または「SLOT」に切り換えます。

設定が「電源オフ / オン」の場合：

- 視聴中の入力（HDMI1/HDMI2/HDMI3/SLOT）の HDMI-CEC 対応機器を電源オフすると、本機が電源オフします。

お知らせ


- 本機が電源オフする機器運動機能は、機器の信号状態を監視して運動動作を実現しています。機器の設定によっては、電源オフ状態でも信号を出力し続けるため、運動機能が動作しません。その場合は、機器の取扱説明書をご確認ください。
- 「初期設定」メニューの「入力切替固定」が設定されている場合は、入力は切り換わりません。
- ディスプレイや映像機器が起動中などの状態により、機器運動しない場合があります。

機器の操作（本機のリモコンで機器の操作）

「初期設定」 - 「HDMI-CEC 設定」 - 「HDMI-CEC 操作」で操作画面を表示します。

操作画面



- ① 操作する機器名を表示します。
- ② 押した回数だけ番組や場面を戻って再生します。
- ③ 再生・一時停止を行います。（トグル動作）
- ④ 押した回数だけ番組や場면을飛び越して再生します。
- ⑤ 停止します。
- ⑥ 機器の設定メニューを表示します。
（「MENU コード」 68 ページ）
- ⑦ 機器の電源を制御します。

お知らせ

- 数字ボタン <1> ~ <6> で、HDMI-CEC 対応機器の操作ができます。

■ HDMI-CEC 対応機器のメニュー操作

HDMI-CEC 対応機器の設定メニューが表示されている場合、本機のリモコンの <決定>、

▼▲◀▶、<戻る> でメニュー操作が可能です。



お知らせ

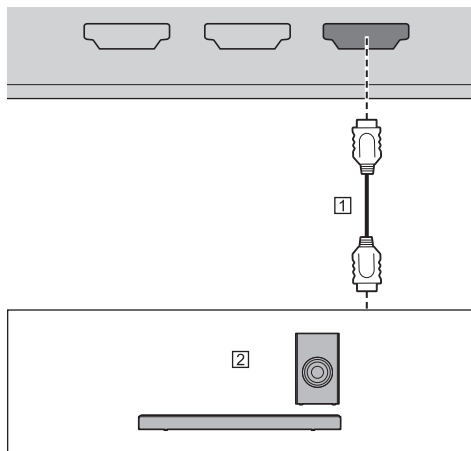
- 以下の場合には HDMI-CEC 対応機器のメニュー操作はできません。
 - ・ 本機のメニュー（初期設定 / 画質の調整 / 音声の調整 / 位置調整）およびサブメニューの表示中

ARC 機能を使う

ARC (オーディオリターンチャンネル) とは、HDMI 端子からデジタル音声信号を送る機能です。本機の HDMI 端子や音声入力端子等へ入力された音声を、内蔵スピーカー・外部出力に代わり、ARC 対応機器に送る事を可能にする機能です。

接続例

HDMI IN 3 端子に、ARC 対応機器を接続します。



① HDMI ケーブル (市販品)

② ARC 対応オーディオ機器

設定

- ① 接続した機器側 (ARC 対応機器) で、本機能が動作するように設定します。
- ② 「初期設定」- 「HDMI-CEC 設定」- 「HDMI-CEC 制御」を「有効」にします。(☞ 68 ページ)
- ③ 「HDMI-CEC 設定」- 「連動機能」- 「ARC」を「オート」または「オン」に設定します。
- ④ すべての機器の電源を入れて、本機の電源を切 / 入したあと、本機へ入力された音声、または再生した動画等の音声が ARC 対応機器で正しく再生されることを確認してください。

音声出力先の切替

「HDMI-CEC 設定」で「ARC」について各種設定することにより、以下の動作を行います。

■ 「ARC」：オート

- ARC 対応機器が HDMI IN 3 端子に接続されている場合：
ARC 対応機器より音声を出力します。
- ARC 対応機器が HDMI IN 3 端子に接続されていない、または ARC 対応機器の電源が入っていない場合：
「音声の調整」- 「出力切換」で設定された出力先へ音声を出力します。

■ 「ARC」：オン

- 常に ARC 対応機器より音声を出力します。
- ARC 対応機器が接続されていない場合、音声を出力しません。

■ 「ARC」：オフ

- 常に「音声の調整」- 「出力切換」で設定された出力先へ音声を出力します。
- ARC 対応機器が HDMI IN 3 端子に接続されていても、ARC 対応機器へ音声出力しません。

お知らせ

- ARC 対応機器で再生する場合、内蔵スピーカー、または外部出力からは音声が出力されません。「音声の調整」の設定項目がグレー表示になり、設定できません。
- 内蔵スピーカー、または外部出力へと音声を切り換える場合は、「初期設定」- 「HDMI-CEC 設定」- 「ARC」を「オフ」にしてください。
- DIGITAL AV OUT 端子の音声は、ARC 対応機器の接続に関わらず出力されます。
- ARC 対応機器のボタンまたはリモコンで ARC 対応機器を操作した場合は、ディスプレイの動作、または表示に正しく反映されない場合があります。
- ディスプレイから ARC 対応機器を抜き差しした場合は、必ず本機の電源を切 / 入してください。
- ARC 対応機器接続時、「ARC」が「オート」または「オン」の場合、「ディスプレイ → 機器」の設定によらず、ARC 対応機器の電源はオンされます。

データクローニングを使う

1 台のディスプレイのメニュー設定や調整値を、USB メモリーを使用または LAN 経由で、複数台のディスプレイにコピーできます。

お知らせ

- ディスプレイのインチサイズが異なる場合、クローニング機能は動作しません。共通のインチサイズ間でご利用ください。
- 入力を「USB」、「MEMORY VIEWER」および「WHITEBOARD」以外に設定してデータクローニングを実行してください。
- クローニングパスワードは、「クローニングパスワード」で設定したパスワードです。
- 工場出荷時の初期パスワードは、「AAAA」です。
- 「LAN データクローニング」メニューの操作にはリモコンが必要です。

■ コピーできるデータ

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」メニューの設定、調整値

「初期設定」-「イメージ設定」で登録したユーザーイメージ
WEB 制御画面 [Detailed set up] ページの下記内容

「Status notification set up」

ホワイトボードなどの内蔵アプリケーションの設定

- 次のデータはコピーされません。ディスプレイごとに設定してください。

「クローニングパスワード」

「セキュリティパスワード」

「日付と時刻」-「日付と時刻」

「日付と時刻」-「ディスプレイ間同期設定」

「ネットワーク設定」-「管理者アカウント設定」

「ネットワーク設定」-「PJLink 設定」

「ネットワーク設定」-「ディスプレイ名設定」

「ネットワーク設定」-「LAN 設定」の設定内容

「タイムゾーン」

「NTP 同期」

「NTP サーバー名」

「DNS サーバー」

「コントロール設定」-「ディスプレイ ID」

WEB 制御画面 [Change password] ページの設定内容

WEB 制御画面 [Detailed set up] ページの下記内容

「Network config」

「Adjust clock」

「Command port set up」

「Certificate」

「Crestron Connected」

「HTTPS set up」

WEB 制御画面 [Crestron Connected] ページの設定内容

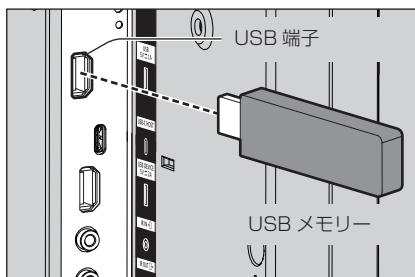
内蔵メモリー内のコンテンツ

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたものの以外は使用できません。
- USB の最大メモリーサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

ディスプレイのデータを USB メモリーにコピー

1 ディスプレイ側面の USB 端子に USB メモリーを挿入する



お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーへの保存や読み込みに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。

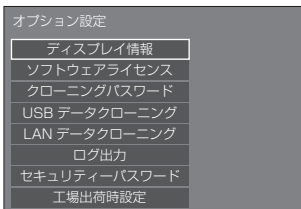
2 クローニングパスワード画面が出たら手順 6 へ進む

クローニングパスワード画面が表示されない場合は、手順 3 ~ 5 を行い、画面を表示してください。

3 < 初期設定 > を押して「初期設定」メニューを表示する

4 ▲▼ で「オプション設定」を選び、< 決定 > を押す

以下のような画面が表示されます。



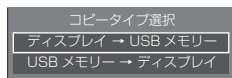
5 ▲▼ で「USB データクローニング」を選び、< 決定 > を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

- 6 クローニングパスワードを入力し、<決定>を押す。

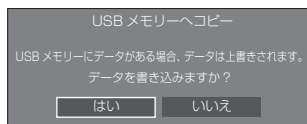
データクローニング画面が表示されます。

- 7 ▲▼で「ディスプレイ → USB メモリー」を選び、<決定>を押す



- 8 ◀▶で「はい」を選び、<決定>を押す

USB メモリーへのデータコピーが開始します。



データコピーが終わると表示します。



- 9 データコピーが終わったら USB 端子から USB メモリーを抜き取る

USB メモリーのデータをディスプレイにコピー (クローニング)

- 1 データコピーするディスプレイの USB 端子に、データコピー後の USB メモリーを挿入する (前記の手順 1 と同じ)

- 2 クローニングパスワード画面が出たら手順 6 へ進む

クローニングパスワード画面が表示されない場合は、手順 3 ~ 5 を行い、画面を表示してください。

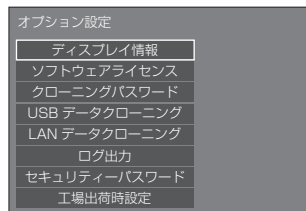
お知らせ

- 電源「入」のときに、クローン用のデータが保存された USB メモリーを接続すると、クローニングパスワード画面が表示されます。

- 3 <初期設定>を押して「初期設定」メニューを表示する

- 4 ▲▼で「オプション設定」を選び、<決定>を押す

以下のような画面が表示されます。



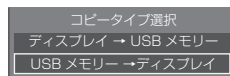
- 5 ▲▼で「USB データクローニング」を選び、<決定>を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

- 6 クローニングパスワードを入力し、<決定>を押す。

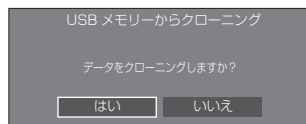
データクローニング画面が表示されます。

- 7 ▲▼で「USB メモリー → ディスプレイ」を選び、<決定>を押す

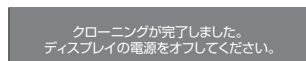


- 8 ◀▶で「はい」を選び、<決定>を押す

ディスプレイへのデータクローニングが開始します。



データクローニングが終わると表示します。



- 9 データクローニングが終わったら USB 端子から USB メモリーを抜き取る

- 10 リモコンの電源ボタンを押して電源を「切」にした後「入」にする、または電源プラグをコンセントから一旦抜き、30 秒以上空けてから電源プラグを挿してください

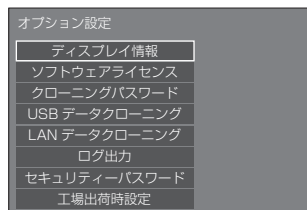
クローニングした内容がディスプレイに反映されます。

※ 手順 9 で USB メモリーを抜き取らなかった場合、本機の電源を入れなおしたときに、クローニングパスワード画面が表示されます。

LAN を経由して他のディスプレイにデータをコピー

- 1 <初期設定> を押して「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「オプション設定」を選び、<決定> を押す

以下のような画面が表示されます。



- 3 ▲▼ で「LAN データクローニング」を選び、<決定> を押す

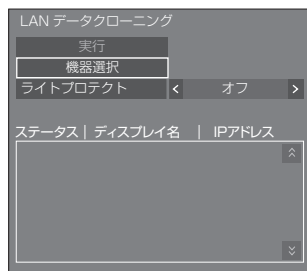
クローニングパスワード画面が表示されます。

- 4 クローニングパスワードを入力し、<決定> を押す。

LAN データクローニング画面が表示されます。

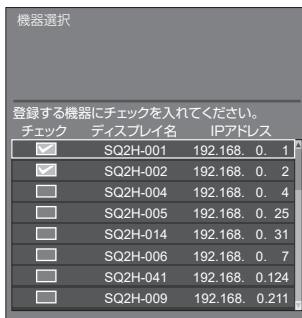
- 5 ▲▼ で「機器選択」を選び、<決定> を押す

同一サブネット上のディスプレイのリストを表示します。



- 6 ▲▼ でコピーしたいディスプレイにカーソルを合わせ、<音量 +> を押す

コピーしたいディスプレイをすべて選択します。



- 7 <決定> を押す。

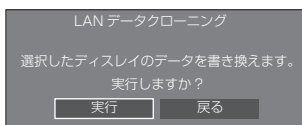
- 8 ▲▼ で「実行」を選択し、<決定> を押す



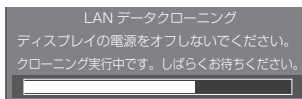
お知らせ

- 「ライトプロテクト」を「オン」にしているディスプレイには、コピーができなくなります。コピーの必要がなくなった場合には誤って「LAN データクローニング」が実行されないように「オン」に設定してください。
- 一度「LAN データクローニング」を実行すると「ライトプロテクト」は「オン」になります。

- 9 確認画面が表示されるので、◀▶ で「実行」を選択し、<決定> を押す

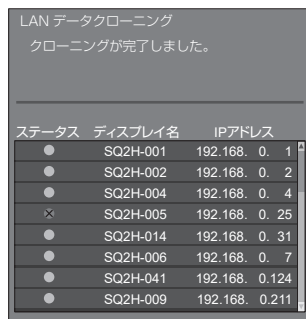


ディスプレイへのデータコピーが開始します。



10 終了画面が表示されます

リスト上の青色の印はデータコピー成功。赤色の印は失敗です。赤色の場合はLANケーブルの接続やコピー先ディスプレイの電源状態を確認してください。



LAN データクローニング
クローニングが完了しました。

ステータス	ディスプレイ名	IPアドレス
●	SQ2H-001	192.168. 0. 1
●	SQ2H-002	192.168. 0. 2
●	SQ2H-004	192.168. 0. 4
×	SQ2H-005	192.168. 0. 25
●	SQ2H-014	192.168. 0. 31
●	SQ2H-006	192.168. 0. 7
●	SQ2H-041	192.168. 0.124
●	SQ2H-009	192.168. 0.211

データコピーが終わると、コピー先ディスプレイに表示されます。

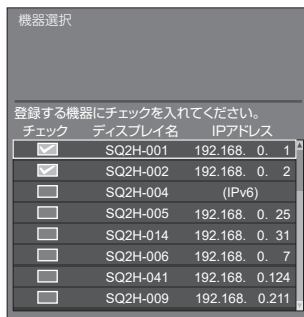
クローニングが完了しました。
ディスプレイの電源をオフしてください。

11 リモコンの電源ボタンを押して電源を「切」にした後「入」にする、または電源プラグをコンセントから一旦抜き、30秒以上空けてから電源プラグを挿してください

コピーした内容がディスプレイに反映されます。

お知らせ

- LAN データクローニング動作において、IPv6 アドレスのディスプレイと接続している場合、IP アドレスは (IPv6) と表示されます。ただし、そのディスプレイが IPv4/IPv6 のどちらでも通信できる場合は IPv4 アドレスが表示されます。



機器選択

登録する機器にチェックを入れてください。

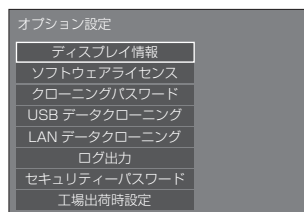
チェック	ディスプレイ名	IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	SQ2H-001	192.168. 0. 1
<input checked="" type="checkbox"/>	SQ2H-002	192.168. 0. 2
<input checked="" type="checkbox"/>	SQ2H-004	(IPv6)
<input type="checkbox"/>	SQ2H-005	192.168. 0. 25
<input type="checkbox"/>	SQ2H-014	192.168. 0. 31
<input type="checkbox"/>	SQ2H-006	192.168. 0. 7
<input type="checkbox"/>	SQ2H-041	192.168. 0.124
<input type="checkbox"/>	SQ2H-009	192.168. 0.211

クローニングパスワードを変更する

クローニング機能を使用するときに必要なクローニングパスワードを変更します。

- 1 <初期設定> を押して「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「オプション設定」を選び、<決定> を押す

以下のような画面が表示されます。



オプション設定

ディスプレイ情報
ソフトウェアライセンス
クローニングパスワード
USB データクローニング
LAN データクローニング
ログ出力
セキュリティーパスワード
工場出荷時設定

- 3 ▲▼ で「クローニングパスワード」を選び、<決定> を押す
クローニングパスワード画面が表示されます。
- 4 現在のパスワードを入力し、「確定」を押す。
- 5 新しいパスワードを入力し、「確定」を押す。
- 6 確認のために、再度新しいパスワードを入力し、「確定」を押す。

お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- クローニングパスワードの初期化方法については、販売店にご相談ください。

USB メモリーでの ネットワーク設定

USB メモリーを使用して複数のディスプレイにネットワークの設定ができます。

■ 設定内容

次の「ネットワーク設定」-「LAN 設定」各項目が設定できます。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、コマンドポート、EAP

お知らせ

- 「ネットワーク設定」-「LAN 設定」-「DHCP」は「オフ」になります。
- 「ネットワーク設定」-「ネットワークコントロール」は「オン」になります。
- 「ネットワーク設定」-「USB メモリーでのネットワーク設定」が「許可」になっているか確認してください。「禁止」の場合、本機能によるネットワーク設定はできません。(☞ 84 ページ)
- 一度 USB メモリーでネットワーク設定を行うと、「ネットワーク設定」-「USB メモリーでのネットワーク設定」は、「禁止」に設定されます。
- IPv6 設定で通信している場合、本機能によるネットワーク設定はできません。

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティー機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたものの以外は使用できません。
- USB メモリーの最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。
- 書き込み可能な USB メモリーをお使いください。

USB メモリーに LAN 設定のファイル を保存

以下のファイルを作成して、USB メモリーに保存してください。

ファイル名: th-55sq2h_network.sh

設定例

```
TH-55SQ2H_LAN_SETTINGS
A:192.168.0.18
S:255.255.255.0
G:192.168.0.1
P:1024
I:ON
E:EAP-TLS
E_U:EAPUSER
E_P:eappassword
E_D:digitalcertificate.pfx
E_C:cacertificate.cer
```

TH-55SQ2H_LAN_SETTINGS:

機種名を示す固定文字です。必ず以下のように入力してください。

TH-(インチサイズ) (機種名) _LAN_SETTINGS

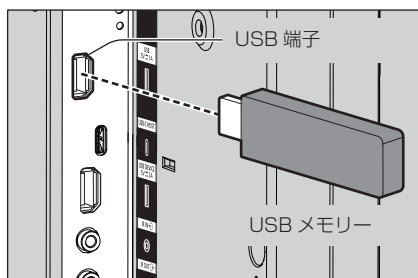
- A:** IP アドレスを指定します。
- S:** サブネットマスクを指定します。
- G:** ゲートウェイアドレスを指定します。
- P:** コマンドコントロールで使用するポート番号を指定します。
- I:** 「ON」に設定すると、本機 1 台ごとに違う IP アドレスを設定できます。
指定可能な IP アドレスの範囲で、本機 1 台ごとに IP アドレスが 1 つずつアップしていきます。
- E:** EAP の設定を選択します。下記を参考にして設定を記載してください。
- NONE
 - PEAP(MS-CHAPv2)
 - PEAP(GTC)
 - EAP-TTLS(MD5)
 - EAP-TTLS(MS-CHAPv2)
 - EAP-FAST(MS-CHAPv2)
 - EAP-FAST(GTC)
 - EAP-TLS
- E_U:** EAP ユーザー名を指定します。EAP が「NONE」以外の場合のみ参照します。
- E_P:** EAP のパスワードを指定します。EAP が「NONE」以外の場合のみ参照します。
- E_D:** 認証に使用する電子証明書 (拡張子:PFX) のファイル名を記載します。EAP 設定が「EAP-TLS」の時のみ参照します。
- E_C:** 認証に使用する CA 証明書 (拡張子:CER) のファイル名を記載します。EAP 設定が「EAP-TLS」の時のみ参照します。

お知らせ

- S、G、P または E の行を削除すると、削除した設定項目は上書きされません。元の設定内容を保持します。
- I の行を削除すると、自動で「ON」に設定されます。
- 固定文字と IP アドレスの行は必ず記述してください。
- 本機能でのネットワーク設定に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。
失敗した場合はネットワーク設定の変更は行われません。
ファイルの記述を確認し、再度 USB メモリーを挿入してください。
- 本機能は、上記ファイル名のファイルが USB メモリー内に存在するときのみ動作します。
- ファイル内容は半角英数字で記述してください。

USB メモリーのデータをディスプレイにコピー

1 ディスプレイ側面の USB 端子に USB メモリーを挿入する



2 データのコピーが終わったら「LAN 設定」画面が表示されます

3 USB 端子から USB メモリーを抜き取る

ID リモコン機能を使う

複数台のディスプレイを近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイを個別に操作することができます。その場合は事前に「コントロール設定」-「ディスプレイ ID」で設定したディスプレイの ID 番号とリモコンの ID 番号を合わせる必要があります。以下の手順でリモコンの ID 番号を設定してください。

お知らせ

- 本機能をご使用になるには、別売の ID リモコン (品番：N2QAYA000093) が必要です。



リモコンの ID 番号を設定する

1 「コントロール設定」-「リモコン ID 機能」を「オン」に設定する

([参照](#) 91 ページ)

2 リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にする

3 操作したいディスプレイにリモコンを向けて <ID SET> を押す

ID set	
ディスプレイ ID	0
リモコン ID	?

4 <0> ~ <9> から選んで押す

(2 桁目の番号を設定)

5 <0> ~ <9> から選んで押す

(1 桁目の番号を設定)

- 手順 3 ~ 5 は 5 秒以内に操作してください。
- 設定できる ID 番号は 0 ~ 100 までです。

例)

- ID を「1」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <0> <1> を押す。
- ID を「12」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1> <2> を押す。
- ID を「100」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1> <0> <0> を押す。

リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID「0」)

「コントロール設定」-「ディスプレイ ID」で設定した ID 番号と一致しなくても操作できます。

1 <ID SET> を 3 秒以上押す

(<ID SET> <0> <0> を押したときと同じです)

文字入力について

設定によっては、文字入力が必要となる場合があります。

文字入力は画面に表示されたキーボードから文字を選んで行います。

例) メモリー名の入力 (「メモリー保存」)



キーボードの文字入力ボックスにはすでに「MEMORY1」と表示されていますが、「MY PICTURE」というメモリー名に変更します。

1 ▲▼◀▶で「全削除」を選び、
<決定>を押す

MEMORY1

文字がすべて削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

2 ▲▼◀▶で「a/A/@」を選び、
<決定>を押す

1文字削除 全削除 a/A/@ キャンセル 確定

キーボードを大文字アルファベットに切り換えます。

<決定>を押すたびに、キーボードが小文字→大文字→記号に切り換わります。

3 ▲▼◀▶で「M」を選び、
<決定>を押す

M

この操作を繰り返し、文字を入力します。

4 ▲▼◀▶でスペースキーを選び、
<決定>を押す



スペースキー

手順3と同じように「PICTURE」と文字を選んで入力します。

5 メモリー名の入力が終わったら
▲▼◀▶で「確定」を選び、
<決定>を押す



・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット*2	プラグアンドプレイ対応信号*5							
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI			USB-C			DL	PC
						4K/ 60p*6	4K/ 30P	2K	4K/ 60p	4K/ 30P	2K		
480/60i	720 x 480i	15.73	59.94	13.50	Y	—	—	—	—	—	—	—	—
576/50i	720 x 576i	15.63	50.00	13.50	Y	—	—	—	—	—	—	—	—
480/60i	720 (1 440) x 480i*1	15.73	59.94	27.00	H/UC/DL	○	○	○	—	—	—	○	—
576/50i	720 (1 440) x 576i*1	15.63	50.00	27.00	H/UC/DL	○	○	○	—	—	—	○	—
480/60p	720 x 483	31.47	59.94	27.00	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
576/50p	720 x 576	31.25	50.00	27.00	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
720/60p	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
720/50p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/60i	1 920 x 1 080i	33.75	60.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/50i	1 920 x 1 080i	28.13	50.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/24p	1 920 x 1 080	27.00	24.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/24PsF	1 920 x 1 080i	27.00	48.00	74.25	Y/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1080/25p	1 920 x 1 080	28.13	25.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/30p	1 920 x 1 080	33.75	30.00	74.25	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/60p	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
1080/50p	1 920 x 1 080	56.25	50.00	148.50	Y/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	—
2K/24p	2 048 x 1 080	27.00	24.00	74.25	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
2K/25p	2 048 x 1 080	28.13	25.00	74.25	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
2K/30p	2 048 x 1 080	33.75	30.00	74.25	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
2K/48p	2 048 x 1 080	54.00	48.00	148.50	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
2K/60p	2 048 x 1 080	67.50	60.00	148.50	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
2K/50p	2 048 x 1 080	56.25	50.00	148.50	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
3840 x 2160/24p	3 840 x 2 160	54.00	24.00	297.00	H/UC/DL	○	○	—	○	○	—	○	—
3840 x 2160/25p	3 840 x 2 160	56.25	25.00	297.00	H/UC/DL	○	○	—	○	○	—	○	—
3840 x 2160/30p	3 840 x 2 160	67.50	30.00	297.00	H/UC/DL	○	○	—	○	○	—	○	—
3840 x 2160/60p	3 840 x 2 160	135.00	60.00	594.00	H/UC/DL*4	○	—	—	○	—	—	—	—
3840 x 2160/50p	3 840 x 2 160	112.50	50.00	594.00	H/UC/DL*4	○	—	—	○	—	—	—	—
4096 x 2160/24p	4 096 x 2 160	54.00	24.00	297.00	H/UC/DL	○	○	—	○	○	—	○	—
4096 x 2160/25p	4 096 x 2 160	56.25	25.00	297.00	H/UC/DL	○	○	—	○	○	—	○	—
4096 x 2160/30p	4 096 x 2 160	67.50	30.00	297.00	H/UC/DL	○	○	—	○	○	—	○	—
4096 x 2160/60p	4 096 x 2 160	135.00	60.00	594.00	H/UC/DL*4	○	—	—	○	—	—	—	—
4096 x 2160/50p	4 096 x 2 160	112.50	50.00	594.00	H/UC/DL*4	○	—	—	○	—	—	—	—
640 x 400/70	640 x 400	31.47	70.09	25.18	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
640 x 400/85	640 x 400	37.86	85.08	31.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
640 x 480/60	640 x 480	31.47	59.94	25.18	R/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	○
640 x 480/67	640 x 480	35.00	66.67	30.24	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
640 x 480/73	640 x 480	37.86	72.81	31.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
640 x 480/75	640 x 480	37.50	75.00	31.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
640 x 480/85	640 x 480	43.27	85.01	36.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
800 x 600/56	800 x 600	35.16	56.25	36.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
800 x 600/60	800 x 600	37.88	60.32	40.00	R/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	○
800 x 600/72	800 x 600	48.08	72.19	50.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
800 x 600/75	800 x 600	46.88	75.00	49.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
800 x 600/85	800 x 600	53.67	85.06	56.25	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
832 x 624/75	832 x 624	49.72	74.55	57.28	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット*2	プラグアンドプレイ対応信号*5							
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI			USB-C			DL	PC
						4K/ 60p*6	4K/ 30P	2K	4K/ 60p	4K/ 30P	2K		
852 x 480/60	852 x 480	31.47	59.94	34.24	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1024 x 768/50	1 024 x 768	39.55	50.00	51.89	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1024 x 768/60	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	R/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	○
1024 x 768/70	1 024 x 768	56.48	70.07	75.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1024 x 768/75	1 024 x 768	60.02	75.03	78.75	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1024 x 768/82	1 024 x 768	65.55	81.63	86.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1024 x 768/85	1 024 x 768	68.68	85.00	94.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1066 x 600/60	1 066 x 600	37.64	59.94	53.00	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1152 x 864/60	1 152 x 864	53.70	60.00	81.62	H/UC/DL	—	—	—	○	○	○	—	—
1152 x 864/70	1 152 x 864	63.99	70.02	94.20	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1152 x 864/75	1 152 x 864	67.50	75.00	108.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1152 x 864/85	1 152 x 864	77.09	85.00	119.65	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1152 x 870/75	1 152 x 870	68.68	75.06	100.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 720/60	1 280 x 720	44.76	60.00	74.48	R/H/UC/DL	—	—	—	○	○	○	—	○
1280 x 768/50	1 280 x 768	39.55	49.94	65.18	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 768/60	1 280 x 768	47.70	60.00	80.14	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 768/60	1 280 x 768	47.78	59.87	79.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 800/50	1 280 x 800	41.20	50.00	68.56	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.31	59.91	71.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.70	59.81	83.50	R/H/UC/DL	—	—	—	○	○	○	—	○
1280 x 960/60	1 280 x 960	60.00	60.00	108.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 960/85	1 280 x 960	85.94	85.00	148.50	R	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 1024/60	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108.00	R/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	○
1280 x 1024/75	1 280 x 1 024	79.98	75.02	135.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1280 x 1024/85	1 280 x 1 024	91.15	85.02	157.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.71	60.02	85.50	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.70	60.00	84.72	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.72	59.80	84.75	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1366 x 768/50	1 366 x 768	39.55	50.00	69.92	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1366 x 768/60	1 366 x 768	48.39	60.03	86.71	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1366 x 768/60	1 366 x 768	48.00	60.00	72.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1366 x 768/50	1 366 x 768	39.56	49.89	69.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1366 x 768/60	1 366 x 768	47.71	59.79	85.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1400 x 1050/60	1 400 x 1 050	65.22	60.00	122.61	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1400 x 1050/75	1 400 x 1 050	82.20	75.00	155.85	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.47	59.90	88.75	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.92	60.00	106.47	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1600 x 900/50	1 600 x 900	46.30	50.00	97.05	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1600 x 900/60	1 600 x 900	60.00	60.00	108.00	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1600 x 900/60	1 600 x 900	55.99	59.95	118.25	H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1600 x 900/60	1 600 x 900	55.92	60.00	119.00	H/UC/DL	—	—	—	○	○	○	—	—
1600 x 1200/60	1 600 x 1 200	75.00	60.00	162.00	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1680 x 1050/60	1 680 x 1 050	65.29	59.95	146.25	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080*3	66.59	59.93	138.50	R/H/UC/DL	—	—	—	—	—	—	—	—
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	R/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	○
1920 x 1200/60	1 920 x 1 200	74.04	59.95	154.00	R/H/UC/DL	○	○	○	○	○	○	○	○
1920 x 2160/60	1 920 x 2 160	133.29	59.99	277.25	H/UC	—	—	—	—	—	—	—	—
1920 x 2160/60	1 920 x 2 160	135.00	60.00	297.00	H/UC	—	—	—	—	—	—	—	—
2560 x 1440/60	2 560 x 1 440	88.79	59.95	241.50	H/UC	—	○	—	○	○	—	○	—
2560 x 1600/50	2 560 x 1 600	82.37	49.95	286.00	H/UC	—	—	—	—	—	—	—	—

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット*2	プラグアンドプレイ対応信号*5							
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI			USB-C			DL	PC
						4K/ 60p*6	4K/ 30P	2K	4K/ 60p	4K/ 30P	2K		
2560 x 1600/60	2 560 x 1 600	98.71	59.97	268.50	H/UC	—	—	—	—	—	—	—	—
3840 x 1080/60	3 840 x 1 080	66.63	59.97	266.50	H/UC	—	—	—	—	—	—	—	—
3840 x 2160/30	3 840 x 2 160	65.69	29.98	262.75	H/UC	—	—	—	○	○	—	—	—
3840 x 2160/60	3 840 x 2 160	133.31	60.00	533.25	H/UC	—	—	—	○	—	—	—	—

*1: Pixel-Repetition 信号 (ドットクロック周波数 27.0MHz) のみ

*2: フォーマットを表す記号は以下の通りです。

R : D-sub RGB (PC IN)
Y : YP_BPR/YC_BCR (PC IN)
H : HDMI (HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3)
UC : USB-C DP Alt Mode (USB-C HOST)
DL : DIGITAL LINK (DIGITAL LINK IN)

*3: VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

*4: YC_BCR 4:2:0 フォーマットのみ対応です。

*5: プラグアンドプレイ対応信号欄に○がある信号は、本機の EDID (拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。
プラグアンドプレイ対応信号欄に○がない信号は、本機が対応していてもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。

*6: 4K/60p は、4K/60p/HDR と 4K/60p/SDR を意味します。

お知らせ

- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- 1080/30PsF 信号および 1080/25PsF 信号が入力された場合、それぞれ 1080/60i 信号および 1080/50i 信号として処理し、表示します。
- 1920 x 2160/60 信号 (ドットクロック周波数 297.00MHz、DIGITAL LINK フォーマット) が入力された場合、3840x2160/60p と表示します。

工場出荷時の設定に戻すには

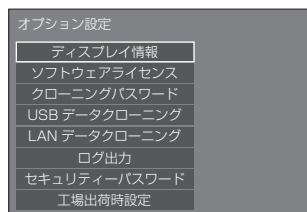
以下のデータを工場出荷時の状態に戻します。

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」メニューの設定、調整値、「初期設定」-「イメージ設定」で登録したユーザーイメージ

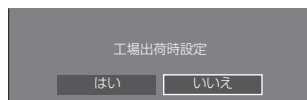
■ リモコン操作

- 1 < 初期設定 > を押して
「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「オプション設定」を選び、
< 決定 > を押す

以下のような画面が表示されます。



- 3 ▲▼ で「工場出荷時設定」を選び、
< 決定 > を押す



- 4 ◀▶ で「はい」を選び、< 決定 > を
押す

「工場出荷時設定（しばらくお待ちください。）」というメッセージが表示されます。

- 5 「ディスプレイの電源をオフしてください。」というメッセージが表示された後、
本体の電源ボタン (⏻/⏷) を押して
電源を切る

※ 電源ボタンがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 本体操作

- 1 < MENU > を数回押して
「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、
< ENTER > を 5 秒以上押す
- 3 < - > で「はい」を選び、< ENTER >
を押す
「工場出荷時設定（しばらくお待ちください。）」
というメッセージが表示されます。
- 4 「ディスプレイの電源をオフしてください。」というメッセージが表示された後、
本体の電源ボタン (⏻/⏷) を押して
電源を切る

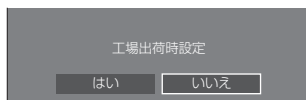
※ 電源ボタンがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ボタン操作制限、 リモコン操作制限の 設定を標準値に戻すには

「ボタン操作制限」「リモコン操作制限」「リモコン ID 機能」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の実操作ができなくなったときに、設定を「オフ」に戻し操作ができるようにします。

1 本体操作部の < ← > とリモコンの < 戻る > を同時に 5 秒以上押す

「工場出荷時設定」を表示した後、表示が消えロックが解除されます。



- ・「ボタン操作制限」「リモコン操作制限」「リモコン ID 機能」の設定が「オフ」に戻ります。

リモコン操作制限の 設定を標準値に戻すには

「リモコン操作制限」(P.97 ページ) の設定を行ない、リモコンの操作ができなくなったときに、設定を「オフ」に戻し操作ができるようにします。

1 リモコンの < 初期設定 > を 5 秒以上押す

「リモコン操作制限」の設定が「オフ」に戻ります。

本機の本体ソフトウェア について

この取扱説明書に記載の機能は、本体ソフトウェアのメインマイコンのバージョンによって対応が異なります。以下のバージョンでは、これらの機能をご利用できません。

Ver.1.5000 未満

- ① 「IPv6 設定」(P.80 ページ)

Ver.2.4000 未満

- ① 起動時の「クイック起動」確認画面(P.38 ページ)

Ver.2.5000 未満

- ① 「信号モード」の入力表示(P.56 ページ)
- ② 「時計補正設定」(P.76 ページ)
- ③ 「ファンクション設定」 - 「メモリー呼出」で任意のメモリーを数字ボタンに設定(P.88 ページ)
- ④ 入力情報ページのスクリーンモニター機能(P.107 ページ)

Ver.2.6000 未満

- ① 「Crestron XiO Cloud」(P.124 ページ)

以下のバージョンでは、動作が異なります。

Ver.2.4000 以上

- ① パワーマネージメント機能(P.65 ページ)
「クイック起動」が「オン」の場合は、映像(同期信号)が検知されないときの各入力における電源「切」までの動作時間は約 20 秒になります。

メインマイコンのバージョンは、「初期設定」の「オプション設定」にある「ディスプレイ情報」で確認できます。(P.90 ページ)

これらの機能を使用する場合には、最新の本体ソフトウェアに更新してください。

本体のソフトウェアの情報は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass>

修理を依頼される前に・・・ もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	21
電源が自動的に切れる	● 「無信号自動オフ」、各入力のパワーマネージメントまたは「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	65・71
電源ランプが橙色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ● リモコン受信部とリモコン間に障害物はありませんか。 ● 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません) ● 「リモコン操作制限」設定を「オフ」以外にしていますか。 ● 「リモコン ID 機能」設定を「オン」にしていますか。 ● リモコンの<ID MODE>スイッチを「ON」にしていますか。(ID リモコン使用時) 	— — — — 97 91 173
ID リモコン機能が使用できない (ID リモコン使用時)	● 「リモコン ID 機能」設定を「オン」にしていますか。また、リモコンの<ID MODE>スイッチを「ON」にしていますか。(「リモコン ID 機能」設定を「オン」にしている場合は、リモコンの<ID MODE>スイッチを「ON」にして ID 番号を設定する必要があります)	91
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	50
色模様が出たり 色が消える	● 他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が 欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	47・48
画面の上下に映像の 出ない部分ができる	● 16：9 より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭が チラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがあります。故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● 「ボタン操作制限」設定を「オフ」以外にしていますか。	96
映像、音声が出ない ことがある	● HDMI 信号をセレクトや分配器を通して本機に入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われず場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
<p>小さな音が大きく聞こえたり、大きな音にリミットが掛かっている。</p> <p>ノイズ音が気になる。</p> <p>音楽を聴くときボーカルと楽器の音量バランスがおかしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「音量自動調整」がオン（弱 / 中 / 強）に設定されていませんか。 	49
<p>音声の歪み、ノイズ音が気になる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声入力端子（AUDIO IN）に定格（0.5 Vrms）以上の音声が入力されていませんか。 ● 定格内の音声入力でご使用ください。 	183・184・185
<p>映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。 	37
<p>RS-232C 制御ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 	27
<p>LAN 制御ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● WEB ブラウザーコントロール、コマンドコントロールで制御する場合は、「ネットワーク設定」の「ネットワークコントロール」が「オン」になっていますか。 ● 「LAN 設定」は正しく設定されていますか。 ● AMX 社、Extron 社または Crestron Electronics, Inc. の機器を接続している場合は、「AMX D. D.」設定、「Extron XTP」設定または「Crestron Connected™」設定をお使いの機器に合わせて設定してください。 ● 「DIGITAL LINK ステータス」の「信号品質」情報を参照し、LAN ケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていないなど、LAN ケーブルの状態等を確認してください。 	98 78 79 79・84 84
<p>DIGITAL LINK IN 端子の映像または音声が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像（出力）機器とツイストペアケーブル伝送器、ツイストペアケーブル伝送器と本機との接続は正しく行われていますか。 ● 「ネットワーク設定」の「DIGITAL LINK モード」が「イーサネット」になっていませんか。 	99 83
<p>USB メディアプレーヤーでファイルを再生できるが、メモリービューワーでファイルが再生できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● USB メディアプレーヤーの再生ファイル仕様と、メモリービューワーの再生ファイル仕様を確認してください。 	127・138
<p>ホワイトボード操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「初期設定」メニューの「ホワイトボード設定」-「ホワイトボード」が「オフ」に設定されていませんか。 ● 外部からの強力なノイズにより、タッチパネルのマイコンが誤動作することがありますので、ノイズ源をできるだけ離してください。 	74 -

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

180 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-002

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

本体

品番	TH-65SQ2HJ (65V型)*1	TH-55SQ2HJ (55V型)*1	TH-50SQ2HJ (50V型)*1	TH-43SQ2HJ (43V型)*1
種類	UHD 液晶ディスプレイ			
使用電源	AC100 V ± 10% 50 Hz / 60 Hz			
消費電力	4.0 A	3.8 A	3.2 A	2.7 A
	218 W*2	202 W*2	154 W*2	109 W*2
音声実用最大出力	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W			
スピーカー	20 W (10 W + 10 W) JEITA フルレンジ: φ 3 cm × 2 2個			
液晶ディスプレイパネル	ADS パネル (Direct LED バックライト) 65V型*1 (アスペクト 16:9)	VA パネル (Direct LED バックライト) 55V型*1 (アスペクト 16:9)	VA パネル (Direct LED バックライト) 50V型*1 (アスペクト 16:9)	ADS パネル (Direct LED バックライト) 43V型*1 (アスペクト 16:9)
画面寸法	幅 1 428.4 mm 高さ 803.5 mm 対角 1 638.9 mm	幅 1 209.6 mm 高さ 680.4 mm 対角 1 387.8 mm	幅 1 095.8 mm 高さ 616.4 mm 対角 1 257.3 mm	幅 941.1 mm 高さ 529.4 mm 対角 1 079.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)			
動作使用条件	温度: 0 °C ~ 40 °C*3 湿度: 20% ~ 80% (結露のないこと)			
稼働時間	24 時間 / 日			
SLOT 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A			
HDMI 入力端子	TYPE A コネクター*4 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応			
HDMI IN 1	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)			
HDMI IN 2				
HDMI IN 3				
パソコン入力端子	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1			
PC IN	Y/G 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない PB/CB/B 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない PR/CR/R 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない HD/VD TTL (ハイインピーダンス)			
音声入力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]			
AUDIO IN				
音声出力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]			
AUDIO OUT	出力: 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 kΩ 負荷時)			
シリアル入力端子	外部制御用端子			
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠			
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、P2Link 対応			
LAN	通信方式: RJ45 10BASE-T/100BASE-TX			
リモコンスルー端子				
IR IN	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1			
IR OUT	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1			
USB 端子				
USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 1 A USB 3.0 対応			
USB-C HOST	USB コネクター × 1、TYPE C 最大 60 W (Power Delivery 対応) USB 2.0 対応、DP Alt Mode 対応			
USB DEVICE	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 2.0 対応			
DIGITAL LINK 入力 / LAN 端子	RJ45 × 1 DIGITAL LINK 接続用			
DIGITAL LINK IN / LAN	ロングリーチモード対応 HDCP1.4 対応			
DIGITAL LINK 出力端子	RJ45 × 1 DIGITAL LINK 接続用			
DIGITAL LINK OUT	ロングリーチモード対応 HDCP1.4 対応			
センサー端子				
SENSOR IN	4 極超ミニジャック (φ 2.5 mm) × 1			
外形寸法	幅 1 463 mm 高さ 838 mm 奥行 94 mm (取っ手を除く: 69 mm)	幅 1 242 mm 高さ 713 mm 奥行 66 mm	幅 1 129 mm 高さ 649 mm 奥行 66 mm	幅 973 mm 高さ 562 mm 奥行 65 mm
質量	約 28.6 kg	約 18.4 kg	約 15.8 kg	約 11.9 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)		金属 (前面)、樹脂 (バックカバー)	

品番	TH-86EQ2J (86V型) *1	TH-75EQ2J (75V型) *1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10% 50 Hz / 60 Hz	
	6.5 A	4.6 A
消費電力	351 W*2	210 W*2
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ : 1.5 cm × 2.5cm × 1 / φ 7 cm × 1 2 個	
液晶ディスプレイ パネル	ADS パネル (Direct LED バックライト)	
	86V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)	75V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅 1 895.0 mm	幅 1 649.6 mm
	高さ 1 065.9 mm 対角 2 174.2 mm	高さ 927.9 mm 対角 1 892.7 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C*3 湿度 : 20% ~ 80% (結露のないこと)	
稼働時間	18 時間 / 日	
SLOT 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A	
HDMI 入力端子	TYPE A コネクタ*4 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応	
HDMI IN 1	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
HDMI IN 2		
HDMI IN 3		
パソコン入力端子	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
	Y/G	1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む
		0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	P _B /C _B /B	0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	P _R /C _R /R	0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	HD/VD	TTL (ハイインピーダンス)
デジタルアウト端子	HDMI TYPE A コネクタ × 1 (4K 対応) HDCP 非対応	
DIGITAL AV OUT	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 48 kHz)	
音声入力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]	
AUDIO IN		
音声出力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]	
AUDIO OUT	出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 kΩ 負荷時)	
シリアル入力端子	外部制御用端子	
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PLink 対応	
LAN	通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
リモコンスルー端子		
IR IN	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1	
IR OUT	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1	
USB 端子		
USB	USB コネクタ × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 1 A USB 3.0 対応	
USB-C HOST	USB コネクタ × 1、TYPE C 最大 60 W (Power Delivery 対応) USB 2.0 対応、DP Alt Mode 対応	
USB DEVICE	USB コネクタ × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 2.0 対応	
外形寸法	幅 1 929 mm	幅 1 684 mm
	高さ 1 100 mm	高さ 962 mm
質量	奥行 96 mm (取っ手を除く : 70 mm)	奥行 96 mm (取っ手を除く : 70 mm)
	約 50.7 kg	約 37.3 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	

品番	TH-65EQ2J (65V型) *1	TH-55EQ2J (55V型) *1	TH-50EQ2J (50V型) *1	TH-43EQ2J (43V型) *1
種類	UHD 液晶ディスプレイ			
使用電源	AC100 V ± 10% 50 Hz / 60 Hz			
	4.1 A	3.3 A	3.0 A	2.6 A
消費電力	177 W *2	137 W *2	121 W *2	96 W *2
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W			
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA			
スピーカー	フルレンジ: φ 3 cm × 2 2個			
液晶ディスプレイ パネル	ADS パネル (Direct LED バックライト)	ADS パネル (Direct LED バックライト)	VA パネル (Direct LED バックライト)	ADS パネル (Direct LED バックライト)
	65V 型*1 (アスペクト 16 : 9)	55V 型*1 (アスペクト 16 : 9)	50V 型*1 (アスペクト 16 : 9)	43V 型*1 (アスペクト 16 : 9)
画面寸法	幅 1 428.4 mm	幅 1 209.6 mm	幅 1 095.8 mm	幅 941.1 mm
	高さ 803.5 mm 対角 1 638.9 mm	高さ 680.4 mm 対角 1 387.8 mm	高さ 616.4 mm 対角 1 257.3 mm	高さ 529.4 mm 対角 1 079.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)			
動作使用条件	温度: 0 °C ~ 40 °C *3 湿度: 20% ~ 80% (結露のないこと)			
稼働時間	18 時間 / 日			
SLOT 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A, 12 V / 最大 5.5 A			
HDMI 入力端子	TYPE A コネクタ *4 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応			
HDMI IN 1	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)			
HDMI IN 2				
HDMI IN 3				
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1			
	Y/G	1.0 V [p-p] (75 Ω)	同期信号を含む	
		0.7 V [p-p] (75 Ω)	同期信号を含まない	
	P _B /C _B /B	0.7 V [p-p] (75 Ω)	同期信号を含まない	
	P _R /C _R /R	0.7 V [p-p] (75 Ω)	同期信号を含まない	
HD/VD	TTL (ハイインピーダンス)			
デジタルアウト端子 DIGITAL AV OUT	HDMI TYPE A コネクタ × 1 (4K 対応) HDCP 非対応			
音声入力端子 AUDIO IN	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 48 kHz)			
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) × 1 (φ 3.5 mm) 0.5 V [rms]			
シリアル入力端子 SERIAL IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 (φ 3.5 mm) 0.5 V [rms]			
LAN 端子 LAN	出力: 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力, 10 kΩ 負荷時)			
リモコンスルー端子 IR IN	外部制御用端子			
IR OUT	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠			
USB 端子 USB	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PjLink 対応			
USB-C HOST	通信方式: RJ45 10BASE-T/100BASE-TX			
USB DEVICE	リモコンスルー端子			
外形寸法	幅 1 463 mm	幅 1 242 mm	幅 1 129 mm	幅 973 mm
	高さ 838 mm	高さ 713 mm	高さ 649 mm	高さ 562 mm
	奥行 94 mm	奥行 66 mm	奥行 66 mm	奥行 65 mm
	(取っ手を除く: 69 mm)			
質量	約 29.7 kg	約 18.0 kg	約 15.5 kg	約 11.7 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)		金属 (前面)、樹脂 (バックカバー)	

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 : 48 mm 高さ : 134 mm 奥行 : 20 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 工場出荷設定時

※ 3 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0 °C ~ 35 °C になります。

※ 4 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社 (パナソニック コネクト) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の初期設定メニューからの所定の操作によって [ソフトウェアライセンス] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して (以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ) 記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。
- 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PjLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Crestron Connected、Crestron Connected ロゴ、Crestron Fusion、XiO Cloud は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。
- Webex は、Cisco Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名	☎() -	お客様ご相談窓口	
		☎() -	☎() -	

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022